Form No. 3412-216 Rev C

GeoLink® スプレーシステム仕上げキット

シリアル番号 314999999 以前の Multi Pro® 5800 ターフスプレーヤ用

モデル番号 131-7262

取り付け要領

この GeoLink™ スプレーシステムキットは、芝生に液剤を散布する専用装置のための補助装置アタッチメントであり、そのような業務に従事するプロのオペレータが運転操作することを前提として製造されています。この製品は、集約的で高度な管理を受けている公園やゴルフ場、スポーツフィールド、商用目的で使用される芝生に対して液剤を散布することを主たる目的として製造されております。

製品の安全や取り扱い講習、アクセサリなどに関する情報、代理店についての情報の入手、お買い上げ製品の登録などをネットで行っていただくことができますwww.Toro.com。

安全について

⚠ 警告

この散布装置で取り扱う農薬は人体や動植物、土壌などに危険を及ぼす可能性があるので取り扱いには十分注意すること。

- **自分自身の安全を守るために、農薬を取り扱う前に、容器に張ってあるラベルや安全データシートSDSなど取り扱い上の注意をよく読んで理解し、薬剤メーカーの指示を守ること。たとえば、保護めがねゴグル、手袋など、薬剤との接触を防止し危険から身を守ることのできる適切な保護対策を講じる。**
- **散布する薬剤は一種類とは限らないので、取り扱っているすべての薬剤に関して注意事項を必ず確認する。**
- **上記安全確保に必要な情報が手に入らない場合には、この装置の運転を拒否してください。**
- **散布装置の整備や修理をする時は、その前に必ず洗浄を行う。その装置が薬剤メーカーの指示通りに3回のすすぎ洗いや必要な中和処理を実行済みであること、さらに、すべてのバルブにそれぞれ 3 回の開閉操作洗浄が実施されていることを確認する。**
- **十分な量の水と石鹸を身近に常備し、薬剤が皮膚に直接触れた場合には、直ちに洗い流すこと。**

© 2019—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

CE

この文書は翻訳です。 (JA)
Printed in the USA
禁無断転載

3412-216 C

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	–	キット取り付けの準備。
2	必要なパーツはありません。	–	プロコントロール XP 散布システムオプションを取り外します。
3	必要なパーツはありません。	–	オプション機器についている後ワイヤハーネスのコネクタ接続を外します。
4	スイッチのプラグ電動ホースリールキットToro P/N 99-7420 スイッチのプラグ収納式ホースリールキットToro P/N 99-7420	2 1	オプションのハンドスプレーキットや電動ホースリールキットの接続を外します。
5	スイッチのプラグ収納式ホースリールキットToro P/N 99-7420	1	収納式ホースリールキットオプションの接続を外します。
6	チューブアセンブリToro P/N 114–9553 ケーブルタイ	2 8	フォームマーカーキットオプションの接続を外します。
7	必要なパーツはありません。	–	ウルトラソニックブームキットの接続を外します。
8	必要なパーツはありません。	–	薬剤プレミックスキットオプションの接続を外します。
9	必要なパーツはありません。	–	EU適合キットオプションを外します。
10	必要なパーツはありません。	–	カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外します。
11	必要なパーツはありません。	–	ダッシュボードのゲージ用の水圧検知チューブを外すオプションのホースリールキットを搭載していない車両
12	必要なパーツはありません。	–	キャリッジ下シュラウドを取り外します。
13	後方ワイヤハーネス	1	後ワイヤハーネスを機体から外します。
14	ケーブルタイ スイッチのプラグ	1 1	散布レートスイッチを外す。
15	必要なパーツはありません。	–	ブームバルブと攪拌バルブを取り外します。
16	ケーブルタイ	1	ブームを取り外します。
17	後方ワイヤハーネス ケーブルタイ	1 5	後方ワイヤハーネスを車体に取り付けます。
18	必要なパーツはありません。	–	3ブーム用のマニホルドマウントを取り外します。

手順	内容	数量	用途
19	マニホルドマウント10バルブ構成	1	10バルブ構成用のマニホルドマウントを取り付けます。
20	ホース1 x 104cm 給液ホース1 x 59cm 攪拌バイパスホース1 x 25cmとバーブ付き90° フィッティング	1 1 1	マニホルドマウントの左側のホースを取り付けます。
21	必要なパーツはありません。	–	後方ワイヤハーネスを取り付けます。
22	外側ブームのトラススレーム左側ブーム長いブーム 中央ブームのトラススレーム中央ブーム短いブーム 外側ブームのトラススレーム右側ブーム長いブーム フランジヘッドねじ⅜ x 1” フランジロックナット3/8" 下部クレードルアセンブリ	1 1 1 4 1	新しいセンターブームを準備します。
23	必要なパーツはありません。	–	新しいセンターブームを取り付けます。
24	フローメータ フランジクランプ 76mm3" ガスケット外径 2-¼" 縮径アダプタ フランジクランプ 51mm2" ガスケット外径 1-5/16" バーブ付きフランジフィッティング1" ホース1 x 7-¼" ホースクランプ 水圧トランスデューサとマニホルド ホース1 x 8-½" R クランプ フランジヘッドボルト5/16 x ¾" フランジロックナット5/16"	1 2 2 2 1 1 1 1 4 1 1 1 1 1	フローメータと水圧トランスデューサを取り付けます。
25	油圧ホース ¼ x 24¾"	4	ブーム昇降シリンダを取り付けます。
26	ナイロン製フランジブッシュ	4	左右の外側ブームを取り付けます。
27	給液ホースアセンブリ279cm 給液ホースアセンブリ234cm 給液ホースアセンブリ188cm 給液ホースアセンブリ81cm	2 2 4 2	散布ノズル用ホースを取り付けます。
28	必要なパーツはありません。	–	ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを接続します。

手順	内容	数量	用途
29	ナビゲーション受信機ジオリンク高精度散布システムキットモデル 41623	1	ナビゲーション受信機を取り付けます。
	受信機用マウント	1	
	ボルト	2	
	RTK アンテナ用ブラケットIMUオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット	1	
	フランジロックナット⅜"	4	
	六角ヘッドボルト5 x 16mm	3	
	ワッシャ5mm	3	
	携帯電話アンテナオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット	1	
	同軸ケーブルオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット	1	
	シリアル番号ラベルX25 および X30 GeoLink® 高精度散布システム仕上げキット付属品)	1	
30	スプレーヤのモニタジオリンク高精度散布システムキット 41623	1	スプレーヤのモニタを取り付けます。
	ディスプレイ用フード	1	
	ボールマウントジオリンク高精度散布システムキット 41623	1	
	モニタ用アームジオリンク高精度散布システムキット 41623	1	
	補強プレート	1	
	フランジヘッドボルト ¼ x 1½"	4	
	フランジロックナット¼"	4	
31	散布コントローラジオリンク高精度散布システムキット 41623	1	散布コントローラを取りつけて後方ハーネスに接続します。
	ボルト4 x 10mm	4	
	フランジロックナット4mm	4	
32	データ用ハーネスナビゲーションシステムジオリンク高精度散布システムキットモデル 41623	1	ナビゲーション関係のワイヤハーネスを取り付けます。
	電装用ハーネスナビゲーションシステムジオリンク高精度散布システムキットモデル 41623	1	
	ケーブルタイ	5	
33	必要なパーツはありません。	–	キャリッジ下シュラウドを取り付けます。
34	サイドポート付き 90° エルボToro P/N 131-3726	1	オプションのハンドスプレーキット、電動ホースリールキット、収納式ホールリールキットの接続を行います.
	フランジ付きクランプとガスケットToro P/N 127-9829	1	
	シャットオフバルブToro P/N 130-7321	1	

手順	内容	数量	用途
35	ワイヤハーネスオプションのフォームマーカー仕上げキット130-8292	1	オプションのフォームマーカーキットの接続を行います。
	ケーブルタイオプションのフォームマーカー仕上げキット130-8292	5	
	リレーオプションのフォームマーカー仕上げキット130-8292	1	
	フランジヘッドボルト#10-24 x ½"フォームマーカー仕上げキット130-8292	1	
	ロックナット#10-24オプションのフォームマーカー仕上げキット130-8292	1	
	補助ヒューズブロックToro P/N 92-2641	1	
	ヒューズ15Aオプションのフォームマーカー仕上げキット130-8292	1	
	フランジヘッドボルト6 x 12mmオプションのフォームマーカー仕上げキット130-8292	4	
	取り付けブラケット泡制御スイッチオプションのフォームマーカー仕上げキット130-8292)	1	
	3 ポジションパドルスイッチ泡制御スイッチオプションのフォームマーカー仕上げキット130-8292	1	
	2 ポジションロッカースイッチコンプレッサON/OFFスイッチオプションのフォームマーカー仕上げキット130-8292	1	
36	液剤シャットオフバルブ Toro P/N 130-7324	1	薬剤プレミックスキットオプションを取り付けます。
	リテーナToro P/N 131-0235	2	
	マウント液剤シャットオフバルブToro P/N 131-3725-03	1	
	フランジロックナットステンレス製 1/4"Toro P/N 119-6897	2	
	圧力解放ホースアセンブリ25 x 273 mmToro P/N 131-9647	1	
	給液ホースアセンブリ25 x 470 mmToro P/N 131-9648	1	
	攪拌バイパスホースアセンブリ25 x 305 mmToro P/N 131-9649	1	
	バーブ付き 90° フィッティング25 mmToro P/N 131-3727	1	
	ドレンホース25 x 1587 mmToro P/N 117-7957)	1	
37	必要なパーツはありません。	–	EU 適合キットオプションを取り付けます。

手順	内容	数量	用途
38	カバーエクステンションアセンブリ12ノズル用Toro P/N 120-0621 ポップリベットToro P/N 114439 サポートブラケットセンターブーム用カバーToro P/N 13-3703-03 クリップナットToro P/N 94-2413 フランジヘッドボルト3/8 x 1-¼"Toro P/N 110-5050 フランジロックナット3/8" Toro P/N 104-8301 カバーストラップToro P/N 120-0629 フランジヘッドボルト5/16 x 1-¼"Toro P/N 323-36	1 22 4 4 16 16 2 4	オプションのブームカバーキットの取り付けを行います。
39	必要なパーツはありません。	–	オプションのタンクすすぎキットの接続を行います。
40	ベルト張りブラケット オルタネータ60A ナット (10mm) オルタネータのアダプタ用ハーネス	1 1 1 1	オルタネータを交換します。
41	必要なパーツはありません。	–	ジオリンクスプレーシステム仕上げキットの最終作業を行います。

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

1

キット取り付けの準備

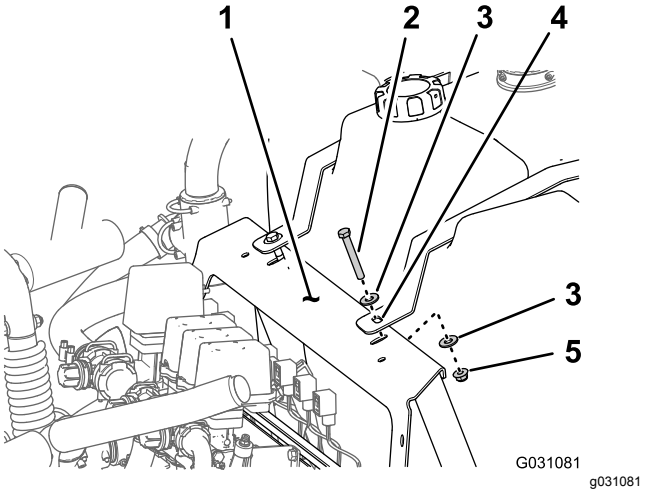
必要なパーツはありません。

液剤タンクとオプションのすすぎタンクの準備を行う

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. 左右のブームを散布位置に降下させる。
4. スプレーヤを洗浄する*オペレーターズマニュアル*の「スプレーヤの洗浄」を参照。

   重要 **このキットの取り付けを行う前に、タンクを完全に空にしてください。**
5. **オプションのタンクすすぎキットを搭載している場合には、以下の作業を行う**
   A. すすぎタンクから液剤タンクへ水を移動させるすすぎキットの*取り付け要領書*の「すすぎキットの使用方法」を参照。
   B. 液剤タンクを空にする散布車の*オペレーターズマニュアル*の「スプレーヤの洗浄」を参照。
   C. すすぎタンクをマニホルドマウントに固定しているボルト3/8 x 2-¾"2本、フランジロックナット3/8"2個、ワッシャ3/8"4枚を取り外す図 1。

      注 外したボルト、ナット、ワッシャは 19 10 バルブ構成用のマニホルドマウントを取り付ける (ページ 43)の取り付けに使用します。



g031081

図 1

1. マニホルドマウント
2. フランジロックナット3/8"
3. ワッシャ3/8"
4. すすぎタンク固定ベルト
5. ボルト3/8 x 2-¾"

   D. ロープを使って、すすぎタンクをメインタンクに固定する。

E. エンジンを止め、キーを抜き取る。

バッテリーの接続を外す

⚠ 警告

配線から出た火花で水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

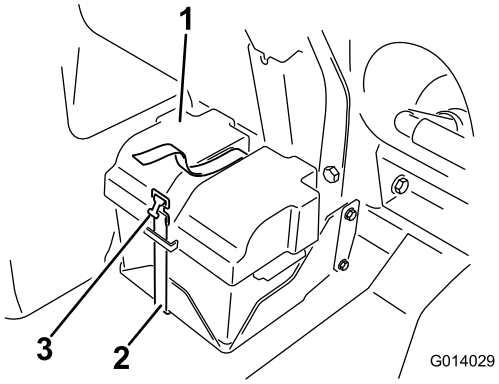
バッテリーケーブルの接続ルートが不適切であるとケーブルがショートを起こして火花が発生する。

- **ケーブルを取り外す時は、必ずマイナス黒ケーブルから取り外し、次にプラス赤ケーブルを外す。**
- **ケーブルを取り付ける時は、必ずプラス赤ケーブルから取り付け、それからマイナス黒ケーブルを取り付ける。**

バッテリーの端子に金属製品や車体の金属部分が触れるとショートを起こして火花が発生する。

- **バッテリーの取り外しや取り付けを行うときには、端子と金属部を接触させないように注意する。**
- **バッテリーの端子と金属を接触させない。**
- **バッテリー押さえは必ず取り付ける。**

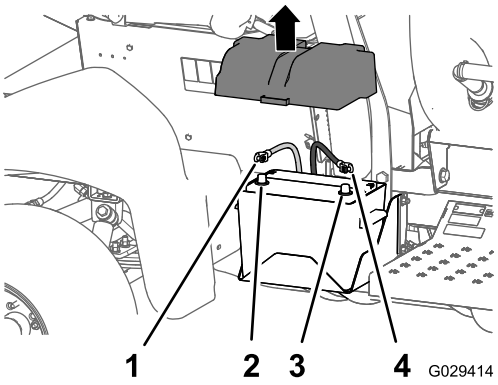
1. バッテリーについているカバーを外し、バッテリーのマイナス黒端子からケーブルを外す 図 2 と 図 3。



g014029

図 2

1. バッテリーカバー
2. ストラップ
3. バックル



g029414

図 3

1. プラス+ケーブル
2. プラス端子
3. マイナス端子
4. マイナス-ケーブル

2. バッテリー端子からプラス赤ケーブルを外す 図 3。
3. 座席をふたつとも前に倒し、中央コンソールのベース部のスロットの端にあるへこみ部分に支え棒を移動させて座席を支える。
4. エンジンが完全に冷えるのを待つ。

2

プロコントロール XP 散布システムオプションを取り外す

必要なパーツはありません。

フローメータのハーネスを外す

車体後部で、フローメータ用ハーネスの3ピンコネクタから、車両用ハーネスの3ソケットコネクタを外す図 4。

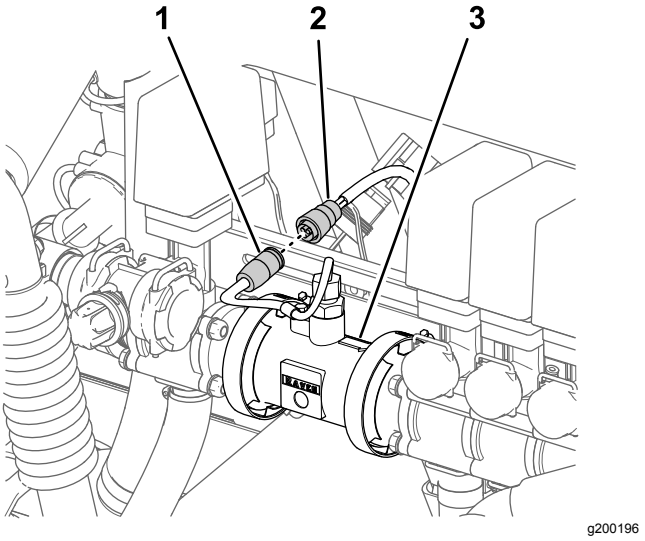


図 4

1. 3ピンコネクタフローメータのハーネス
2. 3口コネクタ車両用ハーネス
3. フローメータ

プロコントロール用コンソールを外す

1. プロコントロール用コンソール前面で、コントロールコンソールの3ソケットコネクタから、車両のワイヤハーネスの3ピンコネクタを外す図 5。

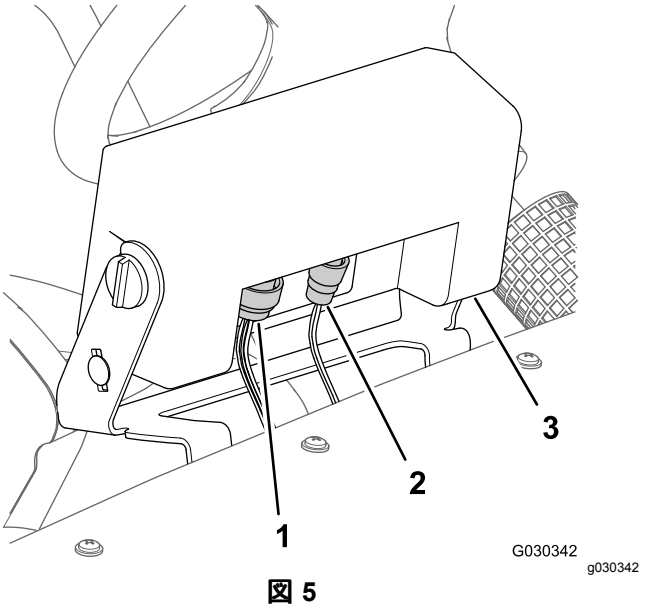


図 5

1. 16 ピンコネクタ車両のワイヤハーネス
2. 2 ピンコネクタ車両のワイヤハーネス
3. プロコントロール用のコンソール

2. コントロールのコンソールの16ソケットコネクタから、16ソケットコネクタを外す図 5。
3. コンソールの両側のノブを外す図 6。

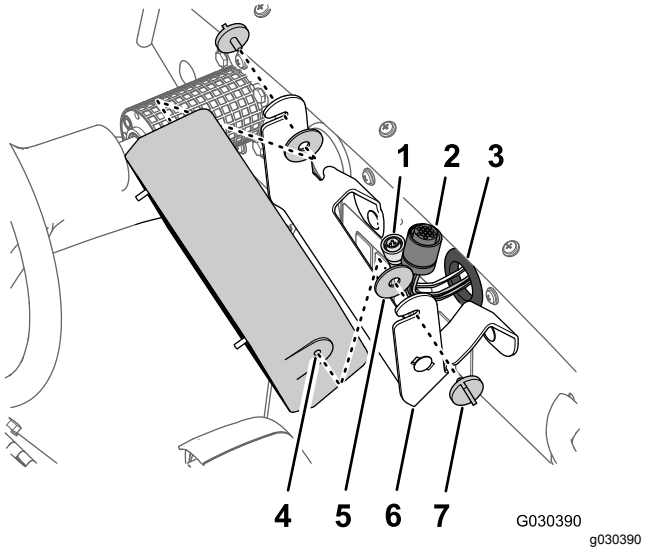


図 6

1. 3口コネクタ
2. 16口コネクタ
3. ハトメダッシュパネル
4. コントロールコンソール
5. ゴム製ワッシャ
6. サポートブラケット
7. ノブ

4. コントロールコンソールとゴム製ワッシャ2枚を、サポートブラケットから取り外す図 6。
5. ハーネス、3ソケットコネクタ、16ソケットコネクタをダッシュパネルのハトメから入れる図 6。
6. サポートブラケットをダッシュパネルに固定しているキャリッジボルト5/16 x ¾"2本とフランジロックナット5/16"2個を外して、サポートブラケットを取り外す図 7。

   注 機体から外したコントロールコンソール、ゴム製ワッシャ、サポートブラケット、キャリッジボルト、ロックナットは廃棄して構いません。

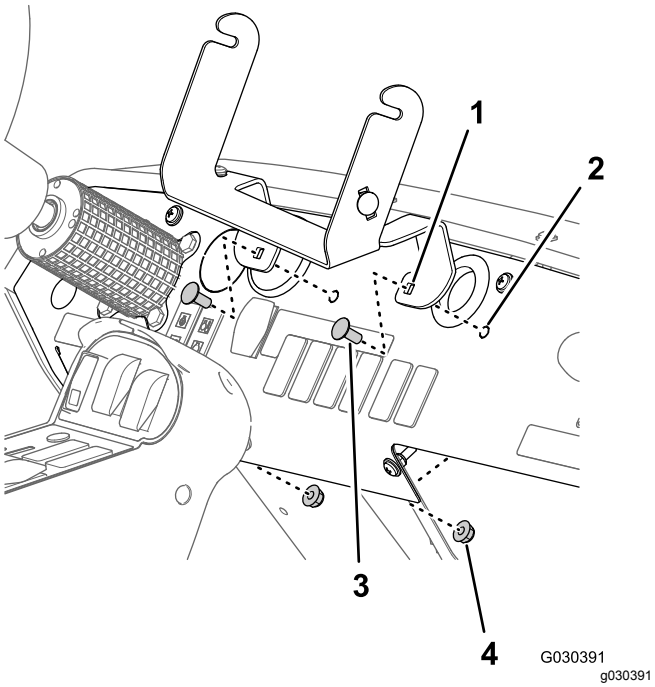


図 7

1. サポートブラケット
2. ダッシュパネル
3. キャリッジボルト5/16 x ¾"
4. フランジロックナット5/16"

3

オプション機器についている後ワイヤハーネスのコネクタ接続を外す

必要なパーツはありません。

ハンドスプレーキットや電動ホースリールキットの接続を外す

ハンドスプレーキットや電動ホースリールのコントロールボックスで、コントロールボックスのハーネスの6ピンコネクタを、車両用の後メインハーネスの6ソケットコネクタから外す図 8と図 9。

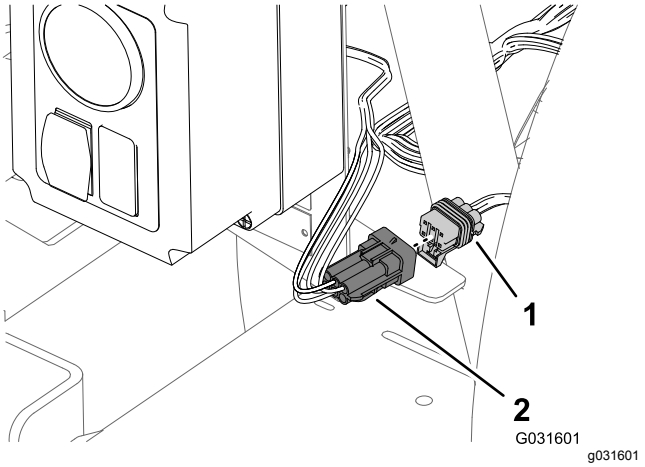


図 8

コントロールボックスハンドスプレー用

1. 6ソケットコネクタ車両の後メインハーネス)
2. 6ピンコネクタコントロールボックスのハーネス

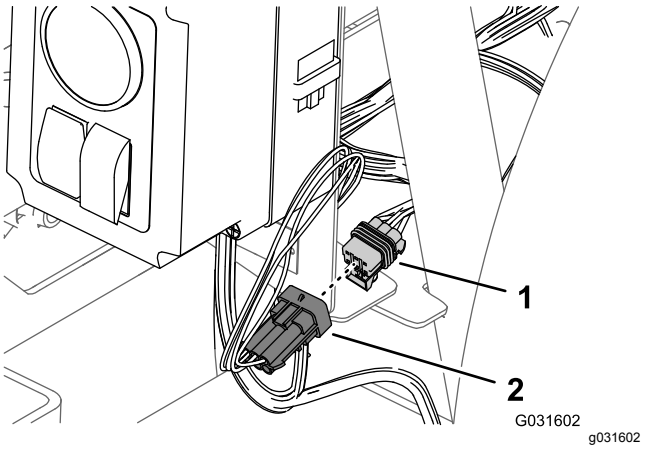


図 9

コントロールボックス電動ホースリールキット

1. 6ソケットコネクタ車両の後メインハーネス)
2. 6ピンコネクタコントロールボックスのハーネス

ピボット式ホースリールキットを取り外す

1. 機体後部で、液剤タンクの後部にある収納式ホースリールキットのワイヤハーネスを探し出す図 10。

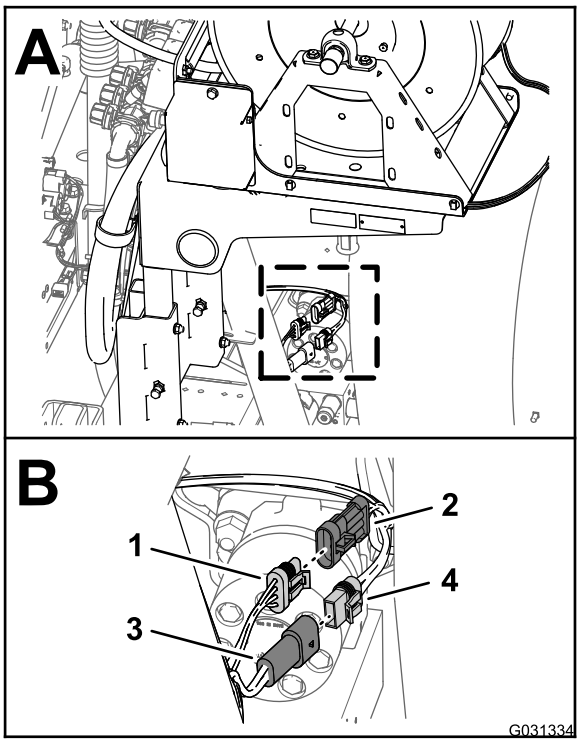


図 10

1. 3ソケットコネクタ後メインハーネス
2. 3ピンコネクタ電動ホースリールのハーネス
3. 2ソケットピン後メインハーネス
4. 2ソケットコネクタ電動ホースリールのハーネス

2. 後メインハーネスの2ピンコネクタから、電動ホースリール用ハーネスの2ソケットコネクタを外す図 10。
3. 後メインハーネスの3ソケットコネクタから、電動ホースリール用ハーネスの3ピンコネクタを外す図 10。

フォームマーカーキット用のコンプレッサを取り外す

1. フォームマーカーのタンクの後部にあるコンプレッサ用ハーネスを探し出す (図 11)。

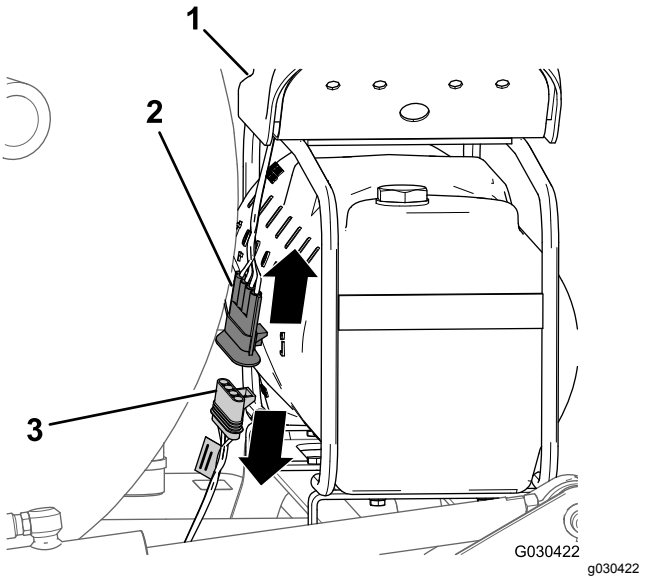


図 11

1. コンプレッサ
2. 4ピンコネクタコンプレッサのワイヤハーネス
3. 4ソケットコネクタ仕上げキットのワイヤハーネス

2. 車両用の後ワイヤハーネスの4ソケットコネクタから、コンプレッサ用の4ピンコネクタを外す図 11。

薬剤プレミックスキットのコントロールバルブの接続を外す

1. 車両後部で、車両の後後メインハーネスの 3 ソケットピンコネクタEDUCTORというラベルが付いているを外す図 12。

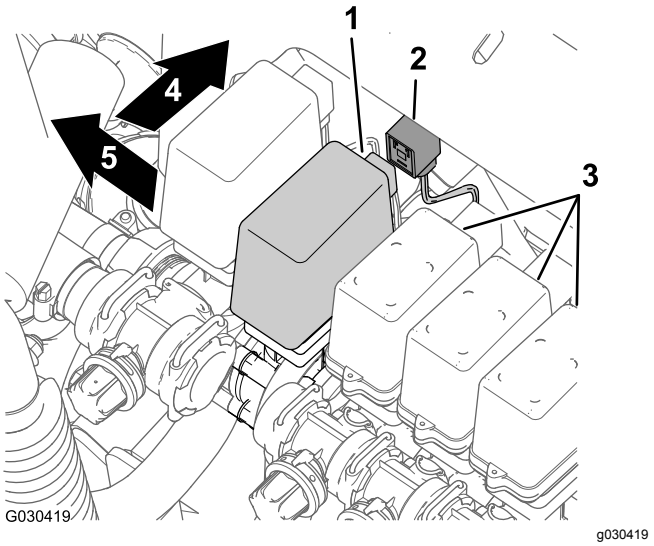


図 12

1. 3ソケットコネクタエダクタ用バルブ
2. エダクタバルブ
3. 個別ブームバルブ
4. 機体正面
5. 左

2. エダクタ用バルブの3枚刃コネクタから、メインハーネスのエダクタ用のコネクタを外す図 12。

すすぎキットのポンプを取り外す

1. 機体後部で、すすぎ用ポンプのカバーを両側から押し、カバーについているタブがサドルプレートのスロットをかわすまでカバーを上に持ち上げて、カバーを取り外す図 13。

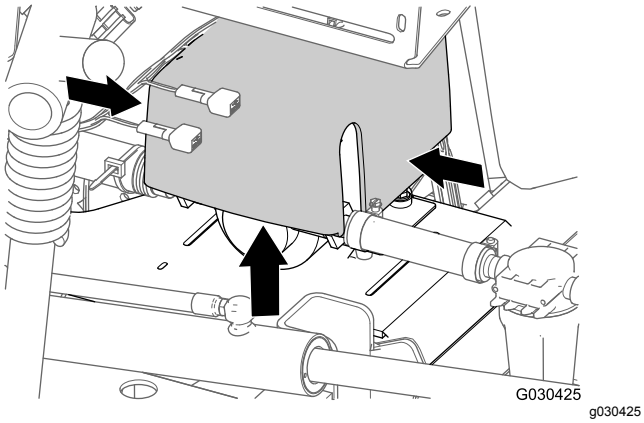


図 13

2. 後メインハーネスの6ソケットコネクタから、すすぎポンプハーネスの6ピンコネクタを外す図 14。

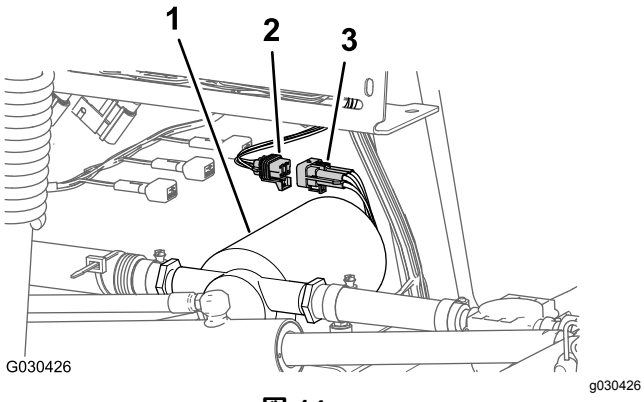


図 14

1. すすぎポンプ
2. 6ソケットコネクタ後メインハーネス
3. 6ピンコネクタすすぎポンプのハーネス

4

オプションのハンドスプレーキットや電動ホースリールキットの接続を外す

この作業に必要なパーツ

2	スイッチのプラグ 電動ホースリールキットToro P/N 99-7420
1	スイッチのプラグ 収納式ホースリールキットToro P/N 99-7420

水圧コントロールとON/OFF スイッチを外す

1. 電動ホースリールのコントロールボックスで、カバーをコントロールボックスに固定しているねじ4本を完全にゆるめて、注意深くカバーを取り外す図 15。

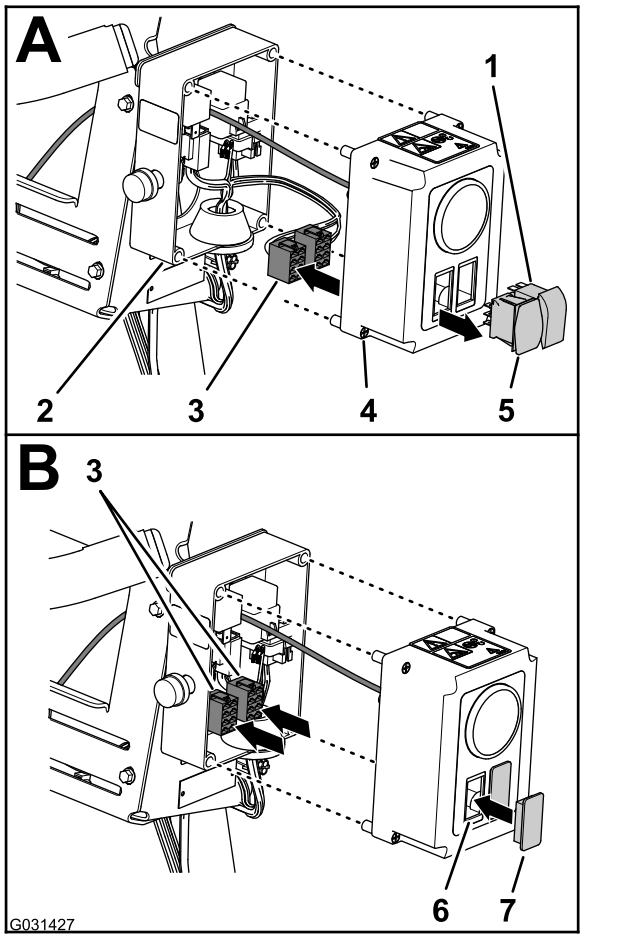


図 15

1. On/Off スイッチ
2. コントロールボックス
3. 8ソケットコネクタコントロールボックスのハーネス
4. カバーのねじコントロールボックス
5. 水圧制御スイッチ
6. 開口部コントロールボックスのカバー
7. スイッチのプラグ

2. 以下の手順で、コントロールボックスからスイッチを取り外す
   - **電動ホースリールキット**
     A. 圧力制御スイッチとOn-Off スイッチから、コントロールボックス用の8ソケットコネクタ2個を外す図 15。
     B. これら2つの8ソケットコネクタを、コントロールボックス内部に引き込む図 15。
     C. 2つのスイッチのロックタブをつまんで、スイッチをコントロールボックスのカバーの外に押し出す図 15。

     注 外したスイッチは不要ですの廃棄して構いません。
   - **ハンドスプレースティックキット**
     A. 圧力制御スイッチから、コントロールボックスのハーネスの8ソケットコネクタを外す図 16。

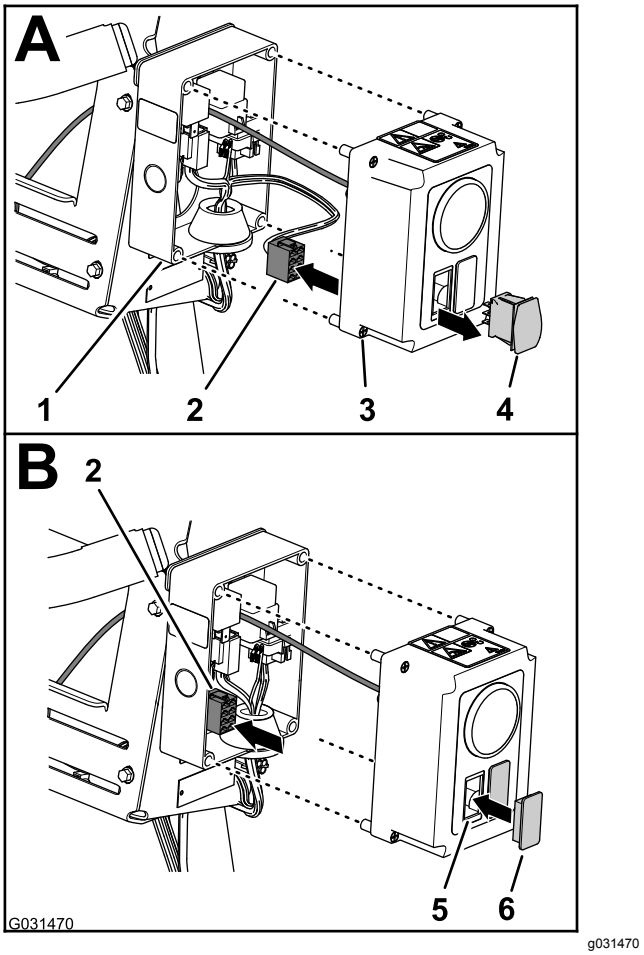


図 16

1. コントロールボックス
2. 8ソケットコネクタコントロールボックスのハーネス
3. カバーのねじコントロールボックス
4. 水圧制御スイッチ
5. 開口部コントロールボックスのカバー
6. スイッチのプラグ

     B. 8ソケットコネクタをコントロールボックス内部に引き込む図 16。
     C. スイッチのロックタブをつまんで、スイッチをコントロールボックスのカバーの外に押し出す図 16。

     注 このスイッチは、もう使用しません。
3. スイッチを外したところコントロールボックスの開口に、スイッチプラグを合わせる図 15と図 16。
4. カバーにスイッチプラグをはめ込み、プラグがカバーにパチンと音を立ててはまるまで押し込む図 15と図 16。
5. カバーをコントロールボックスに取り付けてカバー用ねじ4本で固定する図 15。

ホースとチューブを取り外す

1. ホースリール用の圧力制御バルブの右側にある 90° エルボのところに、チューブカップラ用のロッキングカラーを押し入れて、ホースリール用

の水圧ゲージ用の水圧検知チューブを取り外す 図 17。

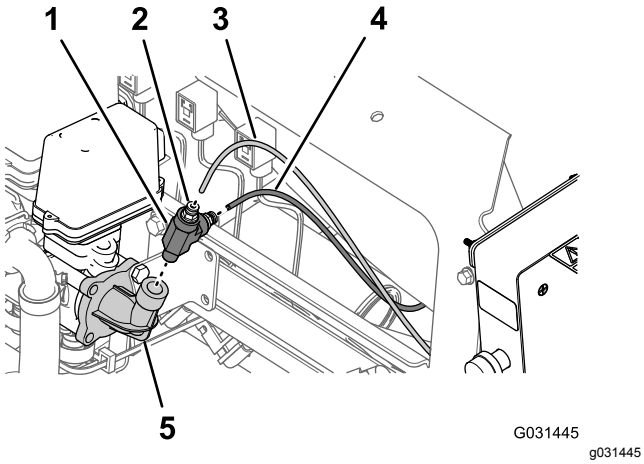


図 17

図は電動ホースリールキットハンドスプレースティックもほぼ同じ

1. T 字フィッティング
2. ロッキングカラーチューブカップラ
3. 水圧検知チューブホースリールの水圧計用
4. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用
5. 90° エルボ水圧制御バルブ

2. チューブカップラ用のロッキングカラーを押し入れて、車両のダッシュボードにある水圧ゲージ用の水圧検知チューブを取り外す 図 17。
3. 90° エルボ水圧制御バルブからT字フィッティングを外す 図 17 。

   注 T字フィッティングは ホースと検知チューブを取り付ける (ページ 81)で使用するので廃棄しないでください。
4. ホースリール用の給水ホースを水圧制御バルブのバーブ付きフィッティングに固定しているホースクランプを外す 図 18。

   注 ホースクランプは ホースとフィッティングの組み付けを行う (ページ 80)で使用します。

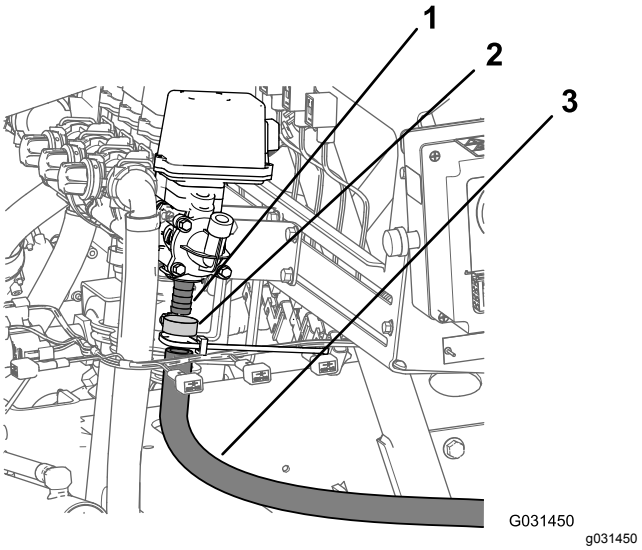


図 18

1. バーブ付きフィッティング水圧制御バルブ
2. ホースクランプ
3. インレットホース 電動ホールリール

5. ホースリールのバルブから給水ホースを外す 図 18。

マニホルドマウントからコントロールボックスを外す

1. コントロールボックスの取り付けプレートをスプレーヤのバルブ用のマニホルドマウントに固定しているフランジヘッドボルト¼ x 5/8" 3本と鋸歯付きフランジナット¼"3個を取り外す 図 19。

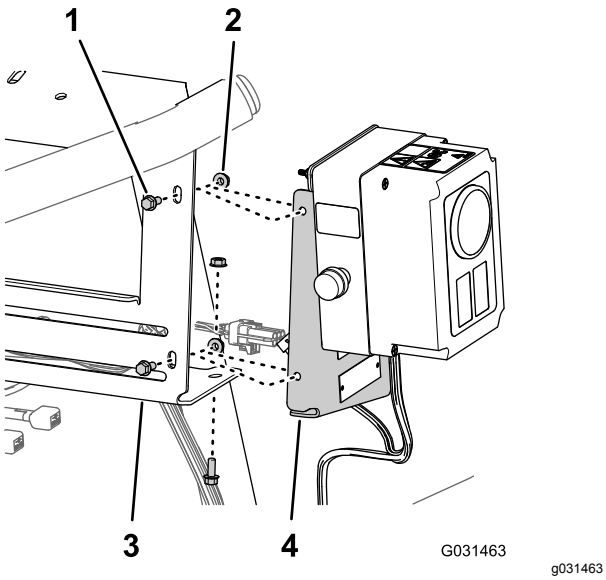


図 19

図は電動ホースリールキットハンドスプレースティックもほぼ同じ

1. フランジヘッドボルト¼ x 5/8"
2. 鋸歯付きフランジナット¼"
3. マニホルドマウントスプレーヤのバルブ
4. 取り付けプレートコントロールボックス

2. マニホルドマウントから取り付けプレートを外す 図 19。
3. 車両からコントロールボックスを外して脇に置く。

   注 取り外したものは マニホルドマウントにコントロールボックスを取り付ける (ページ 79)で再取り付けするので廃棄しないでください。

5

収納式ホースリールキットオプションの接続を外す

この作業に必要なパーツ

1	スイッチのプラグ 収納式ホースリールキットToro P/N 99-7420

水圧制御スイッチを外す

1. コントロールボックスをリール取り付けプレートに固定しているボルト5/16 x ¾" 2本とロックナット5/16"2個を取り外す 図 20。

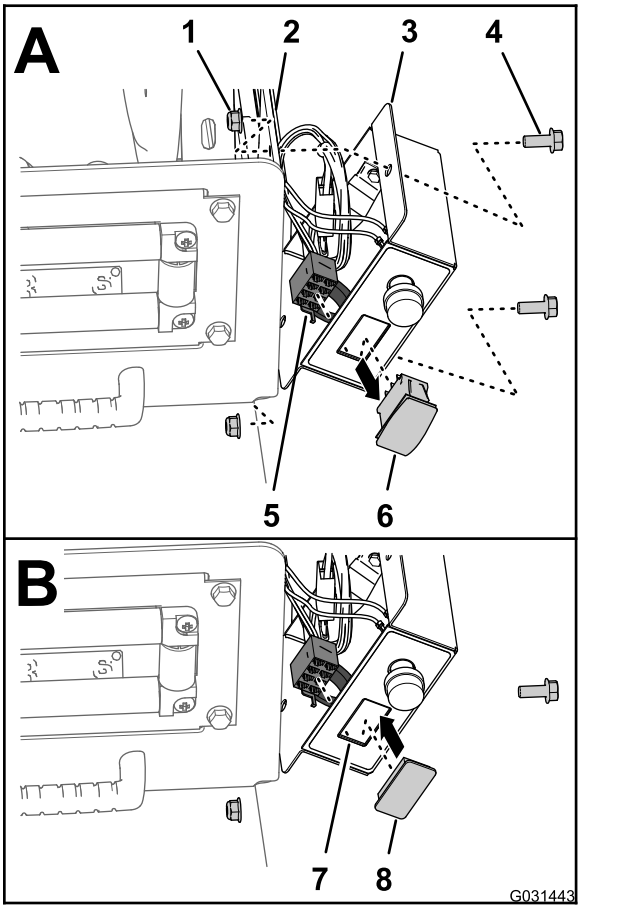


図 20

1. ロックナット5/16"
2. リール取り付けプレート
3. コントロールボックス
4. ボルト5/16 x ¾"
5. 8ソケットコネクタコントロールボックスのハーネス
6. 水圧制御スイッチ
7. 開口部コントロールボックスのカバー
8. スイッチのプラグ

2. 水圧制御スイッチから、コントロールボックス用の8ソケットコネクタを外す 図 20。
3. 8ソケットコネクタをコントロールボックス内部に引き込む 図 20。
4. 水圧制御 スイッチのロックタブをつまんで、スイッチをコントロールボックスの外に押し出す 図 20。

   注 このスイッチは、もう使用しません。
5. スイッチを外したところコントロールボックス開口に、スイッチプラグを合わせる 図 20。
6. コントロールボックス内部にスイッチプラグを入れ、プラグがカバーにパチンと音を立ててはまるまで押し込む 図 20。
7. コントロールボックスをリール取り付けプレート 図 20に固定するボルト5/16 x ¾"2本と、ロックナット5/16"2個を使用。
8. ボルトとナットを19782542N·cm2.02.6kg.m = 175225in-lbにトルク締めする。

ホースとチューブを取り外す

1. 水圧制御バルブの右端で、インレットホースを制御バルブのバーブ付きフィッティングに固定しているホースクランプを外してフィッティングからホースを取り外す 図 21。

   注 クランプは ホースと検知チューブを取り付ける (ページ 81)で使用します。

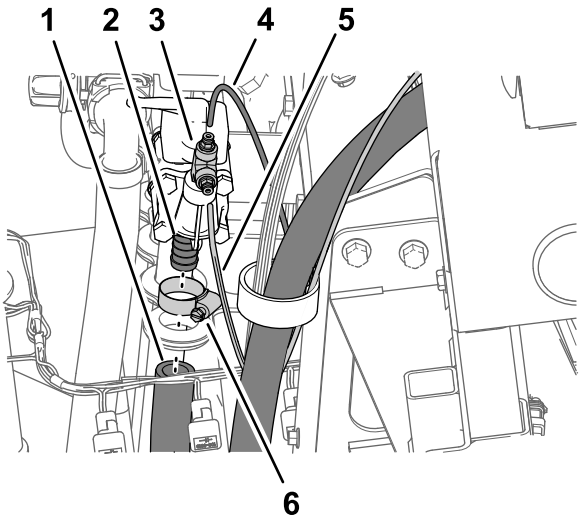


図 21

1. インレットホース収納式ホースリール
2. バーブ付きフィッティング水圧制御バルブ
3. チューブカップラT字フィッティング
4. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用
5. 水圧検知チューブホースリールの水圧計用
6. ホースクランプ

2. チューブカップラ用のロッキングカラーを押し入れて、車両のダッシュボードにある水圧ゲージ用の水圧検知チューブを取り外す 図 21。
3. チューブカップラ用のロッキングカラーを押し入れて、ホースリール用の水圧ゲージ用の水圧検知チューブを取り外す 図 21。
4. 水圧制御バルブの 90° エルボからT字フィッティングとチューブカップラを取り外す 図 21。

   注 T字フィッティングとチューブカップラは ホースと検知チューブを取り付ける (ページ 81)で使用ます。

マニホルドマウントから収納式ホースリールを外す

吊り上げ装置に必要な能力: 57kg

1. 所定の能力のあるホイストなどを使って、ホースリールを支える。
2. 車両の右側フレームチャネル部で収納式ホースリールの下部チューブフレームを取り付けブラケットに固定しているフランジヘッドボルト3/8 x 2-½"2本とフランジロックナット3/2"4個とを外す 図 22。

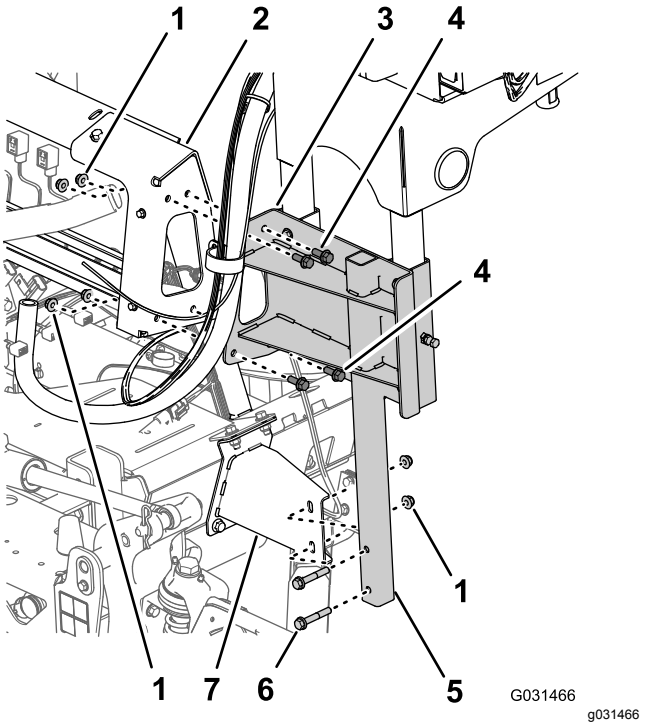


図 22

1. フランジロックナット3/8"
2. マニホルドマウントスプレーヤのバルブ
3. サポートチャネル収納式ホースリール
4. フランジヘッドボルト3/8 x /1"
5. 下側チューブフレーム収納式ホースリール
6. フランジヘッドボルト 3/8 x 2¼"
7. 取り付けブラケット車両の右側フレームチャネル

3. 収納式ホースリールのサポートチャネルをスプレーヤバルブ用のマニホルドマウントに固定しているフランジヘッドボルト3/8 x 3" 4本とフランジナット½"4個を取り外す 図 22。
4. 収納式ホースリールを車両から外して脇に置く。

   注 取り外したものは マニホルドマウントに収納式ホースリールを取り付ける (ページ 79)で再取り付けするので廃棄しないでください。

6

フォームマーカーキットオプションの接続を外す

この作業に必要なパーツ

2	チューブアセンブリToro P/N 114–9553
8	ケーブルタイ

機体から液体チューブと空気チューブを取り外す

1. フォームマーカーキット用のコンプレッサの接続パネルで、右側ブーム用の透明チューブと青色チューブをケーブルタイで固定する図 23。

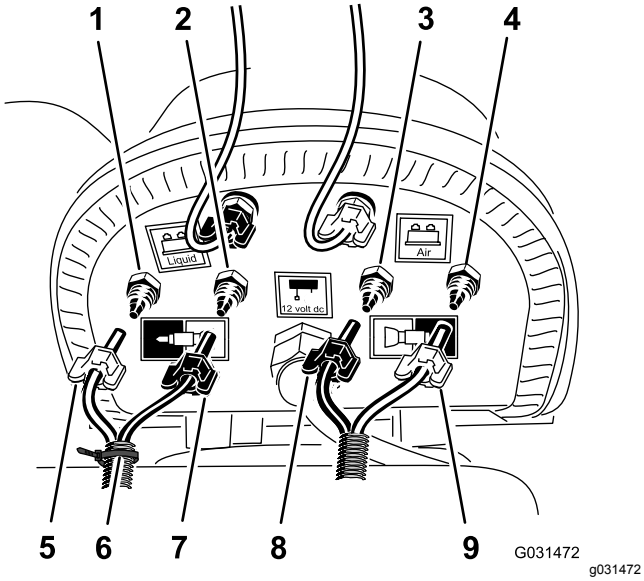


図 23

1. コンプレッションフィッティング—水 右ブーム—青チューブ
2. コンプレッションフィッティング—空気右ブーム—透明チューブ
3. コンプレッションフィッティング—水左ブーム—青チューブ
4. コンプレッションフィッティング—空気左ブーム—透明チューブ
5. コンプレッションナット—空気右ブーム—青チューブ
6. ケーブルタイ
7. コンプレッションナット—水右ブーム—透明チューブ
8. コンプレッションナット—左ブーム—青チューブ
9. コンプレッションナット—左ブーム—透明チューブ

2. 左および右ブーム部で、泡ノズル用の透明チューブ2本と青色チューブ2本のコンプレッションナットをゆるめる図 23。
3. 左右のブーム用のコンプレッションフィッティングからチューブ4本を外す図 23。
4. 左ブーム用の泡液剤チューブと空気チューブ、および右ブーム用の液剤チューブと空気チューブを区別できるようにテープなどでマーキングする。
5. 左右のブームで、泡ノズルからチューブを外し、ブームの支点近くにある R クランプから抜き出す図 24。

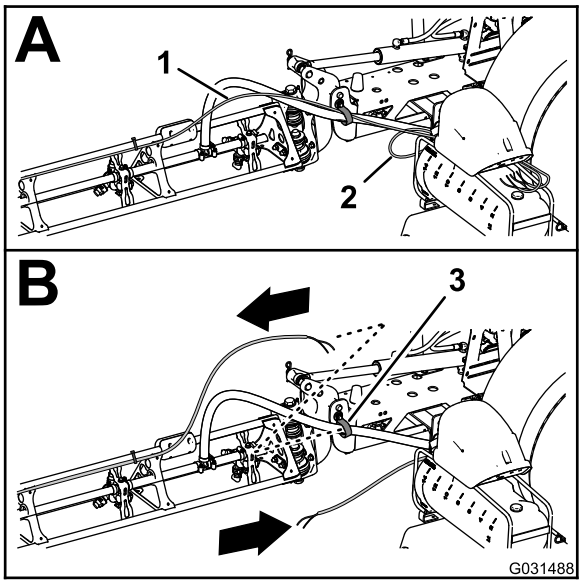


図 24

1. チューブフォームマーカーのノズル用右ブーム
2. チューブフォームマーカーのノズル用左ブーム
3. R クランプ

6. **センターブーム延長キット** が装着されているマシンでは、外したチューブの端部をセンターブームに仮止めし、フォームマーカーのノズル用の新しいチューブアセンブリの準備を行う (ページ 16)と新しいチューブアセンブリを取りつける (ページ 17)のための作業は飛ばす。

フォームマーカーのノズル用の新しいチューブアセンブリの準備を行う

センターブーム延長キットを搭載していない車両

1. フォームマーカーの透明チューブと青色チューブをブームに固定しているケーブルタイを外す図 25。

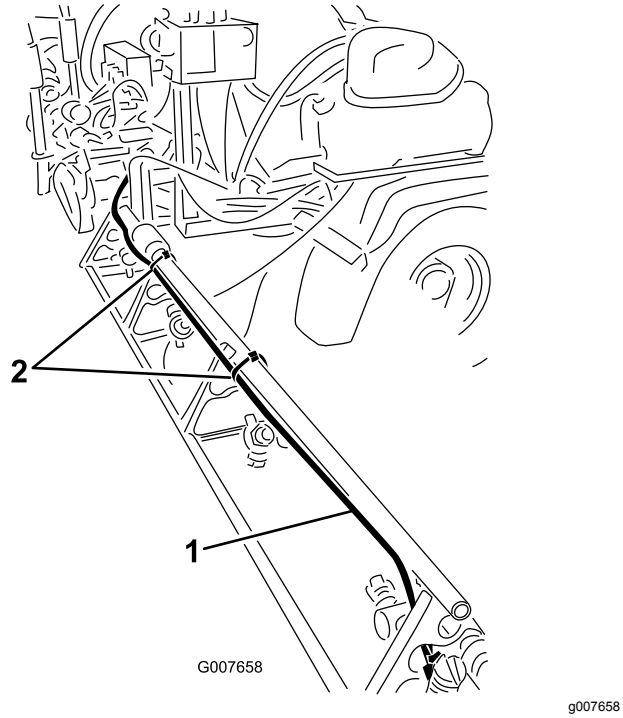


図 25

1. 泡液チューブと空気チューブ図は右ブーム
2. ケーブルタイ

2. フォームマーカーのノズル部で、ノズルの青色圧縮フィッティングに青色チューブ水を固定している圧縮ナットをゆるめる図 26。

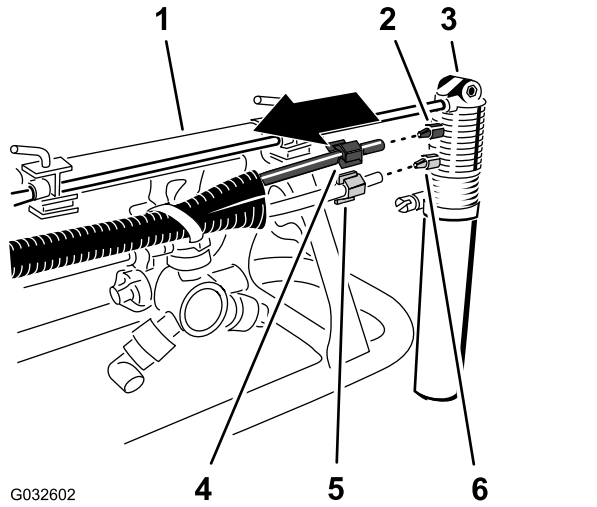


図 26

1. 左右ブーム
2. 圧縮フィッティング青
3. フォームマーカーのノズル
4. 圧縮ナット青水用青色チューブ
5. 圧縮ナット白空気用透明チューブ
6. 圧縮フィッティング白

3. フォームマーカーのノズルの白色コンプレッションフィッティングに透明チューブ空気を固定しているコンプレッションナットをゆるめる図 26。
4. 機体から原液チューブと空気チューブを取り外す。
5. チューブの両端にある圧縮ナットを取り外す図 26。

   注 外した圧縮ナットは、ステップ 1 新しいチューブアセンブリを取りつける (ページ 17)で使用します。
6. 古い原液チューブと空気チューブ図 27を新しいチューブアセンブリToro P/N 114–9553に合わせて並べる。

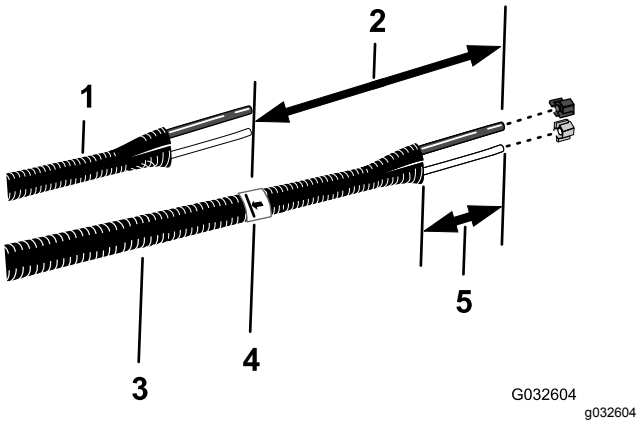


図 27

1. 古い原液チューブと空気チューブ
2. 26 cm
3. 新しいチューブアセンブリToro P/N 114–9553
4. テープとマーク
5. 77-102 mm

7. 古い原液チューブと空気チューブに合わせて新しいチューブアセンブリにテープで印をつける。
8. ステップ 7で新しいチューブアセンブリに付けたマークから 26cm の所にマーキングを施し、この位置長さを増やした方のマークでチューブアセンブリを切断する図 27。
9. 古い原液チューブと空気チューブにケーブルタイでマーキングが施されている場合には、新しいチューブアセンブリにも同じようにマーキングするが、マーキングされていない場合には、ステップ 10へ進む。

   注 古い原液チューブと空気チューブは、これで不要になりました。
10. チューブアセンブリの各チューブの端部から、外被覆を 77-102 mm はぎ取る図 27。
11. 機体の反対側のチューブについても 1から10 の作業を行う。

新しいチューブアセンブリを取りつける

センターブーム延長キットを搭載していない車両

1. 青色チューブに青色圧縮ナットを取り付け、透明チューブに白色圧縮ナットを取り付ける (図 28)。

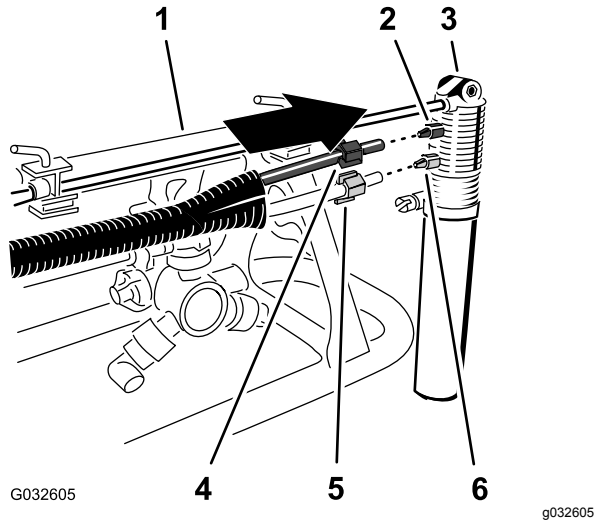


図 28

1. 左右ブーム
2. 圧縮フィッティング 青
3. フォームマーカーのノズル
4. 圧縮ナット青水用青色チューブ
5. 圧縮ナット白空気用透明チューブ
6. 圧縮フィッティング 白

2. フォームマーカーのノズルの白色圧縮フィッティングに透明チューブの白色圧縮ナットを嵌め、ナットを手締めする図 28。
3. フォームマーカーのノズルの青色圧縮フィッティングに青色チューブの青色圧縮ナットを嵌め、ナットを手締めする図 28。
4. 図 29に示すように、ブームの上側サポートポールの後ろ側に沿ってチューブアセンブリを配設する。

   重要 **間違えてブームの上側サポートポールの前側に沿ってチューブアセンブリを配設してしまうと、ブームを折りたたんだ時にブームとクレードルとの間にチューブが挟まれてしまいます。**

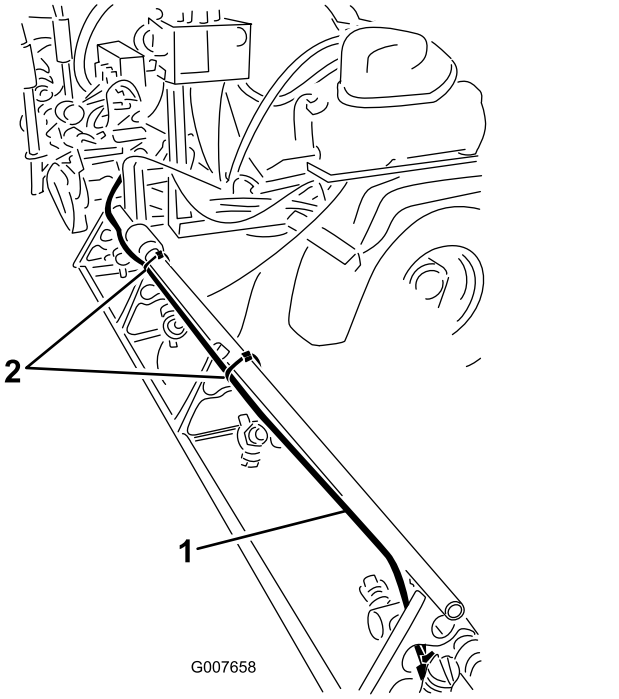


図 29

1. チューブアセンブリ図は右ブーム
2. ケーブルタイ

5. 図 30に示すように、ケーブルタイを使ってチューブアセンブリをノズルサポートの穴に固定する。

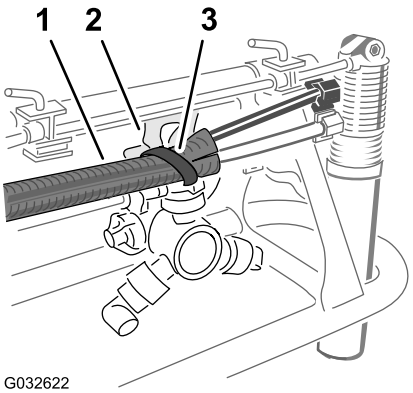


図 30

1. チューブアセンブリ
2. ノズルサポート
3. ケーブルタイ

6. 図 29に示すように、ケーブルタイを使ってチューブアセンブリをブームに固定する。
7. チューブアセンブリの自由端を、ブームに仮止めする。
8. マシンの反対側でも、ステップ 16 の作業を行う。

7

ウルトラソニックブームキットオプションの接続を外す

必要なパーツはありません。

昇降シリンダのマニホルドからワイヤハーネスを外す

オプションのウルトラソニックブームキット

1. 昇降シリンダマニホルドの右側シリンダ動作ソレノイドの2ピンコネクタから、ソニックブームのワイヤハーネスの2ピンコネクタを外す図 31。

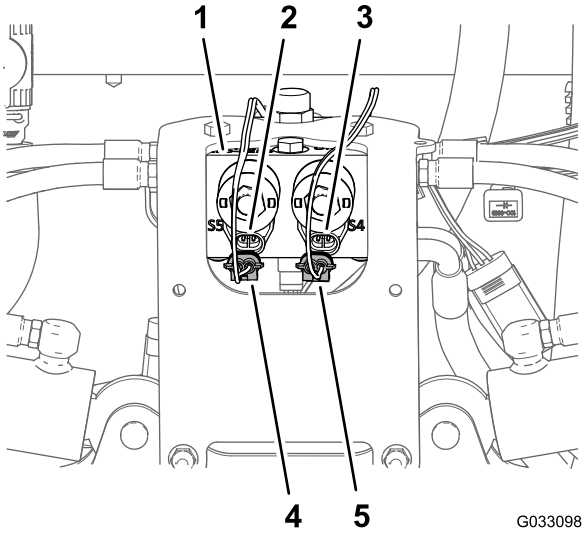


図 31

1. 昇降シリンダのマニホルド
2. 2ピンコネクタ昇降シリンダのマニホルド左シリンダ動作
3. 2ピンコネクタ昇降シリンダのマニホルド右シリンダ動作
4. 2ソケットコネクタソニックブームのワイヤハーネス左シリンダ動作
5. 2ソケットコネクタソニックブームのワイヤハーネス右シリンダ動作

2. 昇降シリンダマニホルドの左側シリンダ動作ソレノイドの2ピンコネクタから、ソニックブームのワイヤハーネスの2ピンコネクタを外す図 31。
3. 昇降シリンダのマニホルドのソレノイドの2ピンコネクタから、ソニックブーム仕上げキットのワイヤハーネスの2ソケットコネクタを外す図 32。

   重要 **ソニックブームのワイヤハーネスは機体から外さないでください。**

   - 左ブーム上昇
   - 右ブーム上昇
   - 左ブーム下降
   - 右ブーム下降

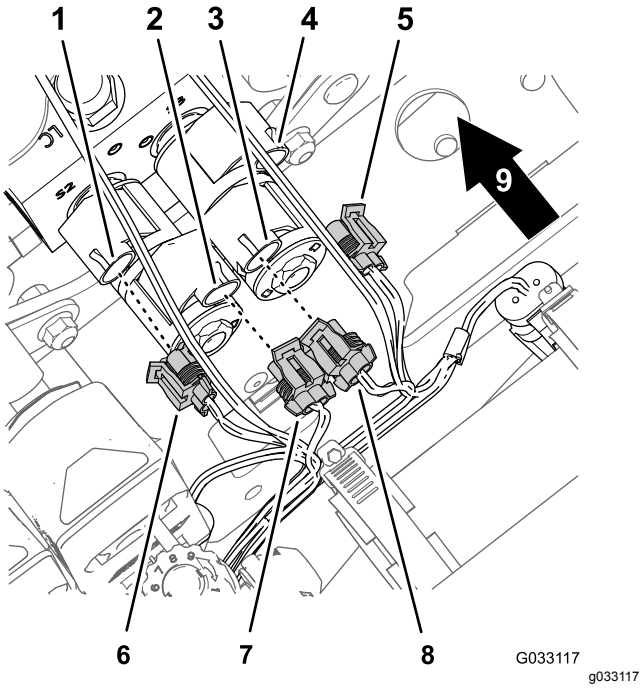
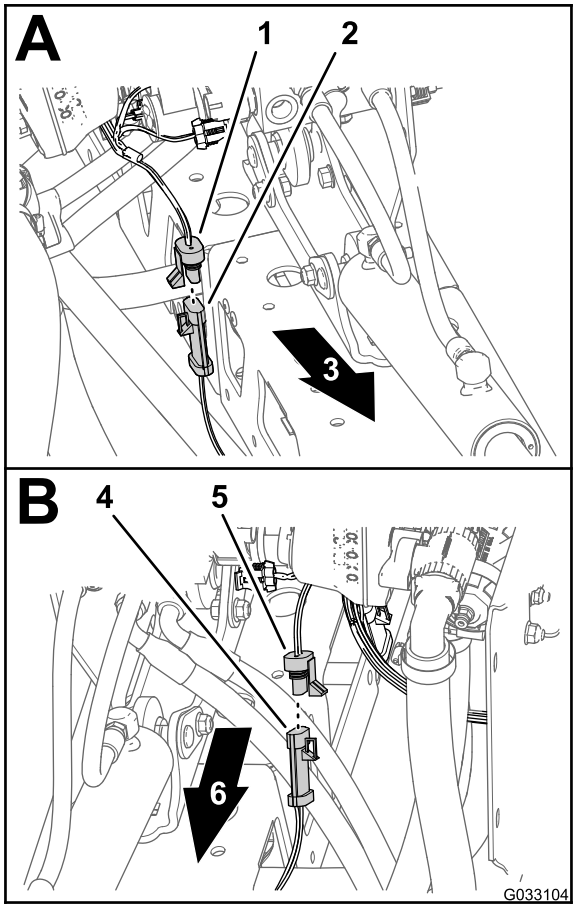


図 32

1. 2ピンコネクタ昇降シリンダのマニホルド左ブーム下降
2. 2ピンコネクタ昇降シリンダのマニホルド左ブーム上昇
3. 2ピンコネクタ昇降シリンダのマニホルド右ブーム上昇
4. 2ピンコネクタ昇降シリンダのマニホルド右ブーム下降
5. 2ソケットコネクタソニックブーム仕上げキットのワイヤハーネス右ブーム下降
6. 2ソケットコネクタソニックブーム仕上げキットのワイヤハーネス左ブーム下降
7. 2ソケットコネクタソニックブーム仕上げキットのワイヤハーネス左ブーム上昇
8. 2ソケットコネクタソニックブーム仕上げキットのワイヤハーネス右ブーム上昇
9. 機体背面

ワイヤハーネスからウルトラソニックセンサーのケーブルを外す。

1. 右側ウルトラソニックセンサー用のケーブルの3ピンコネクタから、ソニックブームのワイヤハーネスの3ソケットコネクタを外す図 33。.



g033104

図 33

1. 3ソケットコネクタソニックブームのワイヤハーネス右センサー
2. 3ピンコネクタ右側ウルトラソニックセンサー: ケーブル
3. 車両の右側
4. 3ピンコネクタ左側ウルトラソニックセンサー: ケーブル
5. 3ソケットコネクタソニックブームのワイヤハーネス左センサー
6. 機体の左側

2. 左側ウルトラソニックセンサー用のケーブルの3ピンコネクタから、ソニックブームのワイヤハーネスの3ソケットコネクタを外す図 33。.
3. ウルトラソニックセンサー用のケーブルを、左右それぞれのブームに固定する。

   注 ソニックブームのワイヤハーネスは機体から外さないでください。

8

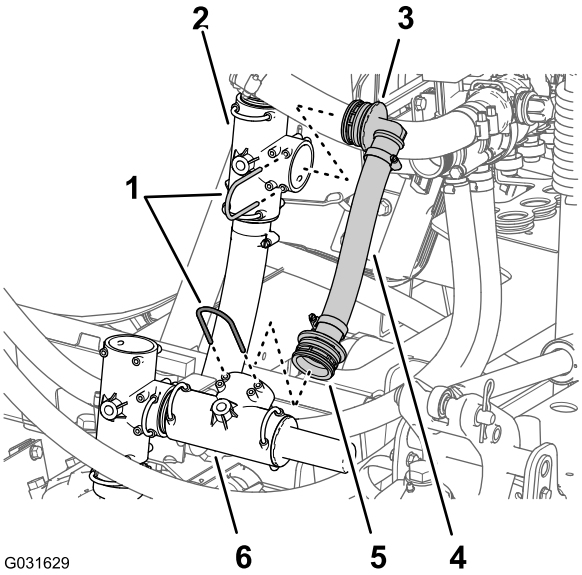
薬剤プレミックスキットオプションの接続を外す

必要なパーツはありません。

手順

1. 圧力解放ホースのバーブ付きストレートフィッティングをスプレーヤの水圧解放バルブに固定しているリテーナを取り外す 図 34。

   注 外したリテーナは、ステップ 2 圧力解放ホースアセンブリを取り付ける (ページ 96)で使用します。



g031629

図 34

1. リテーナ
2. T字フィッティング 給液回路液剤ポンプ
3. 90°鋸歯フィッティング
4. 圧力解放ホース
5. バーブ付きストレートフィッティング
6. 圧力解放バルブ

2. 圧力解放ホースのバーブ付き 90° フィッティングを液剤ポンプの給液回路のT字フィッティングに固定しているリテーナを取り外す 図 34。

   注 外したリテーナは、ステップ 4 圧力解放ホースアセンブリを取り付ける (ページ 96)で使用しますが、90° フィッティング、圧力解放ホース、ストレートフランジフィッティングは廃棄して構いません。
3. 機体から、圧力解放ホースとフィッティングを外す図 34。

   注 機体から外したホースとフィッティングは廃棄して構いません。

4. バイパスホースのバーブ付きストレートフィッティングをスプレーヤポンプのT字フィッティングに固定しているリテーナを取り外す図 35。

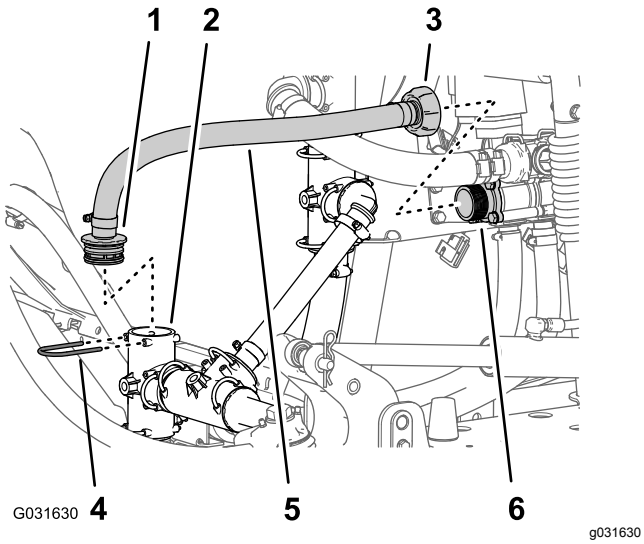


図 35

1. バーブ付きストレートフィッティング
2. T字フィッティング液剤ポンプ
3. アダプタナット
4. リテーナ
5. バイパスホース
6. アダプタフィッティング バイパスバルブ

5. バイパスホースの機体中央よりの端部をバイパスバルブのアダプタフィッティングに止めているアダプタナットをゆるめる図 35。
6. 機体からホースを取り外す図 35。

   注 外したリテーナは、 エダクタの給水ホースを接続する (ページ 97)で使用しますが、ホースとフィッティングは廃棄して構いません。
7. エダクタの給水ホースをエダクタ制御バルブのバーブ付きフィッティングに固定しているホースクランプを外す図 36。

   注 外したフランジロックナットは、ステップ 2 エダクタの給水ホースを接続する (ページ 97)でエダクタの給水ホースの取り付けに使用します。

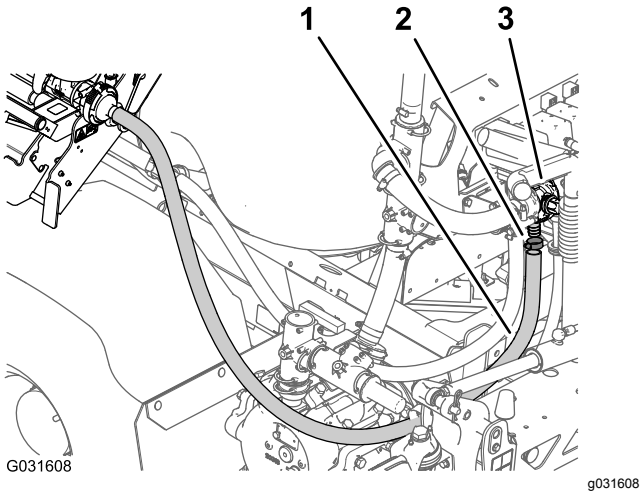


図 36

1. ホースエダクタの給水用
2. ホースクランプ
3. エダクタ制御バルブ

8. エダクタ制御バルブからホースを外す 図 36。

   注 エダクタのバーブ付きフィッティングからはホースエダクタ給水用を外さないでください。

9 EU適合キットオプションを外す

必要なパーツはありません。

手順

1. すすぎタンクを空にする5A と 5B 液剤タンクとオプションのすすぎタンクの準備を行う (ページ 6)を参照。
2. すすぎタンクの固定ベルト2本を外すステップ 5C 液剤タンクとオプションのすすぎタンクの準備を行う (ページ 6)を参照。
3. ボールバルブをボールバルブ用ブラケットに固定しているフランジヘッドボルト5/16 x 5/8" を取り外す図 37。

   注 外したボルトはステップ 5 ボールバルブとブラケットを取り付ける (ページ 98)で使用します。

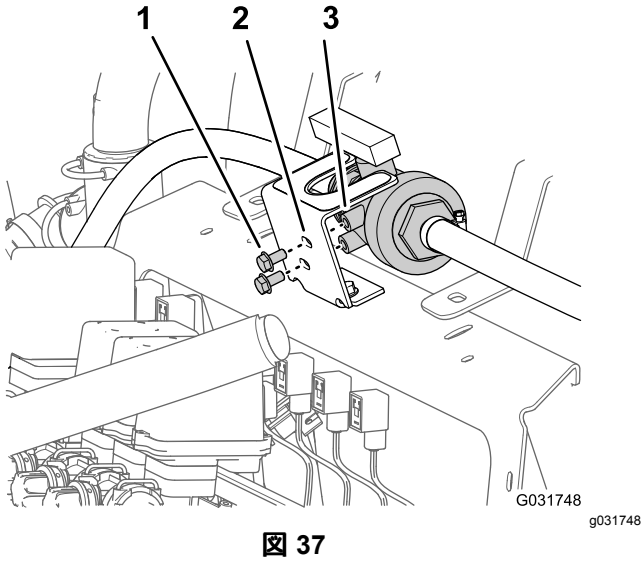


図 37

1. フランジヘッドボルト5/16 x 5/8"
2. 取り付けブラケットボールバルブ
3. ねじ溝付きボスボールバルブ

4. ボールバルブ用の取り付けブラケットをマニホルドマウントに固定しているフランジヘッドボルト5/16 x ¾" 2本、フランジロックナット3/8"2個を取り外し、ブラケットをマウントを分離する図 38。

   注 外したボルトとナットはステップ 2 ボールバルブとブラケットを取り付ける (ページ 98)で使用します。

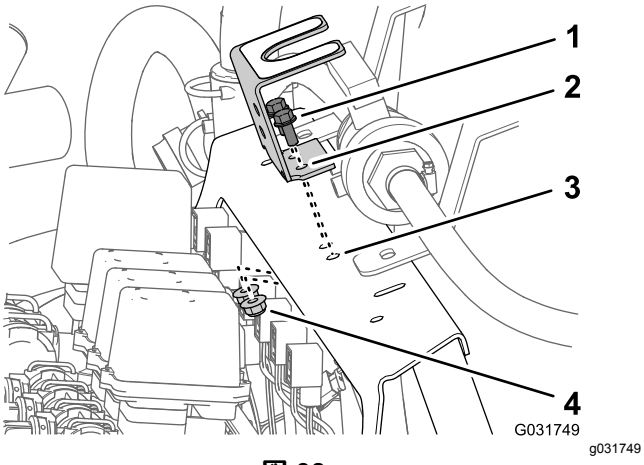


図 38

1. フランジヘッドボルト5/16 x ¾"
2. 取り付けブラケットボールバルブ
3. マニホルドマウント
4. フランジロックナット5/16"

10

カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す

必要なパーツはありません。

手順

1. センターセクションカバー11ノズルを支えておいて、このカバーをカバーサポートブラケットに固定しているフランジヘッドボルト5/16 x 1-¼"4本とカバーストラップ2本を外す図 39。

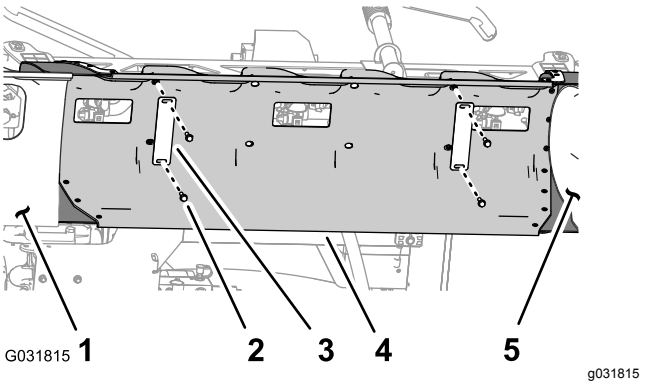


図 39

1. ブームカバー左
2. フランジヘッドボルト 5/16 x 1¼"
3. カバーストラップ
4. 中央ブームのカバー
5. ブームカバー右

2. 機体から中央ブームのカバーを外す図 40。

   注 外したカバーは38 オプションのブームカバーキットの取り付けを行う (ページ 99)で使用します。カバーストラップとフランジヘッドボルトは、ステップ 2と1 センターブーム用カバーを取り付ける (ページ 101)で使用します。

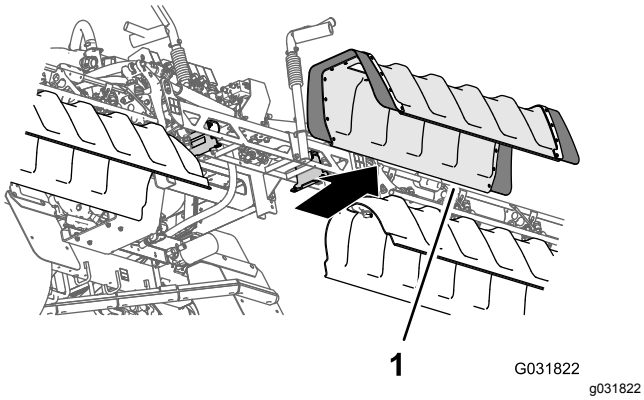


図 40

1. 中央ブームのカバー

3. 左側カバーサポートブラケットをセンターブームの左側サポートブラケットに固定しているフランジロックナット3/8"2個を外し、カバーサポートブラケットを取り外す図 41。

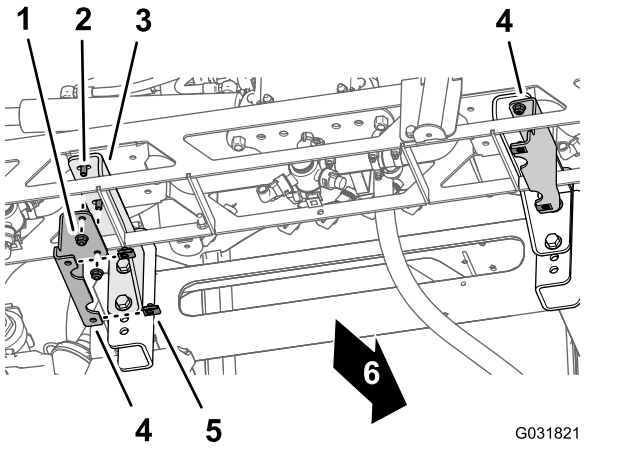


図 41

1. フランジロックナット3/8"
2. フランジヘッドボルト3/8 x 1"
3. 左側サポートブラケット
4. カバーサポートブラケット
5. クリップナット
6. 機体正面

4. センターブームの左側サポートブラケットのフランジヘッドボルト3/8 x 1"2本に、フランジロックナット3/8"を取り付けて図 41、 3745N·m3.74.6kg.m = 2733ft-lbにトルク締めする。
5. センターブームの右側にあるカバーサポートブラケットとサポートブラケットについてもステップ 34 の作業を行う図 41。
6. 左右のカバーサポートブラケットから、クリップナットを取り外す図 41。

   注 外したクリップナットは、ステップ 1 センターブーム用カバーのサポートブラケットを取り付ける (ページ 100)で使用します。カバーサポートブラケットは2つとも廃棄して構いません。

11

ダッシュボードのゲージ用の水圧検知チューブを外すオプションのホースリールキットを搭載していない車両

必要なパーツはありません。

手順

注 オプション機器であるハンドスプレーキット、電動ホースリールキット、収納式ホールリールキットが搭載されている場合は、4 オプションのハンドスプレーキットや電動ホースリールキットの接続を外す (ページ 11) または 5 収納式ホースリールキットオプションの接続を外す (ページ 14)を参照。

1. 右側ブーム用バルブの右側にある圧力ポートのチューブカップラにあるカラーを押し込む図 42。

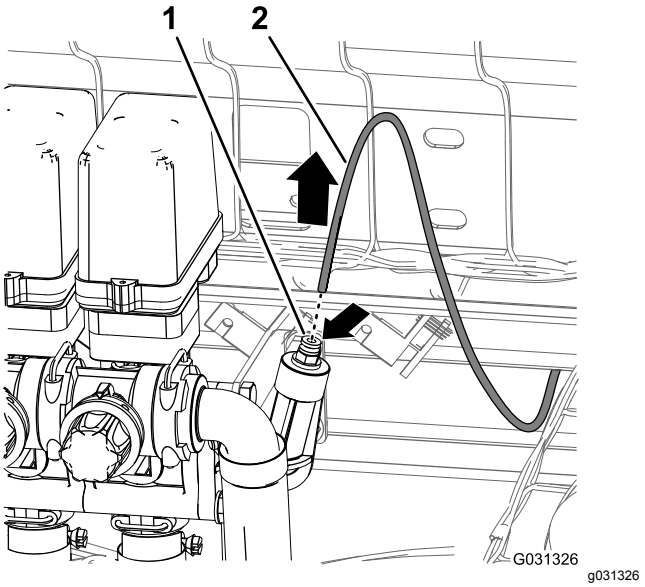


図 42

1. ロッキングカラーチューブカップラ
2. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用

2. ダッシュボード用の水圧検知チューブを抜き出す図 42。

12

キャリッジ下シュラウドキットオプションを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

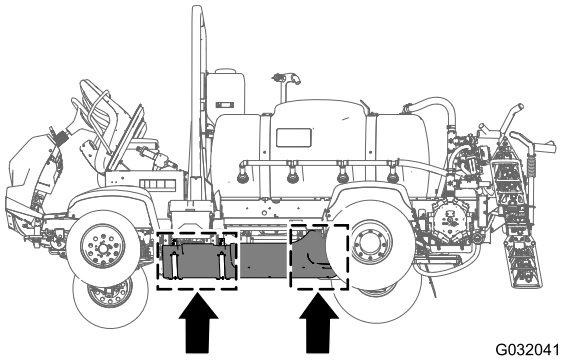


図 43

1. キャリッジ下シュラウドをシャーシに固定しているフランジヘッドボルト5/16 x 7/8" 7本とワッシャ5/16"7枚を取り外す図 44。

   注 外したフランジヘッドボルトとワッシャは、ステップ 533 キャリッジ下シュラウドキットオプションを取り付ける (ページ 77)で使用します。

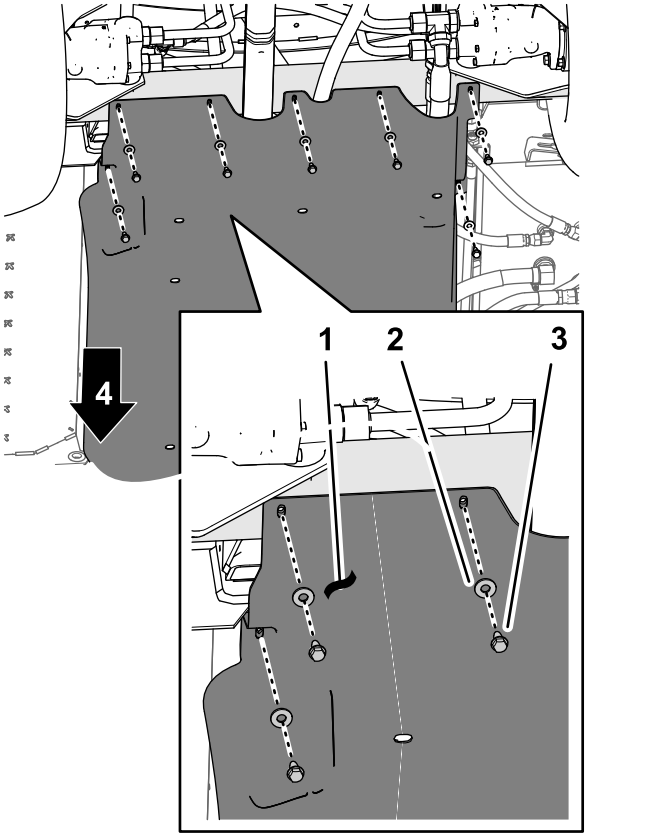


図 44

1. キャリッジ下シュラウド
2. ワッシャ5/16"
3. フランジヘッドボルト5/16 x 7/8"
4. 車体前方

2. キャリッジ下シュラウドのサポートストラップをエンジン搭載ブラケットに固定しているボルトおよびキャリッジボルトのフランジロックナット5/16"4個を取り外す図 45。

   注 ボルトは機体から外さないでください。外したフランジロックナットは、ステップ 333 キャリッジ下シュラウドキットオプションを取り付ける (ページ 77)で使用します。

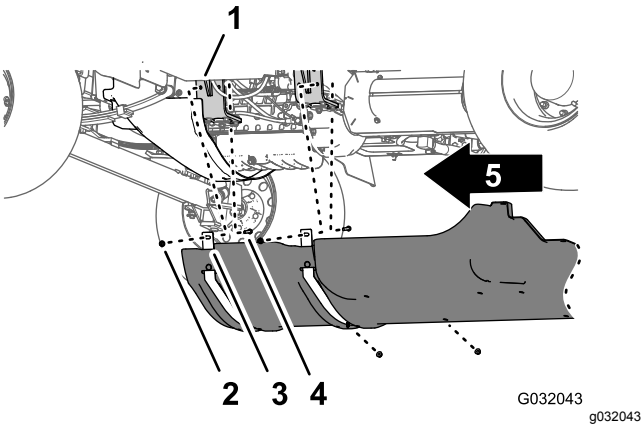


図 45

1. エンジンマウント
2. ボルト外さないこと。
3. サポートストラップキャリッジ下シュラウド
4. フランジロックナット5/16"
5. 機体前方

---

3. キャリッジ下シュラウドをエンジン搭載ブラケットに固定しているボルトに沿ってサポートストラップを持ち上げる。
4. キャリッジ下シュラウドを機体から取り外す図 44 と 図 45 。

13

後ワイヤハーネスを機体から外す

この作業に必要なパーツ

1	後方ワイヤハーネス

前ハーネスと後ろハーネスの接続を外す

注 前ハーネスと後ろハーネスの接続を外す時は、ホイストで機体を持ち上げてください。

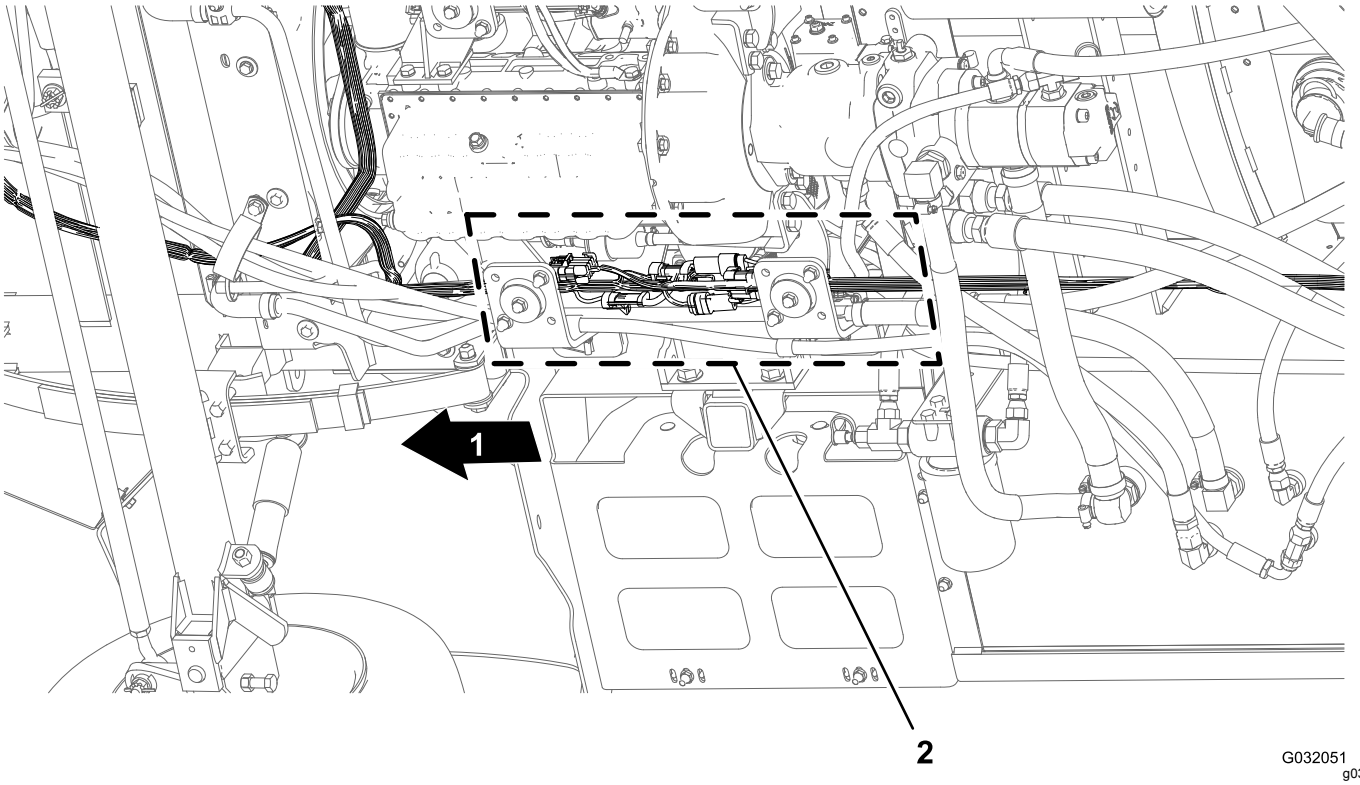


図 46

1. 機体前方
2. コネクタのインタフェース前と後ろハーネス

1. 機体の下の右フレームチューブに沿って配設されている前後のワイヤハーネスの相互コネクタを探し出す図 46。
2. 図図 47図 51に示すように、前後のワイヤハーネスを接続している5組のコネクタの接続を外す。

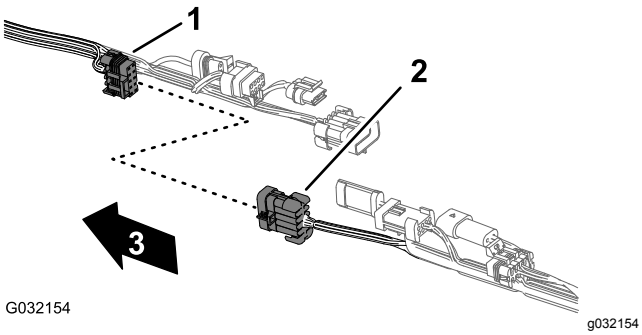


図 47

1. 10ソケットコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス前ハーネス
2. 10ピンコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス後ハーネス
3. 機体前方前ハーネス

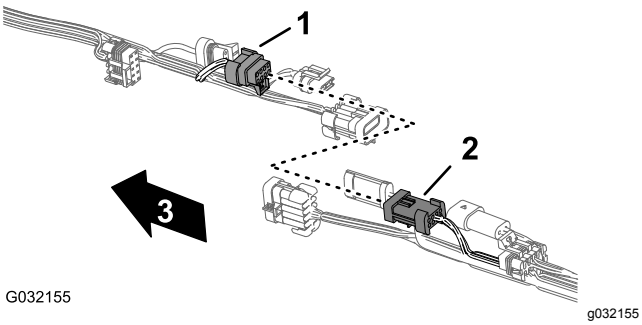


図 48

1. 8ソケットコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス前ハーネス
2. 8ピンコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス後ハーネス
3. 機体前方前ハーネス

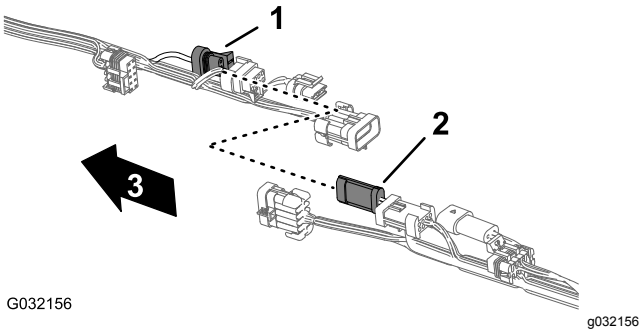


図 49

1. 3ソケットコネクタフローメータ前ハーネス
2. 3ピンコネクタフローメータ後ハーネス
3. 機体前方前ハーネス

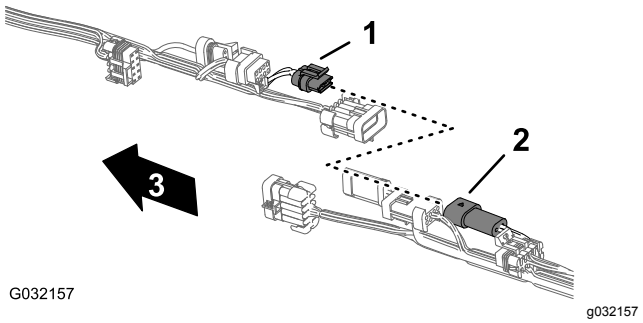


図 50

1. 2ソケットコネクタすすぎポンプ前ハーネス
2. 2ピンコネクタすすぎポンプ後ハーネス
3. 機体前方前ハーネス

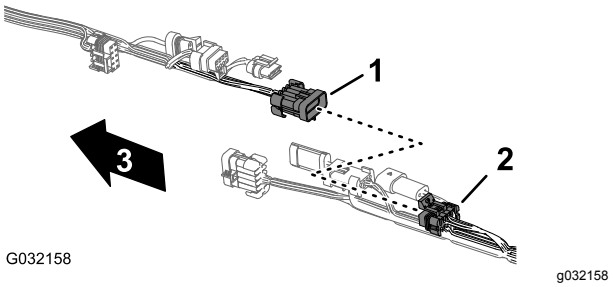


図 51

1. 10ピンコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス前ハーネス
2. 10ソケットコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス後ハーネス
3. 機体前方前ハーネス

3. 後ワイヤハーネスを機体の右側フレームチューブに固定しているプッシュファスナー3個を外す 図 52。

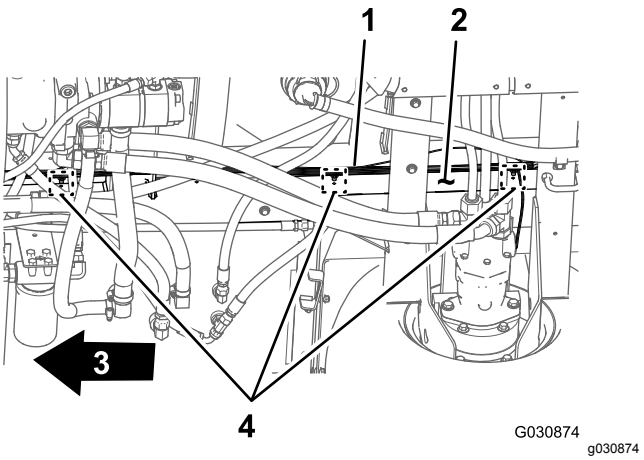


図 52

1. 後方ワイヤハーネス
2. 右側フレームチューブ
3. 機体前方
4. 押し込みファスナー

4. 車両の後部ワイヤハーネスから、ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを抜き出す図 53。

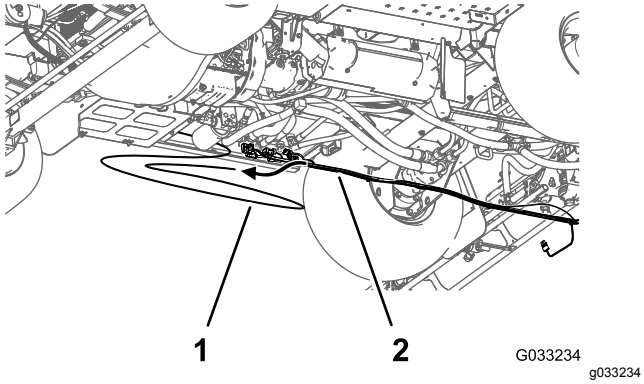


図 53

1. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用
2. 後方ワイヤハーネス

各機器のコネクタを外す

1. 機体後部右側フレームチューブと右側フェンダとの間で、後メインハーネスの3ソケットコネクタから、速度センサーハーネス右側油圧走行モータにあるの3ピンコネクタを外す図 54。

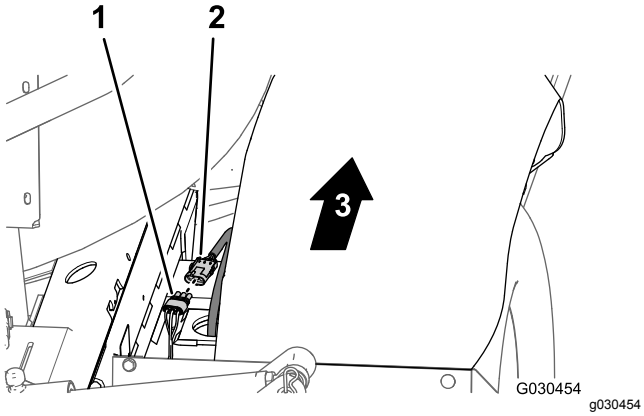


図 54

1. 3ソケットコネクタ後メインハーネス
2. 3ピンコネクタ油圧モータのハーネス
3. 機体前方

2. マニホルドマウント後部で、撹拌バルブから3ソケットコネクタを外し、ブームバルブ全部で3つから、それぞれ3ソケットコネクタを外す図 55。

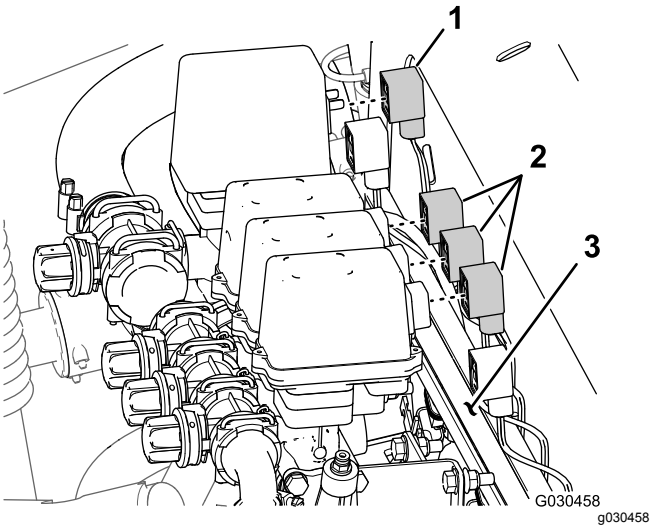


図 55

1. 3ソケットコネクタ撹拌バルブ
2. 3ソケットコネクタブームバルブ
3. マニホルドマウント

3. 後ワイヤハーネスをマニホルドマウントの前側および下部プレートに固定しているお押し込み型ファスナを外す図 56。

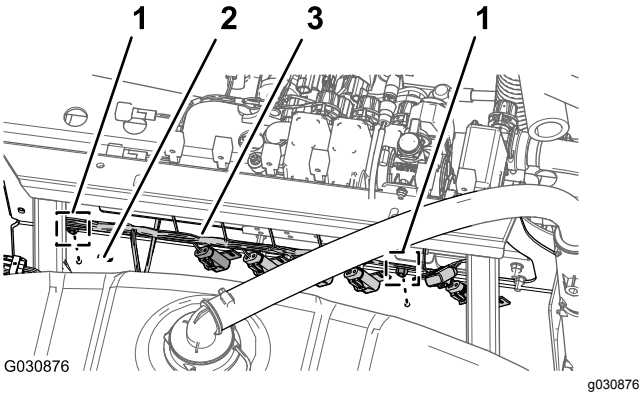


図 56

1. 押し込みファスナー
2. マニホルドマウント前側
3. 後方ワイヤハーネス

4. 機体後部で、昇降シリンダマニホルド用の2ソケットコネクタ図 57を、以下のように外す

   注 ウルトラソニックブームキット搭載車両 昇降シリンダのマニホルドからワイヤハーネスを外す (ページ 19)を参照。

   - 右—上昇ソレノイド
   - 左—上昇ソレノイド
   - 作動許可ソレノイド
   - 右—下降ソレノイド
   - 左—下降ソレノイド

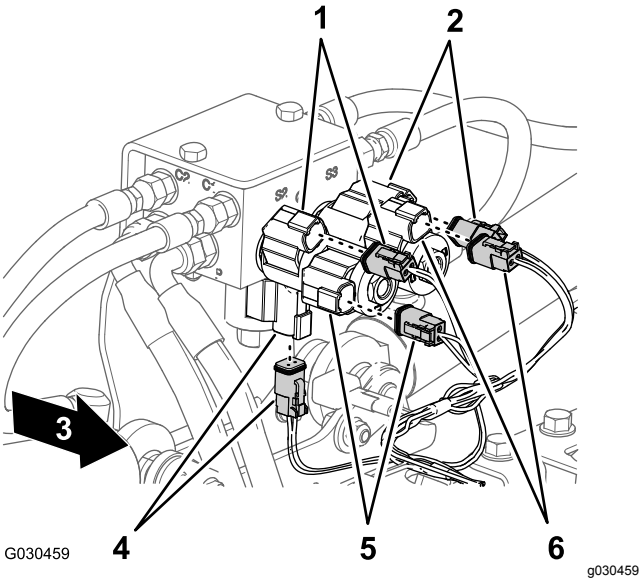


図 57

1. 右—上昇 (ソレノイドとメインハーネスのコネクタ)
2. 左—上昇 (ソレノイドとメインハーネスのコネクタ)
3. 機体前方
4. 作動許可 (ソレノイドとメインハーネスのコネクタ)
5. 右—下降 (ソレノイドとメインハーネスのコネクタ)
6. 左—下降 (ソレノイドとメインハーネスのコネクタ)

5. 機体後部、スプレーヤポンプの車体中心線側で、ポンプ用リレーの2ピンコネクタから、メインハーネスの2ソケットコネクタを外す図 58。

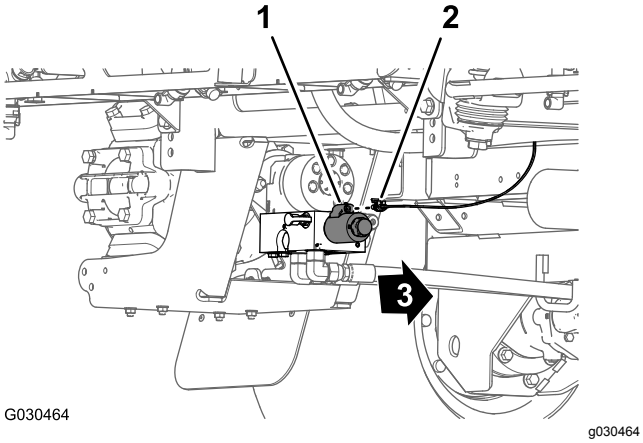


図 58

1. 2ピンコネクタポンプ用リレー
2. 2ソケットコネクタ後メインハーネス
3. 機体前方

6. 後ワイヤハーネスを後クロスチューブ油圧走行モータの後方に固定している押し込み型ファスナを外す。図 59

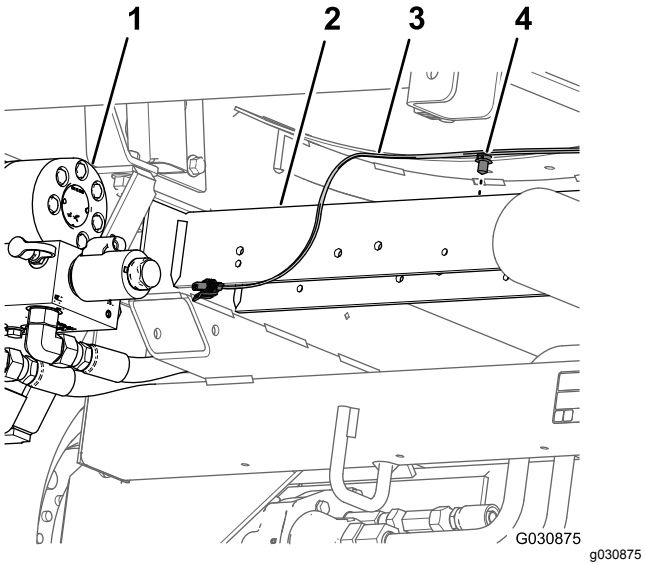


図 59

1. スプレーヤのポンプ
2. 後部のクロスチューブ
3. 後方ワイヤハーネス
4. 押し込みファスナー

7. 後ワイヤハーネスを機体から外す。

   注 機体から外した後メインハーネスは廃棄して構いません。

14

散布レートスイッチを外す

この作業に必要なパーツ

1	ケーブルタイ
1	スイッチのプラグ

手順

1. 機体のダッシュパネルの下で、散布レートスイッチをロックしているタブをつまんで、スイッチをダッシュパネルから押し出す図 60。

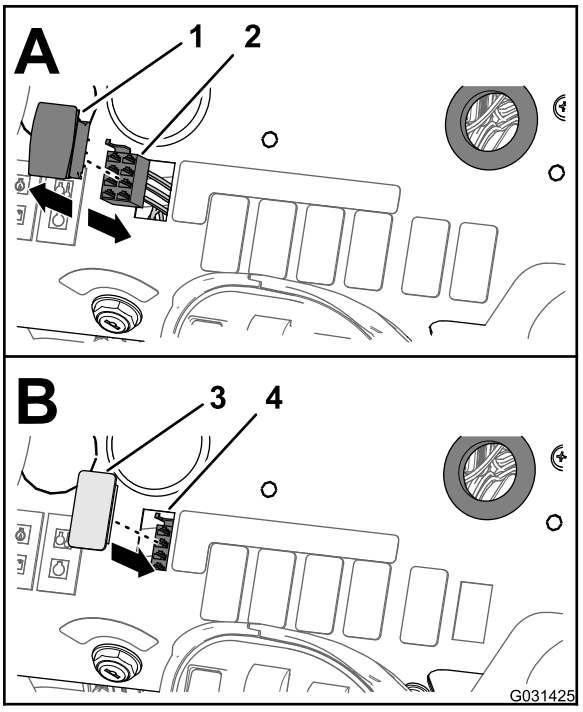


図 60

1. レート制御スイッチ
2. 8ソケットコネクタ前ハーネス
3. スイッチのプラグ
4. 穴ダッシュパネル

2. 機体の前ハーネスの8ソケットコネクタRATE SWITCHというラベルがついているを、スイッチの8ピンコネクタから外す図 60。

   注 機体から外したレートスイッチは、もう使用しません。
3. 前ハーネスの、レートスイッチ用の枝線を、ダッシュボードの穴から出して、ケーブルタイで前ハーネスに縛り付ける。
4. ダッシュパネルの穴レートスイッチを外したところに、スイッチプラグを合わせる図 60。
5. ダッシュパネルにスイッチプラグを押し込む。プラグがパチンと音を立ててはまるまで押し込む図 60。

15

ブームバルブと攪拌バルブを取り外す

必要なパーツはありません。

ブームバルブとホースを取り外す

1. 散布ブームの前側で、ブームホースをセンターブーム用フレームに固定しているRクランプ、ショルダボルト5/16"、ワッシャ5/16"、フランジロックナット5/16"を外す図 61。

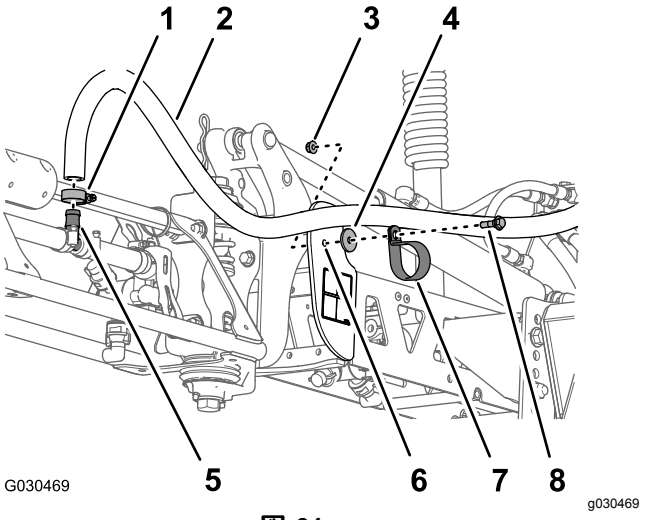


図 61

1. ホースクランプ
2. ブームホース
3. フランジロックナット5/16"
4. ワッシャ5/16"
5. バーブ付き字フィッティング
6. センターブームのフレーム
7. R クランプ
8. ショルダボルト5/16"

2. バーブ付き字フィッティングからホースクランプとブームホースを取り外す図 61。
3. 車体の反対側でも、ステップ 12の作業ブームのクランプをホースを外すを行う。
4. 中央の散布ノズルの近くにあるバーブ付き字フィッティングから、ホースクランプとブームホースを取り外す図 62。

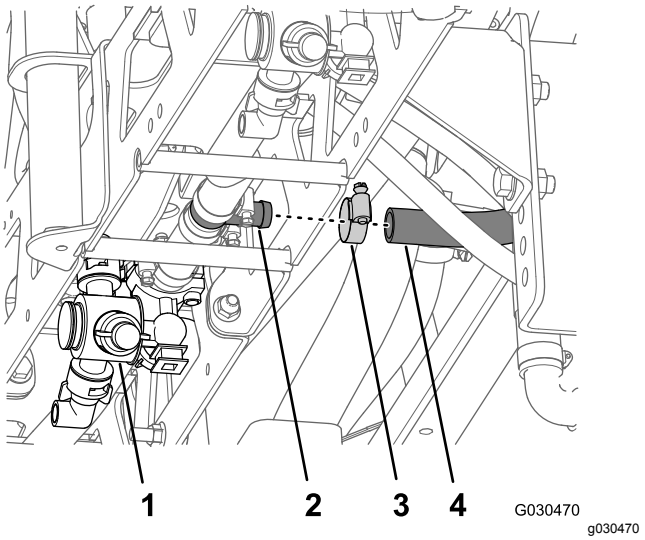


図 62

1. 中央の散布ノズル
2. バーブ付き字フィッティング
3. ホースクランプ
4. ブームホース

5. ブームバルブ3個の両側で取り付けブラケットをマニホルドマウントに固定しているフランジヘッド

ボルト5/16 x 1" 4本とフランジナット5/16"4個を取り外す図 63。

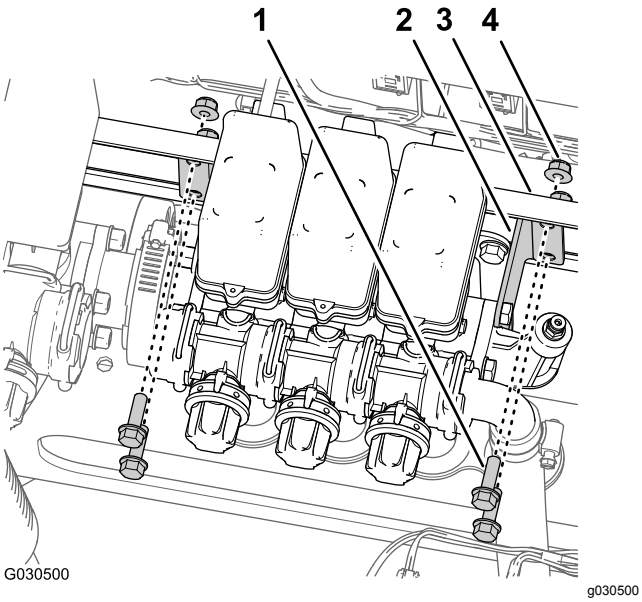


図 63

1. フランジヘッドボルト5/16 x 1"
2. 取り付けブラケット
3. マニホルドマウント
4. フランジロックナット5/16"

6. ホース内径 25mmをバーブ付きエルボフィッティングに固定しているホースクランプを外してフィッティングからホースを外す図 64。

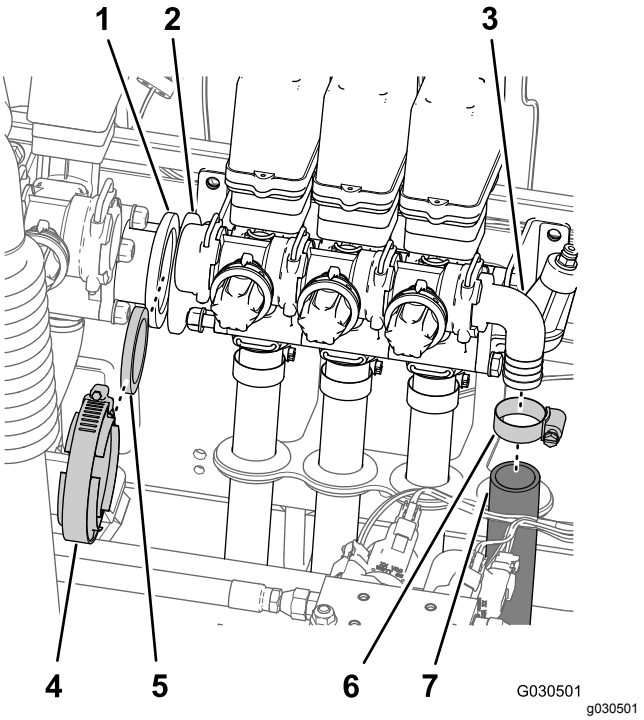


図 64

1. フランジ攪拌バルブ
2. フランジアダプタ ブームバルブ
3. バーブ付きエルボフィッティング
4. フランジクランプ
5. ガスケット
6. ホースクランプ
7. ホース内径 25mm

7. フランジアダプタを攪拌バルブへ、また、フランジアダプタを左ブームバルブに固定しているフランジクランプとガスケットを外す図 64。
8. ブームホース 3 本を対応する3つのブームバルブに取り付けた状態で、注意深く、バルブをホース保持ループから抜き取り、バルブとホースを車体から外す図 65。

   注 ホース保持ループゴム製からホースが抜けにくい時は、ホースに石油系のオイルを塗ると楽に抜けるようになります。

   注 機体から外したホース、クランプ、ボルト、ロックナット、スペーサバルブは廃棄して構いません。

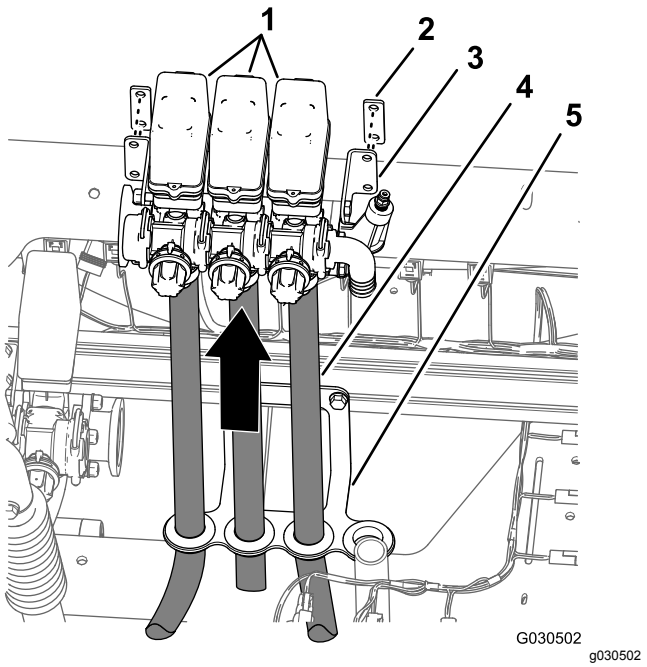


図 65

1. 個別ブームバルブ
2. スペーサ
3. 取り付けブラケット
4. ブームホース
5. ホース保持ループ

攪拌バルブ、ボールバルブ、ホースを取り外す

⚠ 危険

ホースなどに残っている薬液が皮膚に付いたり目に入ったりすると危険である。

- **薬剤散布システムを分解する時には、必ず安全ゴーグルと薬品に対して耐性のあるゴム製手袋などを着用すること。**
- **車体が吊り上げられた状態のときや、車体の下に潜り込んで作業をする時は、ホースや機器の取り外しは特に慎重に行うこと。**

1. 液剤散布システムのドレンが開いていて内部に薬液がないことを確認する。
2. 薬剤タンクの左側で後フェンダの近くで、一番後ろの攪拌ノズルのT字フィッティングのところでホース内径 25mmを保持しているクランプを外す図 66。

   注 ホースクランプはステップ 2 攪拌ノズル用の給液ホースを取り付ける (ページ 45)で使用します。

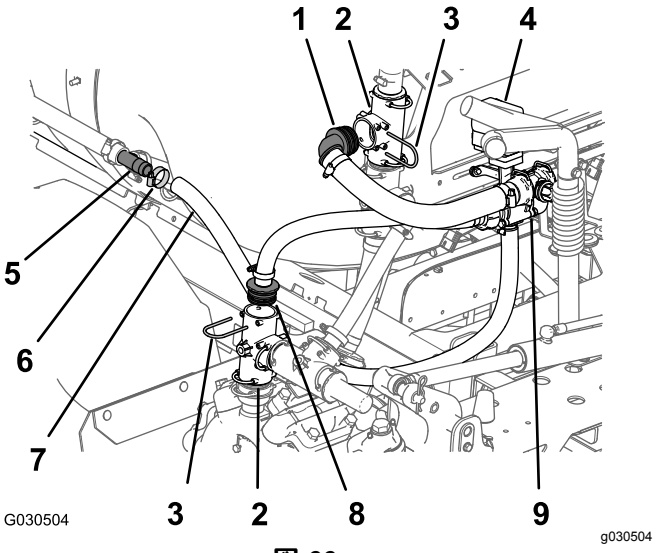


図 66

1. 90° ハブフィッティング
2. T 字フィッティング
3. リテーナ
4. 攪拌バルブ
5. バーブ付き字フィッティング
6. ホースクランプ
7. ホース内径 25mm
8. ストレートハブフィッティング
9. バイパスバルブ

3. 液剤散布ポンプの出口ポート部分で、図 66のように縦に取り付けられているT字フィッティングから、リテーナを外してストレートハブフィッティングを外す。

   注 T字フィッティングから取り外したリテーナは給液ホースとバイパスホースを取り付ける (ページ 45)で使用します。
4. マニホルドブラケットの左側で、図 66のように縦に取り付けられている上側のT字フィッティングから、リテーナと 90° ハブフィッティングを外す。

   注 T字フィッティングから取り外したリテーナは給液ホースとバイパスホースを取り付ける (ページ 45)で使用します。
5. 液剤散布ポンプの上部で、ボールバルブをバルブブラケットに固定しているフランジヘッドボルト 5/16 x ¾"2本を取り外す図 67。

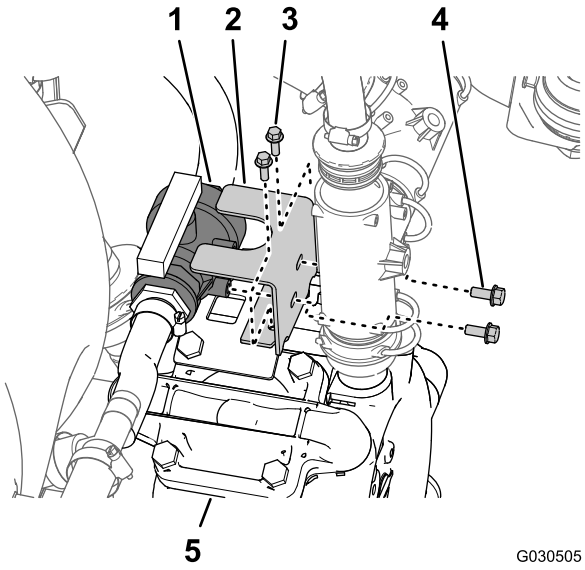


図 67

1. ボールバルブ
2. バルブブラケット
3. フランジヘッドボルト¼ x ¾"
4. フランジヘッドボルト5/16 x ¾"
5. スプレーヤのポンプ

6. バルブブラケットをポンプ上部の取り付けブラケットに固定しているフランジヘッドボルト¼ x ¾"2本を取り外す 図 67。
7. 攪拌用のサポートブラケットをマニホルドマウントに固定しているフランジロックナット5/16"2個とフランジヘッドボルト5/16 x 1"2本を外す 図 68。

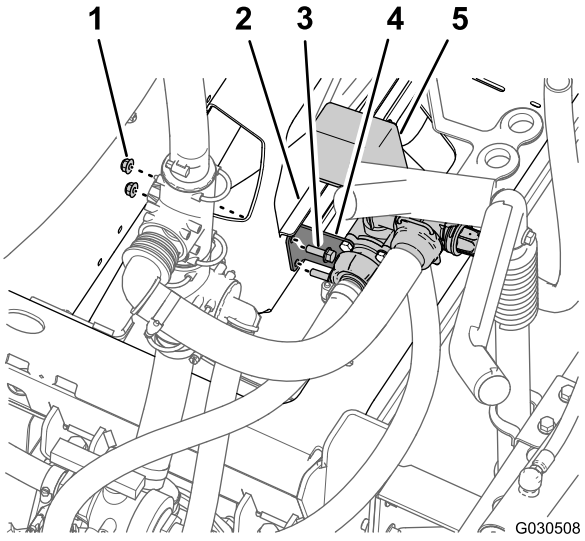


図 68

1. フランジロックナット5/16"
2. マニホルドブラケット
3. フランジヘッドボルト5/16 x /1"
4. サポートブラケット攪拌バルブ
5. 攪拌バルブ

8. 車体からのバルブに取り付けられている攪拌バルブとバイパスバルブ、ボールバルブ、ホースを外す 図 69。

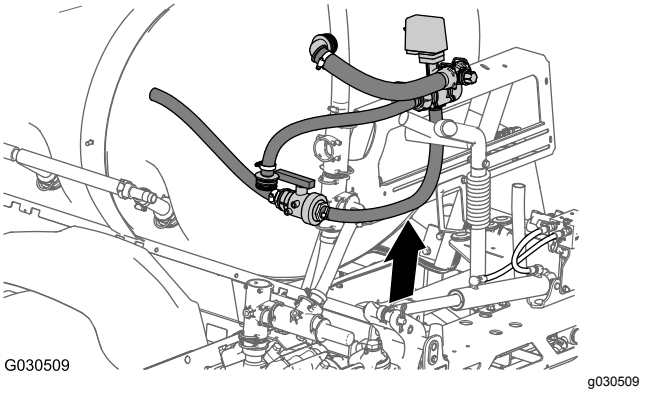


図 69

攪拌バルブとバイパスバルブを分解する

1. ボールバルブを攪拌バルブの底部に接続しているホースのクランプを外す 図 70。

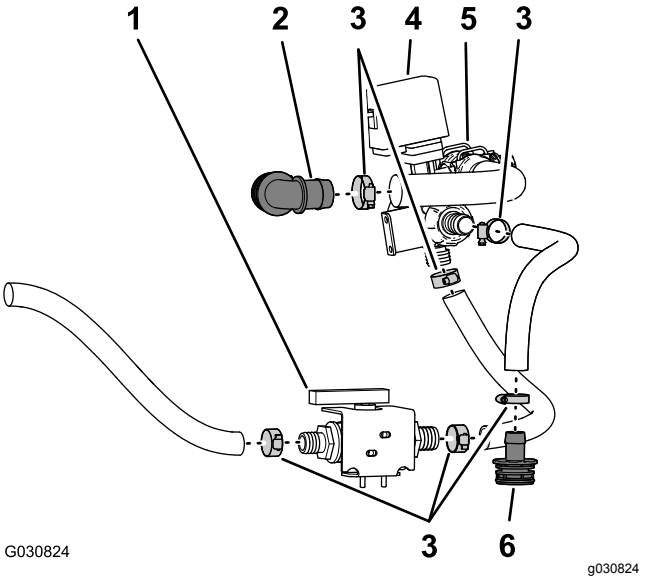


図 70

1. ボールバルブ
2. 90°鋸歯フィッティング
3. ホースクランプ
4. 攪拌バルブ
5. バイパスバルブ
6. バーブ付きストレートフィッティング

2. ホースをボールバルブのもう一方の端に固定しているクランプを外す 図 70。
3. バイパスバルブからのホースにバーブ付き 90° フィッティングを固定しているクランプを外す 図 70。

   注 バーブ付きフィッティングはホースに付けたままにしておいてください。

4. バーブ付きストレートフィッティングと攪拌バルブをつないでいるホースのクランプを外す図 70。

   注 バーブ付きフィッティングはホースに付けたままにしておいてください。

   注 ホースクランプは 攪拌ノズル用の給液ホースを取り付ける (ページ 45) と 給液ホースとバイパスホースを取り付ける (ページ 45) で使用します。

   注 機体から外した攪拌バルブ、ボールバルブ、バーブ付き90° フィッティング、バーブ付きストレートフィッティング、ホースは廃棄して構いません。

16

ブームを取り外す

この作業に必要なパーツ

1	ケーブルタイ

昇降シリンダを取り外す

注 以下、特に記述がない場合は、外した金具類をすべて保管してください。

1. 所定の能力のあるホイストなどを使って、左または右のブームを支える。
2. 機体後方で、ブーム昇降マニホルドと油圧シリンダから油圧ホースを外す図 71。

   注 ブーム昇降マニホルドと油圧シリンダに異物が侵入しないように、接続部にプラグなどをはめて保護してください。

   注 油圧ホースは廃棄してください。

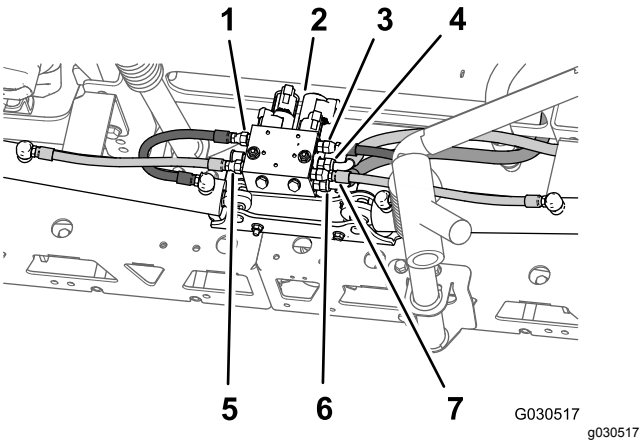


図 71

1. 左側伸長動作用ホースポート C3—ブーム昇降マニホルド
2. ブーム昇降マニホルド
3. 右側伸長動作用ホースポート C1—ブーム昇降マニホルド
4. 高圧側油圧ホースポート P—ブーム昇降マニホルド
5. 左側収縮動作用ホースポート C3—ブーム昇降マニホルド
6. 戻り側油圧ホースポート T—ブーム昇降マニホルド
7. 右側収縮動作用ホースポート C2—ブーム昇降マニホルド

3. 昇降シリンダをピボットブラケットに固定しているヘアピンとクレビスピンを取り外す図 72。

   注 ヘアピンとクレビスピン 左右のブームを機体に取り付ける (ページ 59)で取り付けに使用します。

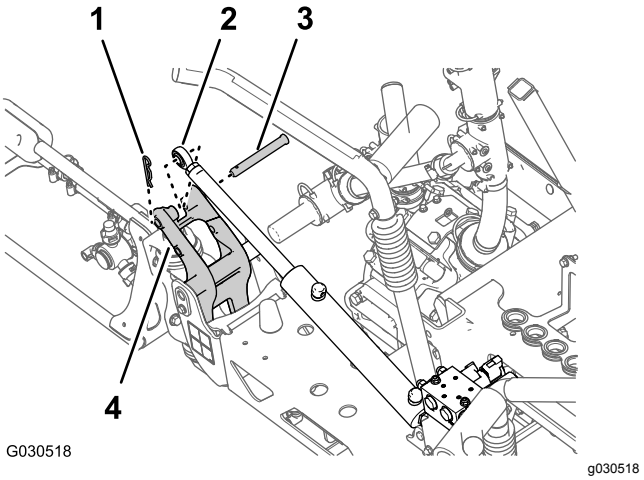


図 72

1. ヘアピン
2. ロッドのフィッティング昇降シリンダ
3. クレビスピン
4. ピボットブラケット

4. ピボットピンをシリンダマウントに固定しているフランジロックナット5/16"とフランジヘッドボルト5/16 x ¾"を取り外す図 73。

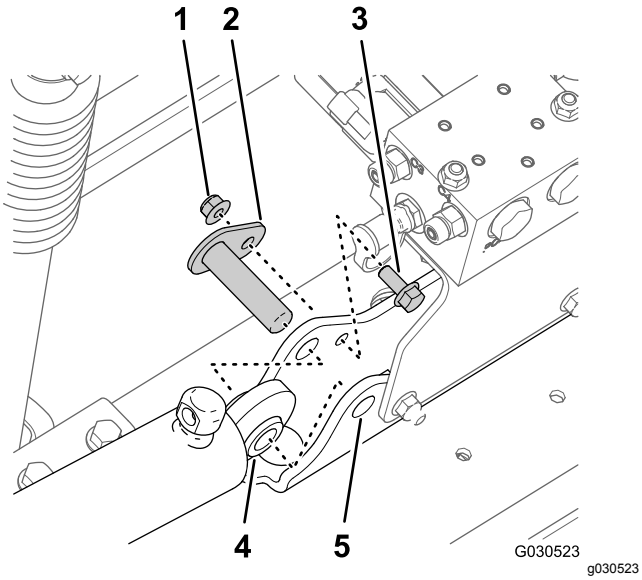


図 73

1. フランジロックナット5/16"
2. ピボットピン
3. フランジヘッドボルト5/16 x ¾"
4. 昇降シリンダ
5. シリンダマウント

5. 機体から、ピボットピンと昇降シリンダを外す図 73。
6. マシンの反対側の昇降シリンダにも、ステップ 3と 4 の作業を行う。

左右のブームを取り外す

吊り上げ装置に必要な能力: 91kg

注 飛散防止カバーがを搭載している車両では、左右のブームから飛散防止カバーを取り外す必要はありません。

⚠ 警告

重量物の吊り上げは危険を伴う作業であり、最悪の場合は死亡事故を招く。

重量のある装置やアタッチメントを吊り上げる持ち上げる場合には、必ずそれに適した装置を用い、チェーンなどで確実に吊ること。

注 廃棄するように明記されていない限り、外したボルト･ナット類はすべて延長キットの取り付けに利用しますから捨てないでください。

1. ピボットピンをピボットブラケットに固定しているフランジボルト5/16 x 1" とフランジロックナット5/16"を取り外す図 74。

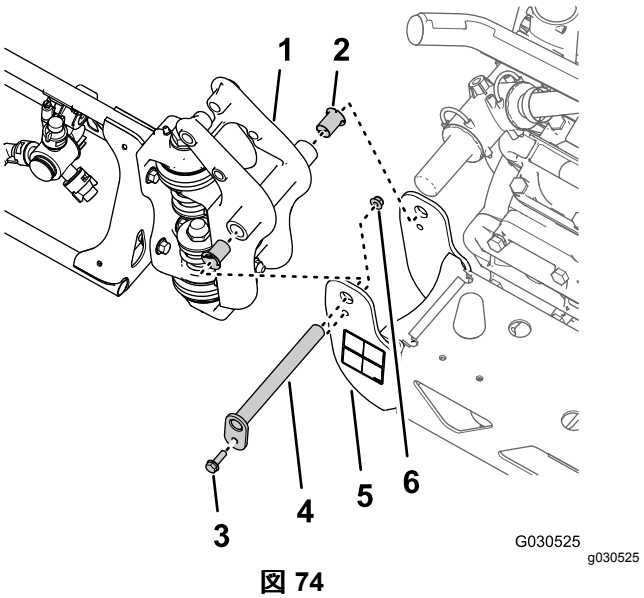


図 74

1. ピボットフィッティング 左右ブーム
2. ナイロン製フランジブッシュ
3. フランジボルト5/16 x 1"
4. ピボットピン
5. ピボットブラケットセンターブーム
6. フランジロックナット5/16"

2. センターブーム用のピボットブラケット、および、外側ブーム用のピボットフィッティングからピボットピンを抜き取る図 74。

   注 フランジボルト、フランジナット、ピボットピンは 左右のブームを機体に取り付ける (ページ 59)で使用します。

3. センターブームと外側ブームを切り離し、外側ブームを機体から外す図 74。
4. 外側ブームのピボットフィッティングからナイロン製フランジブッシュ2個を外す図 74。

   注 ブッシュは廃棄してください。

5. マシンの反対側の外側ブームにも、ステップ 14 昇降シリンダを取り外す (ページ 34) の作業を行う。
6. マシンの反対側の外側ブームにも、この項のステップ 14の作業を行う。

昇降シリンダマニホルドとサポートブラケットを外す

1. ブーム昇降マニホルドのポートPに接続されている高圧側ホースに、ケーブルタイでマーキングする図 75。

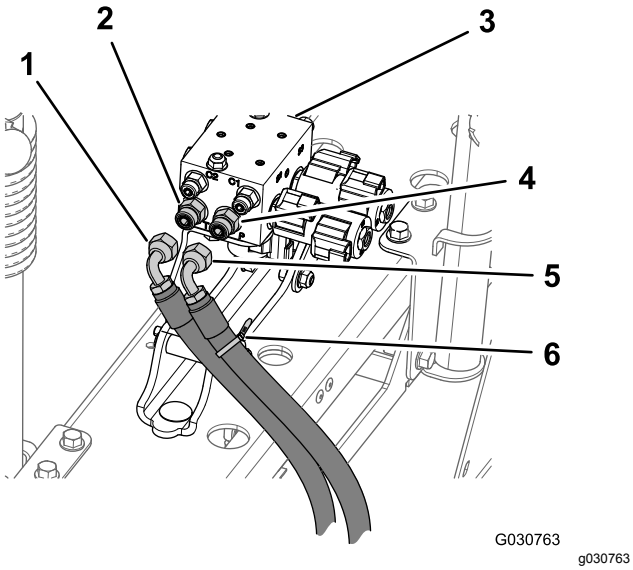


図 75

1. 戻り側油圧ホース
2. ストレートフィッティングポートT
3. ブーム昇降マニホルド
4. ストレートフィッティングポートP
5. 高圧側油圧ホース
6. ケーブルタイ

2. ブーム昇降マニホルドから、高圧側と戻り側のホースを外す図 75。

   重要 **油圧タンクのオイルが排出されないように、リターン側および押圧側油圧ホースのそれぞれの自由端を高い位置にもちあげておく。**

3. ブーム昇降マニホルド用サポートブラケットをシリンダマウントに固定しているフランジロックナット5/16"2個とフランジヘッドボルト5/16 x 1"2本を外して、機体からマニホルドとブラケットを取り外す 図 76。

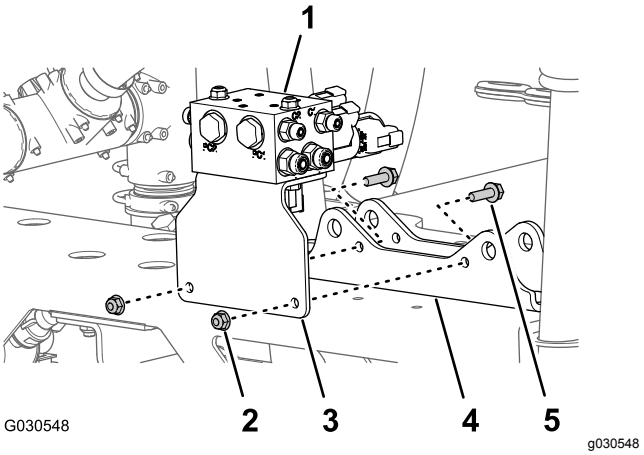


図 76

1. ブーム昇降マニホルド
2. フランジロックナット5/16"
3. サポートブラケットブーム昇降マニホルド
4. シリンダマウント
5. フランジヘッドボルト5/16 x /1"

ブームクレードルを取り外す

1. 左側ブームクレードルで、左上クレードルアセンブリを下部クレードルアセンブリに固定しているフランジヘッドボルト3/8 x 2"とフランジロックナット3/8"を取り外す図 77。

   注 外した上部クレードル、ボルト、ナットは センターブームにクレードルを取り付ける (ページ 53) で使用します。

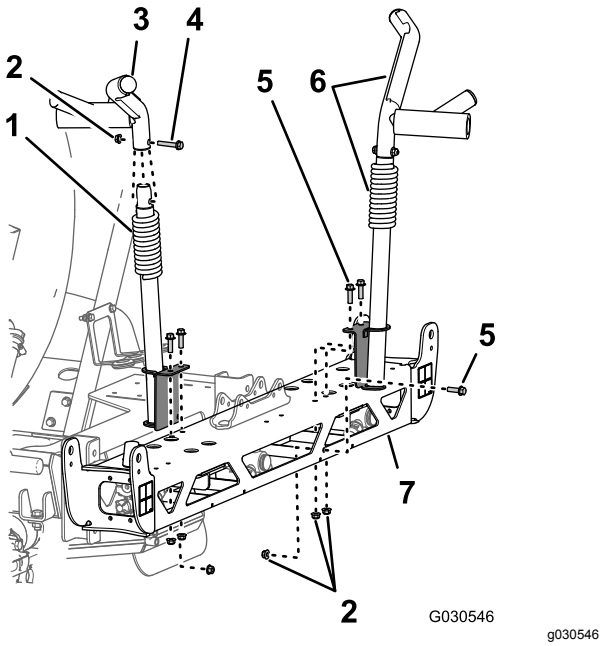


図 77

1. 下部クレードルアセンブリ
2. フランジロックナット3/8"
3. 上部クレードルアセンブリ
4. フランジヘッドボルト3/8 x 2"
5. フランジヘッドボルト3/8 x 1-¼")
6. 上部および下部クレードルアセンブリ
7. フレームセンターブーム

2. 左下部ブームクレードルをセンターブームのフレームに固定しているフランジヘッドボルト3/8 x 1"3本とフランジロックナット3/8"3個を外してクレードルを取り外す図 77。

   注 外したフランジヘッドボルト3/8 x 2"3本とフランジロックナット3/8"3個は、 センターブームにクレードルを取り付ける (ページ 53)で新しいセンターブームに新しい左下部ブームクレードルを取り付ける時に使用します。

   注 左下部ブームクレードルは廃棄して構いません。

3. 右クレードルで、右側ブームクレードルアセンブリをセンターブームのフレームに固定しているフランジヘッドボルト3/8 x 1-¼"水平ボルト1本と垂直ボルト2本とフランジロックナット3/8"3個を外す図 77。

   注 外した右側クレードルアセンブリ、フランジヘッドボルト、フランジロックナットは センターブームにクレードルを取り付ける (ページ 53)で使用します。

4. 左右のバンパーをセンターブームのフレーム端部に固定しているフランジロックナット5/16"を外す図 78。

   注 バンパーとロックナットは再利用します。

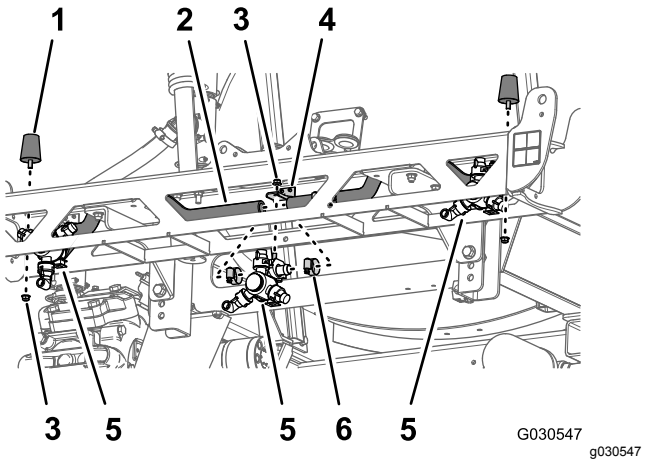


図 78

1. バンパー
2. ホース内径 ¾"
3. フランジロックナット5/16"
4. ノズルマウント
5. スプレーノズル
6. ホースクランプ

スプレーヤのノズルを取り外す

1. 薬剤散布ノズル3個をホース内径18mmに固定している4個のホースクランプを外す図 78。
2. 薬剤散布ノズル3個をセンターブームのノズルマウントに固定しているフランジロックナット5/16"を外してノズルを取り外す図 78。

   注 ノズルとフランジロックナットは 新しいセンターブームにノズルを取り付ける (ページ 52)で使用します。

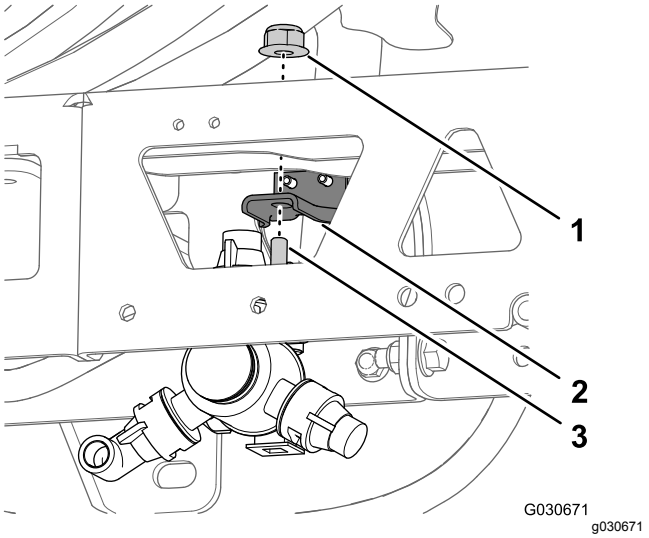


図 79

1. フランジロックナット5/16"
2. ノズルマウント
3. 六角ヘッドボルト5/16 x ¾"スプレーノズル

3. シリンダマウントをセンターブームに固定しているキャリッジボルト1/2 x 1-1/4"2本とフランジロックナット1/2"を外して、マウントを取り外す図 80。

注 機体から外したシリンダマウントは廃棄して構いません。

注 フランジボルト、フランジロックナット、クランプは センターブームのトラスを取り付ける (ページ 51)で取り付けに使用します。

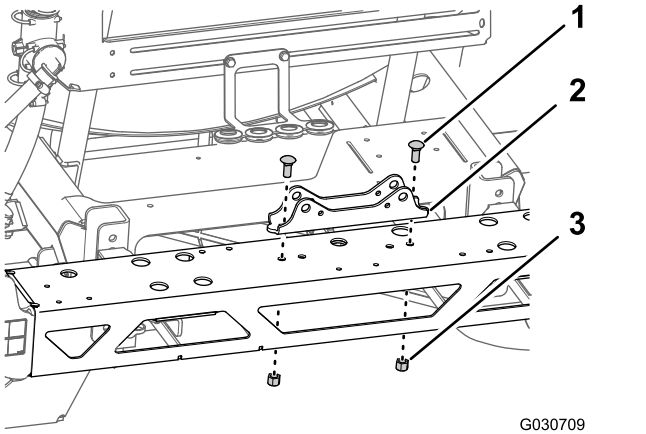


図 80

1. キャリッジボルト½ x 1-¼"
2. シリンダマウント
3. ロックナット½"

センターブームを取り外す

1. 飛散防止カバーを搭載している車両では、センターブームから飛散防止カバーを取り外してください。
2. ホイストなどを使ってセンターブームを支える。
3. センターブーム用サポートブラケットを機体フレームの取り付け用チャネル部材に固定しているフランジヘッドボルト½ x 1-¼"とフランジロックナット½"4個とを外して、センターブームを機体から外す 図 81。

   注 ボルト½ x 1-¼"とロックナット1/2”は、新しいセンターブームの取り付けに再使用します。

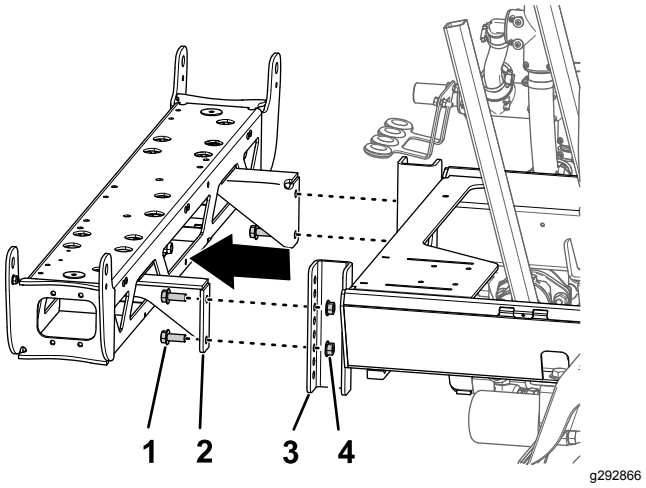


図 81

1. フランジヘッドボルト½ x 1-¼")
2. サポートブラケットセンターブーム
3. 取り付け用チャネル部材スプレーヤのフレーム
4. フランジロックナット½"

4. サポートブラケットをセンターブームに固定しているフランジヘッドボルト3/8 x 1"2本とフランジロックナット3/8"2個を外して、ブラケットを取り外す 図 82。

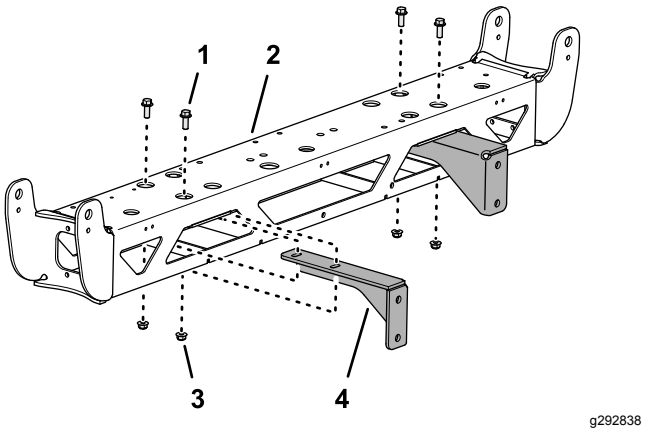


図 82

1. フランジヘッドねじ⅜ x 1”
2. センターブーム
3. フランジロックナット⅜"
4. サポートブラケット

5. 反対側のサポートブラケットにもステップ4の作業を行う図 82。

注 フランジヘッドキャップスクリュ3/8 x 1"とフランジロックナット3/8"は センターブームのトラスを取り付ける (ページ 51)で使用します。センターブームとサポートブラケットは廃棄して構いません。

17

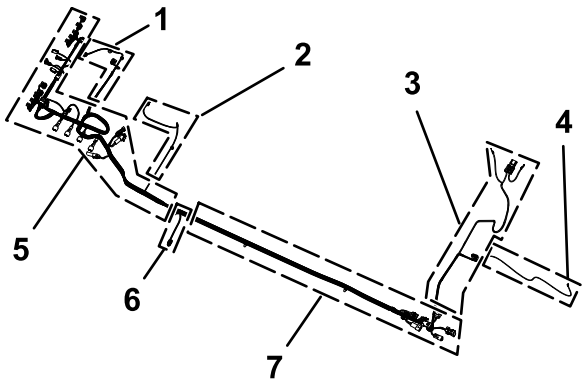
後方ワイヤハーネスを車体に取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	後方ワイヤハーネス
5	ケーブルタイ

フレームチューブに沿ってワイヤハーネスを敷設する

1. 新しい電気ハーネスから、165cm の枝線と203cm の枝線を探し出す図 83。

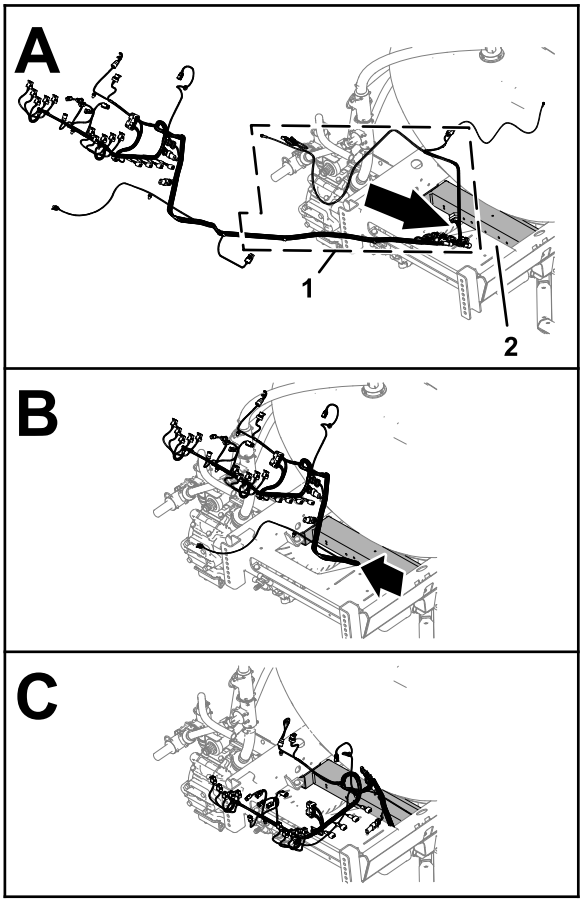


g307609

図 83

1. 75.5cm のハーネス枝線—フローメータと攪拌バルブ
2. 86.6cm のハーネス枝線—スプレーポンプのソレノイド
3. 108cm のハーネス枝線—リング端子とヒューズ表記なし
4. 180 cm のハーネス枝線—スプレーポンプのスイッチ
5. 218.4cm のハーネス枝線—ASC10, 昇降シリンダのソレノイド, ノズルバルブ 1-10
6. 30.5cm のハーネス枝線—速度センサー
7. 127cm のハーネス枝線—前方ハーネスのインタフェースコネクタ

2. 新しいハーネスの180 cm の枝線、108 cm の枝線、127 cm の枝線を、フレームチャネルの下に通す図 84。

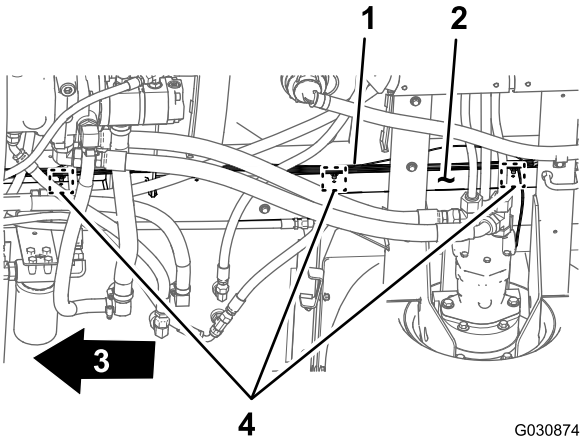


g307575

図 84

1. 180 cm の枝線、108 cm の枝線、127 cm の枝線電気ハーネス
2. フレームのチャネル鋼

3. ハーネスの180 cm の枝線、108 cm の枝線、127 cm の枝線を、右側フレームチューブに沿って前方へ延ばす図 85。



G030874

g030874

図 85

1. 後方ワイヤハーネス180 cm の枝線、108 cm の枝線、127 cm の枝線
2. 右側フレームチューブ
3. 機体前方
4. 押し込みファスナー

4. 後方ワイヤハーネスの 127cm の枝線の押し込みアンカーを、右側フレームチューブの穴に差し込む図 85この穴は、古いモミの木形アンカーが入っていた穴 ステップ 3 前ハーネスと後ろハーネスの接続を外す (ページ 26)を参照。

前方ハーネスと後方ハーネスを相互に接続する

注 前方ハーネスと後方ハーネスの接続を行う時は、ホイストで機体を持ち上げて行ってください。

1. 機体の下の右フレームチューブに沿って配設されている前後のワイヤハーネスの相互コネクタを探し出す図 86。

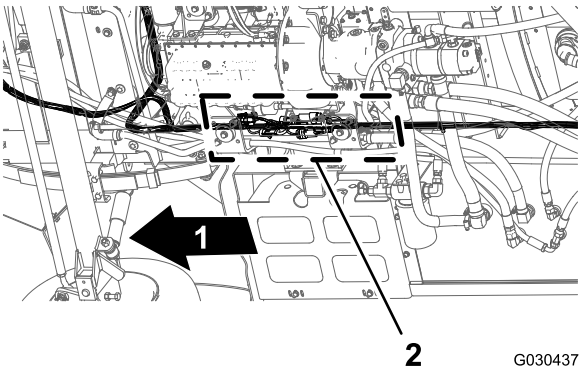


図 86

1. 機体前方
2. コネクタのインタフェース前と後ろハーネス

注 前ハーネスの3ソケットコネクタと後ハーネスの2ソケットコネクタは使用しません図 87。

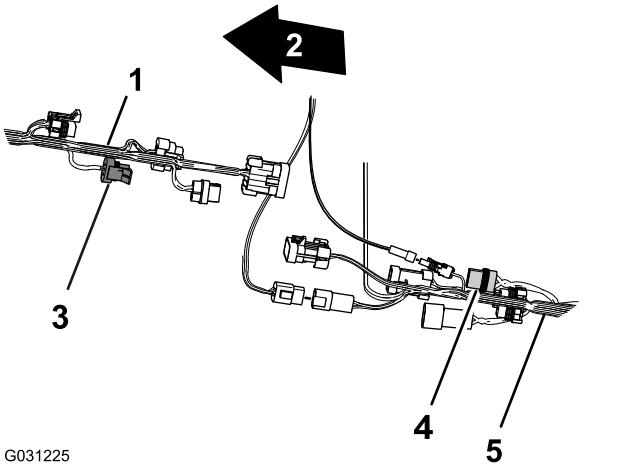


図 87

1. 車両の前方ワイヤハーネス
2. 機体前方
3. 3ソケットコネクター—**使用しない**フローメータ前方ハーネス
4. 2ソケットコネクター—**使用しない**ホースリール電源後方ハーネス
5. 車両の後方ワイヤハーネス

2. 前方ハーネスのスプレーヤ用ハーネスインターコネクトの10ソケットコネクタを、後方ハーネスのスプレーヤ用ハーネスインターコネクトの10ピンコネクタに接続する図 88。

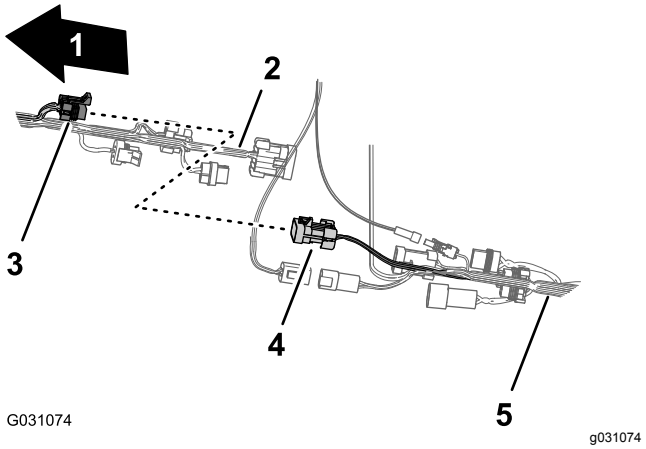


図 88

1. 機体前方
2. 車両の前方ワイヤハーネス
3. 10ソケットコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス前ハーネス
4. 10ピンコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス後ハーネス
5. 車両の後方ワイヤハーネス

3. 前方ハーネスのスプレーヤ用ハーネスインターコネクトの8ピンコネクタを、後方ハーネスのレートスイッチ用8ソケットコネクタに接続する図 89。

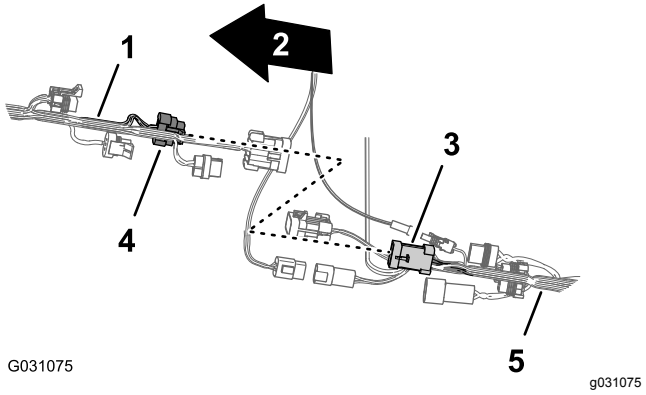


図 89

1. 車両の前方ワイヤハーネス
2. 機体前方
3. 8ソケットコネクタレートスイッチ後ハーネス
4. 8ピンコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス前ハーネス
5. 車両の後方ワイヤハーネス

4. 前方ハーネスのすすぎポンプ用2ピンコネクタを、後方ハーネスのすすぎポンプ用2ソケットコネクタに接続する図 90。

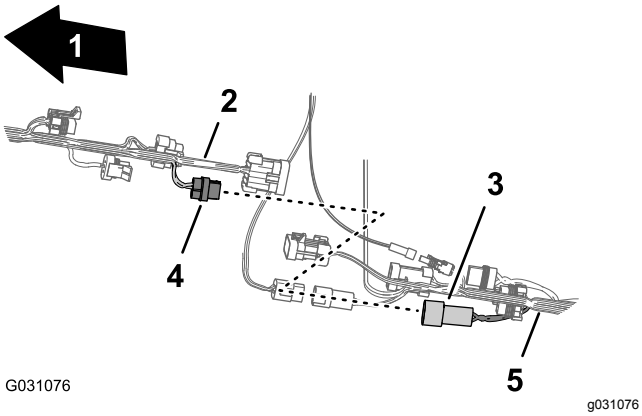


図 90

1. 機体前方
2. 車両の前方ワイヤハーネス
3. 2ソケットコネクタすすぎポンプ後ハーネス
4. 2ピンコネクタすすぎポンプ前ハーネス
5. 車両の後方ワイヤハーネス

5. 前方ハーネスのスプレーヤ用ハーネスインターコネクトの10ピンコネクタを、後方ハーネスのスプレーヤ用ハーネスインターコネクトの10ソケットコネクタに接続する図 91。

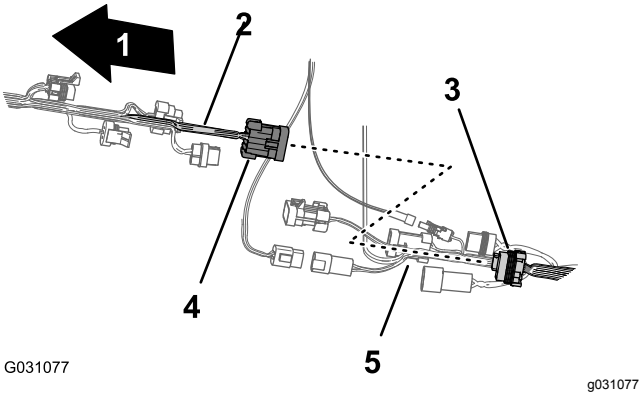


図 91

1. 機体前方
2. 車両の前方ワイヤハーネス
3. 10ソケットコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス後ハーネス
4. 10ピンコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス前ハーネス
5. 車両の後方ワイヤハーネス

6. ナビゲーション用とデータ用ハーネスの接続を容易にするために、後方ワイヤハーネスの1ソケットコネクタと、後方ワイヤハーネスの4ソケットコネクタをハーネスの先端部にそろえておく図 92。

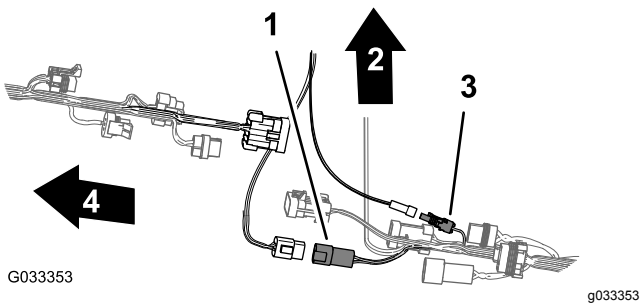


図 92

1. 4ソケットコネクタ後方ワイヤハーネス
2. マシンの上方
3. 1ソケットコネクタ後方ワイヤハーネス
4. 車体前方

水圧検知チューブを配設する

1. ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを後方ワイヤハーネスに沿って配設する (図 93)。

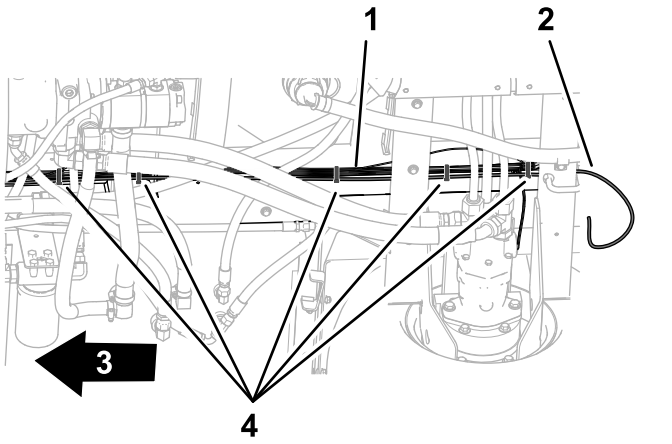


図 93

1. 後方ワイヤハーネス
2. 水圧検知チューブ
3. 車体前方
4. ケーブルタイ

2. ケーブルタイ 5 本でチューブをハーネスに固定する。

スプレーヤポンプ用のワイヤハーネスを敷設する

1. スプレーポンプのソレノイド用の 86.6cm の枝線を、機体のフレームチャネル部材の上を横断させ、そこから下がってポンプソレノイドへ配設する図 94 。

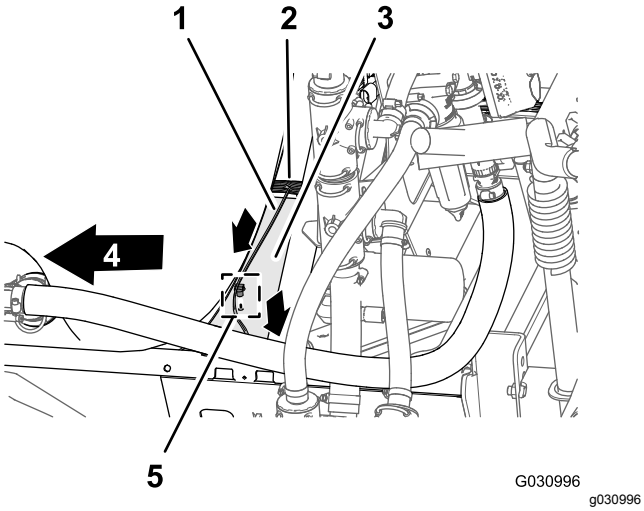


図 94

1. 86.6cm のハーネス枝線—スプレーポンプのソレノイド
2. 218.4cm のハーネス枝線——ASC10, 昇降シリンダのソレノイド, ノズルバルブ 1-10
3. チャネル部材スプレーヤのフレーム
4. 機体前方
5. 押し込みファスナー

2. 86.6 cm の枝線の押し込み型のファスナを、機体フレームのチャネル部材の穴に差し込む図 94。

ワイヤハーネスをスプレーヤポンプと速度センサーに接続する

1. 機体後部、スプレーヤポンプの車体中心線側で、86.6cm の枝線にある**Spray Pump Solenoid**というラベルのついた2ソケットコネクタを、ポンプのリレーの2ピンコネクタに接続する図 95。

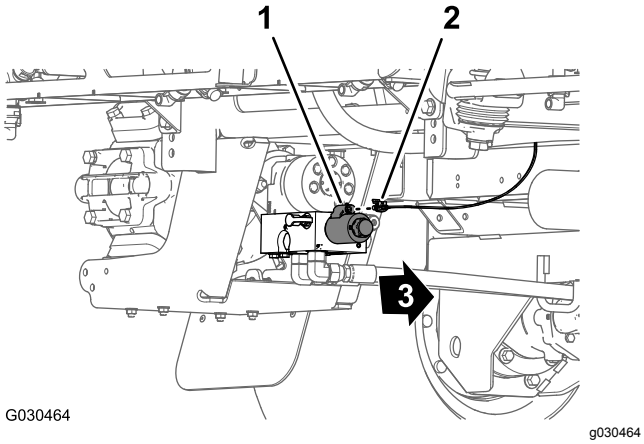


図 95

1. 2ピンコネクタポンプ用リレー
2. 2ソケットコネクタワイヤハーネスの 86.6cm 枝線
3. 車体前方

2. 機体後部右側フレームチューブと右側フェンダとの間で、後方ワイヤハーネスの 30.5 cm の枝線に付いている 3 ピンコネクタラベルなしを、右側走行モータの速度センサーのハーネスの 3 ソケットコネクタに接続する図 96。

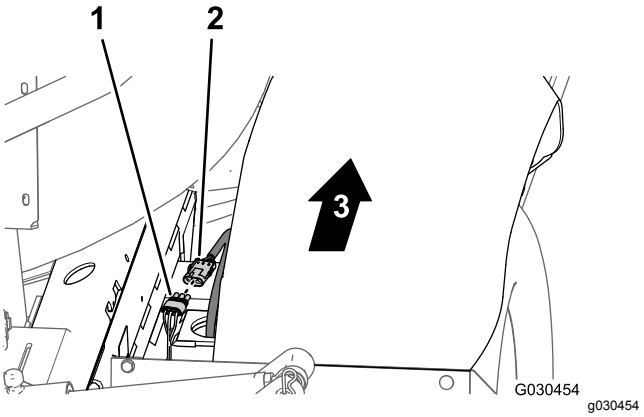


図 96

1. 3 ソケットコネクタ30.5 cm の枝後方ワイヤハーネス
2. 3 ピンコネクタ右側走行モータの速度センサーのハーネス
3. 車体前方

18

3ブーム用のマニホルドマウントを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

1. マニホルドマウントの左側にT字フィッティングを固定しているパンヘッドスクリュ#10 x 5/8" 2本とワッシャ#102枚を取り外す図 97。

   注 ねじとワッシャは 19 10バルブ構成用のマニホルドマウントを取り付ける (ページ 43)で使用します。

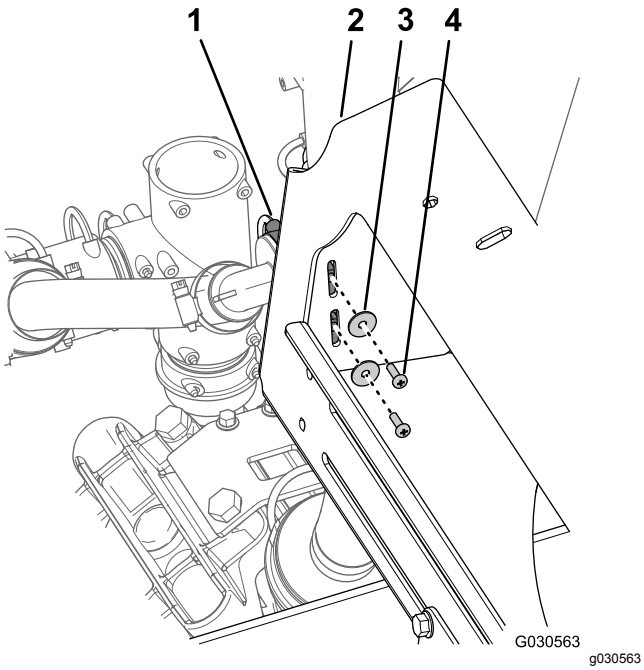


図 97

1. T 字フィッティング
2. マニホルドマウント3ブーム構成
3. ワッシャ#10
4. 平頭ねじ#10 x 5/8"

2. **オプションのタンクすすぎキットを搭載している場合には、以下の作業を行う**

   A. すすぎタンクの固定ベルトをマニホルドマウントに固定しているボルト3/8 x 2-3/4"、フランジロックナット3/8"、ワッシャ3/8"を取り外す図 98。

   注 外したボルト、ナット、ワッシャは 19 10バルブ構成用のマニホルドマウントを取り付ける (ページ 43)の取り付けに使用します。

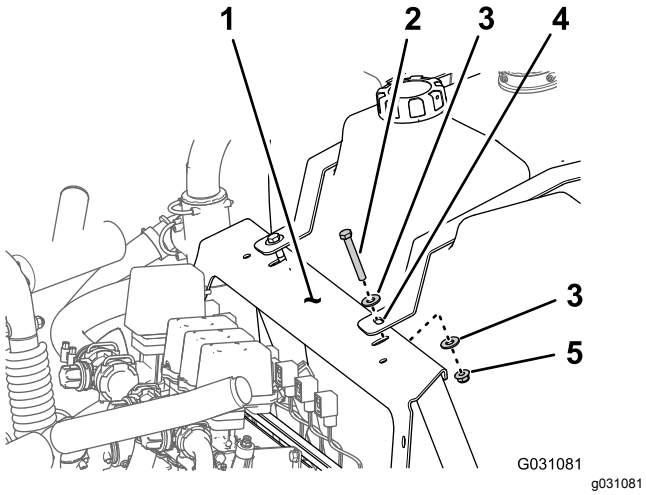


図 98

1. ワッシャ3/8"
2. フランジロックナット3/8"
3. マニホルドマウント
4. ボルト3/8 x 2-¾"
5. すすぎタンク固定ベルト

   B. ロープを使って、すすぎタンクをメインタンクに固定する。

3. マニホルドマウントのフランジを車体のシャーシのフレームに固定しているフランジヘッドボルト3/8 x 1"4本とフランジロックナット3/8"4個を外してマニホルドマウントを取り外す図 99。

   注 ボルトとロックナットは19 10バルブ構成用のマニホルドマウントを取り付ける (ページ 43)で使用します。

   注 機体から外したマニホルドマウントは廃棄して構いません。

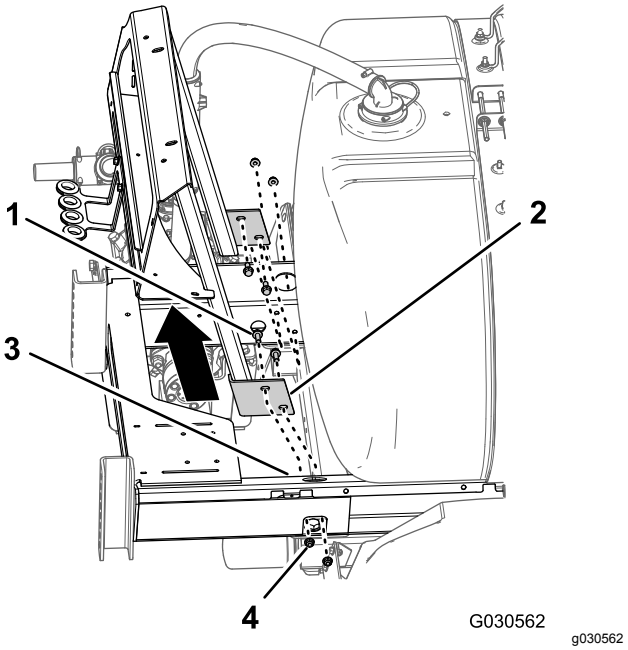


図 99

1. フランジヘッドボルト3/8 x 1"
2. フランジマニホルドマウント3ブーム構成
3. フレーム車体のシャーシ
4. フランジロックナット3/8"

19

10バルブ構成用のマニホルドマウントを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	マニホルドマウント10バルブ構成

手順

1. 10バルブ構成用のマニホルドマウントのフランジの穴を、車体のシャーシのフレームの穴に合わせる図 100。

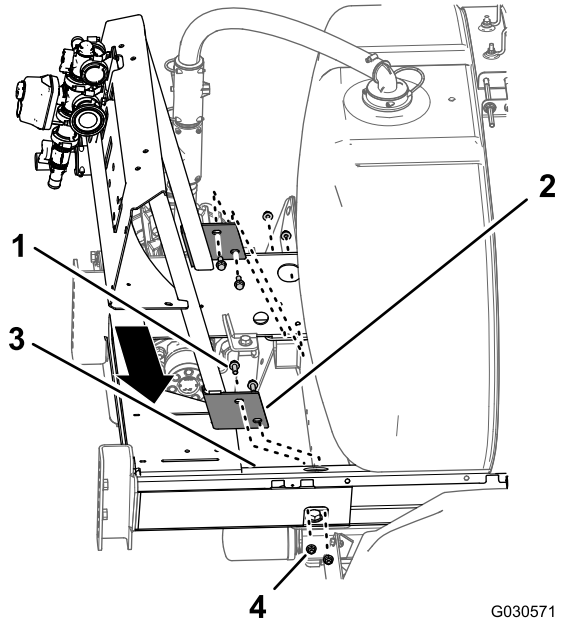


図 100

1. フランジヘッドボルト3/8 x 1"
2. フランジマニホルドマウント10バルブ構成
3. フレーム車体のシャーシ
4. フランジロックナット3/8"

2. マニホルドマウント車体のチャーシに組み付ける図 100ステップ 318 3ブーム用のマニホルドマウントを取り外す (ページ 42)で取り外したフランジヘッドボルト3/8 x 1"4本とフランジロックナット3/8"4個を使用する。
3. ボルトとナットを 3745N·m3.74.6kg.m = 2733ft-lbにトルク締めする。
4. マニホルドマウントの左側で、T字フィッティングの穴をマニホルドマウントのスロットに合わせる図 101。

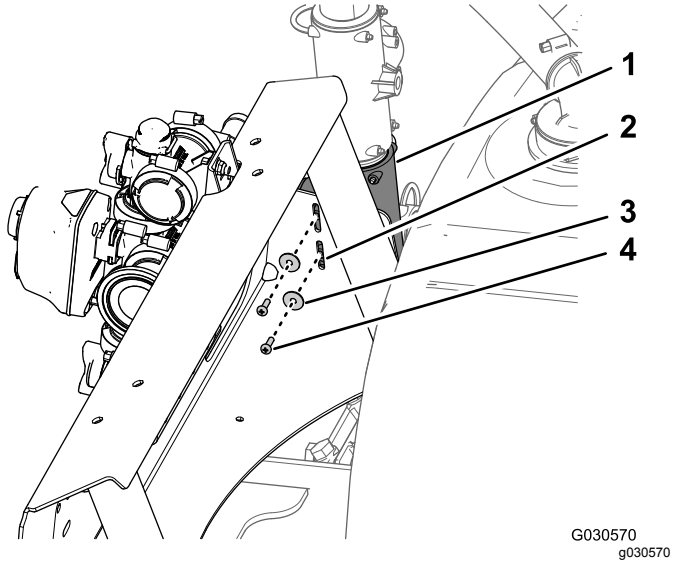


図 101

1. T 字フィッティング
2. マニホルドマウント10バルブ構成
3. ワッシャ#10
4. 平頭ねじ#10 x 5/8"

5. T字フィッティングをマニホルドマウントに固定する図 101ステップ 118 3ブーム用のマニホルドマウントを取り外す (ページ 42)で取り外したパンヘッドスクリュ#10 x 5/8"2本とワッシャ#102枚を使用する。
6. **オプションのタンクすすぎキットを搭載している場合には、以下の作業を行う**
   A. すすぎタンクの固定ベルトの穴を、マニホルドマウントの穴に合わせる図 102。

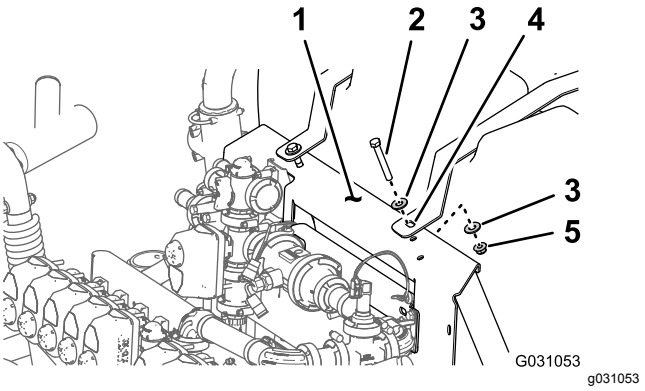


図 102

1. マニホルドマウント
2. ボルト3/8 x 2-¾"
3. ワッシャ3/8"
4. すすぎタンク固定ベルト
5. フランジロックナット3/8"

   B. 固定ベルトをマウントに取り付ける図 102ステップ 5C 液剤タンクとオプションのすすぎタンクの準備を行う (ページ 6)で取り外したボルト3/8 x 2-¾"2本、ワッシャ3/8"4枚と、フランジロックナット3/8"2本を使用する。
   C. ボルトとロックナットを手締めする図 102。

注 すすぎタンクに水を一杯に入れると、水の重量のためにタンクがさらに沈む場合がありますので、タンク固定ベルトの状態をもう一度点検し、必要に応じて増し締めを行ってください。

D. 車両の反対側のすすぎタンク固定ベルトについてもステップ AC の作業を行う。

20

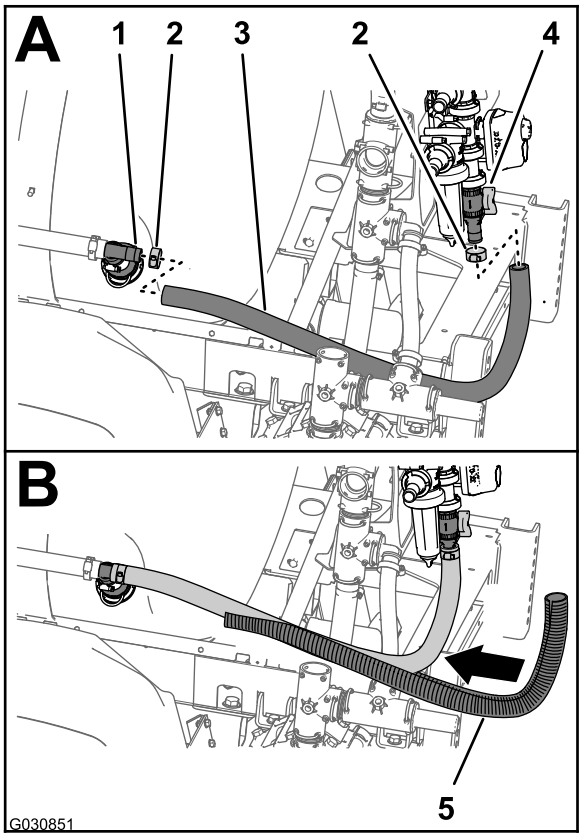
マニホルドマウントの左側のホースの取り付けを行う

この作業に必要なパーツ

1	ホース1 x 104cm
1	給液ホース1 x 59cm
1	攪拌バイパスホース1 x 25cmとバーブ付き90° フィッティング

攪拌ノズル用の給液ホースを取り付ける

1. 液剤タンクの後ろ側の攪拌ノズルのバーブ付きT字フィッティングに、ホース1 x 104cmを組み付ける図 103。



g030851

図 103

1. T字フィッティング攪拌ノズル
2. ホースクランプ
3. ホース1 x 104cm
4. バイパスバルブ
5. 渦巻きチューブ

2. ホースをT字フィッティングに固定する図 103ステップ2 攪拌バルブ、ボールバルブ、ホースを取り外す (ページ 32)で外したクランプを使用する。
3. ホース1 x 104cmのもう一方の端を、バイパスバルブの底部にあるバーブ付きストレートフィッティングに取り付ける図 103。
4. ホースをストレートフィッティングに固定する図 103 攪拌バルブとバイパスバルブを分解する (ページ 33)で外したクランプを使用する。
5. ホース1 x 104cmの上から渦巻きチューブ図 103を取り付ける。

給液ホースとバイパスホースを取り付ける

注 薬剤プレミックスキットを搭載している場合には、この作業を飛ばして 給液ホースアセンブリを取り付ける (ページ 96) と 攪拌バルブ用のバイパスホースを交換する (ページ 94)の作業を行ってください。

1. バーブ付きストレートフィッティングに接続した給液ホース1 x 59cmの先端部のハブを、液剤散布ポンプの出口ポートにあるT 字フィッティング図 104に取り付けるステップ 3 攪拌バルブ、ボール

バルブ、ホースを取り外す (ページ 32)で取り外したリテーナを使用する。

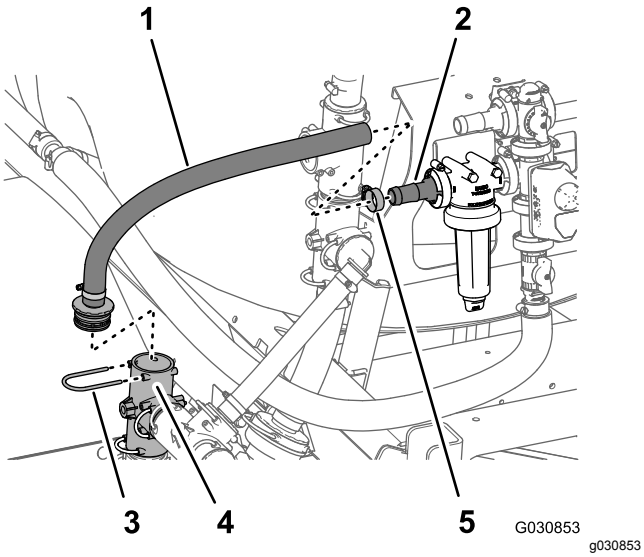


図 104

1. 給液ホース1 x 59cm
2. バーブ付きストレートフィッティング フィルタヘッド
3. リテーナ
4. T字フィッティング ポンプの出口ポート
5. ホースクランプ

2. 給液ホース1 x 59cmの反対側の先端部を、フィルタヘッドのバーブ付きストレートフィッティングに取り付ける図 104。
3. 攪拌バルブとバイパスバルブを分解する (ページ 33)で外したクランプを使ってホースをフィッティングに固定する。
4. 図 105のように、マニホルドブラケットの左ある上側の字フィッティングを左に90°回転させる。

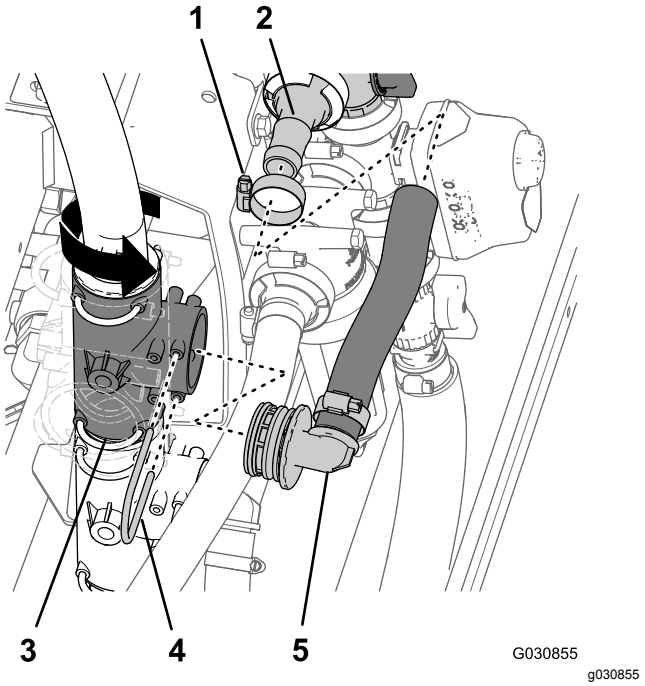


図 105

1. ホースクランプ
2. バーブ付きストレートフィッティング攪拌バイパスバルブ
3. T字フィッティング 縦に取り付けてある上側
4. リテーナ
5. 攪拌バイパスホース1 x 25cmとバーブ付き90°フィッティング

5. 攪拌バイパスホース1 x 25cmを、攪拌バイパスバルブのバーブ付きストレートフィッティングに取り付ける図 105。
6. バーブ付き90°フィッティングに接続した給液ホース1 x 25cmの先端部のハブを、マニホルドブラケットの左の上側の T 字フィッティング図 105 に取り付けるステップ 4 攪拌バルブ、ボールバルブ、ホースを取り外す (ページ 32)で取り外したリテーナを使用する。
7. 攪拌バイパスホース1 x 25cmを、攪拌バイパスバルブのバーブ付きストレートフィッティングに取り付ける 攪拌バルブとバイパスバルブを分解する (ページ 33)で取り外したクランプを使う。

21

後方ワイヤハーネスを取り付ける

必要なパーツはありません。

ワイヤハーネスをマニホルドマウントへ敷設する

1. 図 106に示すように、ワイヤハーネスの 218.4cm の枝線を、バルブマウントのサポートストラットよりも車体内側を通し、車体後方のバルブマウント10バルブ用まで導く。

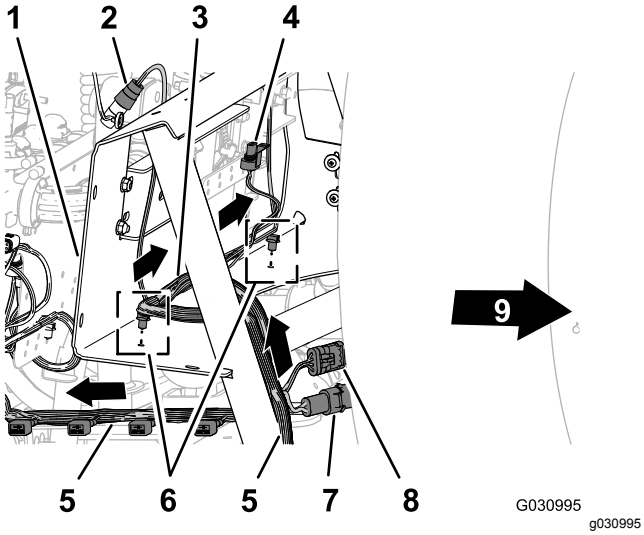


図 106

1. マニホルドマウント
2. 3ソケットコネクタフローメータ
3. 75.5 cm のハーネス枝線—フローメータと攪拌バルブ
4. コネクタ攪拌バルブ
5. 218.4cm のハーネス枝線——ASC10, 昇降シリンダのソレノイド, ノズルバルブ 1-10
6. 押し込みファスナー
7. 2ピンコネクタホースリールの電源
8. 3ソケットコネクタホースリール
9. 機体前方

2. フローメータと攪拌バルブ用のワイヤハーネスの 75.5cm の枝線を、マニホルドマウントの正面を横断するように配設する図 106。
3. ワイヤハーネスの 75.5cm の枝線の押し込み型ファスナを、マニホルドマウントの下側フランジに差し込む図 106。

ワイヤハーネスを10バルブマウントへ敷設する

1. 218.4 cm の枝線を、10バルブマウントの裏面を横断するように配設するノズルバルブ用の10個のコネクタが後方へ向き、バルブの下に来るようにすること図 107。

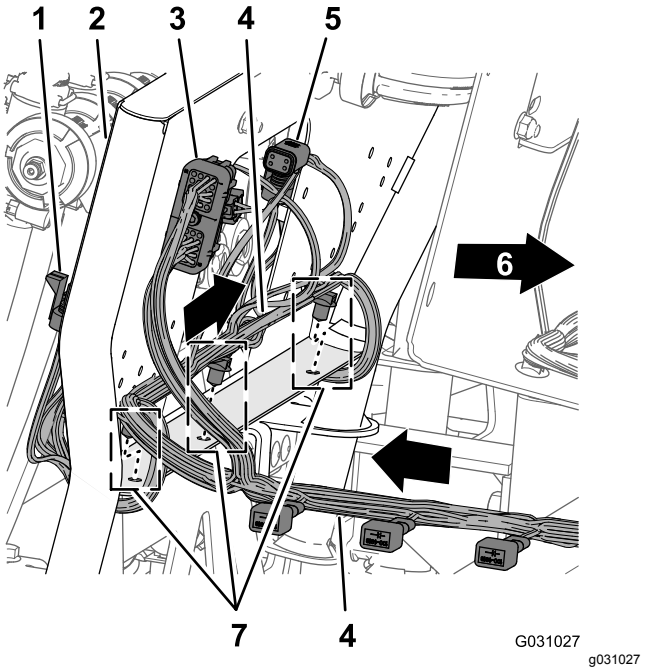


図 107

1. 3ソケットコネクタノズルバルブの10番位置
2. バルブ10本用マウント
3. 40ソケットコネクタASC 10
4. 218.4cm のハーネス枝線——ASC10, 昇降シリンダのソレノイド, ノズルバルブ 1-10
5. 4ソケットコネクタASC 10へ
6. 機体前方
7. 押し込みファスナー

2. ワイヤハーネスの 218.4cm の枝線の押し込み型ファスナを、10 バルブマウントの下側フランジに差し込む図 107。

ワイヤハーネスをマニホルドマウントの各機器に接続する

1. 218.4cm の枝線と 75.5cm の枝線の、**Flow Meter** というラベルと **Pressure Transducer**というラベルの付いたコネクタを、マニホルドマウントの後方へ導く図 108。

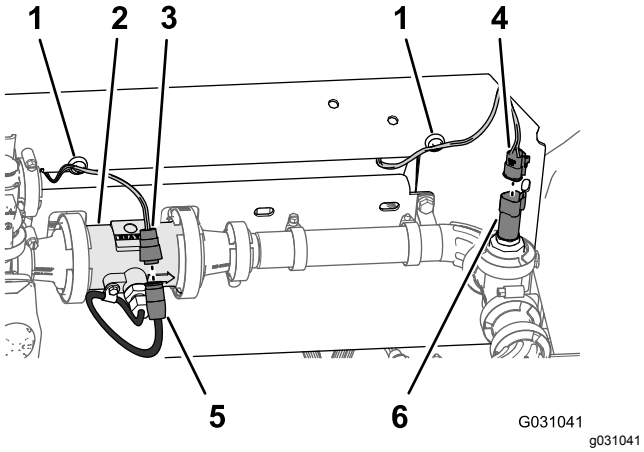


図 108

1. 磁石式のハーネスアンカー
2. フローメータ
3. 3ソケットコネクタ後方ワイヤハーネスラベルは Flow Meter
4. 3ソケットコネクタ後方ワイヤハーネスラベルは Pressure Transducer
5. 3ピンコネクタFlow Meter
6. 3ピンコネクタPressure Transducer

2. 75.5cm の枝線のフローメータ用の3ソケットコネクタラベルなしを、フローメータ用ハーネスの3ピンコネクタに接続する図 108。
3. 218.4cm の枝線のフローメータ用の**Pressure Transducer** ラベル付きの3ソケットコネクタを、水圧トランスデューサテライトの3ピンコネクタに接続する図 108。
4. フローメータと水圧トランスデューサ用のワイヤハーネスの磁石式アンカーを、マニホルドマウントの表面に取り付ける図 108。
5. 攪拌バルブ用ハーネスののの3ピンコネクタを、マニホルドマウントの前方に配設する図 109。

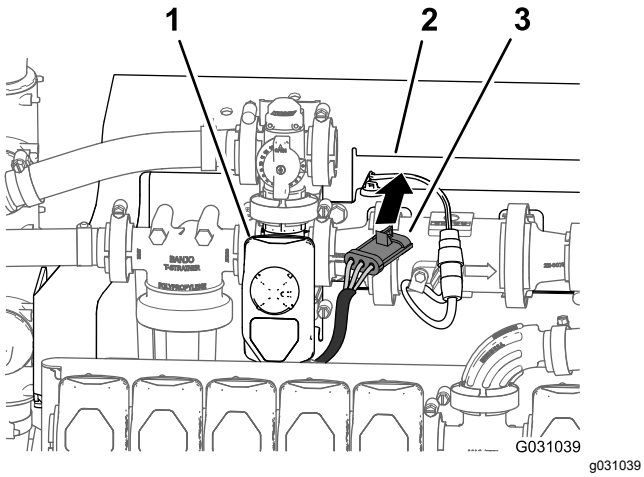


図 109

1. 攪拌バルブ
2. マニホルドマウント
3. 3ソケットコネクタ攪拌バルブのハーネス

6. 攪拌バルブ用ハーネスの3ピンコネクタを、203cm の枝線の**Agitation Valve**というラベルの付いた3ソケットコネクタに接続する図 110。

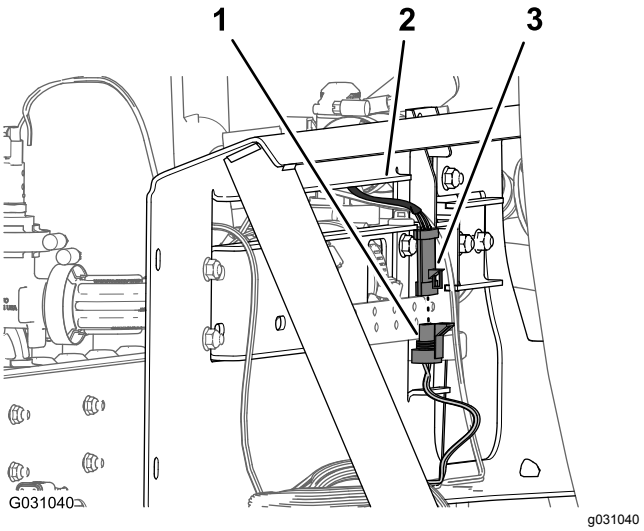


図 110

1. 3ピンコネクタ後方ワイヤハーネスラベルは Agitation Valve
2. マニホルドマウント
3. 3ソケットコネクタ攪拌バルブのハーネス

ワイヤハーネスを昇降シリンダのマニホルドの各ソレノイドに接続する

1. 昇降シリンダ用マニホルドの下部で、後方ワイヤハーネスの**Enable Solenoid**というラベルのついた2ソケットコネクタを、「イネーブル」ソレノイドの2ピンコネクタに接続する図 111と図 112。

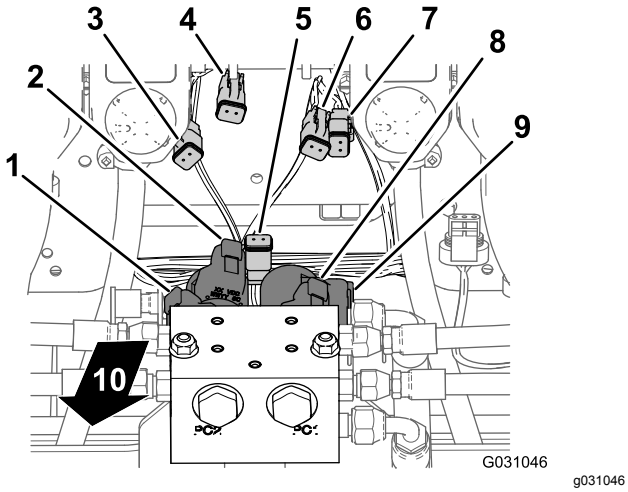


図 111

1. 2ピンコネクタ左降下ソレノイド昇降シリンダマニホルド
2. 2ピンコネクタ左上昇ソレノイド昇降シリンダマニホルド
3. 2ソケットコネクタ左降下メインハーネスのコネクタ
4. 2ソケットコネクタ左上昇メインハーネスのコネクタ
5. 2ソケットコネクタ「イネーブル」ソレノイド (メインハーネスのコネクタ)
6. 2ソケットコネクタ右上昇メインハーネスのコネクタ
7. 2ソケットコネクタ右上昇メインハーネスのコネクタ
8. 2ピンコネクタ右上昇ソレノイド昇降シリンダマニホルド
9. 2ピンコネクタ右降下ソレノイド昇降シリンダマニホルド
10. 機体後方

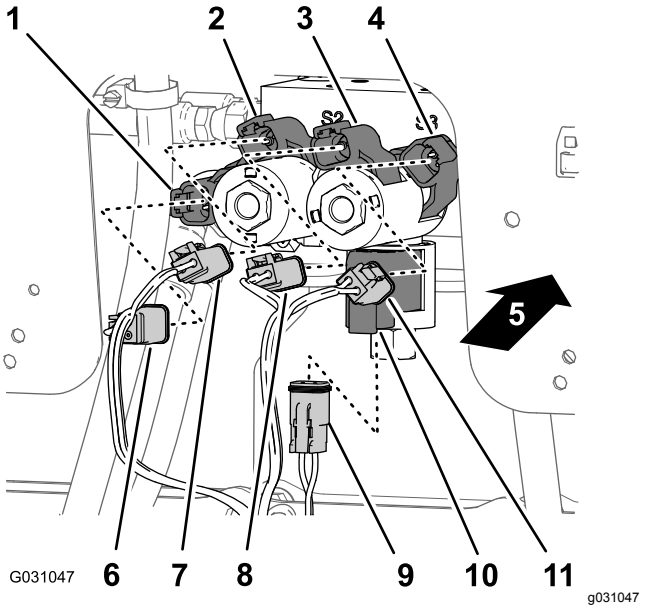


図 112

1. 2ピンコネクタ右降下ソレノイド昇降シリンダマニホルド
2. 2ピンコネクタ右上昇ソレノイド昇降シリンダマニホルド
3. 2ピンコネクタ左上昇ソレノイド昇降シリンダマニホルド
4. 2ピンコネクタ左降下ソレノイド昇降シリンダマニホルド
5. 機体後方
6. 2ソケットコネクタ右上昇メインハーネスのコネクタ
7. 2ソケットコネクタ右上昇メインハーネスのコネクタ
8. 2ソケットコネクタ左上昇メインハーネスのコネクタ
9. 2ソケットコネクタ「イネーブル」ソレノイドメインハーネスのコネクタ
10. 2ピンコネクタ「イネーブル」ソレノイド昇降シリンダマニホルド
11. 2ソケットコネクタ左降下メインハーネスのコネクタ

2. 右下のソレノイドで、後方ワイヤハーネスの**Right Down**というラベルのついた2ソケットコネクタを、右下ソレノイドの2ピンコネクタに接続する図 111 と図 112 。
3. 右上のソレノイドで、後方ワイヤハーネスの**Right Up**というラベルのついた2ソケットコネクタを、右上ソレノイドの2ピンコネクタに接続する図 111 と図 112 。
4. 左下のソレノイドで、後方ワイヤハーネスの**Left Down**というラベルのついた2ソケットコネクタを、左下ソレノイドの2ピンコネクタに接続する図 111 と図 112 。
5. 左上のソレノイドで、後方ワイヤハーネスの**Left Up**というラベルのついた2ソケットコネクタを、左上ソレノイドの2ピンコネクタに接続する。

ワイヤハーネスをスプレーバルブに接続する

1. 218.4cm の枝線の、**Nozzle Valve 1**-**Nozzle Valve 5**というラベルの付いた3ソケットコネクタ

を、10バルブマウントの後方からノズルバルブ1-5の下へ導く図 113。

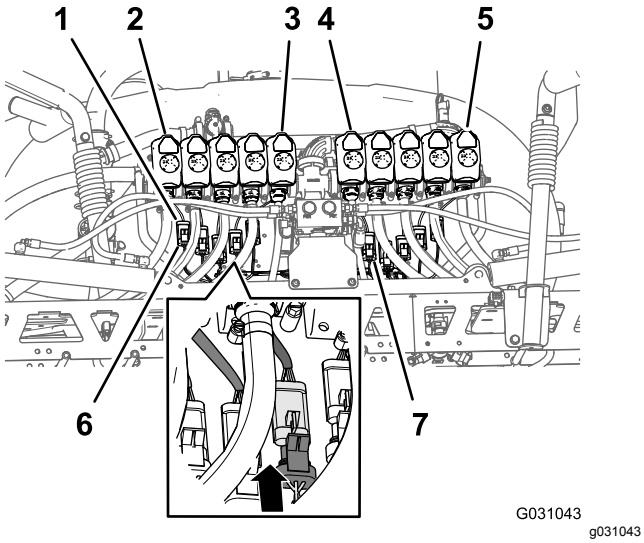


図 113

1. 3ピンコネクタノズルバルブのハーネス
2. ノズルバルブ 1番
3. ノズルバルブ 5番
4. ノズルバルブ 6番
5. ノズルバルブ 10番
6. 3ピンソケットコネクタ後方ワイヤハーネスラベルは Nozzle 1
7. 3ピンソケットコネクタ後方ワイヤハーネスラベルは Nozzle 6

2. 218.4cm の枝線の、**Nozzle Valve 6-Nozzle Valve 10**というラベルの付いた3ソケットコネクタを、10バルブマウントの後方からノズルバルブ6-10の下へ導く図 113。
3. 後方ワイヤハーネスの **Nozzle 1**というラベルのついている3ピンソケットコネクタを、ノズルバルブ1番用の3ピンコネクタに接続する図 113。

   重要 **後方ワイヤハーネスのそれぞれの3ピンソケットコネクタについているラベルのバルブ番号と、実際に接続されるノズルバルブの番号を必ず一致させてください。**
4. ノズルバルブ2番10番についても、ステップ 3 を行う図 113。

ワイヤハーネスをエンジンルームを通して敷設する

1. ワイヤハーネスの 108cm の枝を、エンジンルームの上から内部へ入れ、エンジンシュラウドの右側サポートに沿って前方へ進め、エアフィルタとエンジンをつないでいるダクトまで導く図 114。

   注 この 108cm の枝線の最終的な固定は ナビゲーション用電装ハーネスをバッテリーへ導く (ページ 74)で行います。

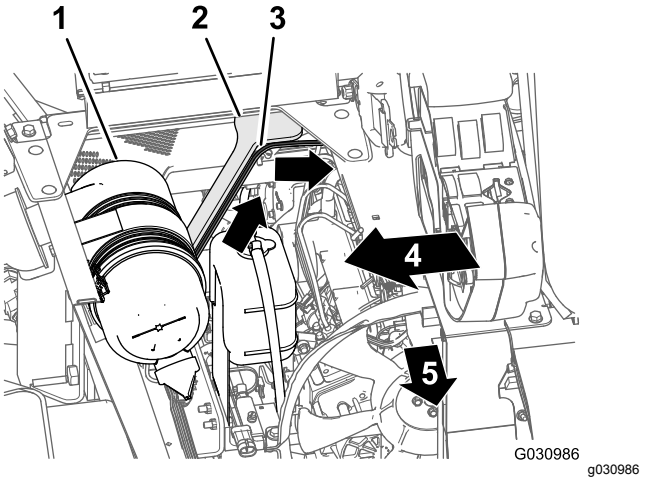


図 114

1. エアフィルタ エンジン
2. エンジンシュラウドのサポート右側
3. 108 cm の枝線後方ワイヤハーネス
4. 機体右側
5. 機体前方

2. ワイヤハーネスの 108cm の枝線を、シートボックスのアングル部材を横断して下へ、エンジンシュラウドの左側サポートに沿って導く図 115。

   注 この 108cm の枝線の最終的な固定は ナビゲーション用電装ハーネスをバッテリーへ導く (ページ 74)で行います。

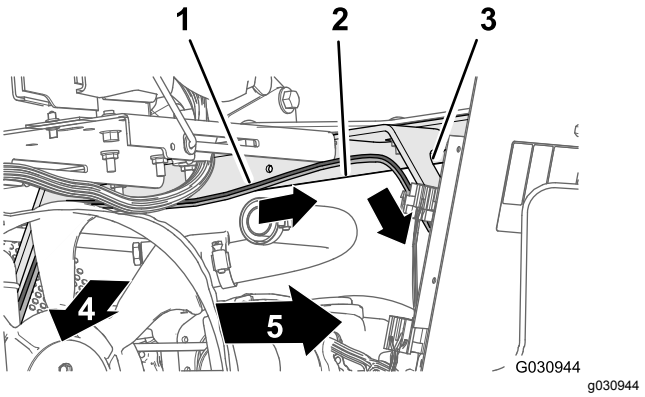


図 115

1. 108 cm の枝線後方ワイヤハーネス
2. シートボックスのアングル部材
3. エンジンシュラウドのサポート左側
4. 機体前方
5. 機体の左側

3. ワイヤハーネスの 108 cm の枝線を、エンジンシュラウドの左側サポートに沿って下へ進め、左側フレームチューブの下まで導く図 116。

   注 この 108cm の枝線の最終的な固定は ナビゲーション用電装ハーネスをバッテリーへ導く (ページ 74)で行います。

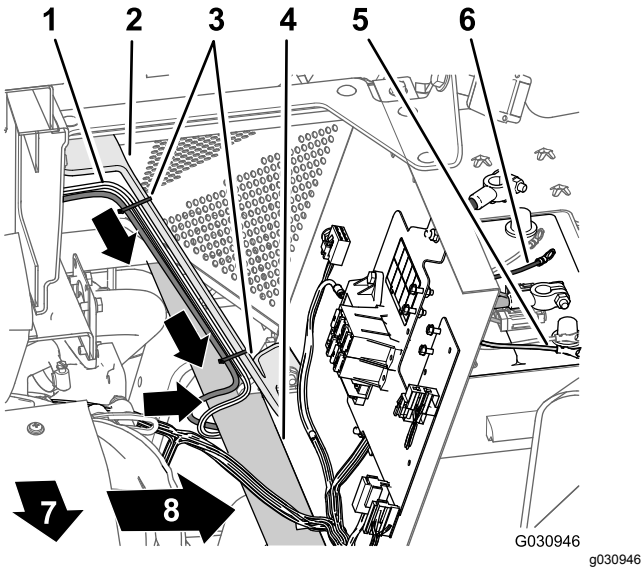


図 116

1. 165cm の枝線後方ワイヤハーネス
2. エンジンシュラウドのサポート左側
3. ケーブルタイ
4. 左側フレームチューブ
5. マイナス端子黒ワイヤ108cm の枝線後方ワイヤハーネス
6. プラス端子赤ワイヤ108cm の枝線後方ワイヤハーネス
7. 機体の左側
8. 車体前方

4. ワイヤハーネスの 108cm の枝線についている 50 A ヒューズ、プラス端子、マイナス端子を、バッテリー上部まで導く図 116。

   注 リング端子の最終的な接続は 後方ハーネスとナビゲーション用電装ハーネスをバッテリーケーブルに接続する (ページ 77)で行います。

22

新しいセンターブームを準備する

この作業に必要なパーツ

1	外側ブームのトラススレーム左側ブーム長いブーム
1	中央ブームのトラススレーム中央ブーム短いブーム
1	外側ブームのトラススレーム右側ブーム長いブーム
4	フランジヘッドねじ⅜ x 1”
	フランジロックナット3/8"
1	下部クレードルアセンブリ

センターブームのトラスを取り付ける

1. センターブームのトラスフレームの垂直フランジについている穴を、左または右のブームのトラスフレームの穴に合わせる図 117。

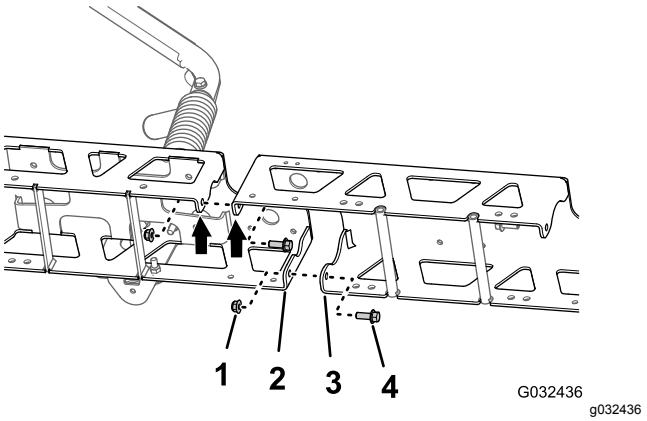


図 117

1. フランジロックナット⅜"
2. 垂直フランジ右または左ブームのトラスフレーム
3. 垂直フランジ中央ブームのトラスフレーム
4. フランジヘッドボルト⅜ x 1"

2. センターブームエクステンションをトラスフレームに仮組み付けする図 117フランジヘッドボルト (⅜ x 1") 2本とフランジロックナット⅜"を使用する。
3. センターブームのトラスフレームの垂直フランジについている穴を、右または左ブームのトラスフレームの穴に合わせる図 117。
4. センターブームエクステンションをトラスフレームに仮組み付けする図 117フランジヘッドボルト (⅜ x 1") 2本とフランジロックナット⅜"を使用する。
5. シリンダマウントの穴を、中央ブーム用トラスフレームのセンターラインの穴に合わせる図 118。

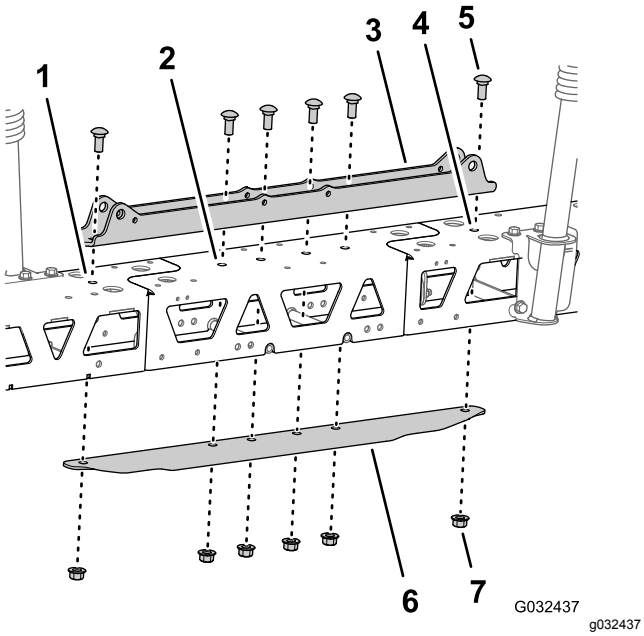


図 118

1. 左側トラスフレーム
2. 中央トラスフレーム
3. シリンダマウント幅広
4. 右側トラスフレーム
5. キャリッジボルト½ x 1¼"
6. スティフナチャネル幅広
7. フランジロックナット½"

6. スティフナチャネルを、中央および右または左トラスフレームの中に入れ、スティフナチャネルの穴を、中央トラスフレームセンターラインの穴に合わせる図 118。
7. シリンダマウント、トラス、中央ブームエクステンション、スティフナチャネルの組み付けを行うステップ3 スプレーヤのノズルを取り外す (ページ 37)で外したキャリッジボルト½ x 1¼"2本とフランジロックナット½"2個と、ジオリンクスプレーシステム仕上げキットに入っているキャリッジボルト½ x 1¼"4本とフランジロックナット (½") 4個を使用する図 118。
8. フランジヘッドボルトとフランジロックナット⅜"を 37-45 N·m 3.7-4.6 kg.m = 27-33 ft-lb にトルク締めする。
9. フランジロックナット½"を、91-113 N·m 9.3-11.5 kg.m = 67-83 ft-lbにトルク締めする。

新しいセンターブームにノズルを取り付ける

1. 適当な吊り上げ装置を使って、新しいセンターブームを作業しやすい高さまで吊り上げる。
2. ステップ1 スプレーヤのノズルを取り外す (ページ 37)で取り外した3個のノズル全部について片側または両側バーブ付きホースシャンク¾"とそのクランプの上半分とを各ノズルのボディに固定しているステンレスねじ#12 x 1-¼"を外してバーブ付きホースシャンクをから外す図 119。

注 クランプを分離する時に上側クランプから外れてくる六角ヘッドボルト5/16 x ¾"—ステンレスは再利用しますから捨てないでください。

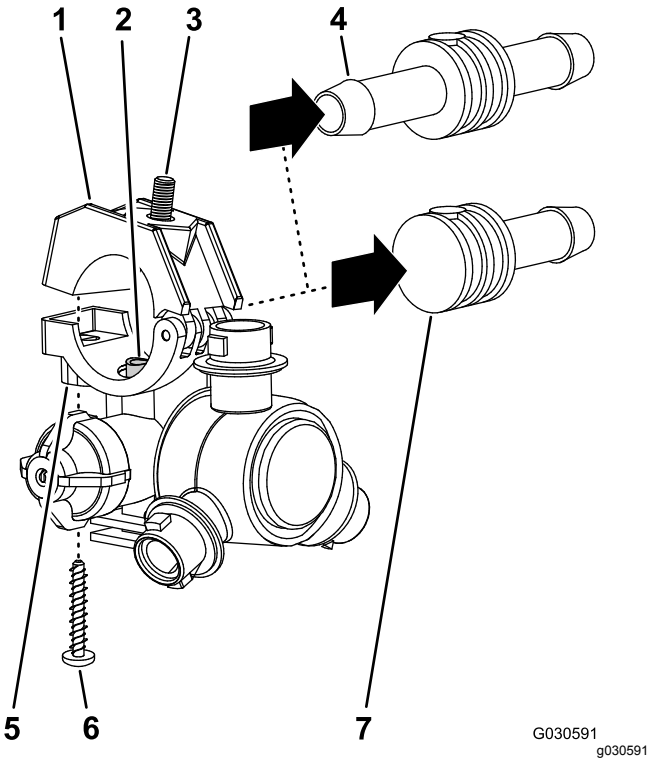


図 119

1. クランプの上半分
2. トランスファチューブ
3. 六角ヘッドボルト5/16 x ¾"ステンレス
4. 両側バーブ付きホースシャンク¾"
5. サドルスプレーノズルのボディ
6. ステンレスねじ#12 x 1¼"
7. 片側バーブ付きホースシャンク¾"

3. センターブームで、ノズルのサドルに付いているトランスファチューブ図 120と図 121を、片側バーブ付きホースシャンク1/2"の側面の穴に合わせる。

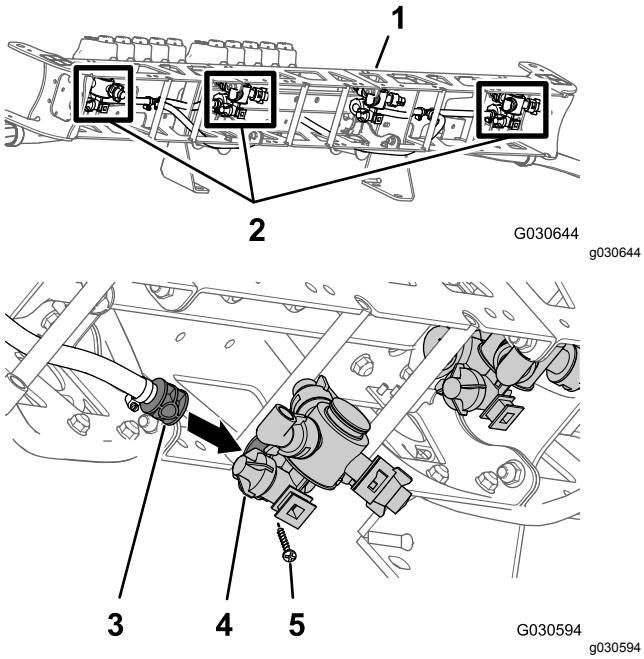


図 120

1. センターブーム新しいもの
2. ノズル古いセンターブームから取り外したもの
3. 片側バーブ付きホースシャンク½"
4. スプレーノズルのボディ
5. ステンレスねじ#12 x 1¼"

4. バーブ付きホースシャンクにホースクランプの上半分をセットし、クランプとノズルボディ図 121を、ステンレスねじ#12 x 1-¼"で固定する。

   注 クランプの上半分のくぼみに六角ヘッドボルト5/16 x 3/4"がきちんとはまっていることを確認してください。

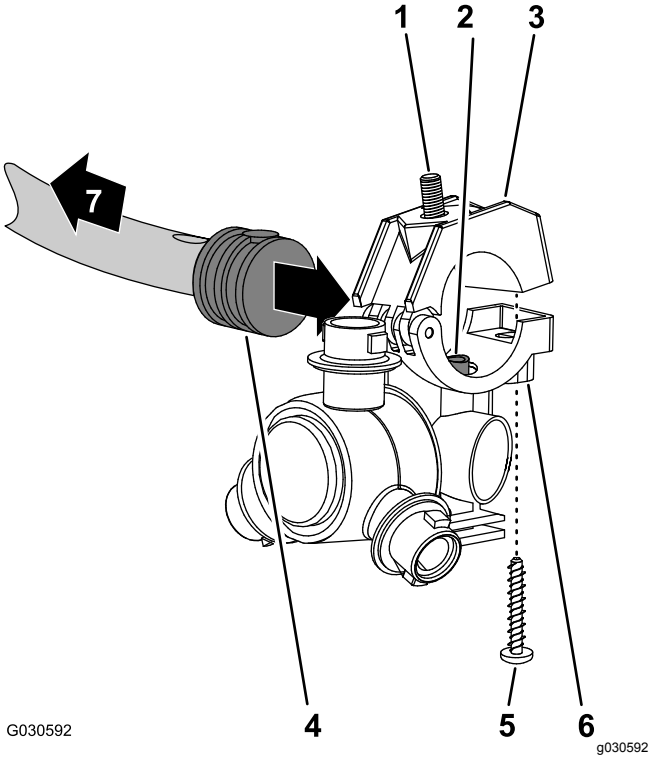


図 121

1. 六角ヘッドボルト5/16 x ¾"ステンレス
2. トランスファチューブ
3. クランプの上半分
4. 片側バーブ付きホースシャンク½"
5. ステンレスねじ#12 x 1¼"
6. スプレーノズルのボディ
7. ブームへ

5. ノズルマウントにノズルを組み付ける図 79ステップ2 スプレーヤのノズルを取り外す (ページ 37)で外したフランジロックナット5/16"を使用する。
6. フランジロックナットを、1978 2542N·cm 2.02.6kg.m = 175225in-lbにトルク締めする。
7. マシンの反対側の2つのノズルと2つの片側バーブ付きホースシャンク½"についても 3-6 の作業を行う。

センターブームにクレードルを取り付ける

1. ステップ 3 ブームクレードルを取り外す (ページ 36)で取り外した右側ブームクレードル用取り付けブラケットの穴を、新しいセンターブームの表裏両側シリンダマウントの右側の穴に合わせる図 122。

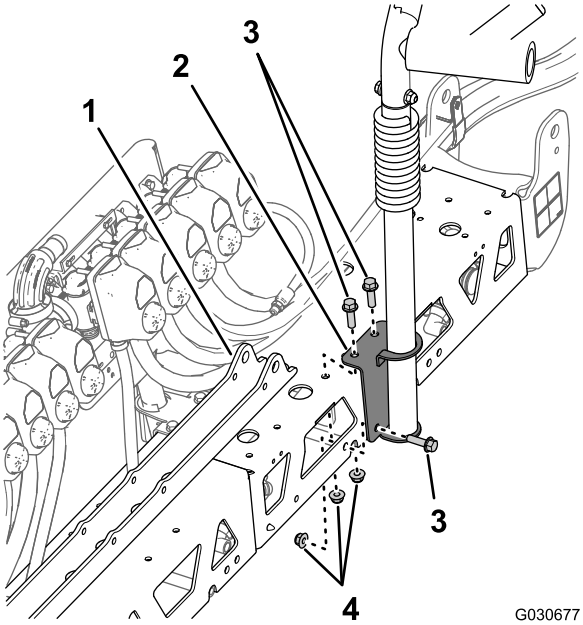


図 122

1. シリンダマウント
2. 取り付けブラケット右側クレードルアセンブリ
3. フランジヘッドボルト3/8 x 1-¼")
4. フランジロックナット

2. 右側ブーム用クレードルアセンブリをセンターブームに取り付けるステップ 3 ブームクレードルを取り外す (ページ 36)で取り外したフランジヘッドボルト3/8 x 1-¼"3本とフランジロックナットを使用する。
3. ボルトとナットを 37 45N·m 3.7 4.6kg.m = 27 33ft-lbにトルク締めする。
4. 新しい左下部ブームクレードルの取り付けブラケットの穴を、新しいセンターブームの上と前側マニホルドマウントの左側の穴に合わせる図 123。

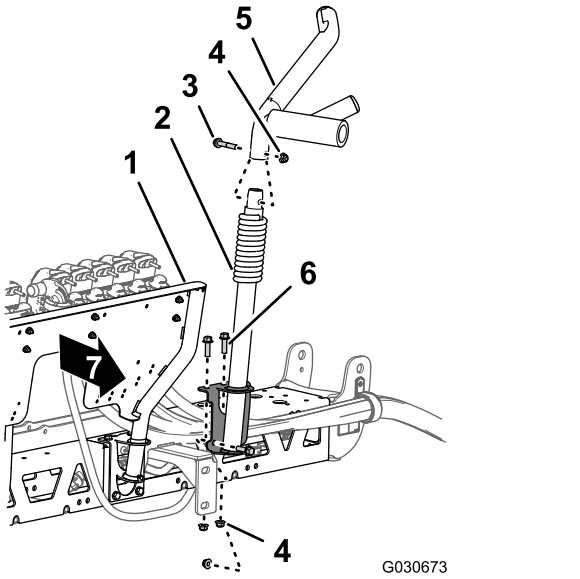


図 123

1. マニホルドマウントバルブ10個の構成
2. 下部クレードルアセンブリ
3. フランジヘッドボルト3/8 x 2"
4. フランジロックナット3/8"
5. 上部クレードルアセンブリ
6. フランジヘッドボルト3/8 x 1-¼")
7. 新しいセンターブームの前部

5. ブームクレードルをセンターブームに取り付けるステップ 2 ブームクレードルを取り外す (ページ 36)で取り外したフランジヘッドボルト3本とフランジロックナット3個を使用する。
6. 左下部クレードルで、ステップ 1 ブームクレードルを取り外す (ページ 36)で取り外した上部クレードルを、下部クレードル図 123に取り付けるフランジヘッドボルト3/8 x 2"とフランジロックナット3/8"を使用する。
7. ステップ 1 ブームクレードルを取り外す (ページ 36)で取り外した左上部クレードルを、下部クレードルに取り付けるフランジヘッドボルト3/8 x 1-¼"3本とフランジロックナット3/8"を使用する。
8. ボルトとナットを 37 45N·m 3.7 4.6kg.m = 27 33ft-lbにトルク締めする。

23

新しいセンターブームを取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

吊り上げ装置に必要な能力: 102kg

1. 所定の能力のある吊り上げ装置を使ってセンターブームを吊り上げ、サポートブラケットについているブーム用の穴を、車両のフレームの取り付けチャネル部材の3番目と6番目の穴に合わせる図 104。

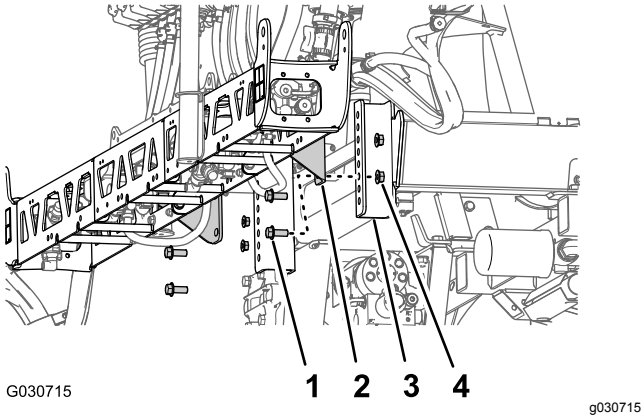


図 124

1. フランジヘッドボルト½ x 1-¼")
2. サポートブラケット10バルブ構成用のセンターブーム
3. 取り付け用チャネル部材スプレーヤのフレーム
4. フランジロックナット½"

2. センターブームを取り付け用チャネル部材に組み付けるステップ 3 センターブームを取り外す (ページ 38)で取り外したフランジヘッドボルト½ x 1-¼"4本とフランジロックナット½"4個を使用する。
3. ボルトとナットを91 113N·m9.3 11.5kg.m = 67 83ft-lb にトルク締めする。

24

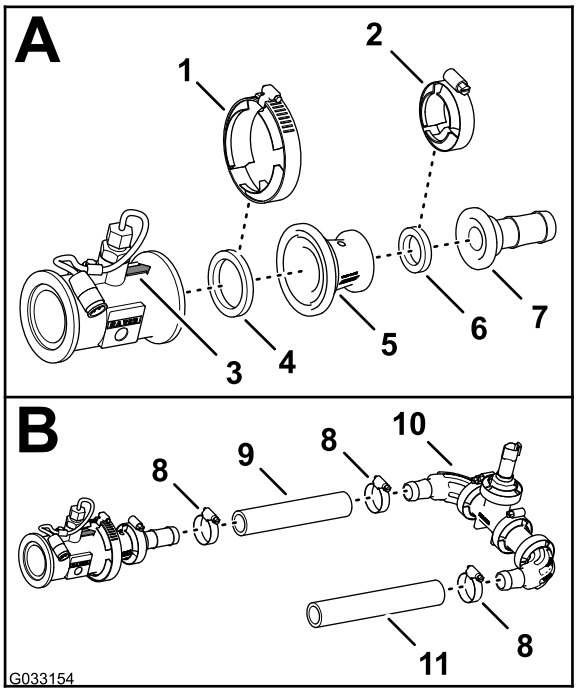
フローメータと水圧トランスデューサを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	フローメータ
2	フランジクランプ 76mm3"
2	ガスケット外径 2-¼"
2	縮径アダプタ
1	フランジクランプ 51mm2"
1	ガスケット外径 1-5/16"
1	バーブ付きフランジフィッティング1"
1	ホース1 x 7-¼"
4	ホースクランプ
1	水圧トランスデューサとマニホルド
1	ホース1 x 8-½"
1	R クランプ
1	フランジヘッドボルト5/16 x ¾"
1	フランジロックナット5/16"

フローメータと水圧トランスデューサを組み立てる

1. ガスケット2-¼"と縮径アダプタを、フローメータの矢印の先端側に取り付ける図 125。



g033154

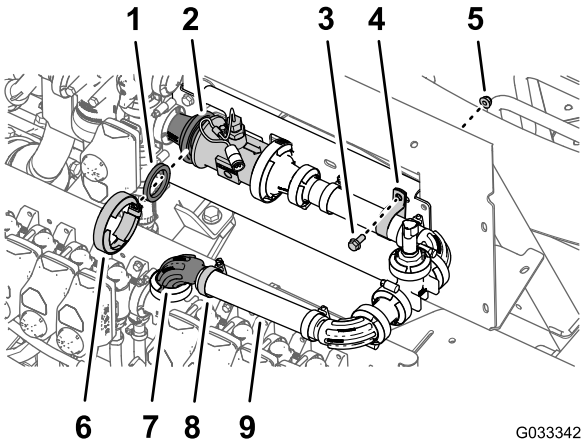
図 125

1. フランジクランプ 76mm3"
2. フランジクランプ 51mm2"
3. 方向矢印
4. ガスケット外径 2-¼"
5. 縮径アダプタ
6. ガスケット外径 1-5/16"
7. バーブ付きフランジフィッティング 1"
8. ホースクランプ
9. ホース1 x 7-¼"
10. 水圧トランスデューサとマニホルド
11. ホース1 x 8-½"

2. フランジクランプ76mmを使って、フローメータ、ガスケット、縮径アダプタ図 125を固定する。
3. ガスケット2-¼"とバーブ付きのホースフィッティングを、縮径アダプタにセットする図 125。
4. フランジクランプ51mm = 2"を使って、バーブ付きフランジフィッティング、ガスケット、縮径アダプタ図 125を固定する。
5. 図 125に示すように、水圧トランスデューサとマニホルドのバーブ付きエルボフィッティングに組み付ける。
6. ホースクランプ2個を使って、ホースとバーブ付きフィッティングを固定する図 125。
7. 図 125に示すように、水圧トランスデューサとマニホルドのもう一方のバーブ付きエルボフィッティングに、ホース1 x 8-½"を組み付ける。
8. ホースとバーブ付きフィッティングをホースクランプで固定する図 125。

フローメータと水圧トランスデューサを機体に取り付ける

1. フローメータと縮径アダプタマスターコントロールバルブの右側に取り付けられているの間にガスケット2-1/4"を合わせる図 126。



g033342

図 126

1. ガスケット外径 2-¼"
2. 縮径アダプタとフローメータのフランジ
3. フランジヘッドボルト5/16 x ¾"
4. R クランプ
5. フランジロックナット5/16"
6. フランジクランプ 76mm3"
7. 90°フランジ付きフィッティング 1"
8. ホースクランプ
9. ホース1 x 8-½"

2. ガスケット、フローメータ、縮径アダプタ図 126を、フランジクランプ76mmで仮組みする。
3. ホースクランプを使って、ホース1 x 22cmの端部を、を 90°フランジフィッティングに仮組み付けする図 126。
4. 水圧トランスデューサとマニホルドを固定するRクランプ、フランジヘッドボルト5/16 x ¾"とフランジロックナット5/16"を使用して図 126のように取り付ける。
5. ステップ 2と4で仮組みしたフランジクランプとホースクランプを本締めする。

25

ブーム昇降シリンダを取り付ける

この作業に必要なパーツ

4	油圧ホース ¼ x 24¾"

ブーム昇降マニホルドを取り付ける

1. ステップ 3 昇降シリンダマニホルドとサポートブラケットを外す (ページ 36)で取り外したブーム昇降マニホルド用サポートブラケットの穴を、新しいセンターブームのシリンダマウントに合わせる図 127。

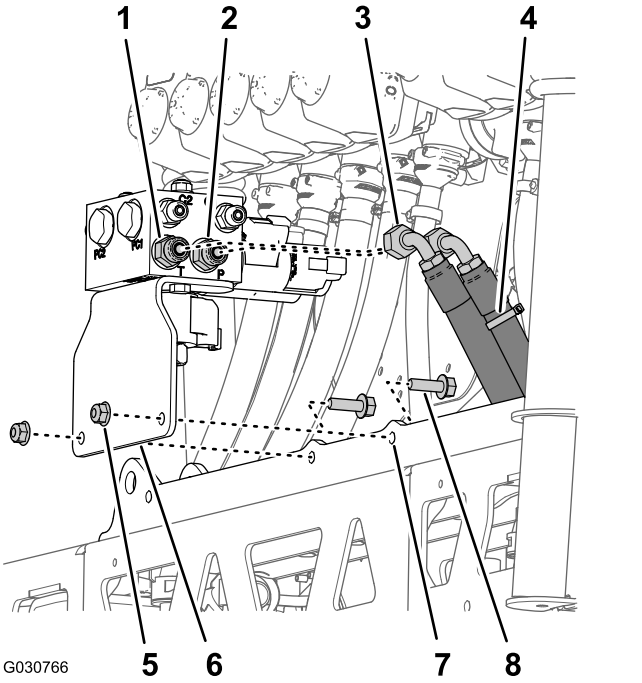


図 127

1. ストレートフィッティングポートT
2. ストレートフィッティングポートP
3. 戻り側油圧ホース
4. 高圧側油圧ホースケーブルタイでマーキングしたもの
5. フランジロックナット5/16"
6. サポートブラケットとブーム昇降マニホルド
7. シリンダマウント
8. フランジヘッドボルト5/16 x 1"

2. サポートブラケットをシリンダマウントに取り付ける図 127ステップ 昇降シリンダマニホルドとサポートブラケットを外す (ページ 36)で取り外したフランジヘッドボルト5/16 x 1"2本とフランジロックナット5/16"を使用する。
3. ボルトとナットを19782542N·cm2.02.6kg.m = 175225in-lbにトルク締めする。
4. 高圧側油圧ホースケーブルタイでマーキングしたものを、ブーム昇降マニホルドのポートPに接続する図 127。
5. 戻り側油圧ホースを、ブーム昇降マニホルドのポートTに接続する図 127。
6. 各ホースのスイベルナットを3745N·m3.74.6kg.m = 2733ft-lb にトルク締めする。

昇降シリンダを組み立てる

1. ステップ 4 昇降シリンダを取り外す (ページ 34)で取り外した昇降シリンダの固定側端部を、シリンダマウントの 16mm の穴にセットする図 128。

   注 延びる側のポートと縮む側のポートを間違えないように整列させてください。

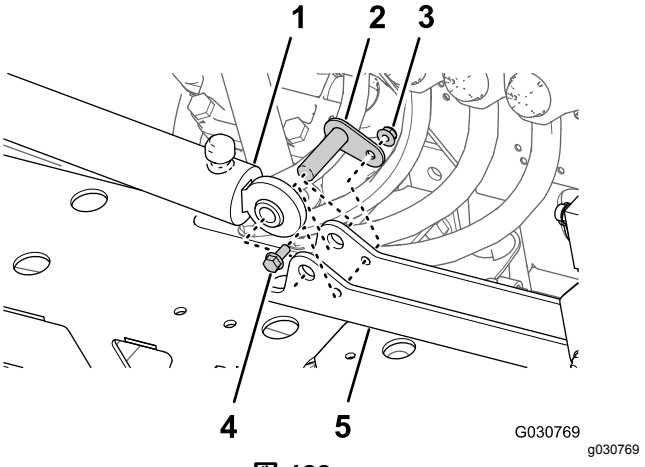


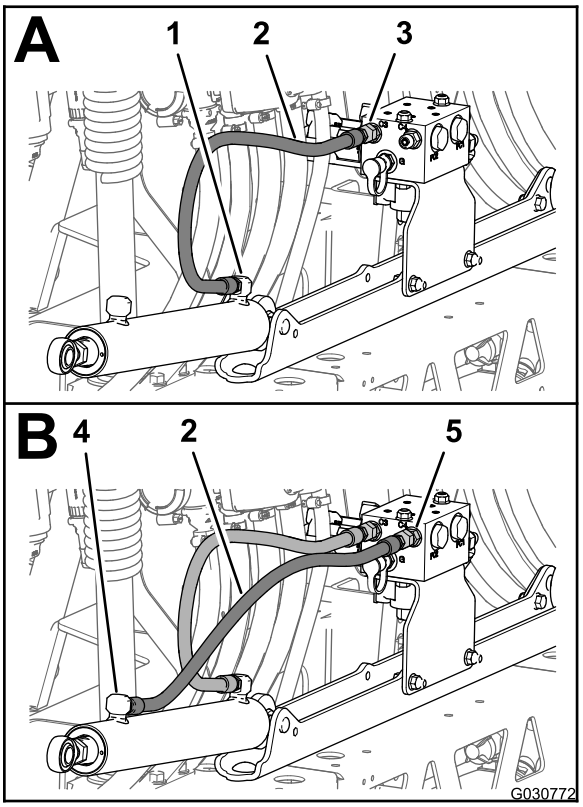
図 128

1. 昇降シリンダ固定側
2. ピボットピン
3. フランジロックナット5/16"
4. フランジヘッドボルト5/16 x ¾"
5. シリンダマウント

2. シリンダをマウントに組み付けるピボットピン、フランジヘッドボルト、フランジナットを使用する図 128。
3. ボルトとナットを 1978-2542 N·cm2.0-2.6 kg.m = 175-225 in-lbにトルク締めする。
4. 機体の反対側の昇降シリンダについても 1-3 の作業を行う。

昇降シリンダホースを取り付ける

1. 左側ブーム昇降シリンダの延長動作用ポートとブーム昇降マニホルドのポート C3 との間に、新しい油圧ホース¼ x 24¾"を仮止めする図 129。

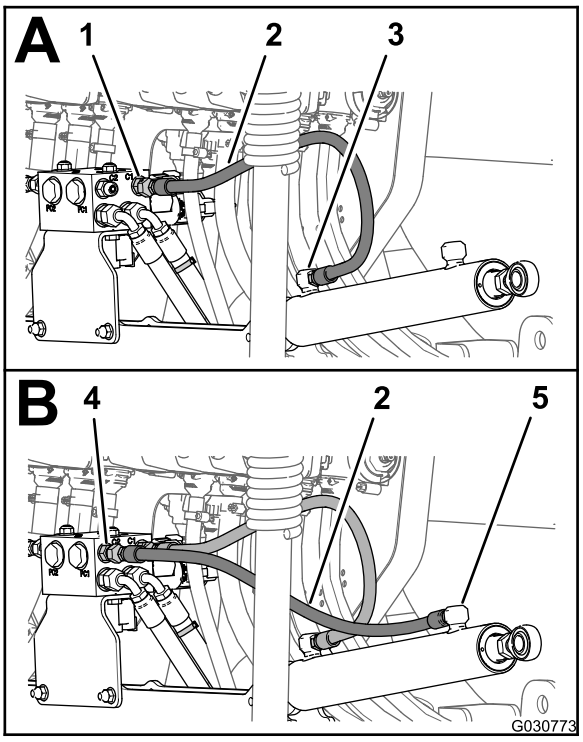


g030772

図 129

1. 延長動作用ポート左側ブーム昇降シリンダ
2. 油圧ホース ¼ x 24¾"
3. ポート C3ブーム昇降マニホルド
4. 引き込み側ポート左側ブーム昇降シリンダ
5. ポート C4ブーム昇降マニホルド

2. 左側ブーム昇降シリンダの収縮動作用ポートとブーム昇降マニホルドのポート C4 との間に、新しい油圧ホース¼ x 24¾"を仮止めする図 129。
3. 右側ブーム昇降シリンダの延長動作用ポートとブーム昇降マニホルドのポート C1 との間に、新しい油圧ホース¼ x 24¾"を仮止めする (図 130。



g030773

図 130

1. ポート C1ブーム昇降マニホルド
2. 油圧ホース ¼ x 24¾"
3. 延長動作用ポート右側ブーム昇降シリンダ
4. ポート C2ブーム昇降マニホルド
5. 収縮動作用ポート右側ブーム昇降シリンダ

4. 右側ブーム昇降シリンダの収縮動作用ポートとブーム昇降マニホルドのポート C2 との間に、新しい油圧ホース1/4 x 24-3/4"を仮止めする図 130。
5. 昇降シリンダの延長動作用および収縮動作用のポートのホースフィッティング図 129 と 図 130を2126N·m2.12.6kg.m = 1519ft-lb にトルク締めする。
6. 昇降マニホルドのホースのスイベルナット図 129 と 図 130を2430N·m2.43.0kg.m = 1722ft-lbにトルク締めする。

26

左右のブームを取り付ける

この作業に必要なパーツ

4	ナイロン製フランジブッシュ

バンパーを取り付ける

1. ステップ4 ブームクレードルを取り外す (ページ 36)で取り外したバンパー用のねじ山付きスタッ

ドを、センターブームの上部プレートの端部にある真ん中の穴に通す図 131。

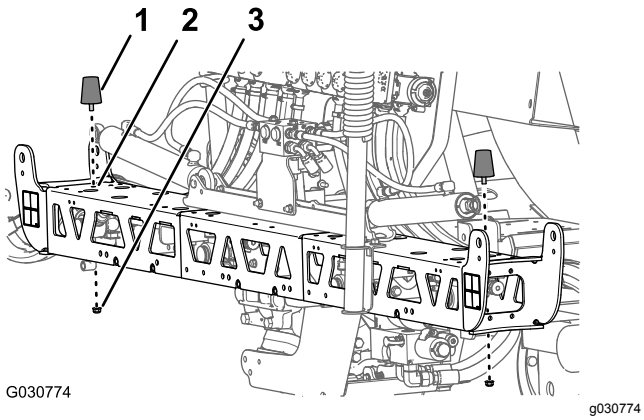


図 131

1. バンパー
2. 真ん中の縦穴前から後ろセンターブームの端部の上部プレートのところ
3. フランジロックナット5/16"

2. センターブームにバンパーを固定する4 ブームクレードルを取り外す (ページ 36)で外したフランジロックナット5/16"を使用する。

左右のブームからスプレーノズルを外す

1. ふたつのノズルの間でホースを切断する図 132。

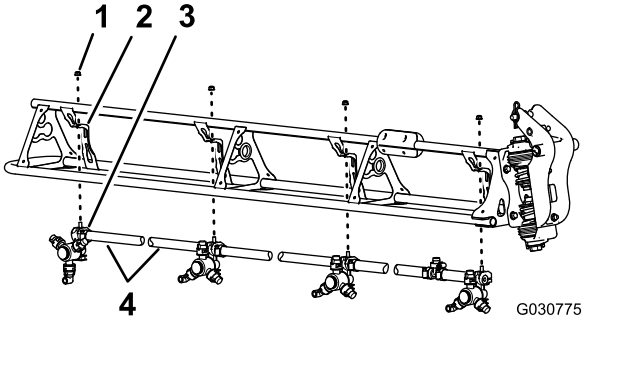


図 132

1. フランジロックナット5/16"
2. ノズルサポート
3. スプレーノズル
4. ホース内径 ¾"

2. ノズルをノズルサポートに固定しているフランジロックナット5/16"を外す図 132。
3. 他の3個のノズルについても、上記の手順2と1を行う。

注 外したフランジロックナットとノズルは 左右ブームの散布ノズルを取り付ける (ページ 64)で使用しますので捨てないでください。

注 機体から外したホース、クランプ、T字フィッティングは廃棄してください。

4. 反対側のブームについても、23の作業を行う。
5. ステップ1で取り外した8個のノズル全部について片側または両側バーブ付きホースシャンク3/4"とそのクランプの上半分とを各ノズルのボディに固定しているステンレスねじ#12 x 1-1/4"を外してバーブ付きホースシャンクをから外す図 133。

注 クランプを分離する時に上側クランプから外れてくる六角ヘッドボルト5/16 x 3/4"—ステンレスは再利用しますから捨てないでください。

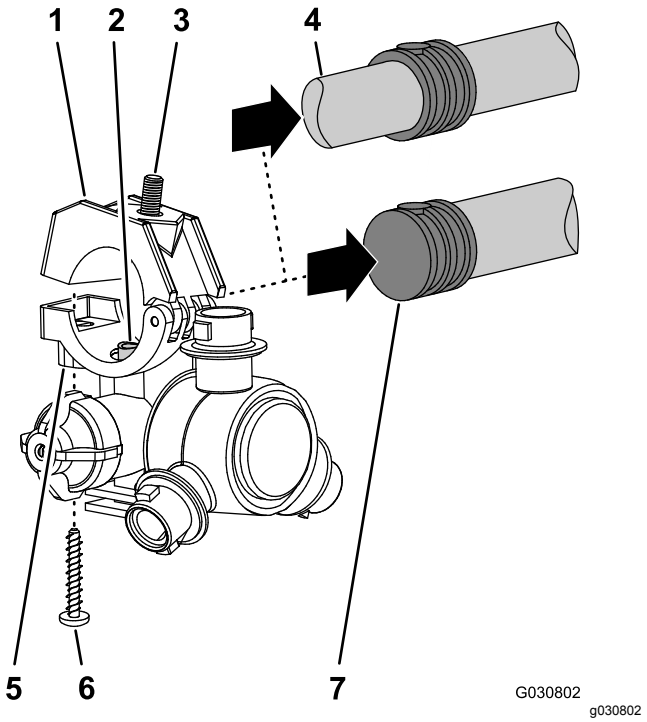


図 133

1. クランプの上半分
2. トランスファチューブ
3. 六角ヘッドボルト5/16 x ¾"ステンレス
4. 両側バーブ付きホースシャンク¾" ホース
5. スプレーノズルのボディ
6. ステンレスねじ#12 x 1¼"
7. 片側バーブ付きホースシャンク¾" ホース

左右のブームを機体に取り付ける

吊り上げ装置に必要な能力: 91kg

1. 所定の能力のあるホイストなどを使って、左または右のブームを吊り上げる。
2. ピボットフィッティングの両側にある 31.8mm の穴に、ナイロン製のフランジブッシュを入れる図 134 。

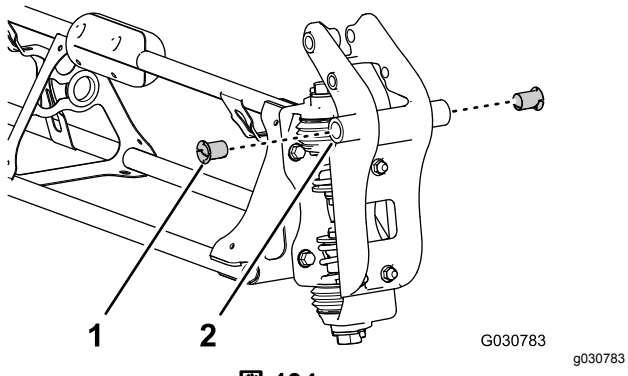


図 134

1. ナイロン製フランジブッシュ
2. ピボットフィッティング 左右ブーム

3. ブッシュを、センターブームの端部にあるピボットブラケットのフランジについている穴に合わせる図 135。

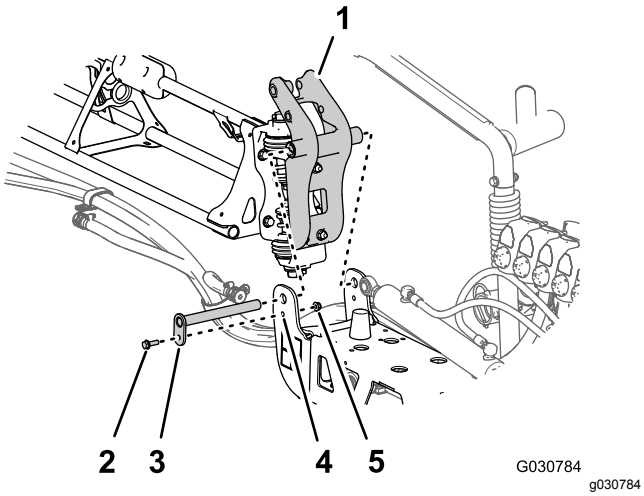


図 135

1. ピボットフィッティング 左右ブーム
2. フランジボルト5/16 x 1"
3. ピボットピン
4. ピボットブラケットセンターブーム
5. フランジロックナット5/16"

4. ピボットフィッティングをピボットブラケットに取り付けるステップ 1と216 ブームを取り外す (ページ 34)で取り外したピボットピン、フランジボルト5/16 x 1"とフランジロックナット5/16"を使用する。
5. ボルトとナットを 19.78-25.42 N·m2.0-2.6 kg.m = 175-225 in-lbにトルク締めする。
6. 昇降シリンダのロッドの先端を、ピボットフィッティングのホーンツノの穴25mmに合わせる図 136。

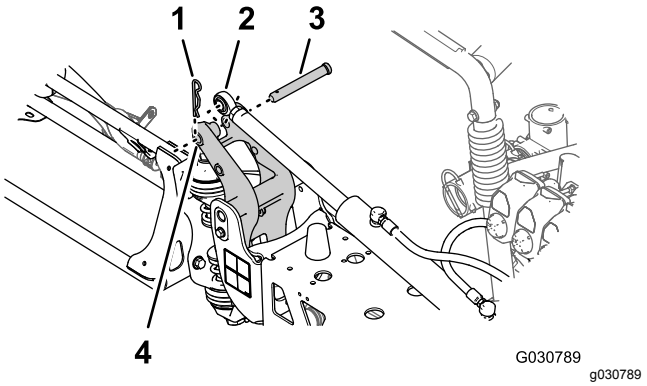


図 136

1. ヘアピン
2. ロッドの先端昇降シリンダ
3. クレビスピン
4. 25mm の穴 — ピボットフィッティングのホーン

7. 昇降シリンダをピボットフィッティングに固定する クレビスピンとヘアピン図 136ステップ3 昇降シリンダを取り外す (ページ 34)で外したものを使用する。
8. 機体の反対側の外側ブームにも、ステップ 17 の作業を行う。

27

散布ノズル用ホースを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	給液ホースアセンブリ279cm
2	給液ホースアセンブリ234cm
4	給液ホースアセンブリ188cm
2	給液ホースアセンブリ81cm

各散布ノズル用ホースの取り付け位置を確認する

各ホースの取り付け位置をホースの長さで確認する図 137

ホース取り付け位置確認表

ノズルの位置左ブーム	ノズルの位置センターブーム	ノズルの位置右ブーム
散布ノズル 1ノズルバルブ 1給液ホース 279cm	散布ノズル と6ノズルバルブ 5給液ホース 81cm枝ホース本付き	散布ノズル 9ノズルバルブ 7給液ホース 188cm
散布ノズル 2ノズルバルブ 2給液ホース 234cm	散布ノズル 7と8ノズルバルブ 6給液ホース 81cm枝ホース本付き	散布ノズル 10ノズルバルブ 8給液ホース 188cm
散布ノズル 3ノズルバルブ 3給液ホース 188cm		散布ノズル 11ノズルバルブ 9給液ホース 234cm
散布ノズル 4ノズルバルブ 4給液ホース 188cm		散布ノズル 12ノズルバルブ 10給液ホース 279cm

注 ノズルバルブの位置については 図 138 各ホースをノズルバルブ~4 番に取り付ける。 (ページ 62)、図 139 ホースをノズルバルブ5および6 番に取り付ける。 (ページ 62)、および図 140 各ホースをノズルバルブ7-10 番に取り付ける。 (ページ 63) を参照してください。

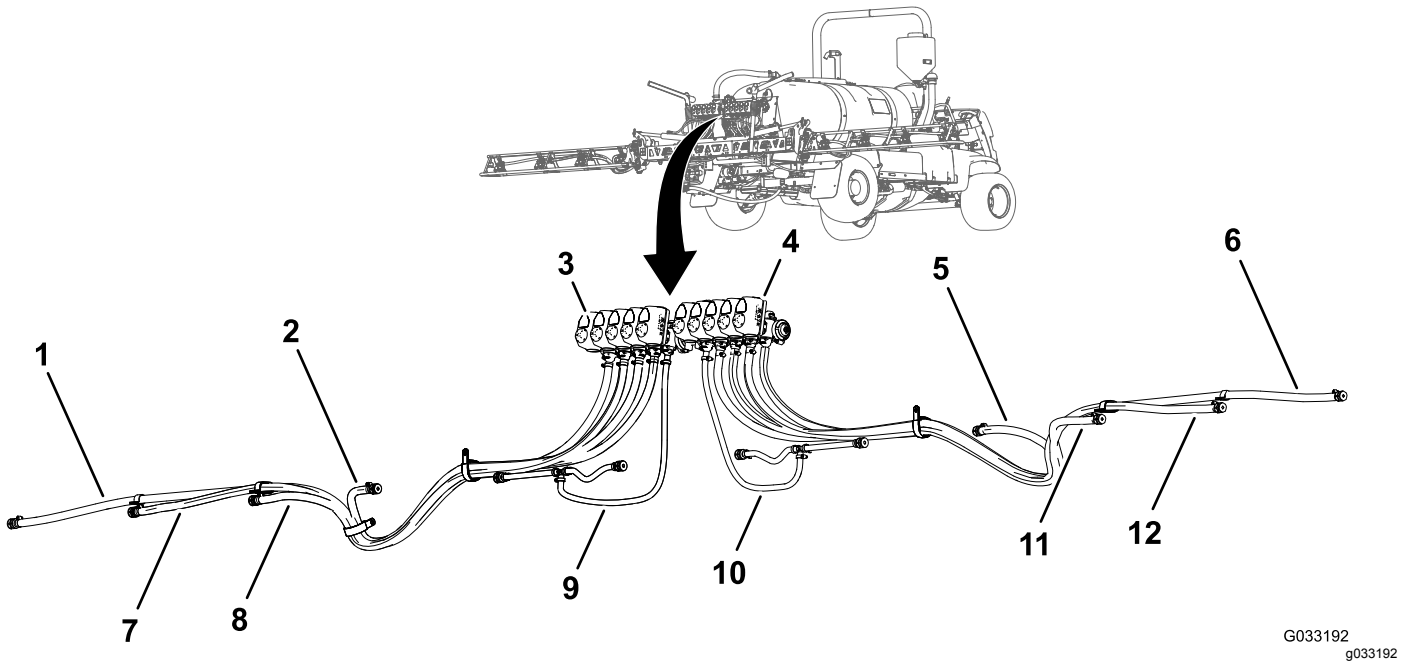


図 137

1. 給液ホース279cm散布ノズル
2. 給液ホース188cm散布ノズル4
3. ノズルバルブ 1番
4. ノズルバルブ 10番
5. 給液ホース188cm散布ノズル9
6. 給液ホース279cm散布ノズル12
7. 給液ホース234cm散布ノズル2
8. 給液ホース188cm散布ノズル3
9. 給液ホース81cm散布ノズルと6
10. 給液ホース81cm散布ノズル7と8
11. 給液ホース188cm散布ノズル10
12. 給液ホース234cm散布ノズル11

各ホースをノズルバルブ~4 番に取り付ける。

1. 給液ホース279cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ1番のカップラに組み付ける図 138。

   注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

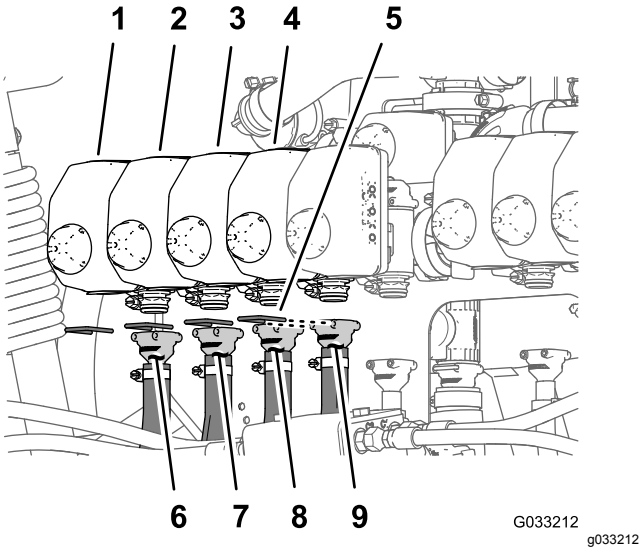


図 138

1. ノズルバルブ 1番
2. ノズルバルブ 2番
3. ノズルバルブ 3番
4. ノズルバルブ 4番
5. リテーナ
6. 給液ホースアセンブリ279cm
7. 給液ホースアセンブリ234cm
8. 給液ホースアセンブリ188cm
9. 給液ホースアセンブリ188cm

2. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 138。
3. 給液ホース234cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ2番のカップラに組み付ける図 138。

   注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。
4. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 138。
5. 給液ホース188cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ3番のカップラに組み付ける図 138。

   注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。
6. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 138。
7. 給液ホース188cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ4番のカップラに組み付ける図 138。

   注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。
8. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 138。

ホースをノズルバルブ5および6 番に取り付ける。

注 給液ホースアセンブリ81cmには T字フィッティング、枝ホース本、バーブ付きホースシャンク本が付きます。

1. 給液ホース81cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ5番のカップラに組み付ける図 139。

   注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

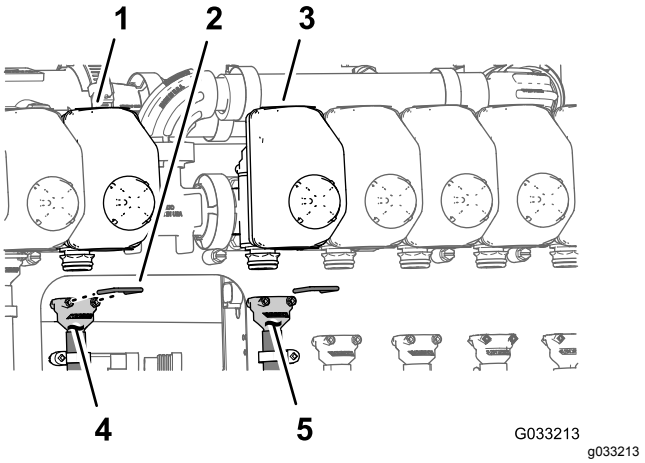


図 139

1. ノズルバルブ 5番
2. リテーナ
3. ノズルバルブ 6番
4. 給液ホースアセンブリ81cm
5. 給液ホースアセンブリ81cm

2. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 139。
3. 給液ホース81cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ6番のカップラに組み付ける図 139。

   注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。
4. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 139。

各ホースをノズルバルブ7-10 番に取り付ける。

1. 給液ホース188cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ7番のカップラに組み付ける図 140。

   注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

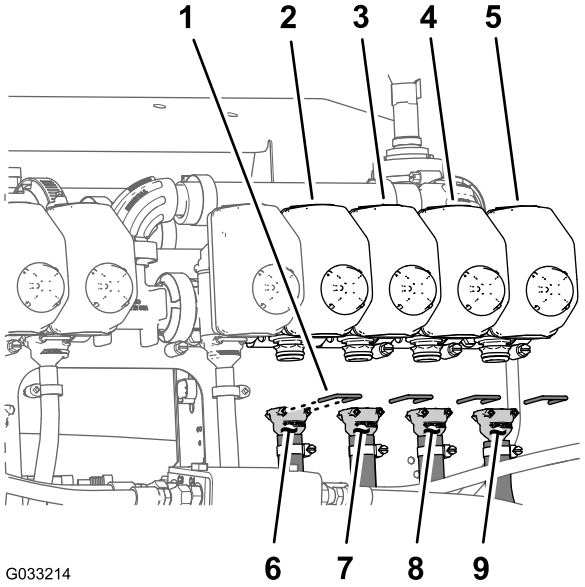


図 140

1. リテーナ
2. ノズルバルブ 7番
3. ノズルバルブ 8番
4. ノズルバルブ 9番
5. ノズルバルブ 10番
6. 給液ホースアセンブリ188cm
7. 給液ホースアセンブリ188cm
8. 給液ホースアセンブリ234cm
9. 給液ホースアセンブリ279cm

2. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 140。
3. 給液ホース188cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ8番のカップラに組み付ける図 140。

   注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

4. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 140。
5. 給液ホース234cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ9番のカップラに組み付ける図 140。

   注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

6. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 140。
7. 給液ホース279cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ10番のカップラに組み付ける図 140。

   注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

8. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 140。

給液ホースを散布ノズルへ配設する

1. 散布ノズル1、2、3、4番用のホースを、センターブームの左端にあるR クランプに通す図 141と図 142。

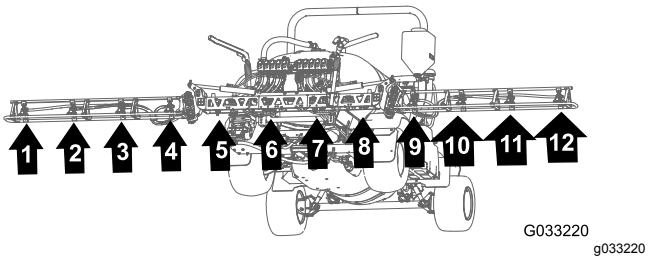


図 141

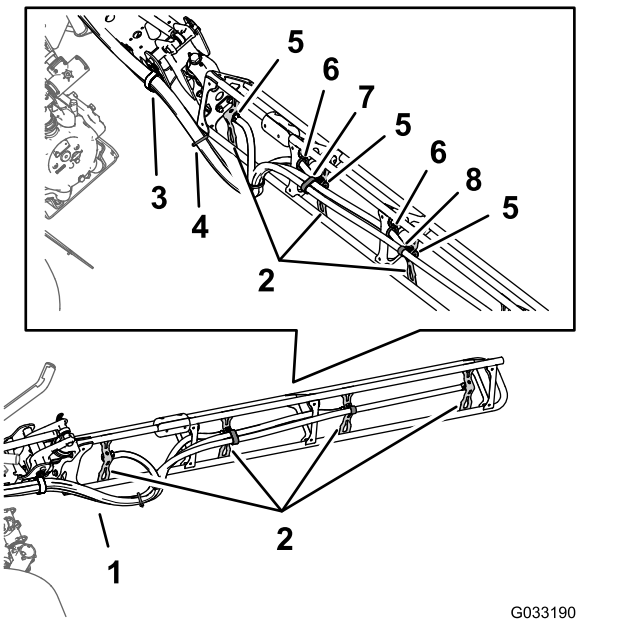


図 142

1. ホース
2. ノズルサポート
3. R クランプ
4. ケーブルタイ
5. 片側バーブ付きホースシャンク½"
6. グロメット
7. ダブル R クランプ
8. シングル R クランプ

2. 散布ノズル7、8、9、10番用のホースを、センターブームの右端にあるR クランプに通す図 141と図 142。

3. 図 141と図 142のように、給液ホース279cmとバーブ付きホースシャンク3/4"をブームに沿って散布ノズル-10番へ配設する。
4. 図 141と図 142のように、給液ホース234cmとバーブ付きホースシャンク3/4"をブームに沿って散布ノズル29番へ配設する。
5. 図 141と図 142のように、給液ホース188cmとバーブ付きホースシャンク3/4"をブームに沿って散布ノズル3番と8番へ配設する。

   注 各ホースを、チューブフレームブラケットの下側後部のグロメットに通す。
6. 図 141と図 142のように、給液ホース188cmとバーブ付きホースシャンク3/4"をブームに沿って散布ノズル4番と7番へ配設する。

   注 各ホースを、チューブフレームブラケットの下側後部のグロメットに通す。
7. 散布ノズル用のホース4本をケーブルタイで 図 142のようにまとめる。

左右ブームの散布ノズルを取り付ける

1. ノズルのサドルに付いているトランスファチューブ図 143を、片側バーブ付きホースシャンク½"の穴に合わせる。

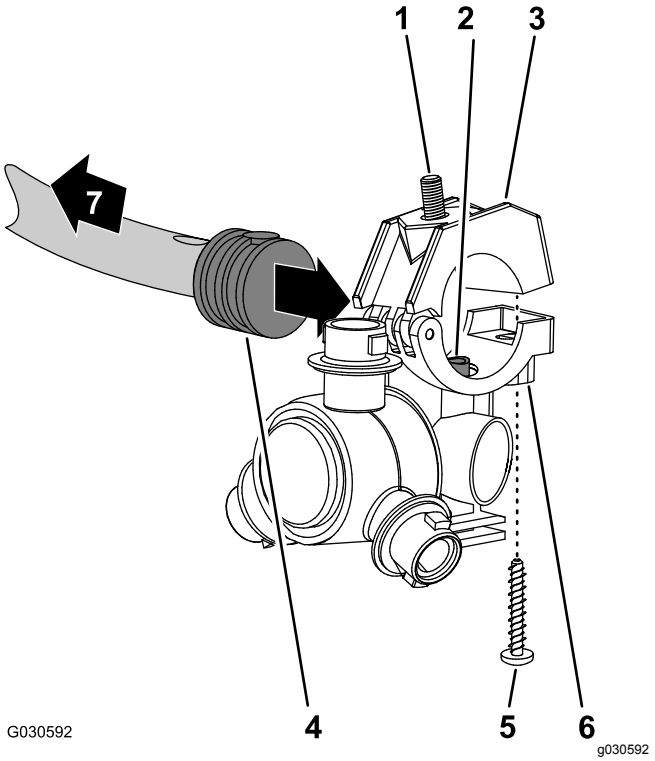


図 143

1. 六角ヘッドボルト5/16 x ¾"ステンレス
2. トランスファチューブ
3. クランプの上半分
4. 片側バーブ付きホースシャンク½"
5. ステンレスねじ#12 x 1¼"
6. スプレーノズルのボディ
7. ブームへ

2. バーブ付きホースシャンクにホースクランプの上半分をセットし、クランプとノズルボディ図 143を、ステンレスねじ#12 x 1-1/4"で固定し、14-18N·m 0.25-0.3kg.m = 20-25in-lbにトルク締めする。

   注 クランプの上半分のくぼみに六角ヘッドボルト5/16 x 3/4"がきちんとはまっていることを確認してください。
3. 以下の要領で、左右のブームにスプレーノズルを取り付ける
   - ノズル位置1番と4番で、ノズルマウントにノズルを組み付ける図 144のAステップ2 左右のブームからスプレーノズルを外す (ページ 59)で外したフランジロックナット5/16"を使用する。
   - ノズル位置2番と3番で、ノズルマウントにノズルを組み付ける図 144のAとBステップ2 左右ブームの散布ノズルを取り付ける (ページ 64)で外したフランジロックナット5/16"を使用する。

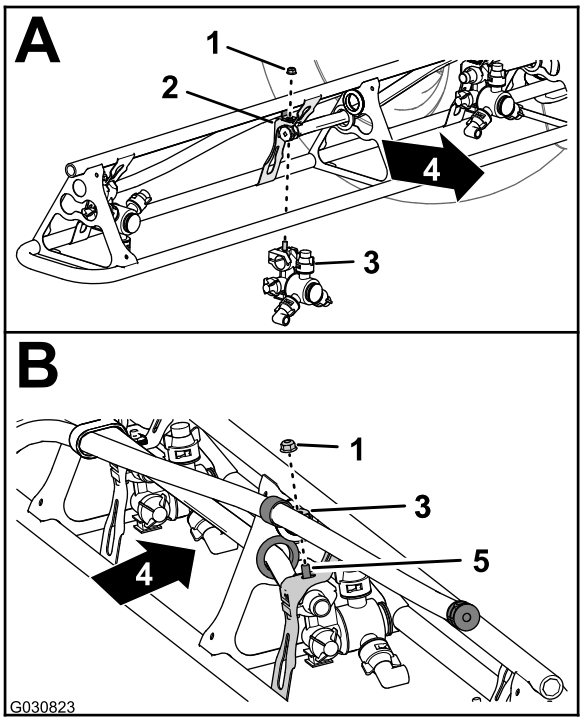


図 144

1. フランジロックナット5/16"
2. ノズルマウント
3. スプレーノズル
4. 機体後方
5. 六角ヘッドボルトステンレス5/16 x ¾"

4. フランジロックナットを、19.78-25.42 N·m 2.0-2.6 kg.m = 175-225 in-lbにトルク締めする。
5. 他のノズルについても、14の手順を行う。
6. 機体の反対側の外側ブームについても、15 の作業を行う。

28

ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを接続する

必要なパーツはありません。

ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを接続する

オプションのホースリールキットを搭載していない車両

1. ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブ樹脂チューブの口を、チューブカップラのロッキングカラーに合わせる図 145。

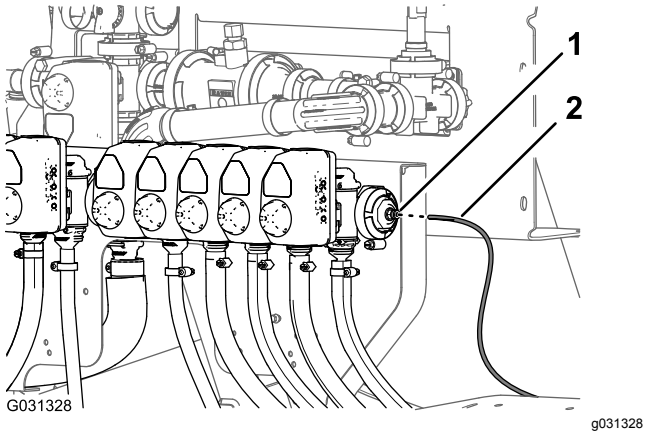


図 145

1. ロッキングカラーチューブカップラ
2. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用

2. 検知チューブをロッキングカラーに挿入して一番奥まで押し込む図 145。

水圧検知チューブを取り付ける

オプションのスプレーガンキットまたはオプションの収納式ホースリールキット

1. ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブ樹脂チューブの口を、チューブカップラのロッキングカラーに合わせる図 146と図 147。

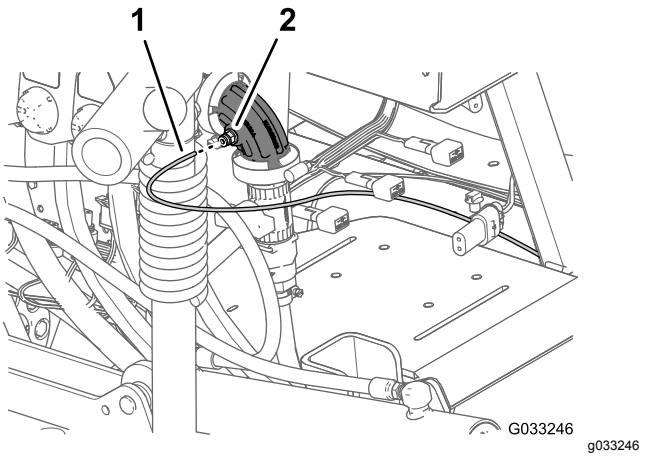


図 146

オプションのスプレーガンキット

1. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用
2. チューブカップラ90° エルボノズルバルブ 10

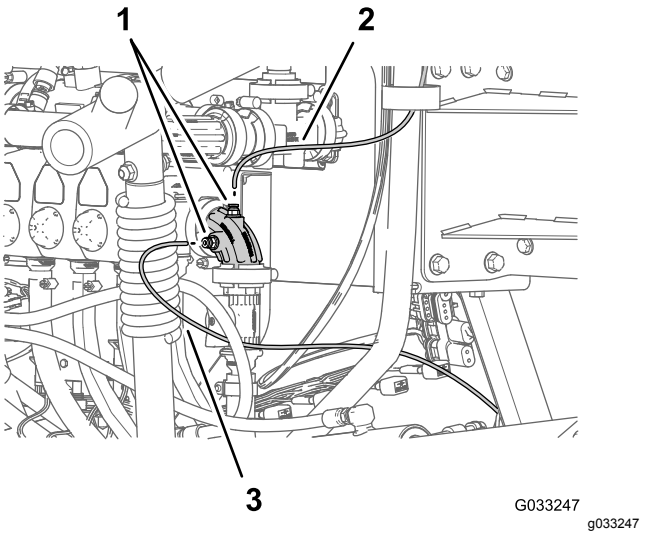


図 147

収納式ホースリールキットオプション

1. 水圧検知チューブ収納式リールの水圧計用
2. チューブカップラ90° エルボノズルバルブ 10
3. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用

2. 検知チューブをロッキングカラーに挿入して一番奥まで押し込む図 146と図 147。

29

ナビゲーション受信機を取り付ける

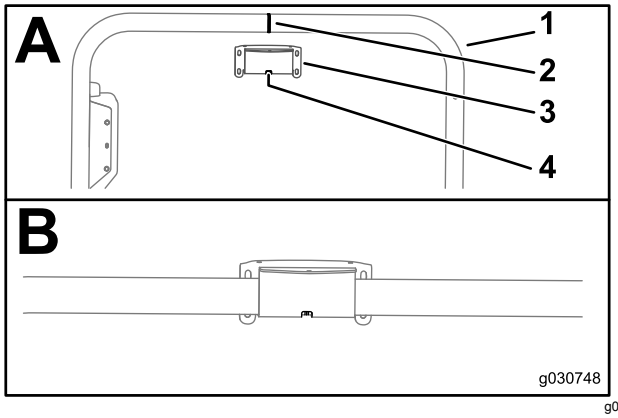
この作業に必要なパーツ

1	ナビゲーション受信機ジオリンク高精度散布システムキットモデル 41623
1	受信機用マウント
2	ボルト
1	RTK アンテナ用ブラケットIMUオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット
4	フランジロックナット⅜"
3	六角ヘッドボルト5 x 16mm
3	ワッシャ5mm
1	携帯電話アンテナオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット
1	同軸ケーブルオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット
1	シリアル番号ラベルX25 および X30 GeoLink® 高精度散布システム仕上げキット付属品)

ナビゲーション受信機を車体に組み付ける

1. 受信機用マウントの中央部にあるスロットを、ROPSのセンターライン溶接跡に合わせる図 148 。

   注 穴が2つあいている大きいフランジを ROPS の後方に向け、穴が1つの小さいフランジを前方に向けてください。

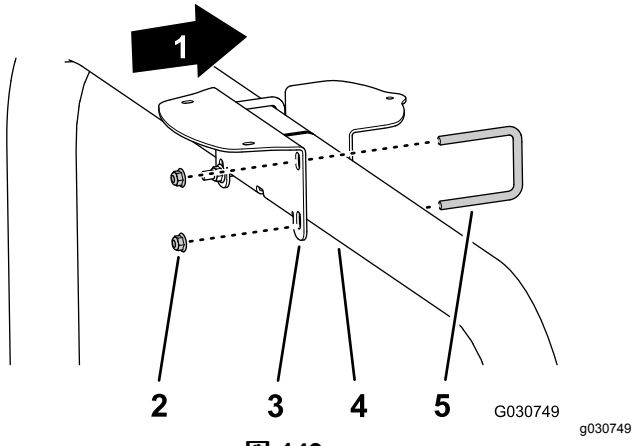


g030748

図 148

1. ROPSチューブ
2. 溶接跡ROPS
3. 受信機用マウント
4. スロット

2. 以下の要領で、受信機用マウントをROPSに取り付ける
   - WAASwide area augmentation system付きGNSS を搭載している機体では、U ボルト2本とフランジロックナット4個3/8 inchを使用する図 149 。

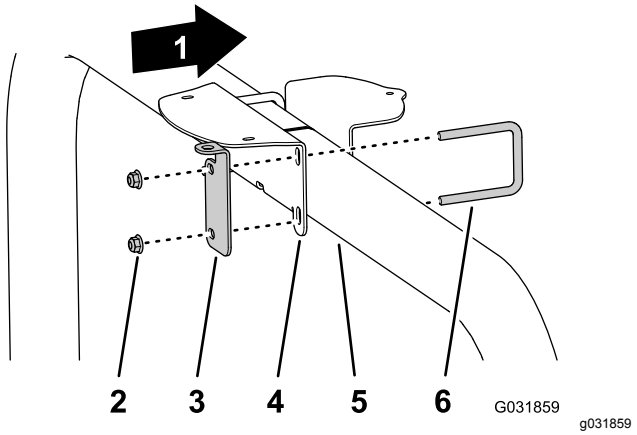


g030749

図 149

1. 機体前方
2. フランジロックナット3/8"
3. 受信機用マウント
4. ROPSチューブ
5. ボルト

   - GNSS と CDMA または GSM RTK 修正モデムキットを搭載している機体では、U ボルト2本とフランジロックナット4個3/8 inchを使用して、受信機用マウントと共に RTK 用のアンテナブラケットを取り付ける図 150。



g031859

図 150

1. 機体前方
2. フランジロックナット3/8"
3. RTK 用のアンテナブラケット
4. 受信機用マウント
5. ROPSチューブ
6. ボルト

3. ナットを3745N·m3.74.6kg.m=2733ft-lbにトルク締めする。
4. 受信機底部の3本のねじ部を、マウントの3つの穴に合わせる図 151。

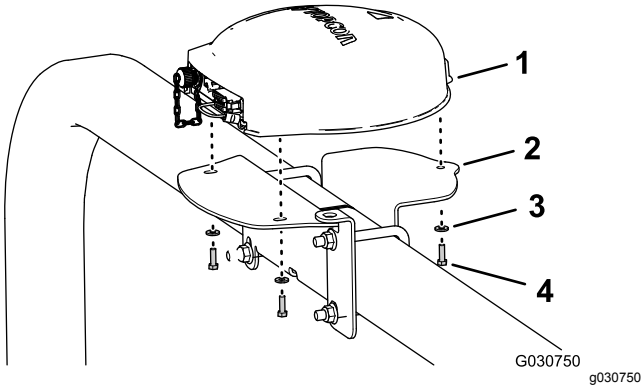


図 151

図は RTK アンテナ用ブラケットも表示。GNSS のみの場合もほぼ同様である。

1. ナビゲーション受信機
2. 受信機用マウント
3. ワッシャ5mm
4. 六角ヘッドボルト5 x 16mm

5. 受信機をマウント荷台に固定する図 151 六角ヘッドボルト5 x 16mm3本と、ワッシャ5 x 16mm3枚を使用する。
6. ボルト3本を 576-712 N·cm 0.6-0.7 kg.m = 51-63 in-lbにトルク締めする。
7. 受信機のマウントにシリアル番号ラベルを貼り付ける図 152。

   注 ラベルは、X25 および X30 GeoLink® 高精度散布システム仕上げキット付属品です。

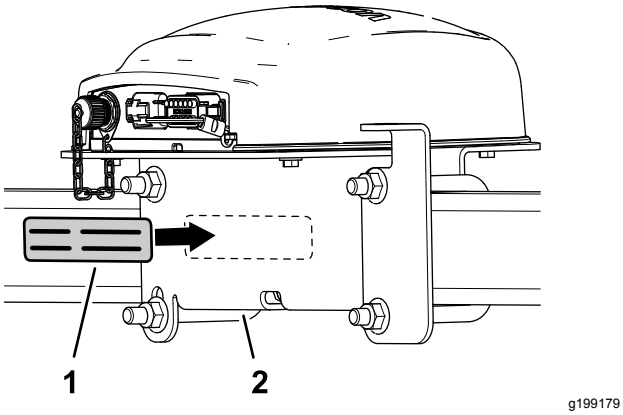


図 152

1. シリアル番号ラベル
2. 受信機用マウント

ナビゲーション受信機に RTK アンテナを取り付ける

注 CDMA RTK または GSM RTK 修正モデムを搭載している車両では、RTKを取り付けます。

1. 同軸カップラのねじ部分を下に向けて RTK アンテナ用ブラケットの開口部に通す図 153。

   注 同軸ケーブルコネクタのねじの平たい部分をブラケットの開口部の平たい部分に合わせて入れてください。

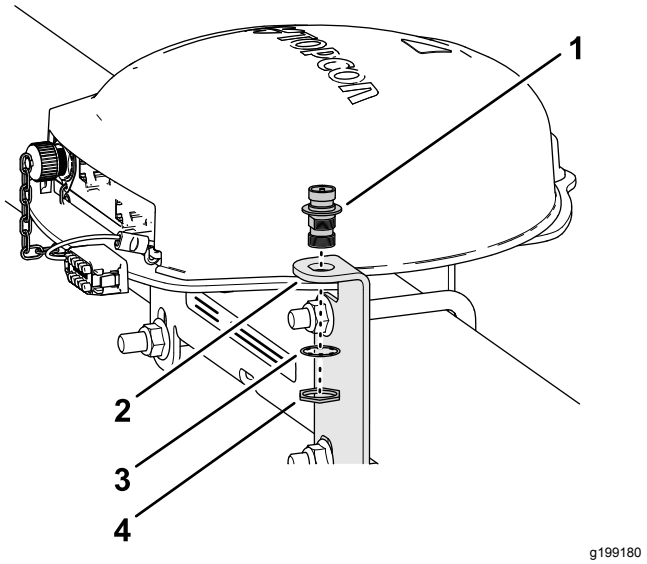


図 153

1. 同軸カップラ
2. RTK 用のアンテナブラケット
3. ロックワッシャ
4. ジャムナット

2. ロックワッシャとジャムナットで同軸カップラをアンテナブラケットに組み付け、ジャムナットを手締めする図 153。
3. 同軸カップラの上側フィッティングに RTK アンテナを組み付け、アンテナに付いているナットを手締めする図 154。

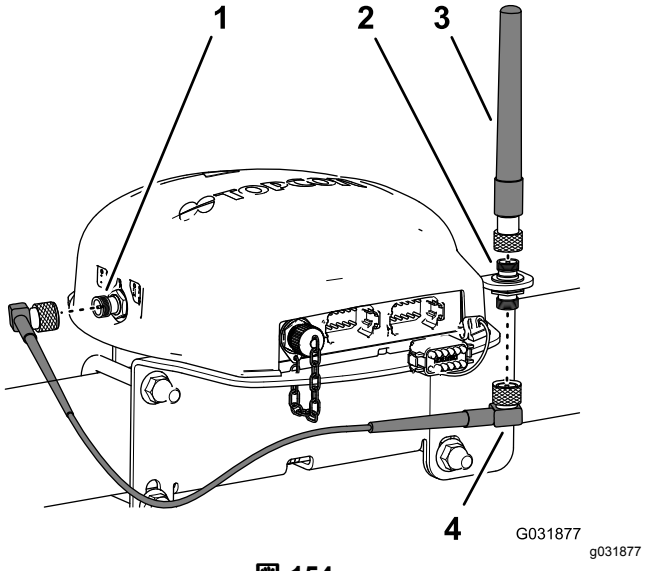


図 154

1. 同軸コネクタCDMA または GSM 携帯電話用モデム
2. 同軸カップラ
3. RTK アンテナ
4. アンテナケーブル

4. 同軸カップラの下側フィッティングにアンテナ線を仮留めする図 154。
5. ケーブルを、ナビゲーション受信機の後ろを通して、CDMA または GSM 携帯電話用モデムの同軸コネクタまで導く図 154。

6. アンテナ線を、同軸コネクタCDMA または GSM 携帯電話用モデムに接続する図 154。
7. アンテナ線のナットを手締めする。

30

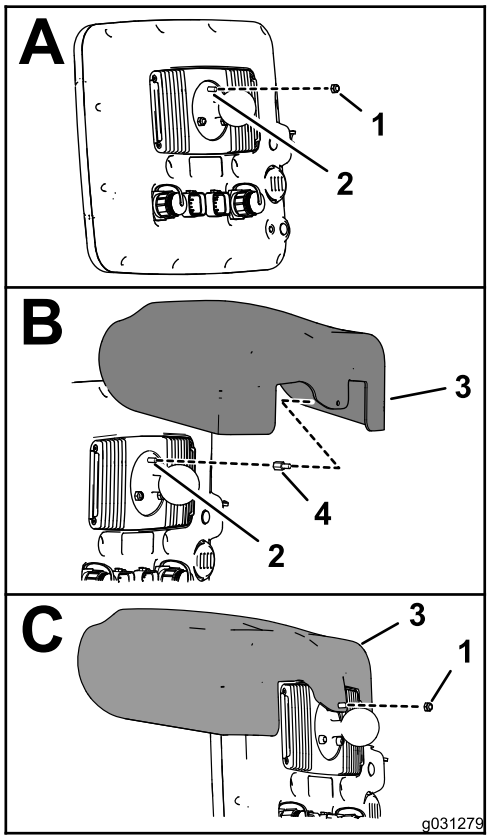
スプレーヤのモニタを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	スプレーヤのモニタジオリンク高精度散布システムキット 41623
1	ディスプレイ用フード
1	ボールマウントジオリンク高精度散布システムキット 41623
1	モニタ用アームジオリンク高精度散布システムキット 41623
1	補強プレート
4	フランジヘッドボルト ¼ x 1½"
4	フランジロックナット¼"

ディスプレイ用フードをスプレーヤのモニタに組み付ける

1. スプレーヤ用モニタの裏側で、2つのコネクタ26ピンを下側に向けた時に上側になる 5mm のロックナットボールピボットフィッティング用のスタッドについているを外す図 155。

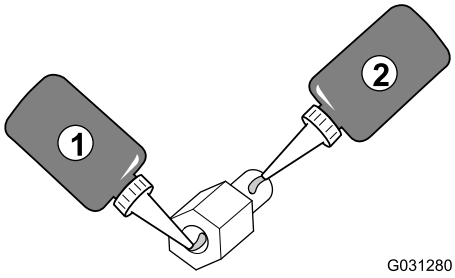


g031279

図 155

1. ロックナット5 mm
2. 5mm のスタッドスプレーヤ用モニタのボールピボットフィッティング用
3. ディスプレイ用フード
4. ねじ山付きスタンドオフ

2. ねじ山付きスタンドオフのナットのねじ溝部分にロッキングコンパウンド浸潤性ウィッキングタイプ、保持力は中強を塗る図 156。



g031280

図 156

1. ナットのねじ溝にロッキングコンパウンド浸潤タイプ、保持力は中強 ねじ山付きスタンドオフ
2. スタッドのねじ山にロッキングコンパウンド浸潤タイプ、保持力は中強

3. ボールピボットのフィッティングにスタンドオフを取り付け図 155、スタンドオフを 250N·cm0.25kg.m = 22in-lbにトルク締めする。
4. ねじ山付きスタンドオフのスタッドのねじ山部分にロッキングコンパウンド浸潤性ウィッキングタイプ、保持力は中強を塗る図 156。

5. ねじ山付きスタンドオフのスタッド部分に、フードの穴を合わせる図 155。
6. フードを固定するステップ 1で外したロックナット5mmを使用する。
7. ナットを250N·cm0.25kg.m = 22in-lbにトルク締めする。

ダッシュパネルに穴あけを行う

1. 機体のダッシュボード部の、ハトメ穴の右側にあるダッシュパネル固定ねじを探し出す図 157。

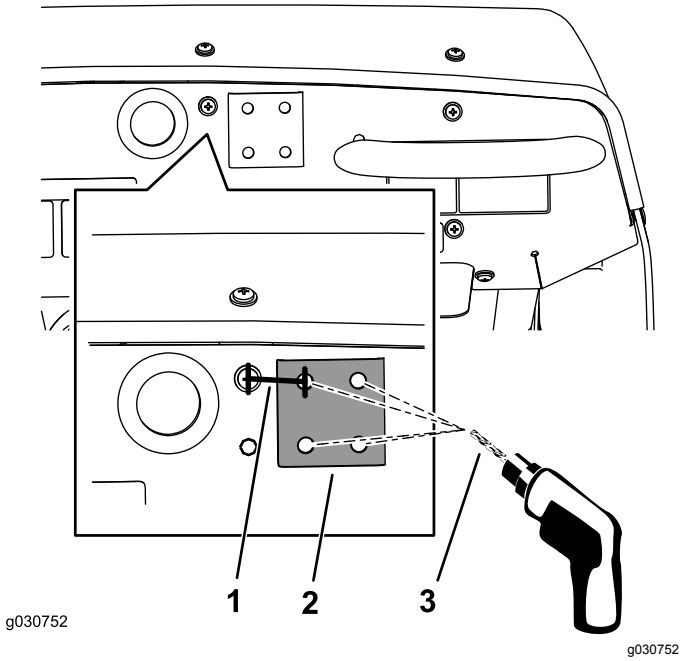


図 157

1. 33.3mm
2. スティフナプレート
3. 8mm のドリルビット

2. ねじの中心から右に 33.3mm の位置に、鉛筆で縦線を引く図 157。
3. ダッシュパネルの上端から下へ 21mm の位置に、鉛筆で横線を引く。
4. 縦線と横線の交点にポンチを打つ。
5. ポンチマークに、ドリルで直径 8mm の穴を開ける図 157。
6. スティフナプレートの平らな側を、ダッシュパネルに仮止めするフランジヘッドボルト¼ x 1-½"を使用する。
7. ダッシュパネルの上側エッジにスティフナプレートを水平に合わせ、スティフナプレートを型紙にして、残り 3 つの穴を開ける図 157。
8. ダッシュパネルからスティフナプレートを外す。

ダッシュボードにスプレーヤのモニタを取り付ける

1. 図 158 のように、ダッシュボードにボールピボット用マウントを取り付けるボルト¼ x 1-½"4本、スティフナプレート、フランジナット¼"を使用する。

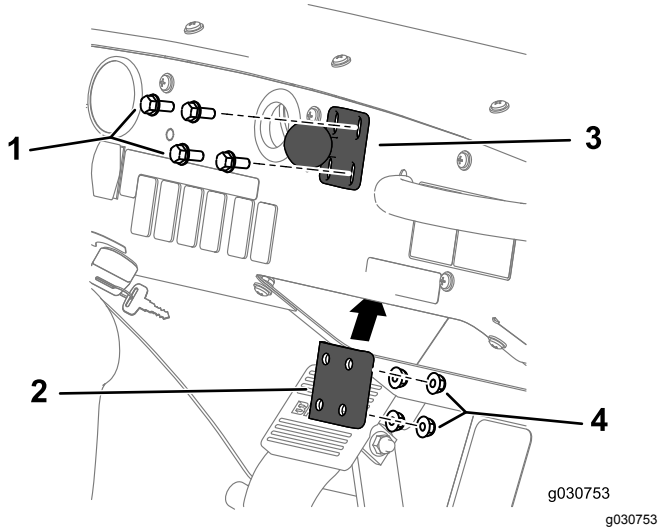


図 158

1. ボルト¼ x 1-½"
2. ボールピボット用マウント
3. スティフナプレート
4. フランジロックナット¼"

2. ボルトとナットを1017 1243N·cm2.0 2.6kg.m = 90 110in-lbにトルク締めする。
3. モニタアームのノブをゆるめて、モニタ裏側のフィッティング用のボールピボットとダッシュボード側のボールピボットの両方をモニタアームのソケットに入れる図 159。

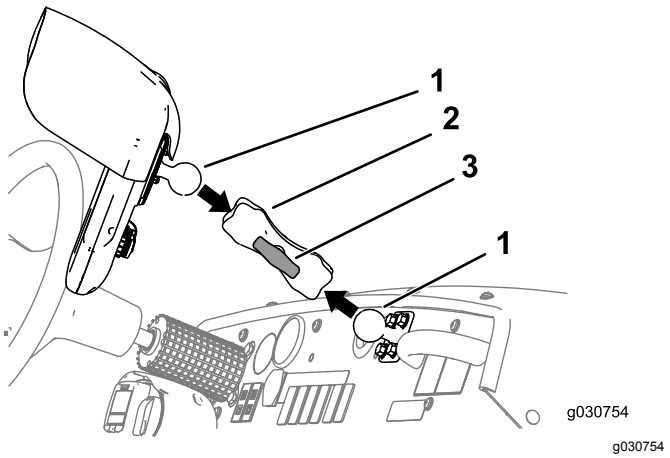


図 159

1. ボールピボット
2. モニタアーム
3. ノブ

4. 運転席左側座席に座り、モニタが見やすいようにモニタの位置と向きを調整する図 159。
5. モニタアームのノブを手で締めつける図 159。

31

散布コントローラを取りつけて後方ハーネスに接続する

この作業に必要なパーツ

1	散布コントローラジオリンク高精度散布システムキット 41623
4	ボルト4 x 10mm
4	フランジロックナット4mm

散布コントローラを取り付ける

1. バルブマウントの前側に散布コントローラを取り付ける。40ピンコネクタが外側を向くように取り付けること図 160。

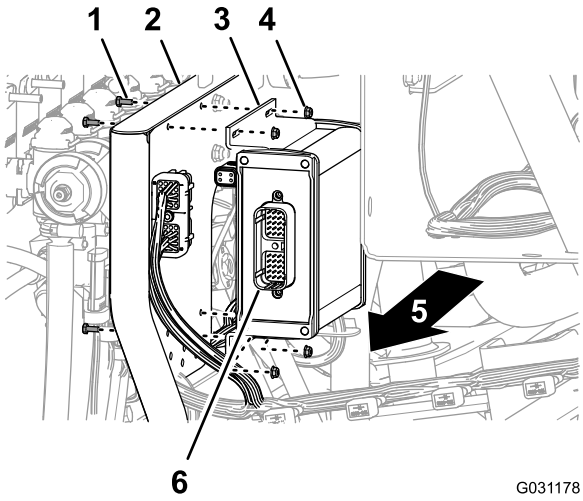


図 160

1. ボルト4 x 10mm
2. バルブ10本用マウント
3. 散布コントローラ
4. フランジロックナット4mm
5. 車両の右側
6. 40 ピンコネクタ

2. 散布コントローラをバルブマウントに取り付ける図 160; ボルト4 x 10mm4本とフランジロックナット4mm4個を使用する。
3. ボルトとナットを234 286N·cm0.24 0.29kg.m = 21 25in-lbにトルク締めする。

後方ワイヤハーネスをコントローラに接続する

1. ワイヤハーネスの 203cm の枝線についている **ASC 10** というラベルの付いた40ソケットコネクタを、散布コントローラの40ピンコネクタに合わせる図 161。

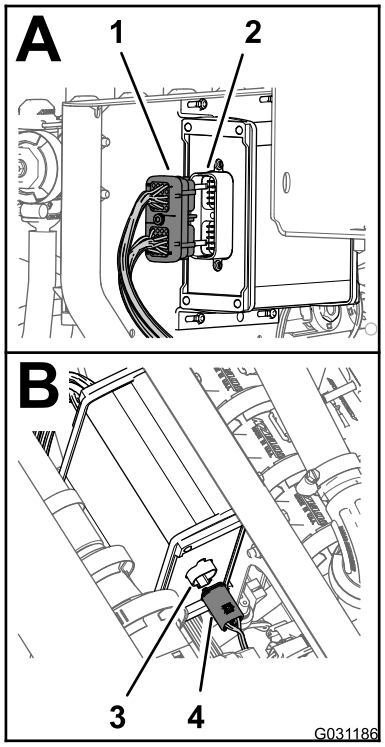


図 161

1. 40ソケットコネクタ後方ワイヤハーネスラベルは ASC 10
2. 40ピンコネクタ散布コントローラ
3. 4ピンコネクタ散布コントローラ
4. 4ソケットコネクタ後方ワイヤハーネスラベルは To ASC 10

2. 40ソケットコネクタと40ピンコネクタを相互に接続する。完全に奥まで押し込むこと。
3. ワイヤハーネスの 203cm の枝線についている **To ASC 10** というラベルの付いた4ソケットコネクタを、散布コントローラの4ピンコネクタに合わせる図 161。
4. 4ソケットコネクタと4ピンコネクタを相互に接続する。完全に奥まで押し込むこと。

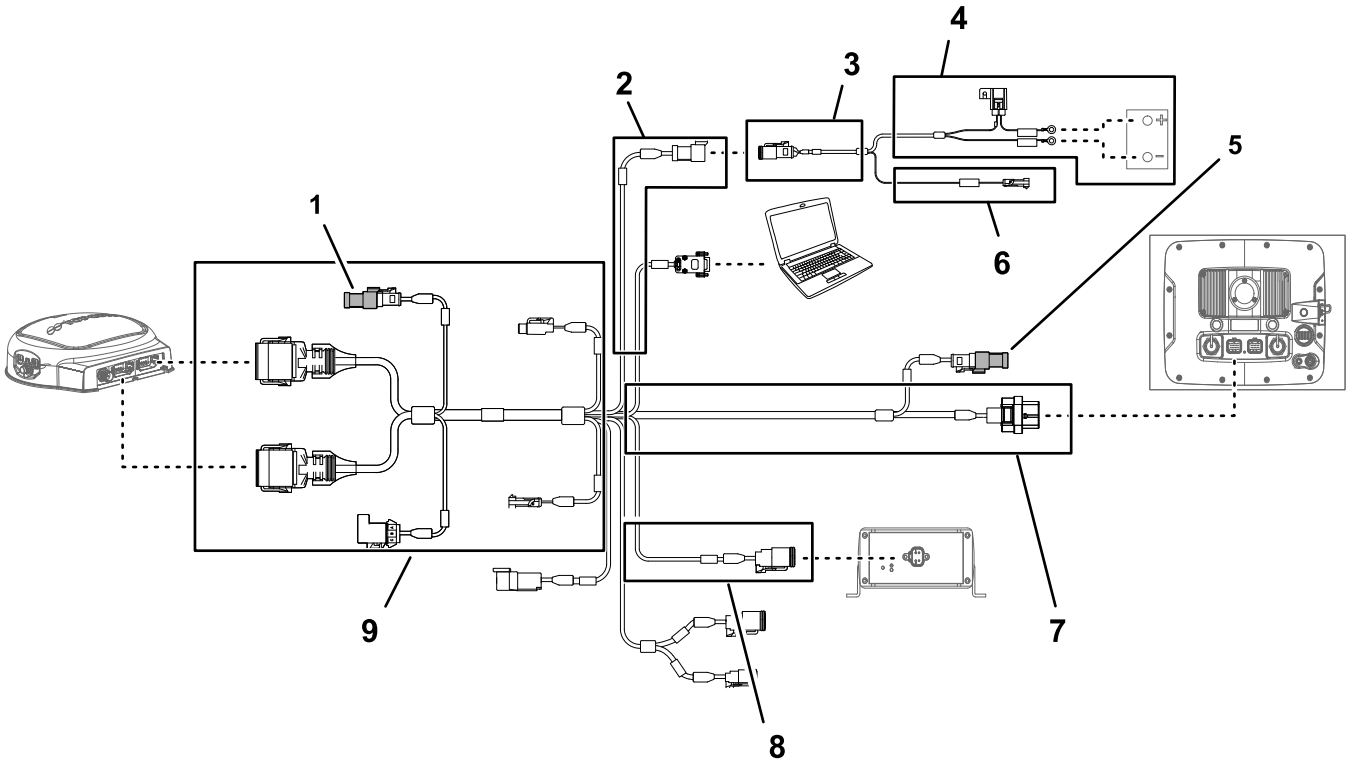
32

ナビゲーション関係のワイヤハーネスを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	データ用ハーネスナビゲーションシステムジオリンク高精度散布システムキットモデル 41623
1	電装用ハーネスナビゲーションシステムジオリンク高精度散布システムキットモデル 41623
5	ケーブルタイ

ナビデータ用ハーネスと電装用ハーネスを相互に接続する



g292898

図 162

1. 終端抵抗器ガイダンス
2. データ用ハーネスの 100cm の枝線電源
3. 100cm のバッテリーハーネス枝線
4. 220cm のバッテリーハーネス枝線
5. 終端抵抗器CAN 2
6. 100cm のバッテリーハーネス枝線スイッチ付き電源
7. データ用ハーネスの 220cm の枝線スプレーヤモニタ
8. データ用ハーネスの 13cm の枝線キットのハーネスのインタフェース用
9. データ用ハーネスの 390cm の枝線ナビゲーション受信機

1. ナビゲーション受信機のデータハーネス用枝線 390 cmのコネクタに終端抵抗器が付いていない場合は取り付ける図 162。
2. スプレーヤのモニタのデータハーネス用枝線 220 cmのコネクタに終端抵抗器が付いていない場合は取り付ける図 162。

3. ナビ用電装ハーネスの3ソケットコネクタ電源インタフェースを、データ用ハーネスの3ピンコネクタ電源インタフェースに接続する図 162と図 163。

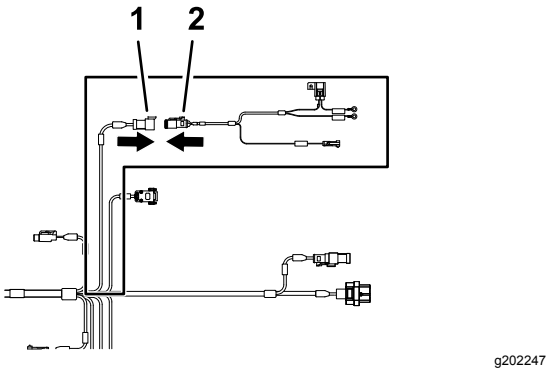


図 163

1. 3ピンコネクタデータ用ハーネスSYSTEM POWER SEPARATION
2. 3ソケットコネクタバッテリー用ハーネス電源インタフェース

データ用ケーブルをナビゲーション受信機に接続する

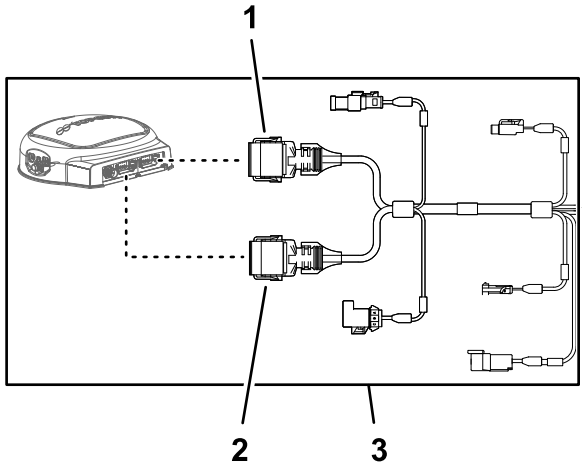


図 164

1. 12ソケットコネクタ 灰色 データ用ハーネス ナビゲーション受信機
2. 12ソケットコネクタ 黒色 データ用ハーネスナビゲーション受信機
3. データ用ハーネスの 390cm の枝線ナビゲーション受信機

1. データ用ハーネスの 390cm の枝線を、エンジンルームの右側から内部エンジン用のエアフィルタの隣へ入れ、エンジン後部シュラウドの右下エリアの下側に沿って後方へ進める図 165。

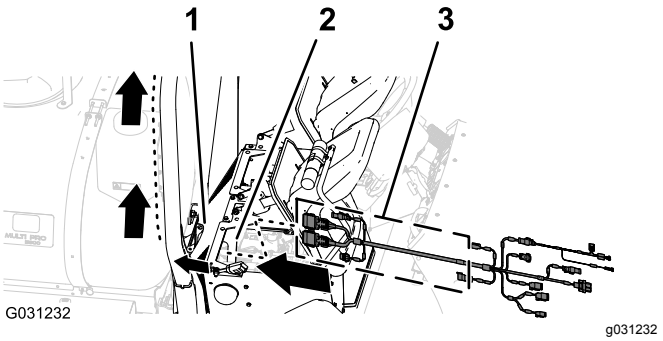


図 165

1. エンジン後方シュラウド
2. エンジンルーム
3. 390cm の枝線 データ用ハーネス

2. データ用ハーネスの 390cm の枝線を、ROPS 右側に沿って配設し、12 ソケットコネクタ 灰色 と 12 ソケットコネクタ 黒色 をナビゲーション受信機まで導く図 166。

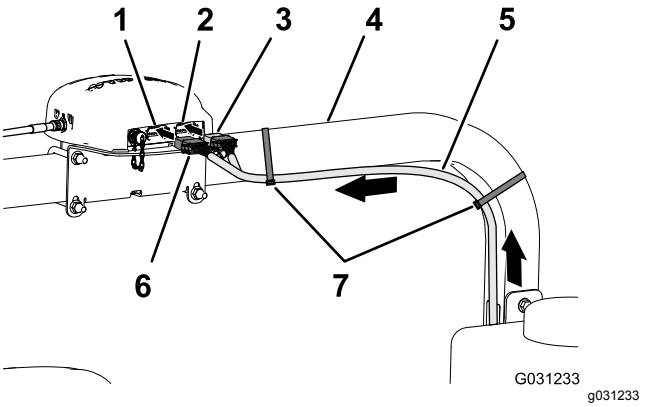


図 166

1. 12ピンコネクタ 左側灰色ナビゲーション受信機
2. 12ピンコネクタ 右側黒色ナビゲーション受信機
3. 12ソケットコネクタ 黒色 データ用ハーネス
4. 右側 ROPS チューブ
5. 390cm の枝線 データ用ハーネス
6. 12ソケットコネクタ 灰/黒 データ用ハーネス
7. ケーブルタイ

3. 灰色と黒色の 12 ソケットコネクタの長い方の側にある2本のキーを、ナビゲーション受信機の左側 灰色 12 ピンコネクタの底部の水平面にある2本のスロットに合わせて接続する図 167。

   注 ワイヤハーネスのコネクタに付いている整列キーは、特殊な形状をしており、ナビゲーション受信機のピンコネクタ以外には形状が一致しませんから、注意してください。

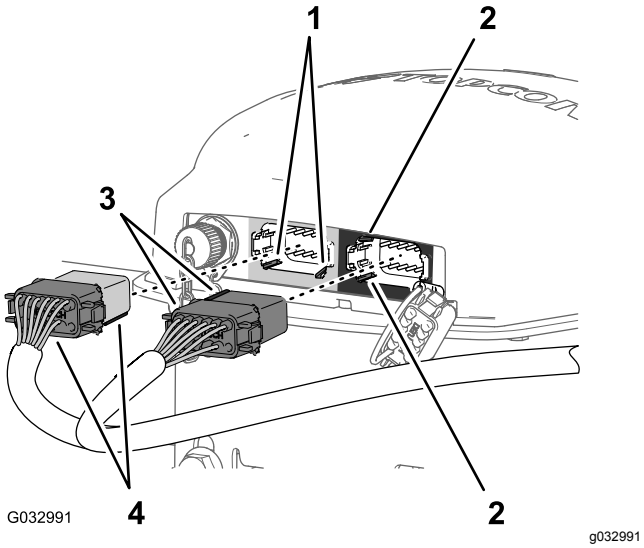


図 167

1. キースロット底部水平壁左灰色 12 ピンコネクター ナビゲーション受信機
2. キースロット左側垂直壁右黒色 12 ピンコネクター ナビゲーション受信機
3. 整列キー短い側黒12 ソケットコネクター データ用ハーネス
4. 整列キー長い側灰/黒の12 ソケットコネクター データ用ハーネス

4. データ用ハーネスの灰色と黒色の12 ソケットコネクタを、ナビゲーション受信機の左側灰色12 ピンコネクタに接続する。カチッと音がしてロックするまで押し込むこと図 167。
5. データ用ハーネスの黒色の 12 ソケットコネクタの短い方の側にある2本の整列キーを、ナビゲーション受信機の右側黒色 12 ピンコネクタにある2本のスロットに合わせて接続する図 167。

   注 ワイヤハーネスのコネクタに付いている整列キーは、特殊な形状をしており、ナビゲーション受信機のピンコネクタ以外には形状が一致しませんから、注意してください。
6. データ用ハーネスの灰色と黒色の12 ソケットコネクタを、ナビゲーション受信機の左側灰色12ピンコネクタに接続する。カチッと音がしてロックするまで確実に押し込むこと図 167。
7. 図 166 のように、ケーブルタイ2本を使って、データ用ハーネスの 390cm 枝線を右側 ROPS チューブに固定する。

   注 12 ソケットとケーブルタイとの間のケーブルに少したるみを持たせてください。

ナビゲーション電装用およびデータ用のハーネスを車両本体の後方ワイヤハーネスに接続する

1. 電装ハーネスの 100cm の枝線図 168についている1ピンコネクタを、車両本体の前方ハーネスと後方ハーネスが相互接続しているところへ導く図 86 前方ハーネスと後方ハーネスを相互に接続する (ページ 40)を参照

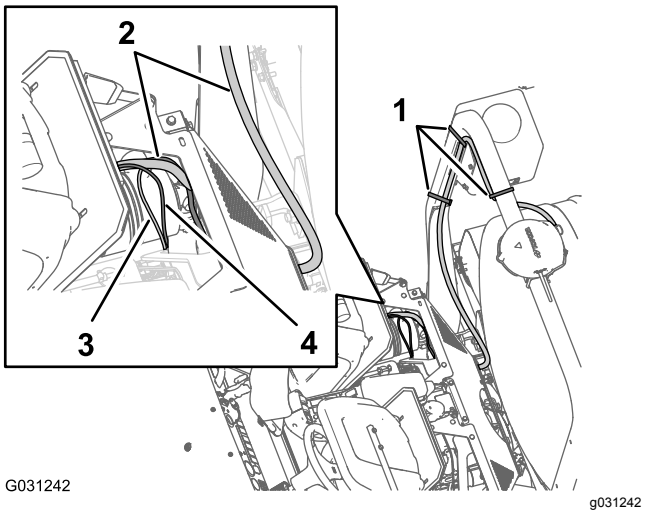


図 168

1. ケーブルタイ
2. 390cm の枝線データ用ハーネス
3. 100cm の電装ハーネス枝線
4. 100cm の枝線データ用ハーネス

2. データ用ハーネスの 100cm の枝線図 168についている4ピンコネクタCAN 2 / スプレーヤコントローラ用を、車両本体の前方ハーネスと後方ハーネスが相互接続しているところへ導く図 86 前方ハーネスと後方ハーネスを相互に接続する (ページ 40)を参照。
3. 4ピンコネクタCAN 2 / スプレーヤコントローラ用を、後方ハーネスの4ピンコネクタCAN 2 / スプレーヤコントローラ回路用4ソケットコネクタに接続する図 169。

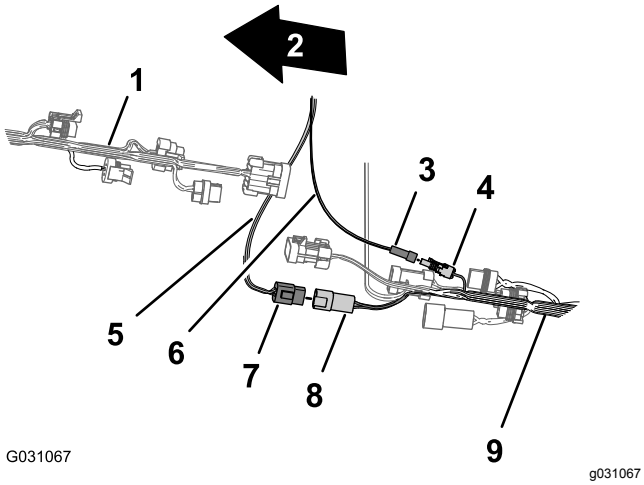


図 169

1. 機体前方
2. 車両の前方ワイヤハーネス
3. 1ピンコネクタ電装用ハーネスの枝線スイッチ付き電源
4. 1ソケットコネクタ後方ワイヤハーネススイッチ付き電源
5. データ用ハーネスCAN 2 / スプレーヤコントローラ
6. 電装ハーネススイッチ付き電源
7. 4ピンコネクタデータ用ハーネスCAN 2 / スプレーヤコントローラ
8. 4ソケットコネクタ後方ハーネスCAN 2 / スプレーヤコントローラ
9. 車両の後方ワイヤハーネス

4. 電装用うハーネスの1ピンコネクタを、後方ハーネスの1ソケットコネクタに接続する図 169。

ナビゲーション用電装ハーネスをバッテリーへ導く

1. ナビゲーションシステム用の電装ハーネスの220cm の枝線を、シートボックスのアングル部材を横断して下へ、エンジンシュラウドの左側サポートに沿って導く図 170。

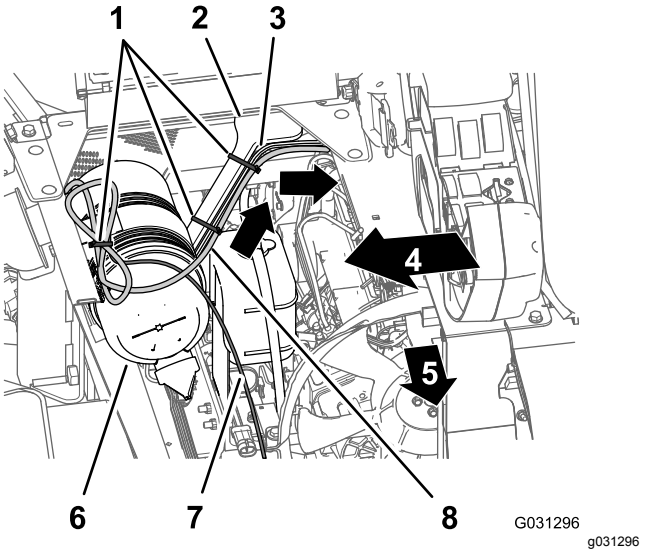


図 170

1. ケーブルタイ
2. エンジンシュラウドのサポート
3. 165cm の枝線後方ワイヤハーネス
4. 機体右側
5. 機体前方
6. エアフィルタ エンジン
7. 220cm の枝線データ用ハーネス
8. 220cm の枝線ナビゲーション用電装ハーネス

2. ワイヤハーネスをエンジンシュラウドのサポートにケーブルタイで固定する図 170。
3. ナビゲーションシステム用の電装ハーネスの220cm の枝線を、エンジンシュラウドの左側サポートに沿って下へ進め、左側フレームチューブの下に導く図 171。

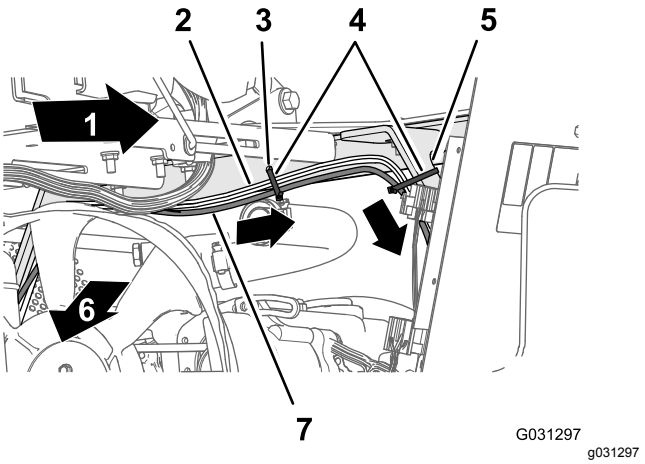


図 171

1. 機体の左側
2. 165cm の枝線後方ワイヤハーネス
3. シートボックス用アングル部材の穴
4. ケーブルタイ
5. エンジンシュラウドのサポート
6. 機体前方
7. 220cm の枝線ナビゲーション用電装ハーネス

4. ケーブルタイ3本を使用して、ハーネスをシートボックス用アングル部材の穴とエンジンシュラウドのサポートに固定する図 171と図 172。

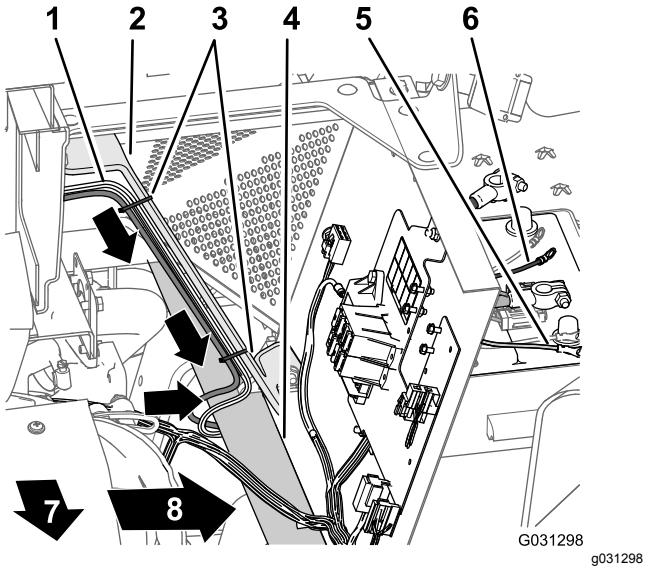


図 172

1. 165cm の枝線後方ワイヤハーネス
2. エンジンシュラウドのサポート
3. ケーブルタイ
4. 左側フレームチューブ
5. ナビゲート用リング端子黒ワイヤ165cm の枝線後方ワイヤハーネス
6. プラス極用リング端子赤ワイヤ)165cm の枝線後方ワイヤハーネス
7. 機体前方
8. 機体の左側

5. ナビゲーションシステム用の電装ハーネスの220cm の枝線についている 10 A ヒューズ、プラス端子、マイナス端子を、バッテリー上部まで導く図 172。

   注 リング端子の最終的な接続は 後方ハーネスとナビゲーション用電装ハーネスをバッテリーケーブルに接続する (ページ 77)で行います。

データ用ケーブルをスプレーヤのモニタに接続する

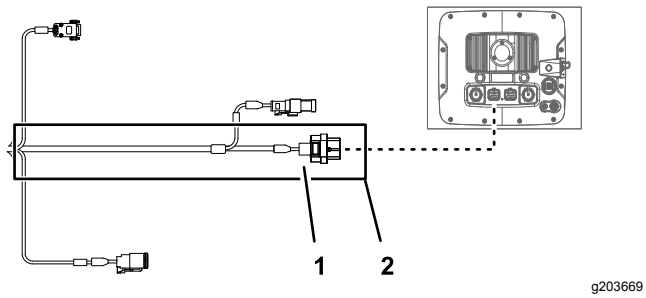


図 173

1. 26ソケットコネクタデータ用ハーネススプレーヤモニタ
2. データ用ハーネスの 220cm の枝線スプレーヤモニタ

1. エンジンルームの右側で、データ用ハーネスの 220cm の枝線を、エンジン用エアフィルタの前方へ導き、ラジエターの右下コーナーまで導く 図 174。

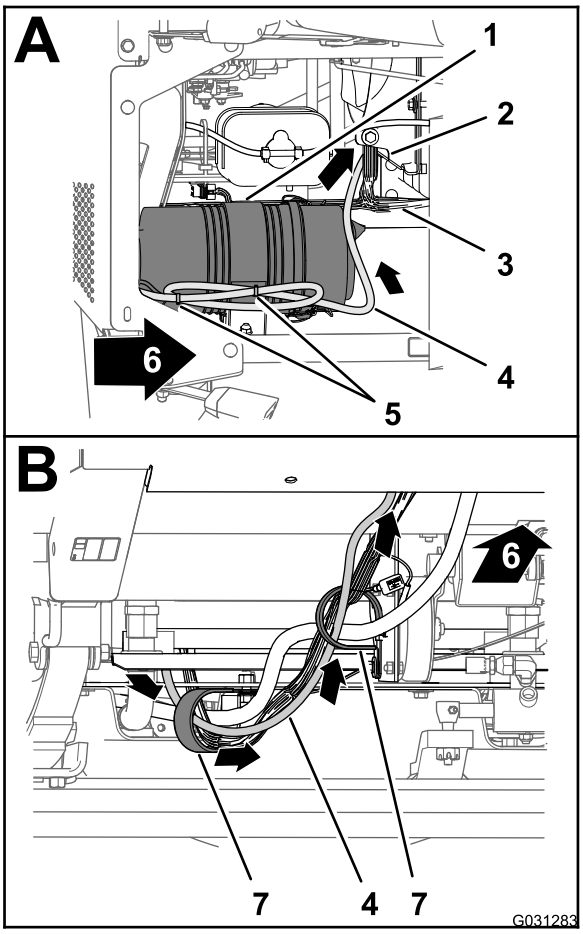
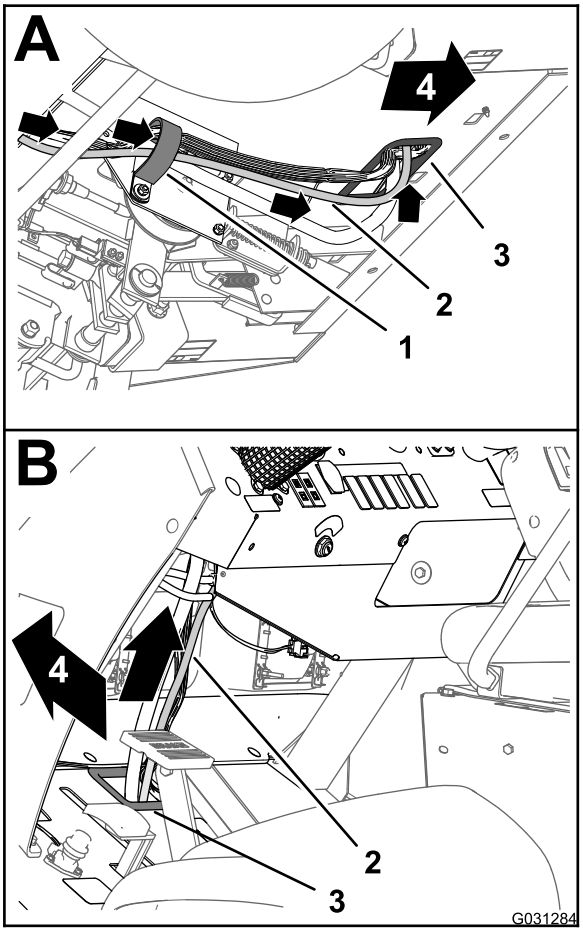


図 174

1. エアフィルタ エンジン
2. ラジエター
3. 車両の前方ワイヤハーネス
4. 220cm の枝線 データ用ハーネス
5. ケーブルタイ
6. 機体前方
7. R クランプ

2. データ用ハーネスの 220cm の枝線を前方へ延ばして、機体下部にある2つのRクランプに通す図 174。
3. データ用ハーネスの 220cm の枝線を前方上方向へ延ばして、フロアパネルの穴についているハトメに通す図 175。

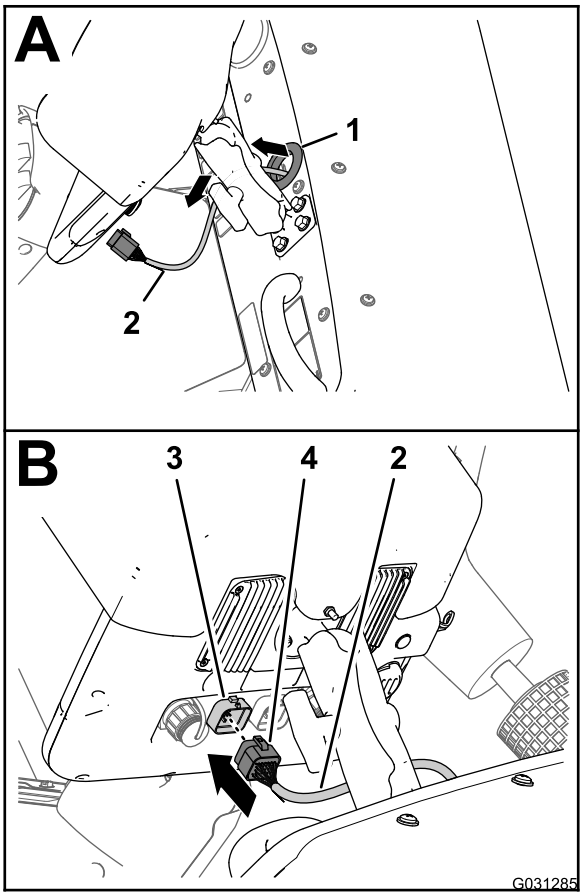


g031284

図 175

1. R クランプ
2. 220 cm の枝線データ用ハーネス
3. ハトメフロアパン
4. 機体前方

4. データ用ハーネスの 220cm の枝線を上方へ、機体の前方ワイヤハーネスに沿って延ばす図 175。
5. データ用ハーネスの 220cm の枝線をダッシュパネルの穴のハトメに通す図 176。



g031285

図 176

1. ハトメダッシュパネル
2. 220cm の枝線データ用ハーネス
3. 26ピンコネクタスプレーヤのディスプレイ
4. 26ソケットコネクタデータ用ハーネススプレーヤモニタ

6. データ用ハーネスの 26 ソケットコネクタを、スプレーヤのディスプレイの 26 ピンコネクタに接続する。コネクタ同士をしっかり押し込んで確実にロックさせること図 176。

後方ハーネスとナビゲーション用電装ハーネスをバッテリーケーブルに接続する

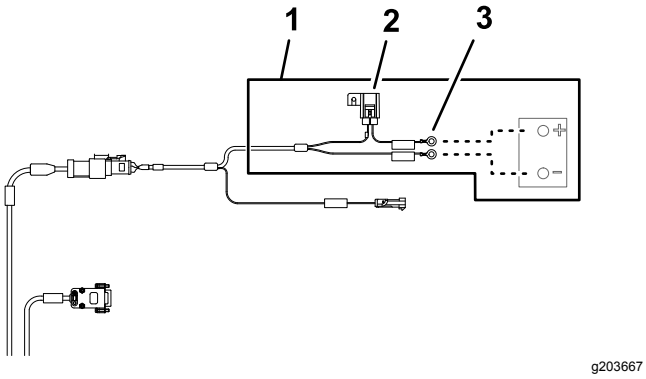


図 177

1. 220cm のバッテリーハーネス枝線
2. 10A ヒューズバッテリー
3. リング端子バッテリー

1. 後方ハーネスのプラス端子赤ワイヤ、マイナス端子黒ワイヤ、50A ヒューズブロックを、バッテリーボックスと車両のシャーシとの間から上へ出す図 178。

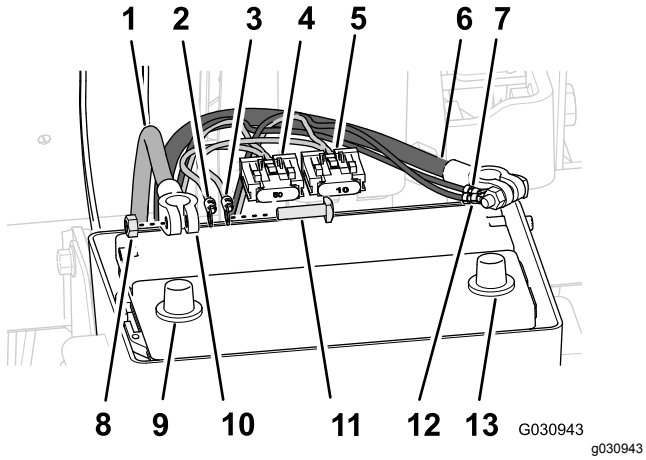


図 178

1. プラス+ケーブル
2. プラス極用リング端子赤ワイヤ)165cm の枝線後方ワイヤハーネス
3. プラス極用リング端子赤ワイヤ220cm の枝線ナビゲーション用電装ハーネス
4. 50A ヒューズブロック後方ワイヤハーネス
5. 10A ヒューズブロックナビゲーション用電装ハーネス
6. マイナス-ケーブル
7. 六角ナット
8. バッテリー端子プラス
9. 端子バッテリーケーブル)
10. Tボルト
11. ナビゲート用リング端子黒ワイヤ165cm の枝線後方ワイヤハーネス
12. ナビゲート用リング端子黒ワイヤ220cm の枝線ナビゲーション用電装ハーネス
13. バッテリー端子マイナス

2. ナビゲーション用電装ハーネスのプラス端子赤ワイヤ、マイナス端子黒ワイヤ、10A ヒューズブロックを、バッテリーボックスと車両のシャーシとの間から上へ出す。
3. バッテリーの両端子に固定されているTボルトと六角ナットを外す図 178。
4. Tボルトを、後方ワイヤハーネスのプラス端子赤ワイヤ、ナビゲーション用電装ハーネスのプラス端子、バッテリーのプラスケーブルの端子に通す図 178。
5. 端子とTボルトを、六角ナットで仮止めする図 178。

   注 ケーブルとバッテリーとの接続は、まだ行わないでください。
6. Tボルトを、後方ワイヤハーネスのマイナス端子黒ワイヤ、ナビゲーション用電装ハーネスのマイナス端子、バッテリーのマイナスケーブルの端子に通す図 178。
7. 端子とTボルトを、六角ナットで仮止めする図 178。

   注 ケーブルとバッテリーとの接続は、まだ行わないでください。

33

キャリッジ下シュラウドキットオプションを取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

1. キャリッジ下シュラウドを車体の下シャーシに合わせる図 179。

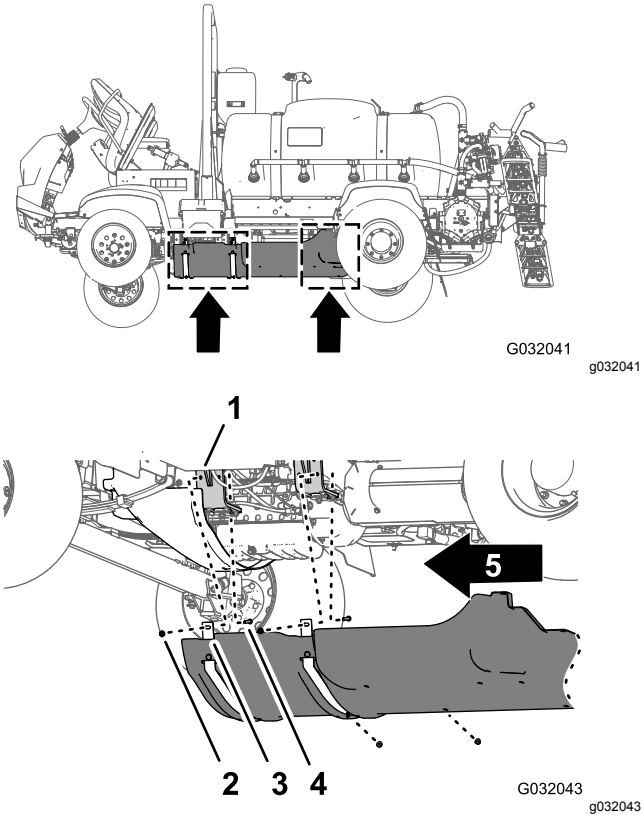


図 179

1. キャリッジ下シュラウド
2. フランジヘッドボルト5/16 x 7/8"
3. ワッシャ5/16"
4. 機体前方

2. エンジン搭載ブラケットのところで、ボルトとキャリッジボルトの上からキャリッジ下シュラウドのサポートストラップを入れる図 179。
3. キャリッジ下シュラウドを、エンジン搭載ブラケットとボルトに組み付ける図 179ステップ2 12 キャリッジ下シュラウドキットオプションを取り外す (ページ 23)で外したフランジロックナット (5/16") 4個を使用する。
4. キャリッジ下シュラウドの後部にある穴を、シャーシの穴に合わせる図 180。

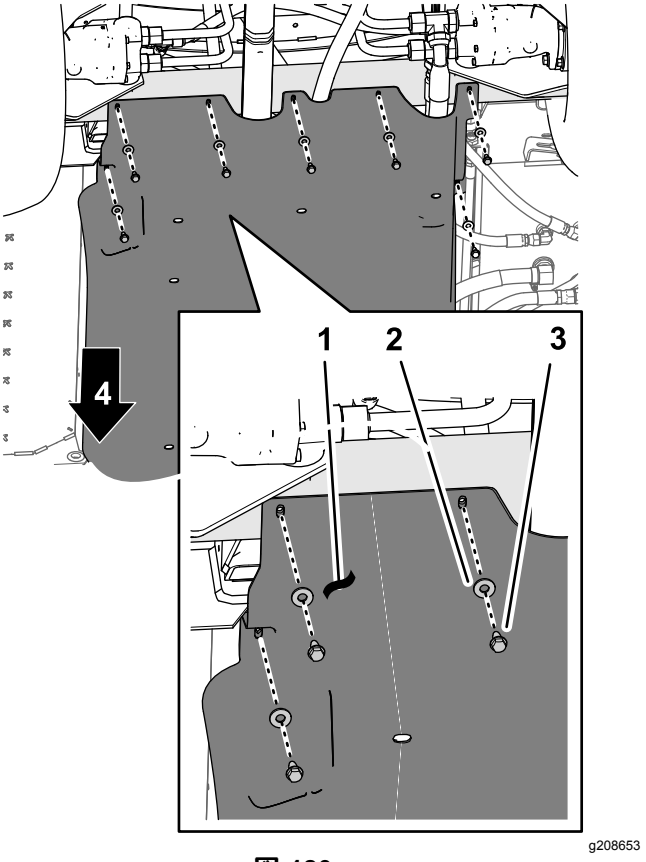


図 180

1. キャリッジ下シュラウド
2. ワッシャ5/16"
3. フランジヘッドボルト5/16 x 7/8"
4. 車体前方

5. キャリッジ下シュラウドの後部をシャーシにに取り付けるステップ 112 キャリッジ下シュラウドキットオプションを取り外す (ページ 23)で取り外したフランジヘッドボルト5/16 x 7/8"7本とワッシャ5/16"7枚を使用する図 180。
6. ボルトとナットを1129 1582N·cm 2.0 2.6kg.m = 100 140in-lbにトルク締めする。

34

オプションのハンドスプレーキット、電動ホースリールキット、収納式ホールリールキットの接続を行う

この作業に必要なパーツ

1	サイドポート付き 90° エルボToro P/N 131-3726
1	フランジ付きクランプとガスケットToro P/N 127-9829
1	シャットオフバルブToro P/N 130-7321

マニホルドマウントにコントロールボックスを取り付ける

ハンドスプレーキットまたは電動ホースリールキット

1. コントロールボックス用の取り付けプレートの穴を、散布バルブ用のマニホルドマウントの穴またはスロットに合わせる図 181。

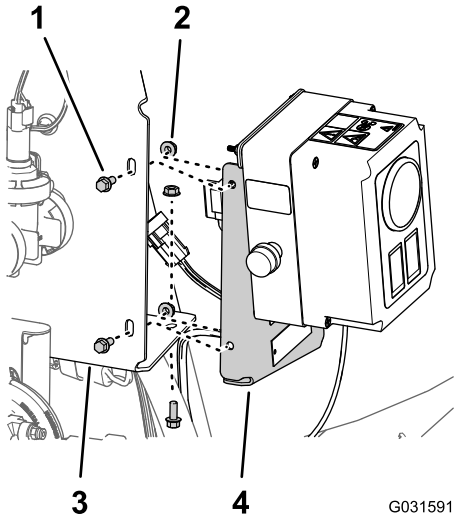


図 181

図は電動ホースリールキットハンドスプレースティックもほぼ同じ

1. フランジヘッドボルト¼ x 5/8"
2. 鋸歯付きフランジナット¼"
3. マニホルドマウントスプレーヤのバルブ
4. 取り付けプレートコントロールボックス

2. コントロールボックスをマニホルドマウントに取り付ける図 181ステップ 1 マニホルドマウントからコントロールボックスを外す (ページ 13)で取り外したフランジヘッドボルト¼ x 5/8"3本と溝付きフランジナット¼"3個を使用する。
3. ボルトとナットを1017 1243N·cm2.0 2.6kg.m = 90 110in-lbにトルク締めする。

マニホルドマウントに収納式ホースリールを取り付ける

吊り上げ装置に必要な能力: 57kg

1. 所定の能力のあるホイストなどを使って、ホースリールを吊り上げる。
2. ホースリールのサポートチャネルの穴を、散布バルブ用のマニホルドマウントの穴に合わせる図 182。

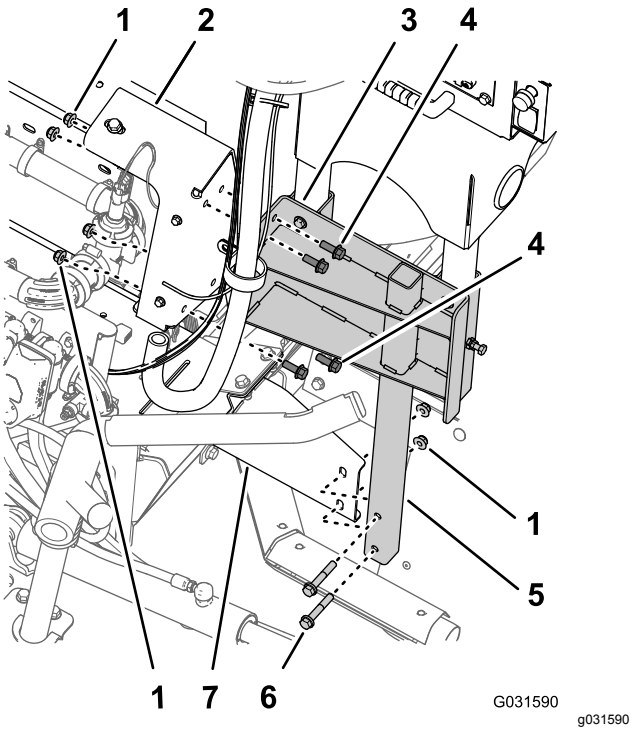


図 182

1. フランジロックナット3/8"
2. マニホルドマウントスプレーヤのバルブ
3. サポートチャネル収納式ホースリール
4. フランジヘッドボルト3/8 x /1"
5. 下側チューブフレーム収納式ホースリール
6. フランジヘッドボルト 3/8 x 2¼"
7. 取り付けブラケット車両の右側フレームチャネル

3. ホースリールの下部チューブフレームの穴を、車体の右フレームチャネルにある取り付けブラケットの穴に合わせる図 182。
4. サポートチャネルをマニホルドマウントに取り付ける図 182ステップ 3 マニホルドマウントから収納式ホースリールを外す (ページ 15)で取り外したフランジヘッドボルト3/8 x 1"4本とフランジロックナット3/8"を使用する。
5. 下部チューブフレームを取り付け用ブラケットに組み付ける図 182ステップ 2 マニホルドマウントから収納式ホースリールを外す (ページ 15)で取り外し

たフランジヘッドボルト3/8 x 2-1/4"2本とフランジロックナット3/8"2個を使用する。

6. ボルトとナットを 37 45N·m3.7 4.6kg.m = 27 33ft-lbにトルク締めする。

ホースとフィッティングの組み付けを行う

1. ノズルバルブ 10 番の右側端部のフランジについているキャップから、チューブカップラを外す図 183。

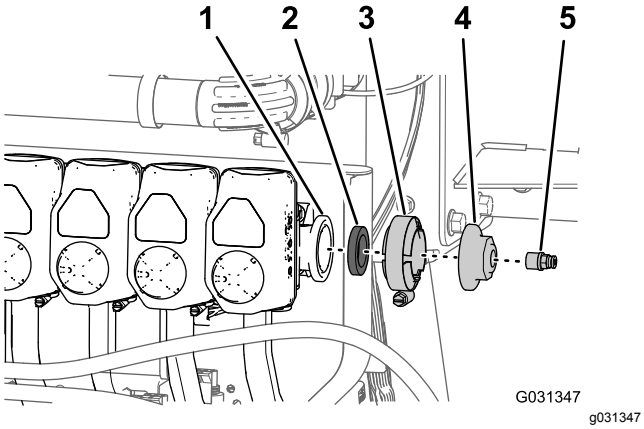


図 183

1. フランジノズルバルブ 10番
2. ガスケット
3. フランジクランプ
4. キャップ
5. チューブカップラ

2. ノズルバルブ 10番から、フランジクランプ、ガスケット、エンドキャップを外す 図 183。

   注 チューブコネクタ、フランジクランプ、ガスケットは、このステップの後半で使用します。エンドキャップは廃棄して構いません。

3. T字フィッティング 図 184 ステップ 3 ホースとチューブを取り外す (ページ 12) で外したもののねじ山部分に PTFE テープを巻く。

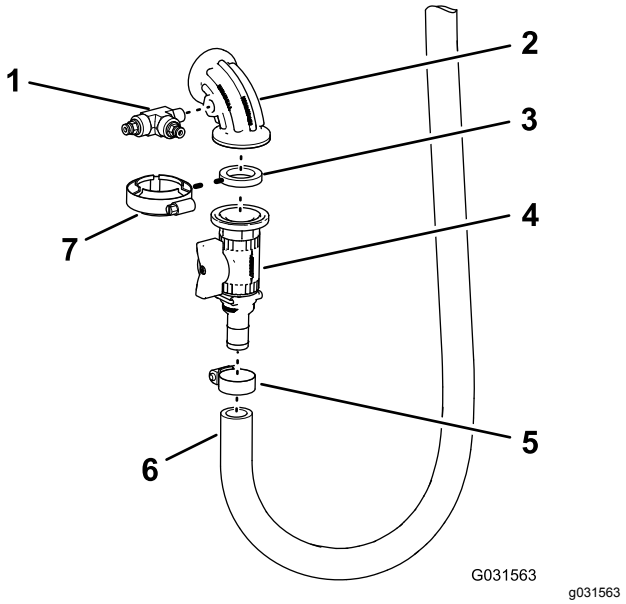


図 184

1. T字フィッティングとチューブコネクタ
2. 90° エルボサイドポート付き
3. ガスケット
4. 燃料バルブ
5. ホースクランプ
6. 入口 インレット ホース
7. フランジクランプ

4. T字フィッティングを 90° エルボサイドポート付きに組み付ける図 184 のように組み付けて手締めする。
5. フランジ付きクランプ使って、サイドポート付き 90° エルボ、ガスケット、シャットオフバルブを仮組みする図 184。
6. シャットオフバルブのバーブ付きフィッティングを、インレットホースに組み付けてクランプ 図 184これは 4 ホースとチューブを取り外す (ページ 12)で外したもので固定する。

ホースと検知チューブを取り付ける

1. ホースリール用のガスケットと90° エルボを、ノズルバルブ 10 番のフランジに合わせる図 185。

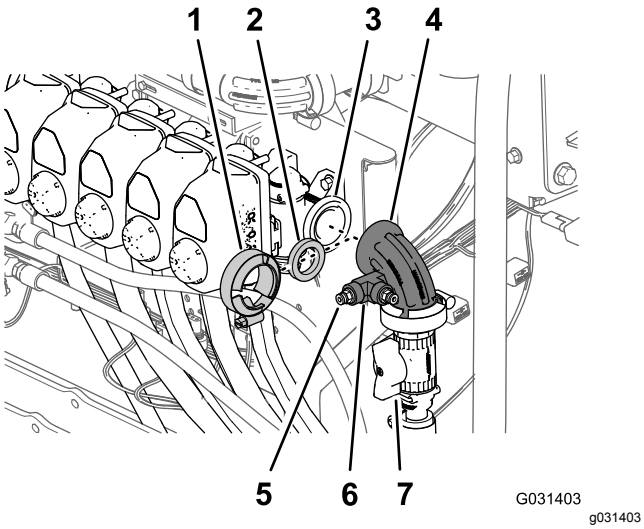


図 185

1. フランジクランプ
2. ガスケット
3. フランジノズルバルブ 10番
4. 90°エルボ
5. チューブカップラ
6. T 字フィッティング
7. シャットオフバルブホースリール

2. フランジ付きクランプ使って、エルボとガスケットを取り付け、クランプを手締めする図 185。
3. チューブカップラのねじ山部に PTFE テープを巻き、図 185のようにカップラをT字フィッティングに取り付ける。
4. ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブの口を、チューブカップラに入れる。チューブがカップラに完全に座るまで深く挿入すること図 186。

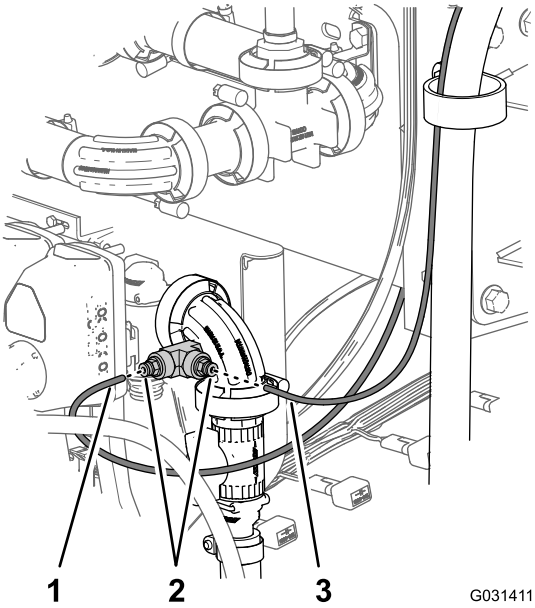


図 186

図は収納式ホースリールキット電動ホースリールキットやハンドスプレースティックもほぼ同じ

1. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用
2. チューブカップラ
3. 水圧検知チューブホースリールの水圧計用

5. ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブの口を、チューブカップラに入れる。チューブがカップラに完全に座るまで深く挿入すること図 186。

オプションのハンドスプレーキットや電動ホースリールキットの接続を外す

ハンドスプレーキットや電動ホースリールのコントロールボックスで、コントロールボックスのハーネスの6ピンコネクタを、車両用の後メインハーネスの6ソケットコネクタから外す図 187と図 188。

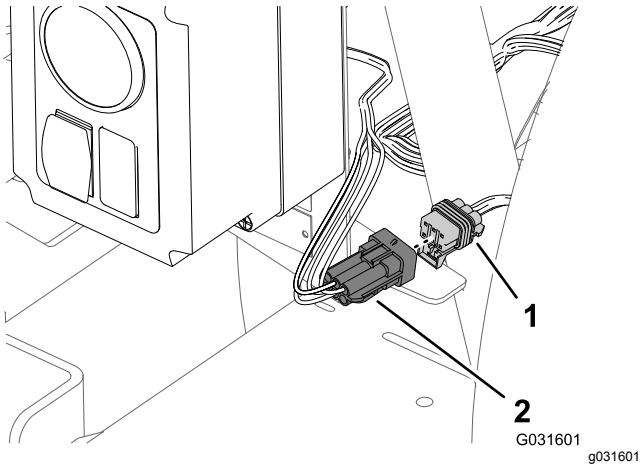


図 187

コントロールボックスハンドスプレー用

1. 6ソケットコネクタ車両の後メインハーネス)
2. 6ピンコネクタコントロールボックスのハーネス

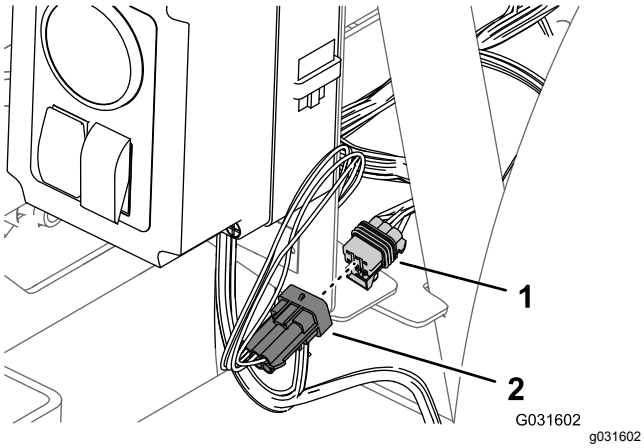


図 188

コントロールボックス電動ホースリールキット

1. 6ソケットコネクタ車両の後メインハーネス)
2. 6ピンコネクタコントロールボックスのハーネス

オプションの収納式ホースリールキットのワイヤハーネスを接続する

1. 機体後部で、液剤タンクの後部にある収納式ホースリールキットのワイヤハーネスを探し出す図 189。

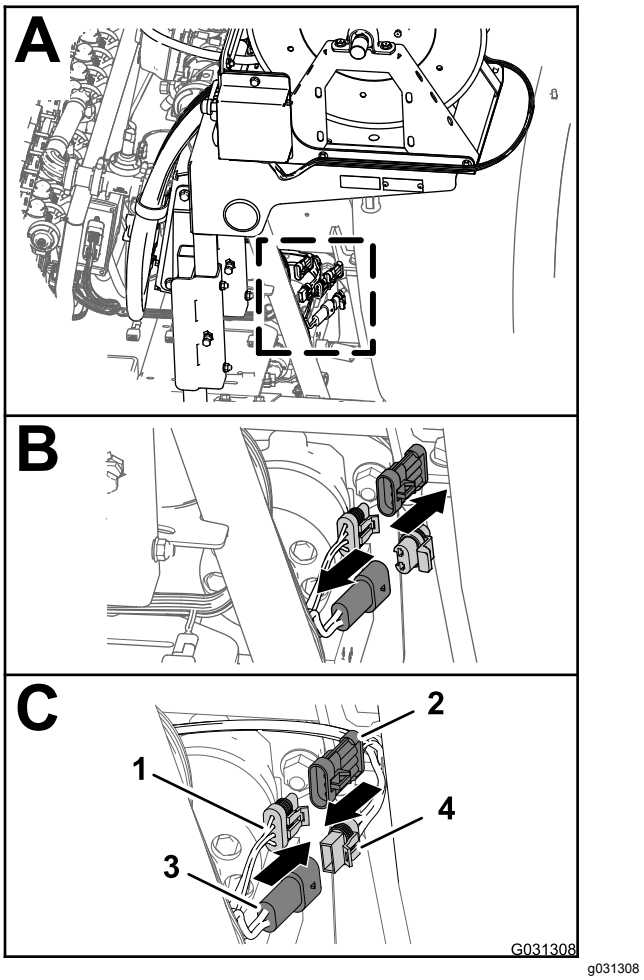


図 189

1. 3ソケットコネクタ後メインハーネス
2. 3ピンコネクタ電動ホースリールのハーネス
3. 2ソケットピン後メインハーネス
4. 2ソケットコネクタ電動ホースリールのハーネス

2. ホースリールの電源用の後メインハーネスの 2 ピンコネクタについているプラグを外す図 189。
3. 電動ホースリール用ハーネスの2ソケットコネクタを、後メインハーネスの2ピンコネクタに接続する図 189。
4. スプレー用ハーネスインターコネクト用の後メインハーネスの 3 ソケットピンコネクタについているキャップを外す図 189。
5. 電動ホースリール用ハーネスの3ピンコネクタを、後メインハーネスの3ピンソケットに接続する図 189。

35

オプションのフォームマーカーキットの接続を行う

この作業に必要なパーツ

1	ワイヤハーネスオプションのフォームマーカー仕上げキット130-8292
5	ケーブルタイオプションのフォームマーカー仕上げキット130-8292
1	リレーオプションのフォームマーカー仕上げキット130-8292
1	フランジヘッドボルト#10-24 x ½"フォームマーカー仕上げキット130-8292
1	ロックナット#10-24オプションのフォームマーカー仕上げキット130-8292
1	補助ヒューズブロックToro P/N 92-2641
1	ヒューズ15Aオプションのフォームマーカー仕上げキット130-8292
4	フランジヘッドボルト6 x 12mmオプションのフォームマーカー仕上げキット130-8292
1	取り付けブラケット泡制御スイッチオプションのフォームマーカー仕上げキット130-8292)
1	3 ポジションパドルスイッチ泡制御スイッチオプションのフォームマーカー仕上げキット130-8292
1	2 ポジションロッカースイッチコンプレッサ ON/OFFスイッチオプションのフォームマーカー仕上げキット130-8292

ワイヤハーネスのコンプレッサ用の枝線を配設する

1. ワイヤハーネスのうち、コンプレッサ用の236cmの枝4ソケットコネクタがついているを探し出し、これをスプレーヤのタンクに沿って 図 190 と 図 191 に示すように車体後部へ導く。

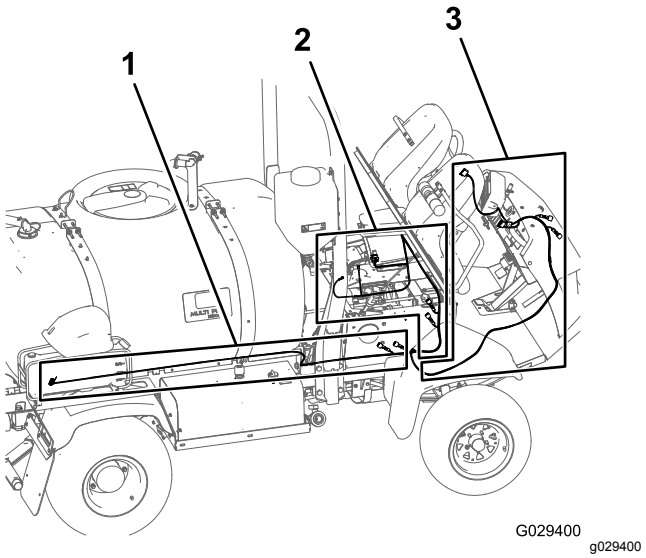


図 190

1. 仕上げキット用ワイヤハーネスの 236cm の枝コンプレッサ用の枝
2. 仕上げキット用ワイヤハーネスの 197cm の枝エンジンルーム用の枝
3. 仕上げキット用ワイヤハーネスの 240cm の枝ダッシュパネル用の枝

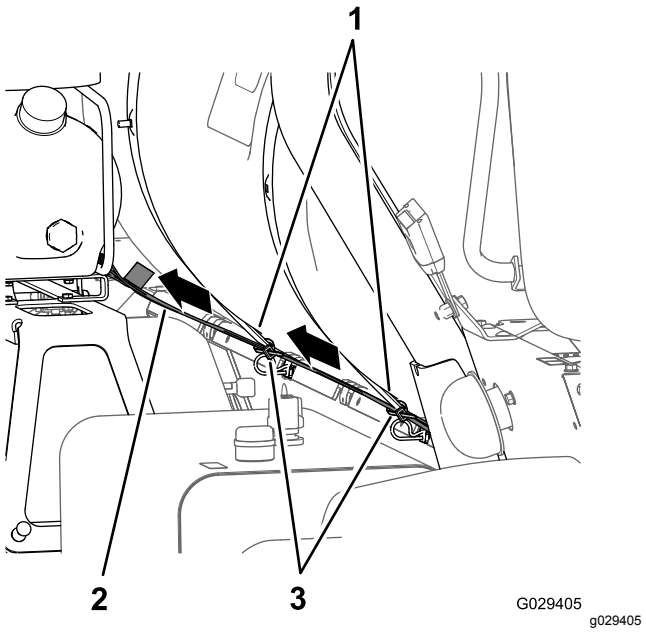


図 191

1. 236cmコンプレッサ用
2. スプレーヤの液剤タンクのベルト
3. ケーブルタイ

2. ワイヤハーネスの4ソケットコネクタを、コンプレッサの4ピンコネクタまで導き、これら2つのコネクタを相互に接続する。

   注 コンプレッサはフォームマーカーのタンクの上にあります。

ワイヤハーネスのエンジンルーム用枝線を配設する

1. 仕上げキットのハーネスを車両前方へ導くROPSの間を通し、液剤タンクの下の角部から、車両用のワイヤハーネスに沿って、エアクリーナの下を通してエンジンへ導く 図 192 と 図 193。

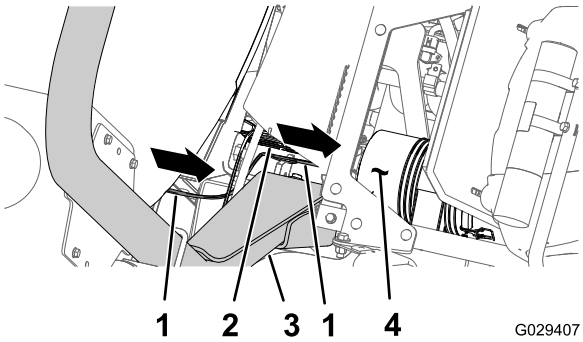


図 192

1. 236cmコンプレッサ用
2. 車両用ワイヤハーネス
3. ROPS
4. エアクリーナ エンジン

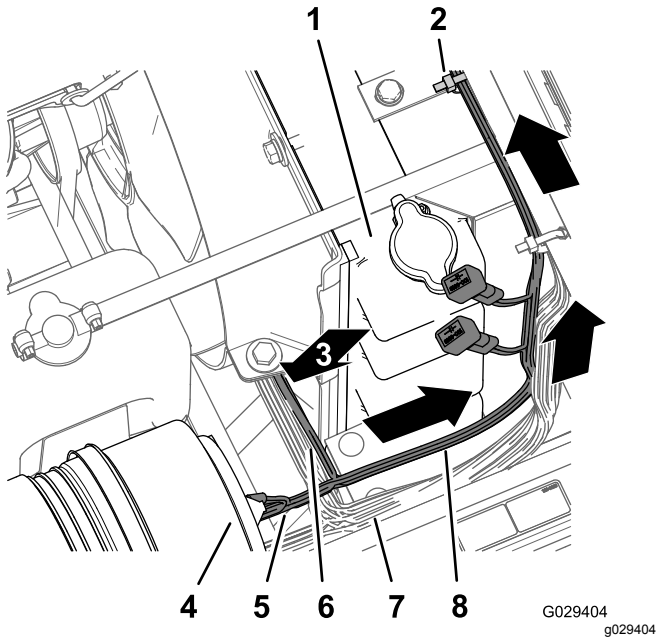


図 193

1. ラジエター
2. ケーブルタイ
3. 240cmダッシュパネル用 下へ延ばす
4. エアフィルタ エンジン
5. 236cmコンプレッサ用
6. 240cmダッシュパネル用
7. 車両用ワイヤハーネス
8. 197cmエンジンルーム用

2. エンジンルーム用の 197cm の枝 リング端子、ソケット端子、5ソケットコネクタがついている を、ラジエターの右側に沿って上方へ導き、ラジエター上部に沿って中央コンソールのベース部の下まで導く 図 193。
3. エンジンルーム用の 197cm の枝リング端子、ソケット端子、5ソケットコネクタがついている を、ラジエターの右側に沿って上方へ導き、ラジエター上部に沿って中央コンソールのベース部の下まで導く 図 194。

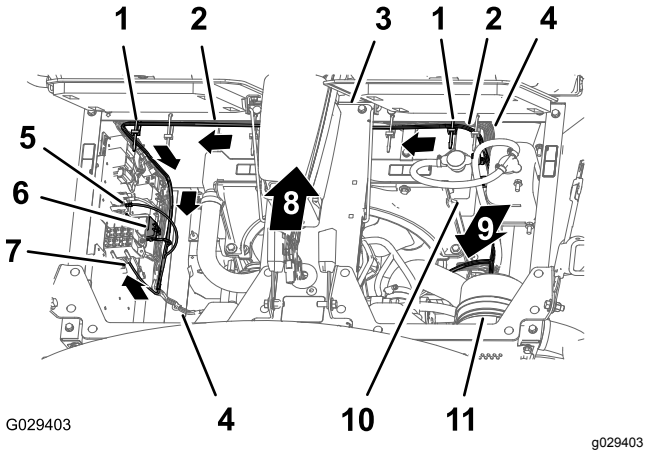


図 194

1. ケーブルタイ
2. 197cmエンジンルーム用
3. 中央コンソールのベース部
4. 車両用ワイヤハーネス
5. リング端子 仕上げキット用のワイヤハーネス
6. 5ソケットコネクタ 仕上げキット用のワイヤハーネス
7. ブレード形コネクタ 仕上げキット用のワイヤハーネス
8. 車体前方
9. 240cmダッシュパネル用 下へ延ばす
10. ラジエター
11. エアフィルタ

4. ケーブルタイを使って、仕上げキット用ワイヤハーネスを車両用ワイヤハーネスに 図 194 のように固定する。

ワイヤハーネスのダッシュパネル用の枝線を配設する

1. ダッシュパネル用の 240cm の枝線 を、車両のワイヤハーネスとステアリングホースラジエターの下側に沿って導くラジエターサポートの下にあるRクランプを通し、走行速度制御コイルの所にあるRクランプを通す 図 195 と 図 196。

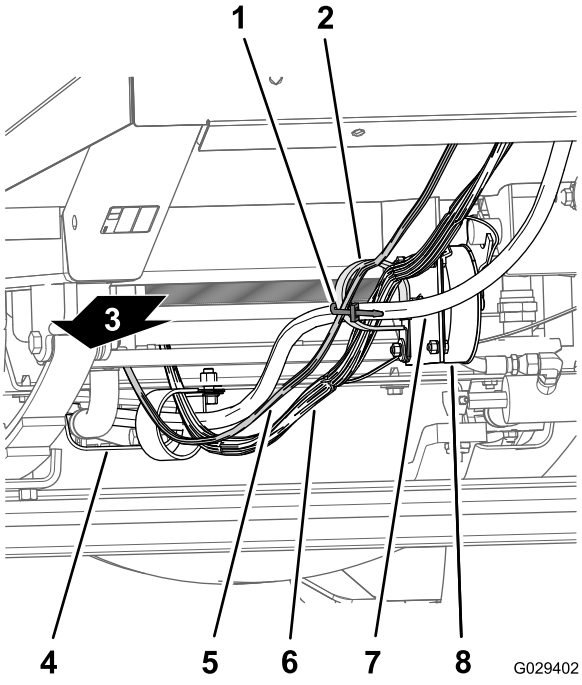


図 195

1. ケーブルタイ
2. R クランプ
3. 機体背面
4. エンジン防熱シールド
5. 240cmダッシュパネル用
6. 車両用ワイヤハーネス
7. ステアリングホース
8. 走行速度制御用コイル

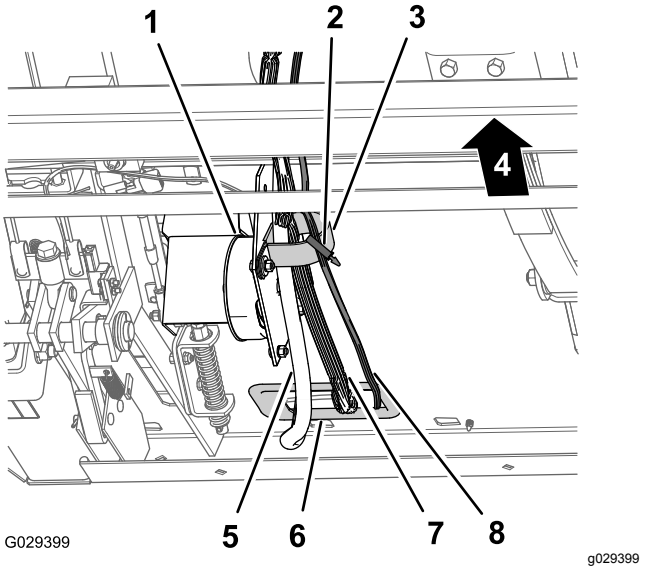


図 196

1. 走行速度制御用コイル
2. ケーブルタイ
3. R クランプ
4. 機体後方
5. ステアリングホース
6. ハトメ前方バルクヘッド
7. 車両用ワイヤハーネス
8. 240cmダッシュパネル用

2. ダッシュパネル用の 240cm の枝線 を、走行速度制御コイルの所にあるRクランプに固定する 図 195 と 図 196。

3. ダッシュパネル用の 240cm の枝線を、前方バルクヘッドの開口部にあるハトメを通して車両のケーブルホース用フックの内側まで導く 図 197。

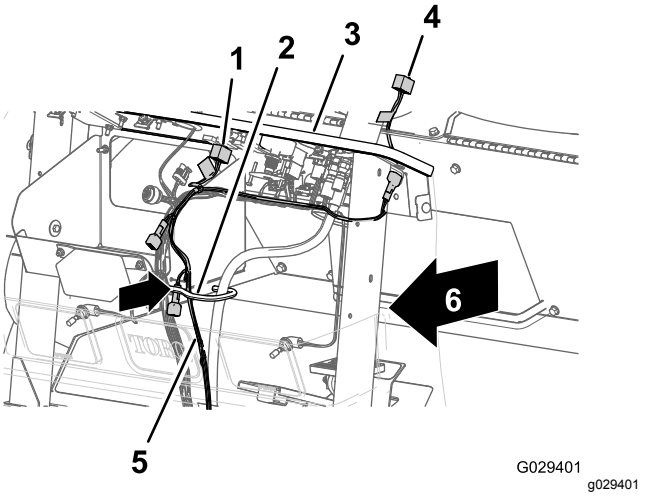


図 197

1. 8口コネクタコンプレッサのスイッチ
2. ケーブルホース用フック
3. ダッシュパネル
4. 8ソケットコネクタ仕上げキットのワイヤハーネス
5. 240cmダッシュパネル用
6. 8ソケットコネクタ泡制御スイッチ

4. ダッシュパネル用の 240cm の枝線の8口コネクタを、ダッシュパネルを横断させてステアリングコラムの左側まで導く図 198。

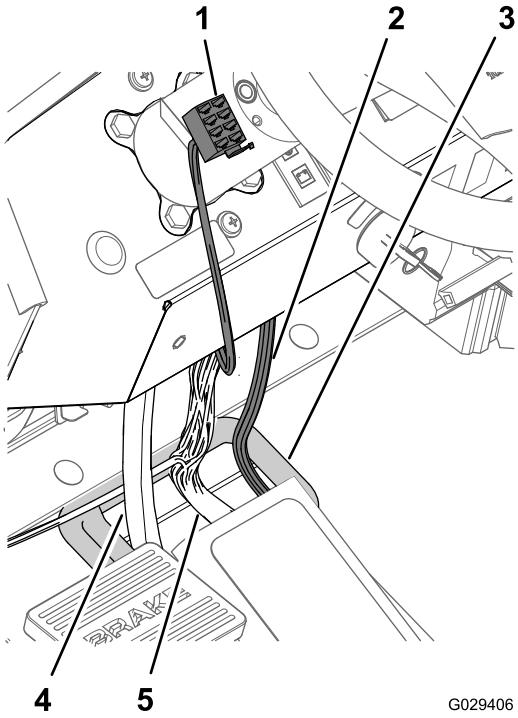


図 198

1. 8ソケットコネクタ仕上げキットのワイヤハーネス
2. 240cmダッシュパネル用
3. ハトメ前方バルクヘッド
4. ステアリングホース
5. 車両用ワイヤハーネス

5. ケーブルホース用フックの近くで、ダッシュパネル用の 240cm の枝線を、車両用ワイヤハーネスにケーブルタイで縛りつける図 199。

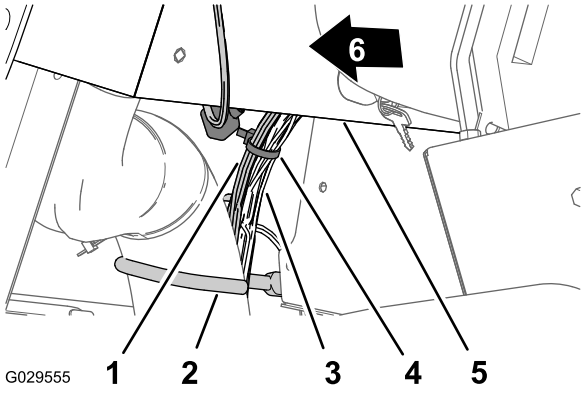


図 199

1. 240cmダッシュパネル用
2. ケーブルホース用フック
3. 車両用ワイヤハーネス
4. ケーブルタイ
5. ダッシュパネル
6. 機体正面

コンプレッサ用ワイヤハーネスを接続する

1. ワイヤハーネスの 236cm の枝線の端部についている4ソケットコネクタ仕上げキットを、コンプレッサから来ているハーネスの4ピンコネクタに接続する図 200。

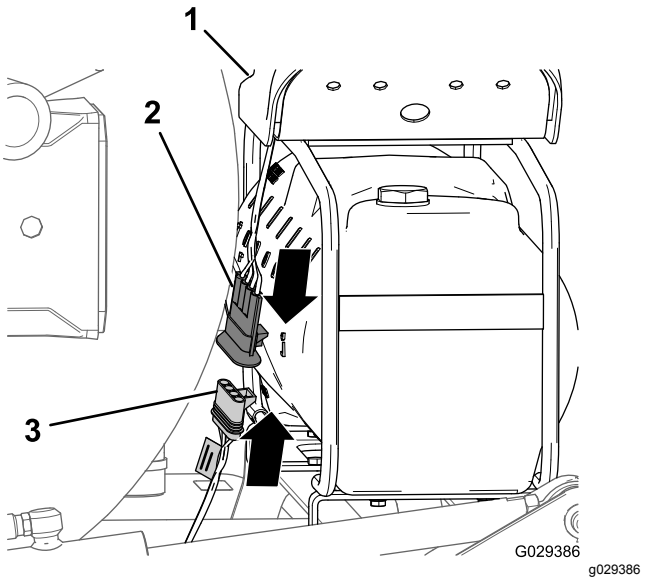


図 200

1. コンプレッサ
2. 4ピンコネクタコンプレッサのワイヤハーネス
3. 4ソケットコネクタ仕上げキットのワイヤハーネス

2. 4ソケットコネクタに4ピンコネクタを接続する図 200。

   注 コネクタどうしが相互ロックするまで完全に押し込むこと。

リレー

1. エンジンルーム用の 197cm の枝についている5ソケットコネクタを、リレーに合わせる 図 201。

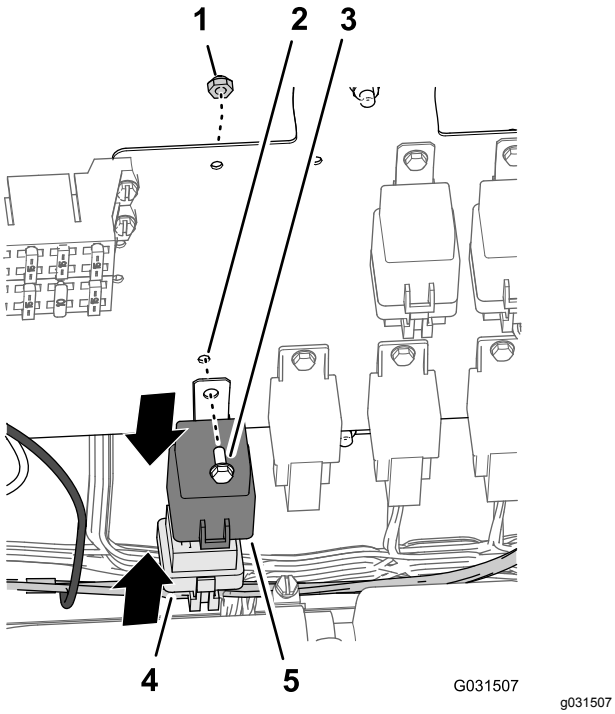


図 201

1. ロックナット (#10)
2. 穴配線パネル
3. フランジヘッドボルト#10-24 x ½"
4. リレー
5. 5ソケットコネクタ 仕上げキット用のワイヤハーネス

2. コネクタのソケットにリレーのピンを挿入する図 201。

   注 コネクタとリレーが相互ロックするまで完全に押し込むこと。.

3. リレーの取り付けタブについている穴を、配線パネルの穴に合わせる図 201。
4. パネルにリレーを固定する図 201フランジヘッドボルト#10 x ½"とロックナット#10を使用する。

アース線用ターミナルへ接続する

1. アース端子ブロックからねじを外す図 202。

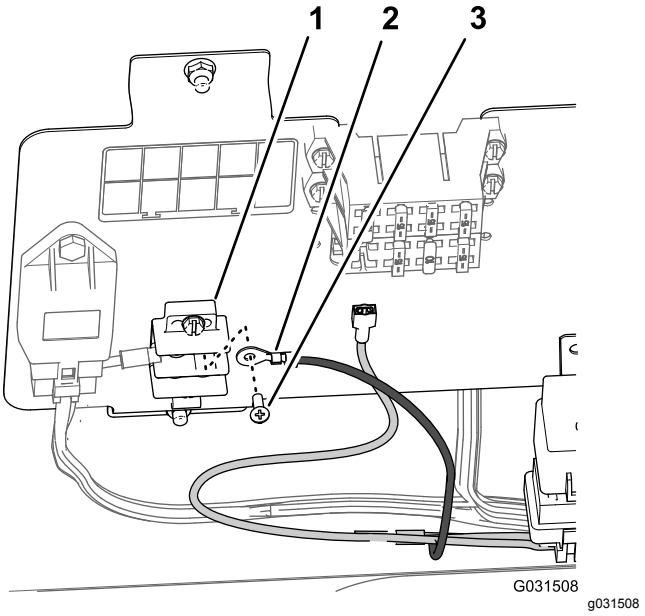


図 202

1. アース端子ブロック
2. リング端子 アース
3. ねじ

2. ステップ 1で外したねじを使用して、仕上げキットのワイヤハーネスについているリング端子を、アース端子ブロックに固定する 図 202。

負荷線用コネクタを接続する車両のヒューズブロック

注 車両用のヒューズブロックにブレード形コネクタが付いていない場合には、補助ヒューズブロックを取り付ける必要があります。

1. 車両用のヒューズブロックにブレード形コネクタが付いている車両の場合には、仕上げキット用ハーネスについているブレード形コネクタを車両のヒューズブロックのソケットに接続する図 203。

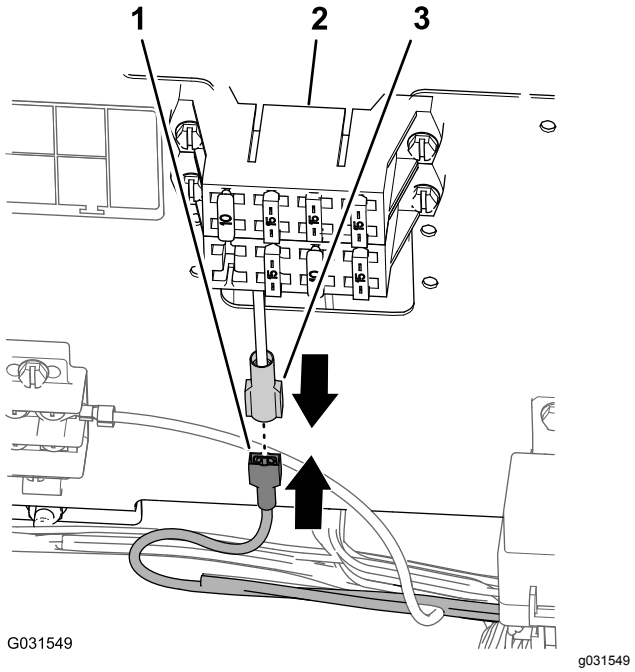


図 203

1. ブレード形コネクタ 仕上げキット用のワイヤハーネス
2. ヒューズブロック車両
3. ソケットコネクタ車両用ヒューズブロック

2. コネクタどうしが相互ロックするまで完全に押し込むこと。

負荷線用コネクタを接続する

オプション用補助ヒューズブロック

1. 仕上げキット用ハーネスについているブレード形コネクタを、追加で取り付けた補助ヒューズブロックのソケットに接続する図 204。

   注 コネクタどうしが相互ロックするまで完全に押し込んでください。

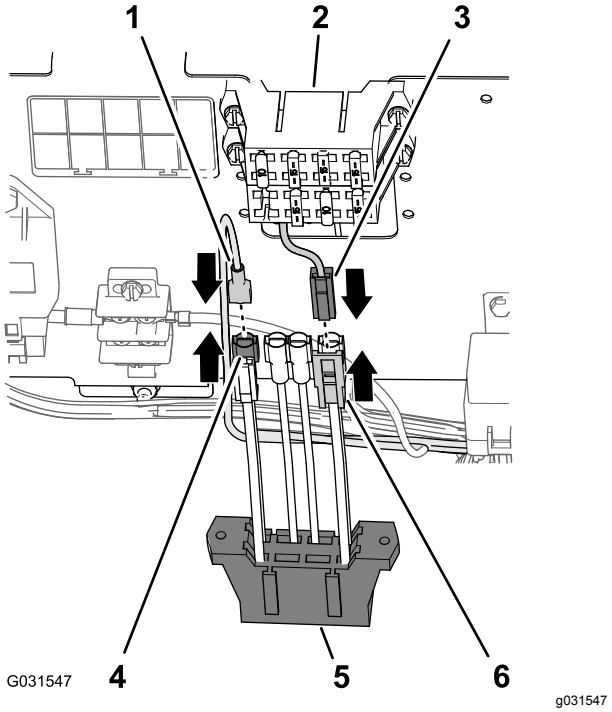


図 204

1. 1ソケットコネクタ仕上げキットのワイヤハーネス
2. ヒューズブロック車両
3. 1ブレードコネクタ補助ヒューズブロック
4. 1ピンコネクタ車両用ヒューズブロックの補助フィード線
5. 補助ヒューズブロック
6. 1ソケットコネクタ口が四角い補助ヒューズブロックのフィード線

2. 車両用ヒューズブロックの補助フィード線用の2ピンコネクタを、補助ヒューズブロックのフィード線用の2口コネクタに接続する図 204。

   注 コネクタどうしが相互ロックするまで完全に押し込むこと。

3. 補助ヒューズブロックのスロットを、車両のヒューズブロックの取り付けフランジに合わせる図 205。

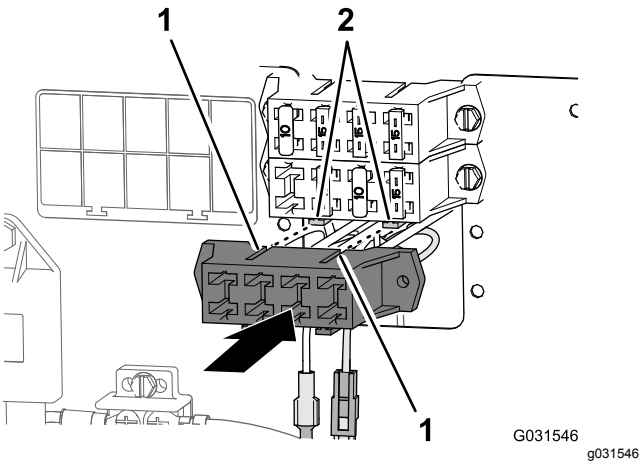


図 205

1. スロット補助ヒューズブロック
2. 取り付けフランジ車両のヒューズブロック

4. コネクタどうしが相互ロックするまで完全に押し込んでください。

ヒューズを取り付ける

- 車両用のヒューズブロックにブレード形コネクタが付いている車両の場合には、ヒューズブロックに15Aのヒューズを取り付ける図 206。

  注 ヒューズはソケットの奥まで完全に差し込んでください。

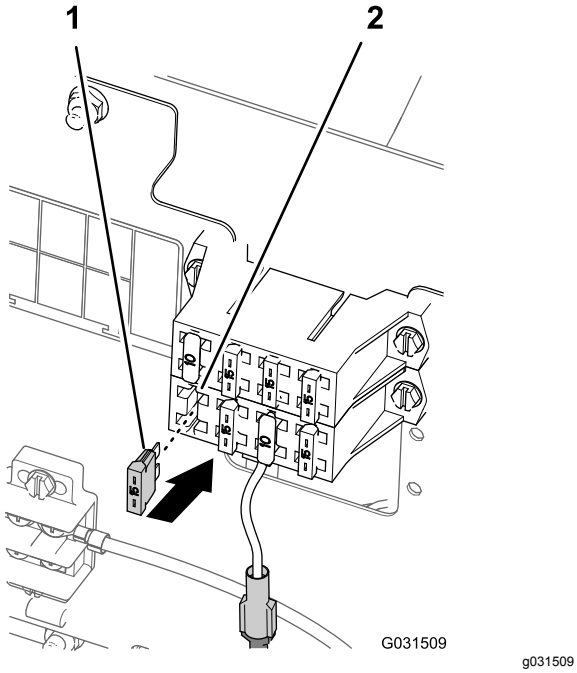


図 206

1. 15Aヒューズ
2. 車両用ヒューズブロック

- オプション用補助ヒューズブロックにブレード形コネクタがついている車両の場合は、以下の作業を行う。

1. ステップ 1 負荷線用コネクタを接続する (ページ 88) で使用したブレード形コネクタのコードについているヒューズ用ソケットを探し出す。
2. 探し出したソケット補助ヒューズブロックに 15 A ヒューズを取り付ける図 207。

   注 ヒューズはソケットの奥まで完全に差し込んでください。

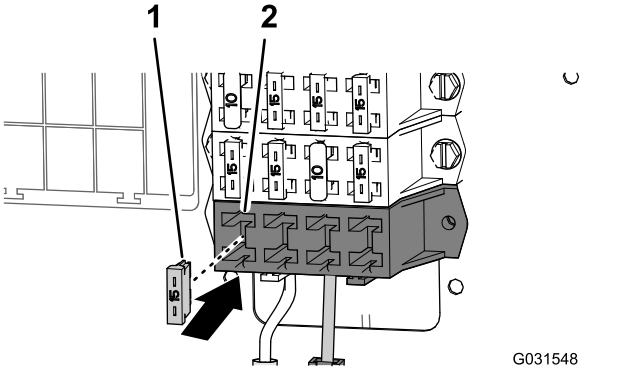


図 207

1. 15Aヒューズ
2. ヒューズのソケット補助ヒューズブロック

フォーム 泡 制御バルブを取り付ける

1. 泡制御スイッチ用の取り付けブラケットのスロットを、ステアリングコラムにある4本のねじ山付きインサートに合わせる図 208。

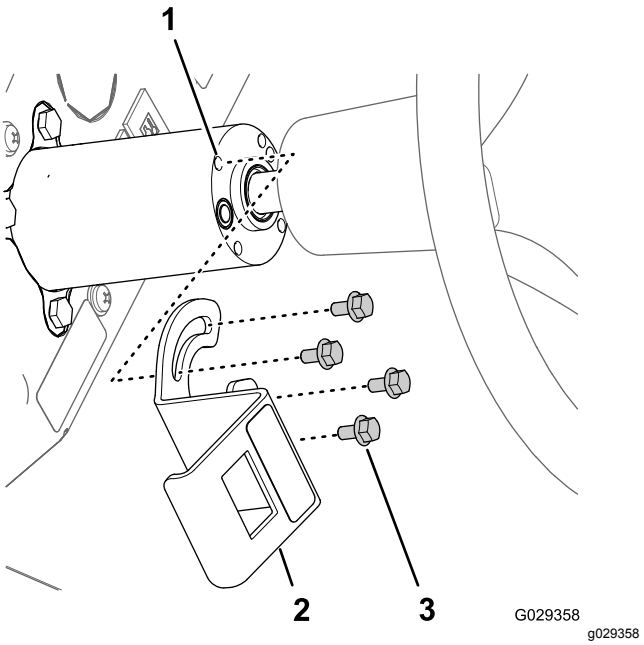


図 208

1. ねじ付きインサートステアリングコラム
2. 取り付けブラケット泡制御スイッチ
3. フランジヘッドボルト 6 x 12 mm

2. ブラケットをステアリングコラムに組み付ける フランジヘッドボルト6 x 12mm4本を使用し、9721198N·cm 1.01.2kg.m = 86106in-lb にトルク締めする。

3. ブラケットの開口部に 8口コネクタを通して、3ポジション・パドルスイッチの裏側にあるピン 図 208 に接続する 泡制御 スイッチ。

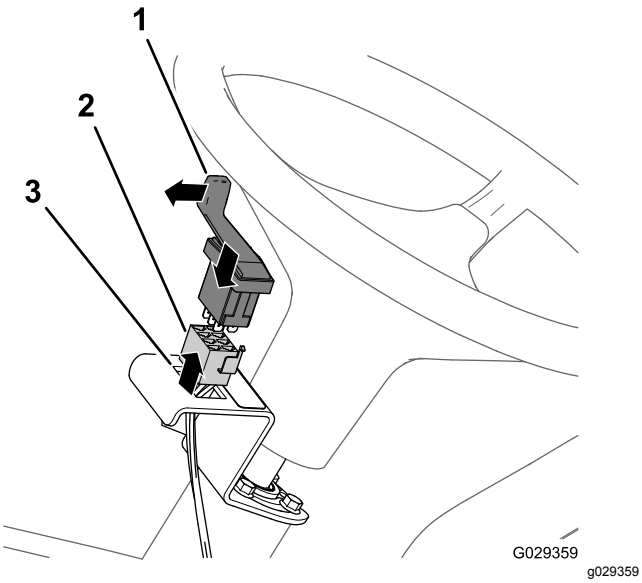


図 209

1. 3ポジション・パドルスイッチ 泡制御スイッチ
2. 8ソケットコネクタ
3. 開口部泡制御スイッチの取り付けブラケット

4. ブラケットにスイッチを組み込む。ブラケットの開口部にスイッチがパチンとはまるまで完全に押し込むこと 図 209。

   注 3ポジション・パドルスイッチ 泡制御 スイッチ のパドルが外側を向くように取り付けてください。

コンプレッサのスイッチを取り付ける

1. ダッシュボードの右へ数えて5番目の打ち抜きプラグを打ち抜いて外す 図 210。

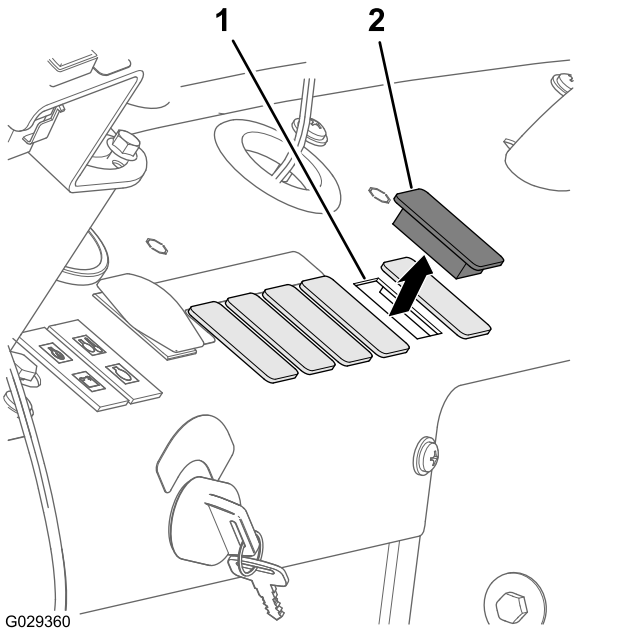


図 210

1. ダッシュボードの開口部右へ数えて5番目の打ち抜きプラグ
2. プラグ

2. ダッシュパネルの開口部に 8口コネクタを通して、2ポジション・ロッカースイッチの裏側にあるピン 図 211 に接続するコンプレッサ ON/OFF スイッチ。

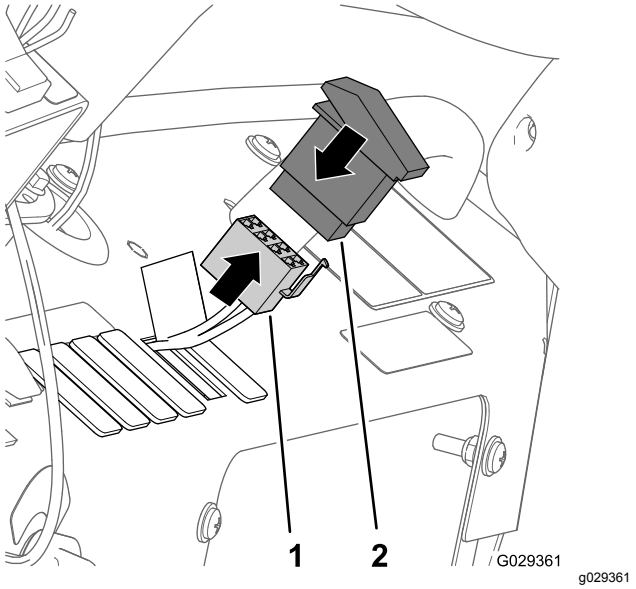


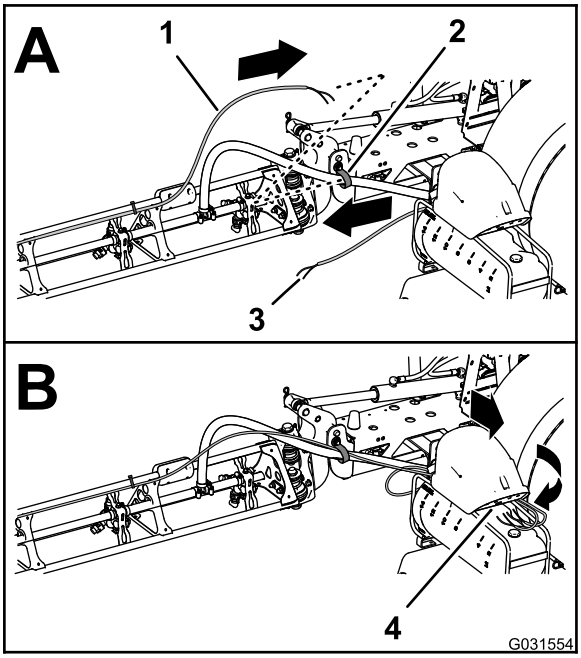
図 211

1. 8ソケットコネクタ
2. 2ポジション・ロッカースイッチコンプレッサ ON/OFFスイッチ

3. ダッシュパネルにスイッチを組み込む。パネルの開口部にスイッチがパチンとはまるまで完全に押し込むこと (図 210 と 図 211)。

フォームマーカーのノズルのチューブの接続を行う

1. 左右のブームで、泡ノズルのチューブを車両の中心に向かって配設外し、ブームの支点近くにある R クランプに通す図 212。

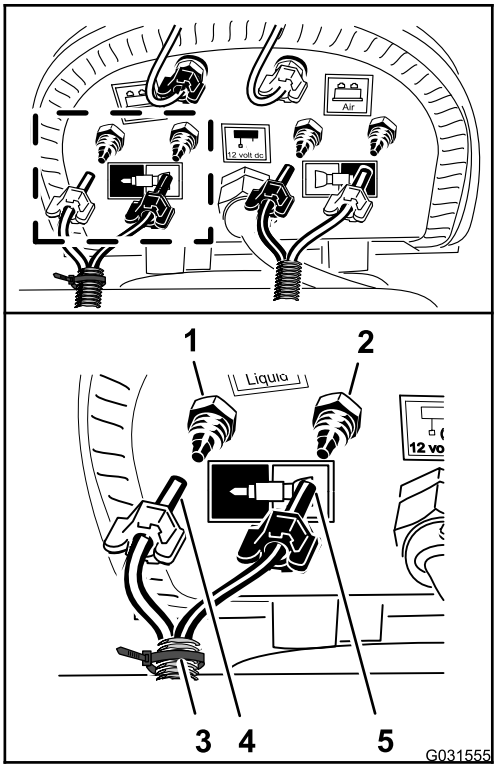


g031554

図 212

1. チューブフォームマーカーのノズル用右ブーム
2. R クランプ
3. チューブフォームマーカーのノズル用左ブーム
4. 接続パネルフォームマーカーのコンプレッサ

2. コンプレッサから見て内側を通るようにして、タンクに向かってチューブを前方に延ばす図 212。
3. ステップ 1 機体から液体チューブと空気チューブを取り外す (ページ 16)で取り付けたチューブの取り付けを行う右側ブーム用の青色チューブを右側ブーム用給水部のコンプレッションフィッティングに取り付けてケーブルタイで固定する図 213。

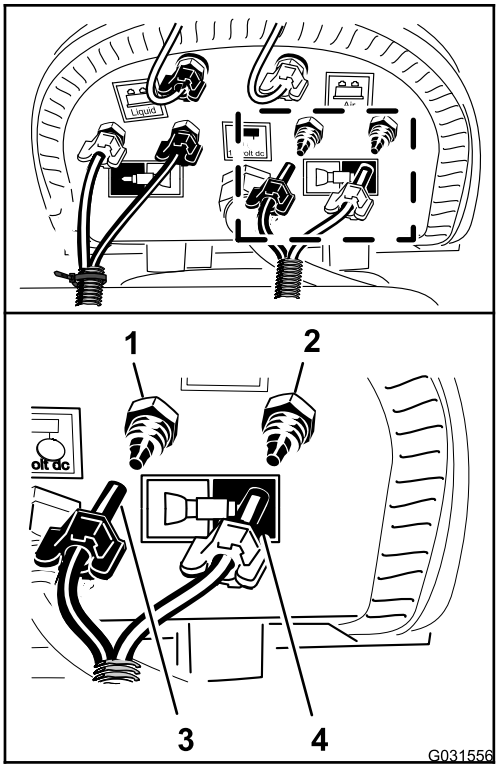


g031555

図 213

1. コンプレッションフィッティング—水 右ブーム—青チューブ
2. コンプレッションフィッティング—空気 右ブーム—透明チューブ
3. コンプレッションナット—空気 右ブーム—青チューブ
4. ケーブルタイ
5. コンプレッションナット—水 右ブーム—透明チューブ

4. チューブの圧縮ナットをフィッティングに嵌め、ナットを手締めする図 213。
5. 右側ブーム用の透明チューブを右側ブーム用エア供給部のコンプレッションフィッティングに取り付ける図 213。
6. チューブの圧縮ナットをフィッティングに嵌め、ナットを手締めする図 213。
7. マークの付いていないケーブルタイの付いていないチューブ束で、左側ブーム用の青色チューブを左側ブーム用給水部のコンプレッションフィッティングに取り付ける図 214。



g031556

図 214

1. コンプレッションフィッティング—水左ブーム—青チューブ
2. コンプレッションフィッティング—空気左ブーム—透明チューブ
3. コンプレッションナット—左ブーム—青チューブ
4. コンプレッションナット—左ブーム—透明チューブ

8. チューブの圧縮ナットをフィッティングに嵌め、ナットを手締めする図 214。
9. 左側ブーム用の透明チューブを左側ブーム用エア供給部のコンプレッションフィッティングに取り付ける図 214。
10. チューブの圧縮ナットをフィッティングに嵌め、ナットを手締めする図 214。

36

薬剤プレミックスキットオプションを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	液剤シャットオフバルブToro P/N 130-7324
2	リテーナToro P/N 131-0235
1	マウント液剤シャットオフバルブToro P/N 131-3725-03
2	フランジロックナットステンレス製 1/4"Toro P/N 119-6897
1	圧力解放ホースアセンブリ25 x 273 mmToro P/N 131-9647
1	給液ホースアセンブリ25 x 470 mmToro P/N 131-9648
1	攪拌バイパスホースアセンブリ25 x 305 mmToro P/N 131-9649
1	バーブ付き 90° フィッティング25 mmToro P/N 131-3727
1	ドレンホース25 x 1587 mmToro P/N 117-7957)

圧力解放バルブの位置を変更する

1. 給液ホースのバーブ付きストレートフィッティングをスプレーヤのポンプのT字フィッティングに固定しているリテーナを外してT字フィッティングからストレートフィッティングを取り外す 図 215。

   注 外したリテーナは、ステップ 2 給液ホースアセンブリを取り付ける (ページ 96)で使用します。

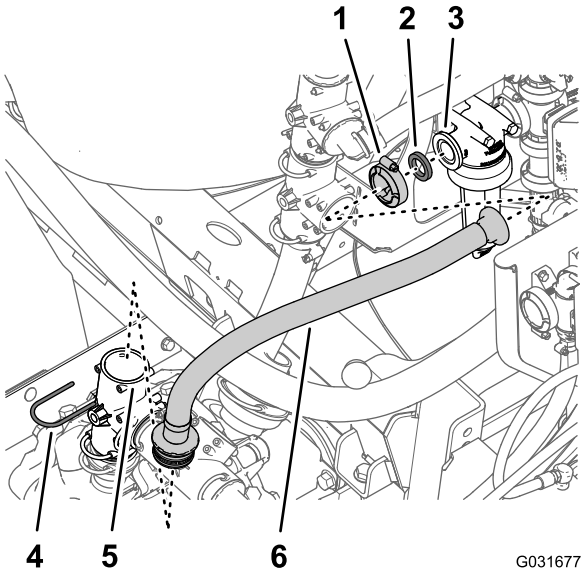


図 215

1. フランジクランプ
2. ガスケット
3. フランジフィルタのヘッド
4. リテーナ
5. T字フィッティング液剤ポンプ
6. 給液ホース

2. 給液ホースとガスケットをフィルタヘッドのフランジに固定しているフランジクランプを外して、車体からホースを外す 図 215。
3. 圧力解放バルブをスプレーヤのポンプのT字フィッティングに固定しているリテーナを外してバルブを取り外す 図 216。

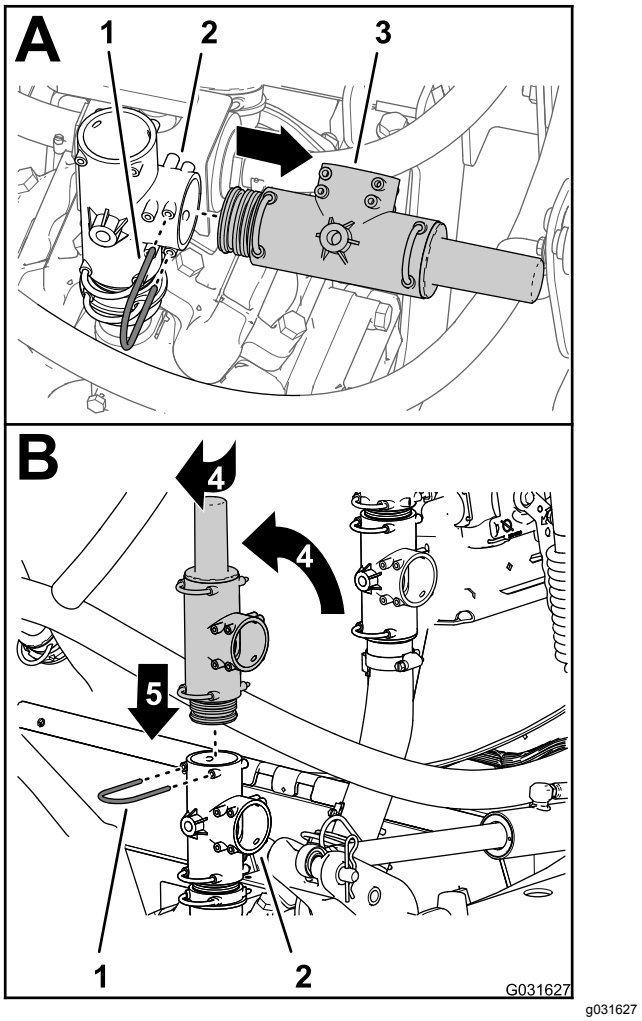


図 216

1. リテーナ
2. 圧力解放バルブ
3. T 字フィッティング
4. 圧力解放バルブの向きを変更する
5. 下

4. 図 216に示すように、圧力解放バルブを回して向きを変更する。

   注 バルブの吐出口を後ろに向けてください。
5. 圧力解放バルブを、T字フィッティングの上部に取り付け、一番奥まで完全に押し込む図 216。
6. ステップ 3 で取り外したリテーナを使って、圧力解放バルブをT字フィッティングに固定する。

攪拌バルブ用のバイパスホースを交換する

1. バイパスホースのバーブ付き90°フィッティングを上側T字フィッティングに固定しているリテーナを外してT字フィッティングから90°フィッティングを取り外す 図 217。

   注 外したリテーナは、ステップ 5で使用します。

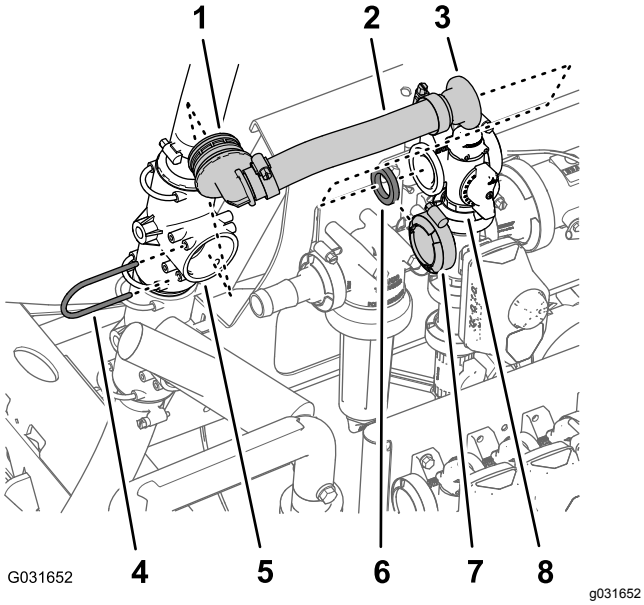


図 217

1. 90°鋸歯フィッティング	5. 上側字フィッティング
2. バイパスホース	6. ガスケット
3. フランジ付きストレートフィッティング	7. フランジクランプ
4. リテーナ	8. フランジ攪拌バルブ

2. フランジ付きストレートフィッティングとガスケットを攪拌バルブのフランジに固定しているフランジクランプを外して、車体からバイパスホースを外す図 217。

   注 外したフランジ付きクランプとガスケットは、ステップ 7で使用しますが、90° フィッティング、バイパスホース、ストレートフランジフィッティングは廃棄して構いません。

3. 上側T字フィッティングを右まわりに 45°程度回転させる図 218。

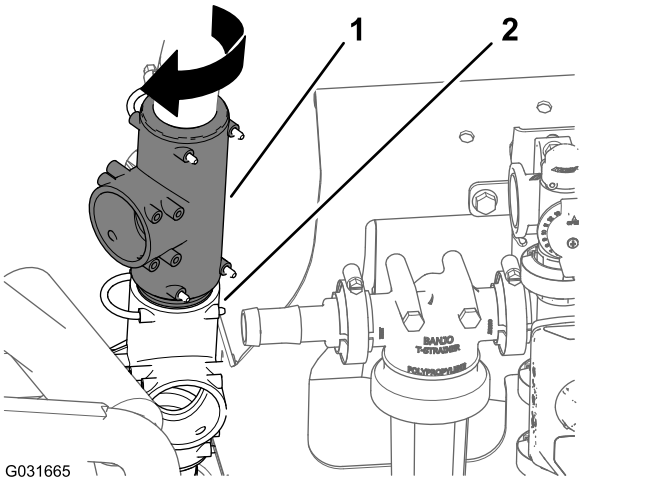


図 218

4. 新しい攪拌バイパスホースアセンブリToro P/N 131-9649のバーブ付き90°フィッティングを、上側T字フィッティングの空いているポートに整列させて90°フィッティングをT字フィッティングの奥まで完全に入れる図 219。

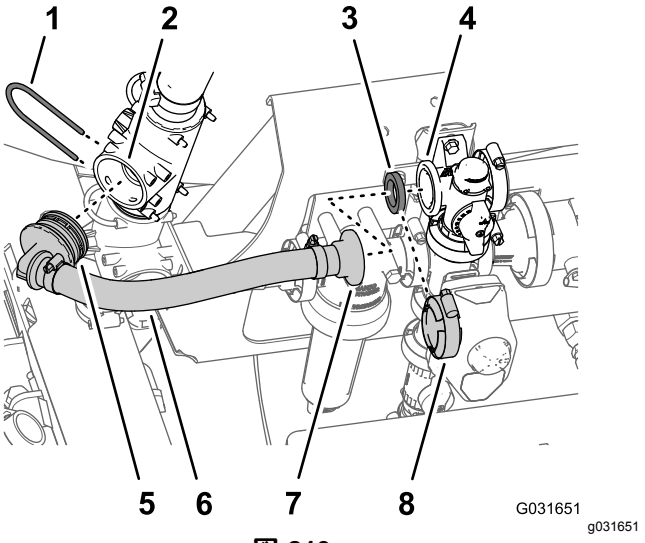


図 219

1. リテーナ	5. バーブ付き 90° フィッティング攪拌バイパスホースアセンブリToro P/N 131-9649
2. ポート上側字フィッティング	6. ホース25 x 305 mm, 攪拌バイパスホースアセンブリToro P/N 131-96499
3. ガスケット	7. フランジ付きストレートフィッティング攪拌バイパスホースアセンブリToro P/N 131-9649
4. フランジ攪拌バルブ	8. フランジクランプ

5. 90° フィッティングをT字フィッティングに固定する図 219ステップ1で外したリテーナを使用する。

6. 新しい攪拌バイパスホースアセンブリToro P/N 131-9649のフランジ付きストレートフィッティングと

ガスケットを、バイパスバルブのフランジに合わせる図 219。

7. ステップ 2 で取り外したフランジクランプを使って、フランジ付きストレートフィッティングとガスケットを固定する。

エダクタ用の液剤シャットオフバルブの取り付け準備を行う

1. バーブ付き 90° フィルタToro P/N 131-3727を、液剤シャットオフバルブToro P/N 130-7324に対して 図 220のように整列させ、バーブ付きフィッティングをバルブの奥まで完全に挿入する。

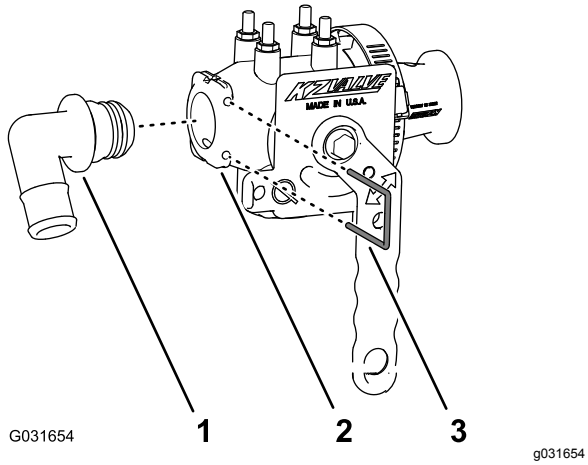


図 220

1. バーブ付き 90° フィッティング25 mmToro P/N 131-3727
2. 液剤シャットオフバルブToro P/N 130-7324
3. リテーナToro P/N 131-0235

2. バーブ付き 90° フィッティングを、液剤シャットオフバルブに固定するリテーナToro P/N 131-0235を使用する。
3. バーブ付きストレートフィッティングとガスケットをフィルタヘッドのフランジに固定しているフランジクランプを外して、フィッティングを外す図 221。

   注 外したフランジクランプとガスケットは、ステップ5 エダクタ用の液剤シャットオフバルブを取り付ける (ページ 96)でシャットオフバルブの取り付けに使用しますが、バーブ付きストレートフィッティングは廃棄して構いません。

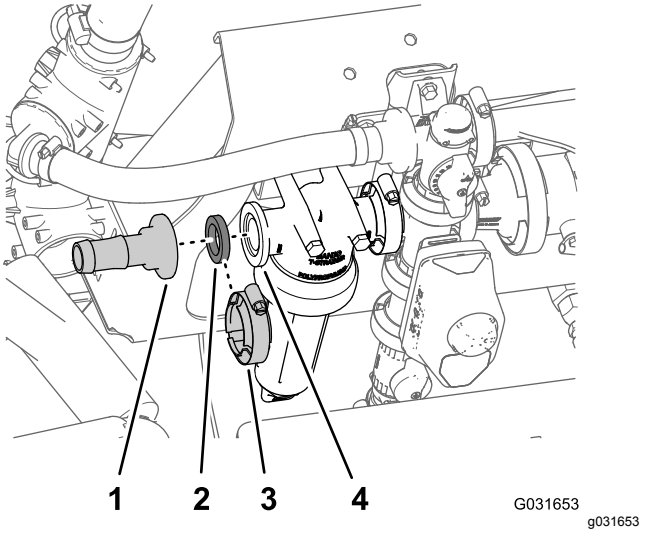


図 221

1. バーブ付きストレートフィッティング
2. ガスケット
3. フランジクランプ
4. フランジフィルタのヘッド

4. フィルタヘッドをマニホルドのマウントに固定しているフランジロックナット5/16"2個を取り外す図 222。

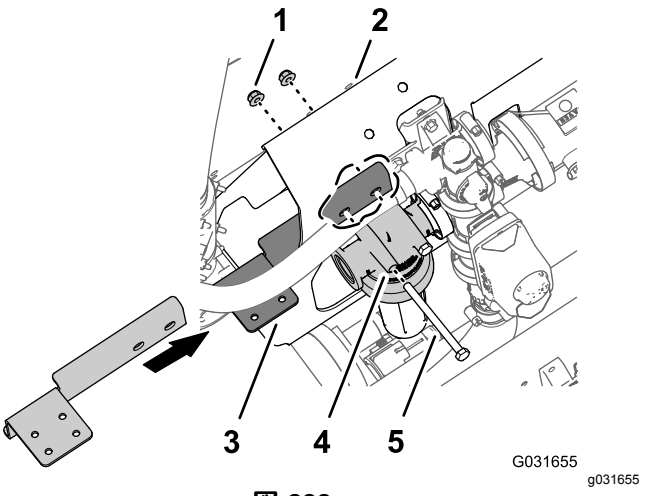


図 222

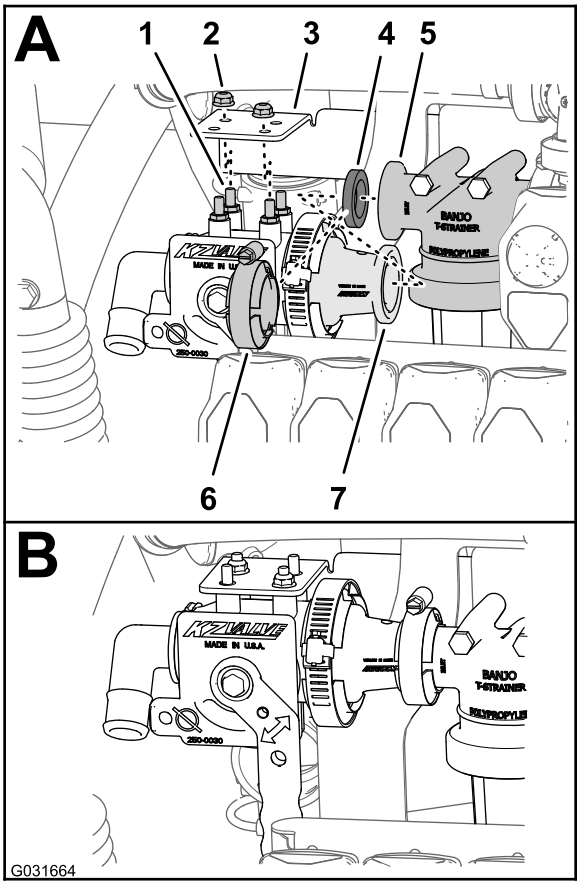
ボルト5/16 x 4"を図示していない

1. フランジロックナット5/16"
2. マニホルドマウント
3. マウント液剤シャットオフバルブToro P/N 131-3725-03
4. フィルタのヘッド
5. ボルト5/16 x 4"

5. シャットオフバルブのマウントToro P/N 131-3725-03の長い方のフランジの穴を、マニホルドマウントの前側にある2本のボルト5/16 x 4"に合わせる図 222。
6. マニホルドマウントにシャットオフバルブを取り付け、ステップ4図 222で外したフランジロックナットで固定する。
7. ボルトとナットを19782542N·cm2.02.6kg.m = 175225in-lbにトルク締めする。

エダクタ用の液剤シャットオフバルブを取り付ける

1. ガスケットをフィルタヘッドのフランジに合わせる 図 223。



g031664

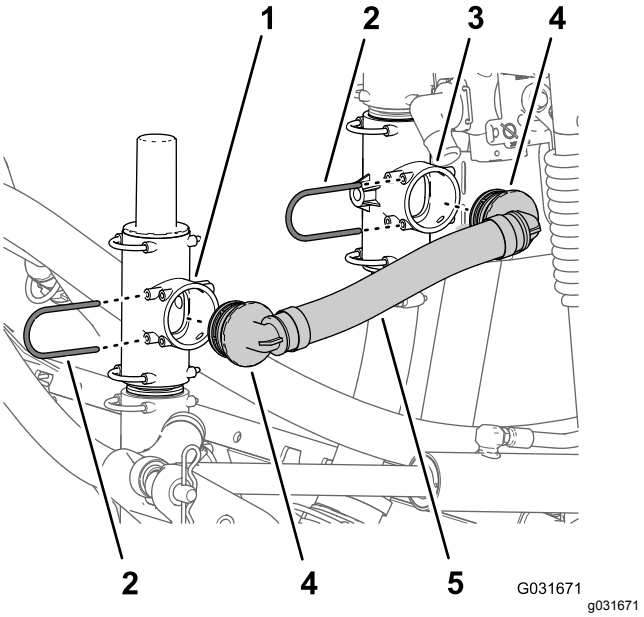
図 223

1. スタッド液剤シャットオフバルブToro P/N 130-7324
2. フランジロックナットステンレス製 ¼"Toro P/N 119-6897
3. マウント液剤シャットオフバルブToro P/N 131-3725-03
4. ガスケット
5. フランジフィルタのヘッド
6. フランジクランプ
7. フランジーアダプタ液剤シャットオフバルブToro P/N 130-7324

2. 液剤シャットオフバルブ (Toro P/N 130-7324) のスタッドを、シャットオフバルブ用マウントToro P/N 131-3725-03の4つの穴に合わせ、バルブのフランジアダプタをフィルタヘッドとガスケットの穴に合わせる図 223。
3. 液剤シャットオフバルブを用マウントに組み付ける図 223のように、対角線上の2本のスタッドに対して2個のフランジロックナットToro P/N 119-6897を使用する。
4. フランジロックナット1/4"を、1070 1243 N·cm 1.01.3 kg.m = 90 110 in-lbにトルク締めする。
5. シャットオフバルブのフランジアダプタを、フィルタヘッドのフランジに固定する 図 2233 エダクタ用の液剤シャットオフバルブの取り付け準備を行う (ページ 95)で外したクランプを使用する。

圧力解放ホースアセンブリを取り付ける

1. 圧力解放ホースアセンブリToro P/N 131-9647の90°フィッティングを、圧力解放バルブの空いているポートに整列させて90°フィッティングをT字フィッティングの奥まで完全に入れる図 224。



g031671

図 224

1. 圧力解放バルブ
2. リテーナ
3. 下側T字フィッティング
4. バーブ付き 90° フィッティング圧力解放ホースアセンブリToro P/N 131-9647
5. 圧力解放ホースToro P/N 131-9647

2. 90° フィッティングを圧力解放バルブに固定する 図 224ステップ1 マニホルドマウントに収納式ホースリールを取り付ける (ページ 79)で外したリテーナを使用する。
3. 圧力解放ホースアセンブリToro P/N 131-9647の90°フィッティングを、下側のT字フィッティングの空いているポートに整列させて90°フィッティングをT字フィッティングの奥まで完全に入れる図 224。
4. 90° フィッティングを上側T字フィッティングに固定する図 224ステップ2 マニホルドマウントに収納式ホースリールを取り付ける (ページ 79)で外したリテーナを使用する。

給液ホースアセンブリを取り付ける

1. 給液ホースアセンブリToro P/N 131-9648の90°フィッティングを、液剤ポンプのT字フィッティングの空いているポートに整列させて90°フィッティングをT字フィッティングの奥まで完全に入れる図 225。

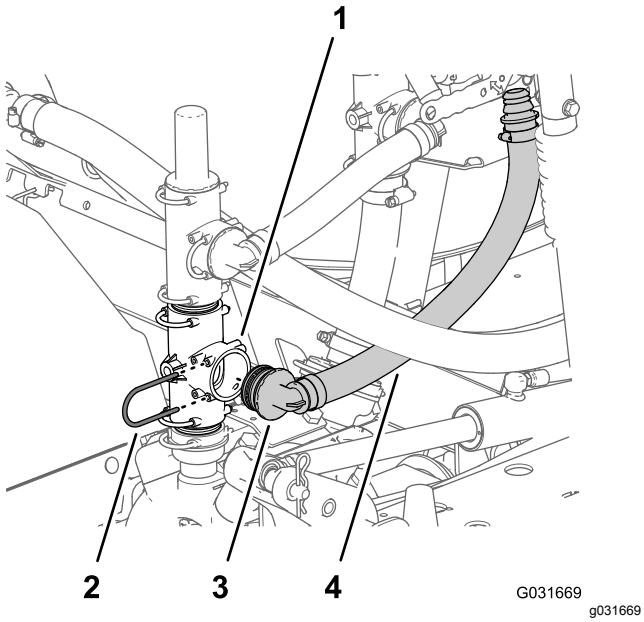


図 225

1. T字フィッティング液剤ポンプ
2. リテーナToro P/N 131-0235
3. バーブ付き 90° フィッティング給液ホースアセンブリToro P/N 131-9648
4. 給液ホースアセンブリToro P/N 131-9648

2. 90° フィッティングをポンプのT字フィッティングに固定する図 225ステップ1 圧力解放バルブの位置を変更する (ページ 92)で外したリテーナを使用する。
3. 圧力側ホースアセンブリToro P/N 131-9648の90°フィッティングを、液剤ポンプのT字フィッティングの空いているポートに整列させて90°フィッティングをT字フィッティングの奥まで完全に入れる図 226。

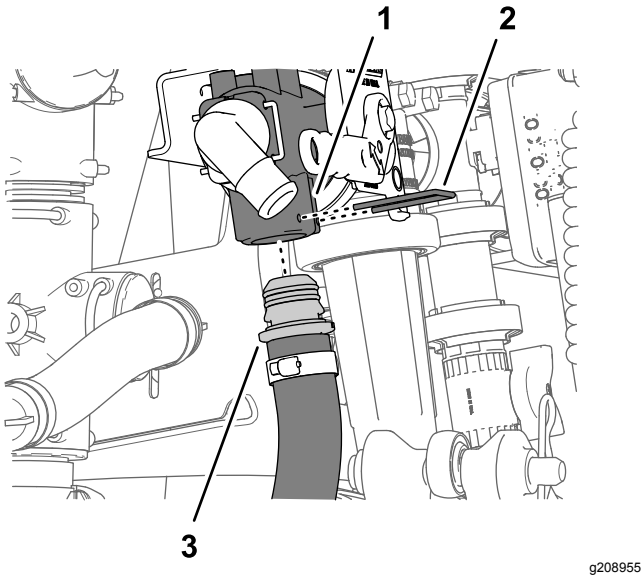


図 226

1. 液剤シャットオフバルブToro P/N 130-7324
2. リテーナToro P/N 131-0235
3. 給液ホースアセンブリToro P/N 131-9648

4. 圧力側ホースアセンブリToro P/N 131-9648のバーブ付きストレートフィッティングを、液剤シャットオフバルブ底部ポートに整列させて、ストレートフィッティングをバルブの奥まで完全に入れる図 226。
5. バーブ付き ストレートフィッティングを液剤シャットオフバルブに固定する図 224リテーナToro P/N 131-0235を使用する。

エダクタの給水ホースを接続する

1. エダクタの給水ホースの端部を、液剤シャットオフバルブのバーブ付き90°フィッティングに整列させフィッティングにホースを接続する図 227。

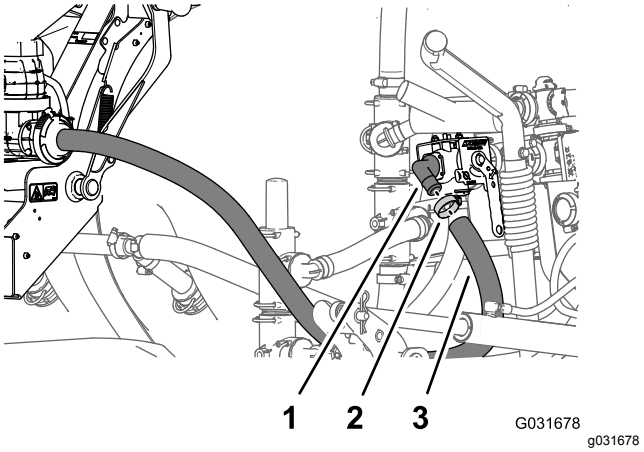


図 227

1. バーブ付き 90° フィッティング液剤シャットオフバルブToro P/N 130-7324
2. ホースクランプ
3. エダクタの給水ホース

2. ホースをT字フィッティングに固定するステップ7 マニホルドマウントに収納式ホースリールを取り付ける (ページ 79)で外したクランプを使用する。

37

EU適合キットオプションを取り付ける

必要なパーツはありません。

マニホルドマウントに取り付け穴を開ける

1. マニホルドマウントの左上エッジ部から右方向に381mm を測って鉛筆でマーキングする図 228。

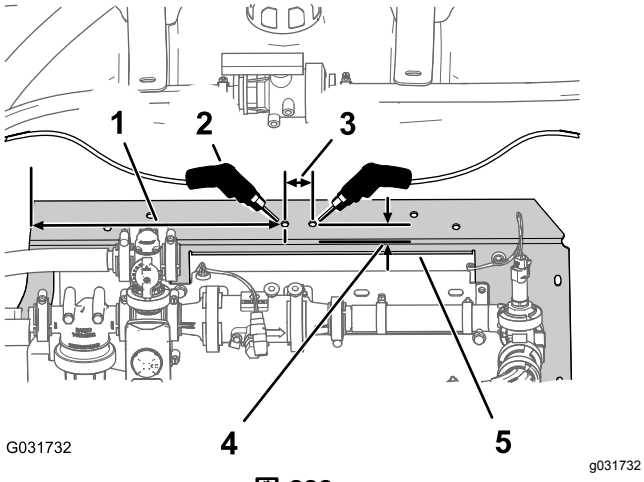


図 228

1. 381mm の位置に鉛筆でマーキングする.
2. 直径 8mm の穴
3. 32mm の位置に鉛筆でマーキングする.
4. 19mm の位置に鉛筆でマーキングする.
5. マニホルドマウント

2. マニホルドマウントの後部エッジ部から前方向に19mm を測って鉛筆でマーキングする図 228。
3. ステップ 1 と 2で作成した2つのマークの交点の水平面にポンチを打つ。
4. ポンチマークから右に 32mm を測って鉛筆でマーキングする図 228。
5. マニホルドマウントの後部エッジ部から前方向に19mm を測って鉛筆でマーキングする図 228。
6. ステップ 4 と 5で作成した2つのマークの交点の水平面にポンチを打つ。
7. 各ポンチマークに、ドリルで直径 8mm の穴を開ける図 228。

ボールバルブとブラケットを取り付ける

1. ステップ 49 EU適合キットオプションを外す (ページ 21)で取り外したボールバルブ用ブラケットの穴を、 マニホルドマウントに取り付け穴を開ける (ページ 97)で開けたマニホルド上の穴に図 229のように合わせる。

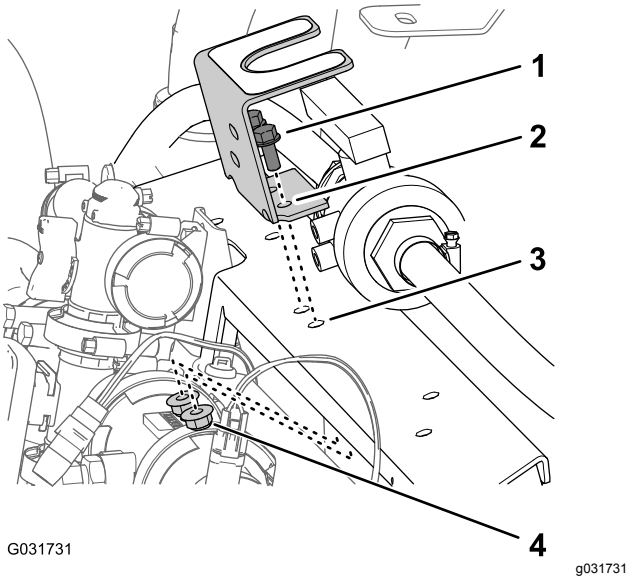


図 229

1. フランジヘッドボルト5/16 x ¾"
2. 取り付けブラケットボールバルブ
3. マニホルドマウント
4. フランジロックナット5/16"

2. マニホルドマウントにブラケットを取り付ける図 229ステップ 49 EU適合キットオプションを外す (ページ 21)で取り外したフランジヘッドボルト5/16 x ¾"2本とフランジロックナット5/16"を使用する。
3. ボルトとナットを19782542N·m2.02.6kg.m = 175225in-lbにトルク締めする。
4. ボールバルブのねじ穴付きボスを、取り付けブラケットの2つの穴に合わせる図 230。

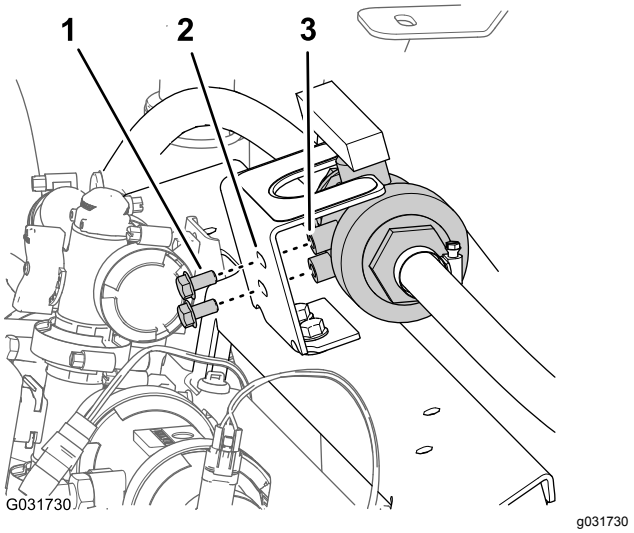


図 230

1. フランジヘッドボルト5/16 x 5/8"
2. 取り付けブラケットボールバルブ
3. ねじ溝付きボスボールバルブ

5. バルブをブラケットに組み付ける図 230ステップ 39 EU適合キットオプションを外す (ページ

21)で外したフランジヘッドボルト5/16 x 5/8”2本を使用する。

38

オプションのブームカバーキットの取り付けを行う

この作業に必要なパーツ

1	カバーエクステンションアセンブリ12ノズル用Toro P/N 120-0621
22	ポップリベットToro P/N 114439
4	サポートブラケットセンターブーム用カバーToro P/N 13-3703-03
4	クリップナットToro P/N 94-2413
16	フランジヘッドボルト3/8 x 1-¼"Toro P/N 110-5050
16	フランジロックナット3/8"Toro P/N 104-8301
2	カバーストラップToro P/N 120-0629
4	フランジヘッドボルト5/16 x 1-¼"Toro P/N 323-36

センターブームカバー11ノズルにカバーエクステンションを取り付ける

1. 補強プレート1列とゴム製カバーを11ノズル用センターブームのカバーに固定している11本のポップリベット図 231ステップ 210 カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す (ページ 22)で外しておいたカバーについているリベット を、直径 5mm のドリルビットを使って取り外す。

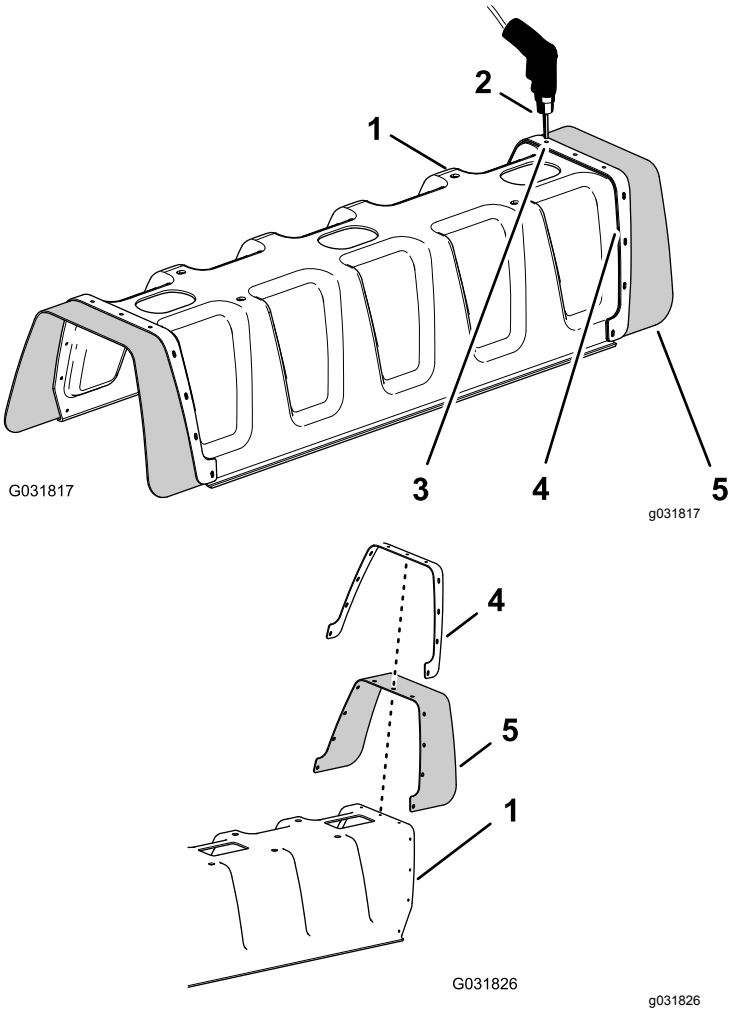


図 231

1. 11 ノズルブーム用カバー
2. ドリルと 直径 5mm のビット
3. リベット3/16 x ½"
4. 補強板1列穴
5. ゴムカバー

2. 11 ノズルブーム用カバーから、補強版、ワッシャ3/16"11枚、ゴム製カバーを取り外す図 231。

   注 外した補強版、ワッシャ、ゴム製カバーは、ステップ 5 と 6で使用します。

3. カバーエクステンションに取り付けられている補強プレート2列穴の穴に、11 ノズルブーム用カバーの穴を合わせる図 232。

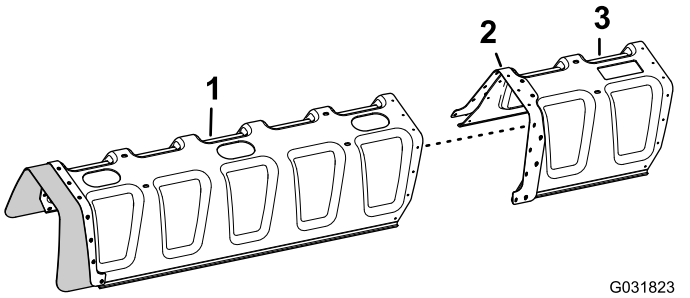


図 232

1. 11 ノズルブーム用カバー
2. 補強板2列穴
3. カバーエクステンション

4. ポップリベット11本Toro P/N 114439を使って、カバーエクステンションを11 ノズルブーム用カバーに固定する。

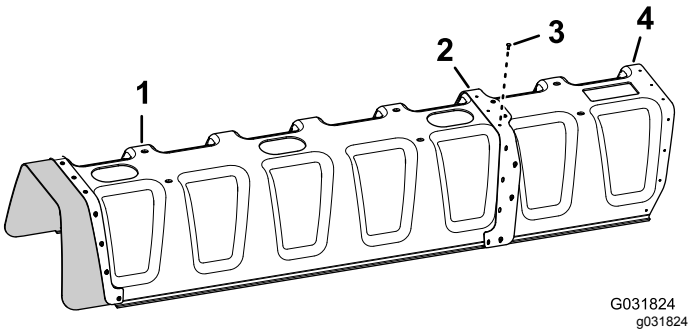


図 233

1. 11 ノズルブーム用カバー
2. 補強板2列穴
3. ポップリベットToro P/N 114439
4. カバーエクステンション

5. ステップ2で取り外したゴム製カバーと補強版1列穴の穴を、カバーエクステンションの穴に合わせる図 234 。

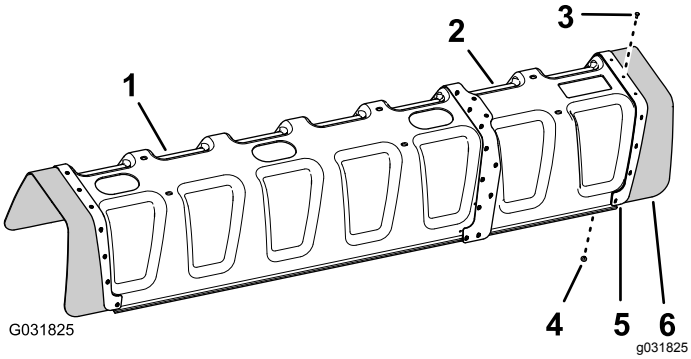


図 234

1. 11 ノズルブーム用カバー
2. カバーエクステンション
3. ポップリベットToro P/N 114439
4. ワッシャ3/16"
5. 補強板1列穴
6. ゴムカバー

6. 補強版とゴムカバーを、カバーエクステンションに固定するポップリベットToro P/N 11443911本と、ステップ5で外したワッシャ3/16"11枚を使用する。

注 ワッシャ3/16"は、カバーエクステンションの内面に当たるように取り付けてください。

センターブーム用カバーのサポートブラケットを取り付ける

1. ステップ610 カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す (ページ 22)で外したクリップナット4個を、センターカバーToro P/N 131–3703–03用のサポートブラケット2個に、図 235のように取り付ける。

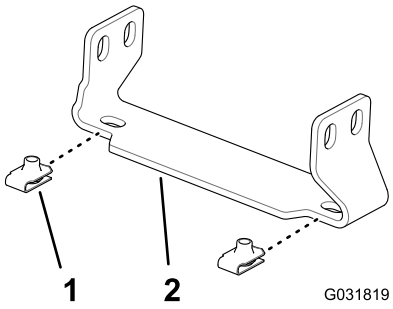
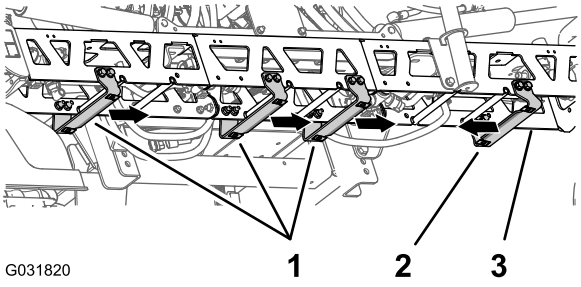


図 235

1. クリップナットToro P/N 94-2413
2. サポートブラケットセンターブーム用カバーToro P/N 13-3703-03

2. 図 235 のように、センターカバーToro P/N 131–3703–03用のサポートブラケット残り2個に、クリップナットToro P/N 94-24134個を取り付ける。
3. センターブームで、トラスフレームの垂直面にある一番右側の 1 組の穴25mm 間隔で開いている穴を探し出す図 236 。



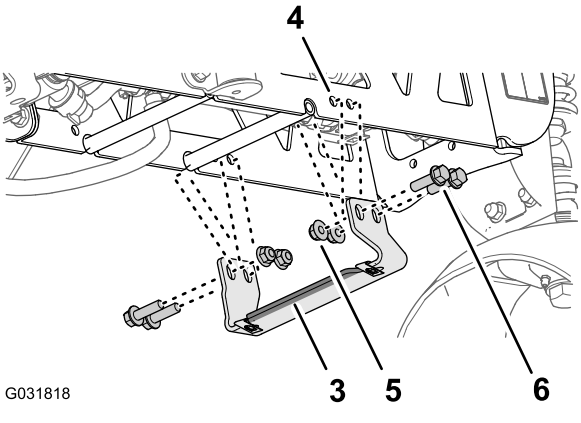


図 236

図では、幅広のフランジ付きのサポートブラケットが左側

1. サポートブラケットToro P/N 131–3703–03 (広いフランジが右側)
2. サポートブラケットToro P/N 131–3703–03 (広いフランジが右側)
3. トラスフレームセンターブーム)
4. 穴トラスフレーム
5. フランジロックナット⅜"Toro P/N 104-8301
6. フランジヘッドボルト⅜ x 1¼"Toro P/N 110-5050

---

4. サポートブラケットToro P/N 131–3703–03の穴を、センターブームの穴ステップ 3 で探し出した穴に合わせるブラケットの広いフランジが左側になるように合わせること図 236を参照。
5. サポートブラケットをトラスフレームに固定する図 236フランジヘッドボルト3/8 x 1-¼", Toro P/N 110-50504本、フランジロックナット3/8", Toro P/N 104-83014個を使用する。
6. トラスフレームの垂直面にあるもう 1 組の穴 25mm 間隔で開いている穴を探し出す図 236。
7. 3個のサポートブラケットToro P/N 131–3703–03の穴を、センターブームの穴ステップ 6 で探し出した穴に合わせるブラケットの広いフランジが右側になるように合わせること図 236。
8. サポートブラケットをトラスフレームに固定する図 236フランジヘッドボルト3/8 x 1-¼", Toro P/N 110-505012本、フランジロックナット3/8", Toro P/N 104-83014個を使用する。
9. ボルトとナットを37 45N·m 3.7 4.6kg.m = 27 33ft-lb にトルク締めする。

センターブーム用カバーを取り付ける

1. センターブームカバーの穴を、サポートブラケットにある取り付け用の穴に合わせる図 237。

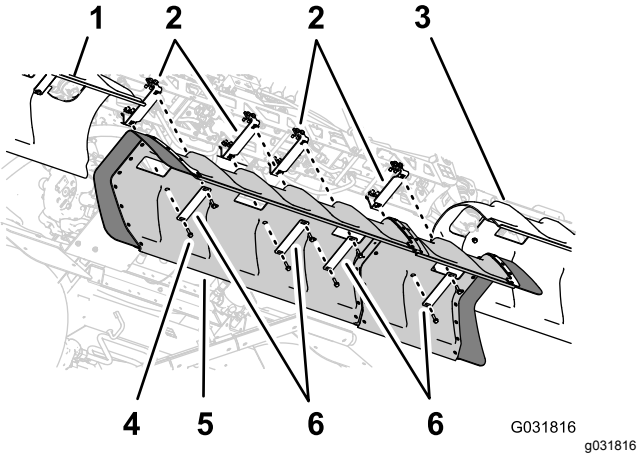


図 237

1. 左側ブームカバー
2. サポートブラケット
3. 右側ブームカバー
4. フランジヘッドボルト 5/16 x 1¼"
5. 中央ブームカバー
6. カバーストラップ

---

2. ステップ110 カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す (ページ 22)で取り外した2本のカバーストラップの穴を、ゴム製カバーと補強版1列穴の穴を、カバーエクステンションの穴に合わせる図 237。
3. カバーストラップとカバーを、サポートブラケットに取り付けるステップ 110 カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す (ページ 22)で取り外したフランジヘッドボルト5/16 x 1¼"4本を使用する。
4. 2本のカバーストラップToro P/N 120–0629の穴を、カバーにある残り4つの穴とサポートブラケットにある残り4つの穴に合わせる図 237。
5. カバーストラップとカバーを、サポートブラケットに取り付ける図 237フランジヘッドボルト5/16 x 1¼", Toro P/N 323-364本を使用する。
6. ボルト本を 1978 2542N·cm 3.1 3.8kg.m = 175 225in-lbにトルク締めする。

39

オプションのタンクすすぎキットの接続を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. すすぎポンプのハーネスの6ピンコネクタを、後メインハーネスの6ソケットコネクタに接続する図 238。

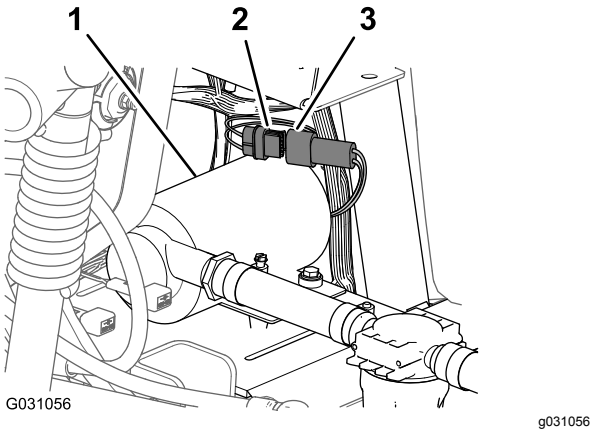


図 238

1. すすぎポンプ
2. 6ソケットコネクタ後メインハーネス
3. 6ピンコネクタすすぎポンプのハーネス

2. すすぎポンプのカバーを、すすぎポンプ用サドルプレートに合わせる図 239。

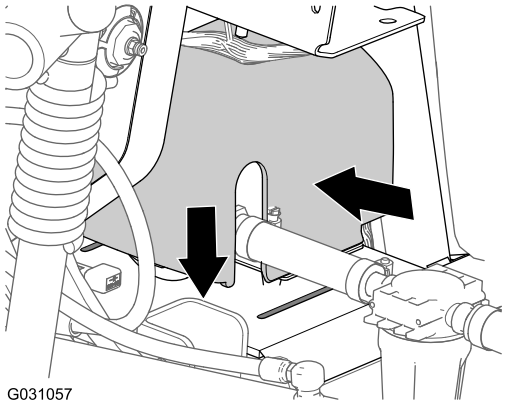


図 239

3. すすぎポンプのカバーを両側から同時に押して、カバーについているタブをサドルプレートに合わせる図 239。
4. スロットにタブを差し込み、カバーを両側から押していた力をゆるめる図 239。

40

オルタネータを交換する

この作業に必要なパーツ

1	ベルト張りブラケット
1	オルタネータ60A
1	ナット (10mm)
1	オルタネータのアダプタ用ハーネス

オルタネータ40Aを外す

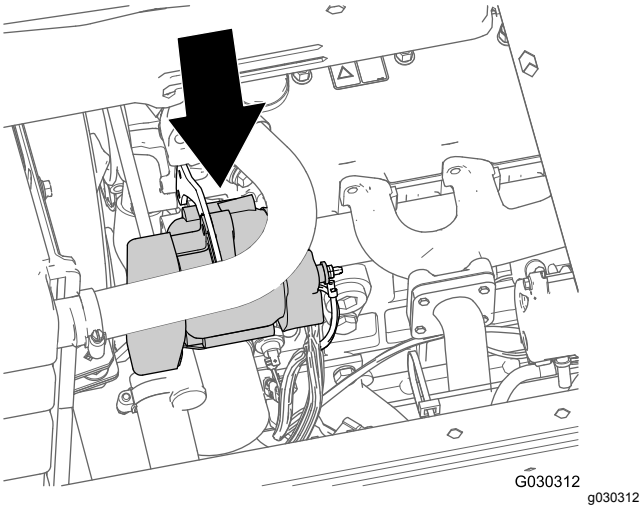


図 240

1. エンジンルームの左側で、プラス端子についているバッテリーケーブルのリング端子を固定しているナット6mmを外す図 241。

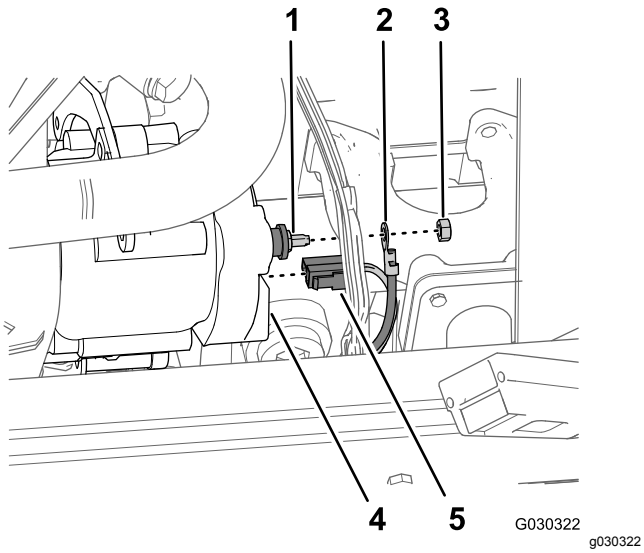


図 241

1. オルタネータのプラス端子
2. リング端子
3. ナット6 mm
4. オルタネータ
5. 2ソケットコネクタ

2. オルタネータの後部で、オルタネータの2ブレードコネクタから、エンジン用ハーネスの2ソケットコネクタを外す図 241。
3. オルタネータとベルトテンションブラケットから、オルタネータのロックボルトを外す図 242。

   注 オルタネータのロックボルトは オルタネータ60Aを取り付ける (ページ 103)で使用します。

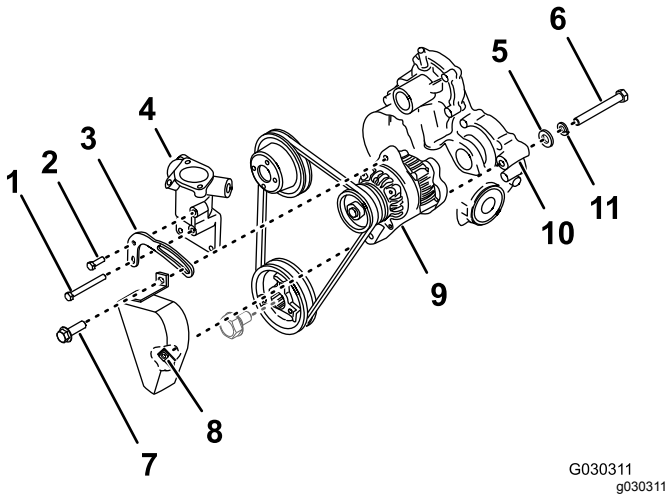


図 242

1. テンションブラケットのボルト長い方)
2. テンションブラケットのボルト短い方)
3. ベルトテンションブラケット古い方
4. サーモスタットハウジング
5. 平ワッシャ
6. ピボットボルト
7. オルタネータのロックボルト
8. ウェルドナットベルトカバー
9. オルタネータ40A
10. ギアケース
11. ロックワッシャ

4. サーモスタットのハウジングとベルトテンションブラケットから、短い方のテンションブラケットボルトを外す図 242。

   注 はずした短い方のボルトは オルタネータ60Aを取り付ける (ページ 103)で使用します。

5. シリンダヘッド、サーモスタットのハウジング、ベルトテンションブラケットから、長い方のテンションブラケットボルトを外してテンションブラケットを取り外す図 242。

   注 長い方のボルトは オルタネータ60Aを取り付ける (ページ 103)で使用します。外した古いブラケットは廃棄して構いません。

6. オルタネータの後部で、ピボットボルトを完全にゆるめて車体からベルトカバーを取り外す図 242。

   注 ベルトカバーは廃棄する。

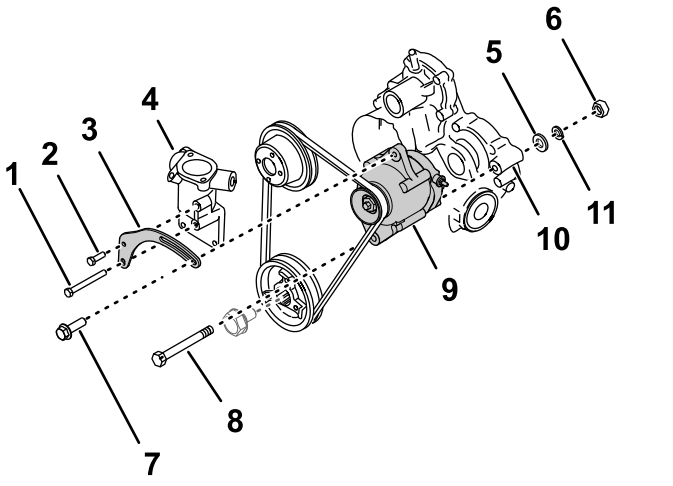
7. オルタネータを支えておいて、オルタネータとエンジンのギアケースから、ピボットボルト、ロックワッシャ、平ワッシャを外す図 242。

   注 ピボットボルト、ロックワッシャ、平ワッシャは オルタネータ60Aを取り付ける (ページ 103)の取り付けに使用します。外した40Aオルタネータはリサイクルセンターに持ち込むなど適切な方法で処分してください。

8. オルタネータのプーリからベルトを取り外し、オルタネータを車体から外す。

オルタネータ60Aを取り付ける

1. 新しいベルトテンションブラケットの穴を、サーモスタットハウジングの穴にあわせる図 243。



g307757

図 243

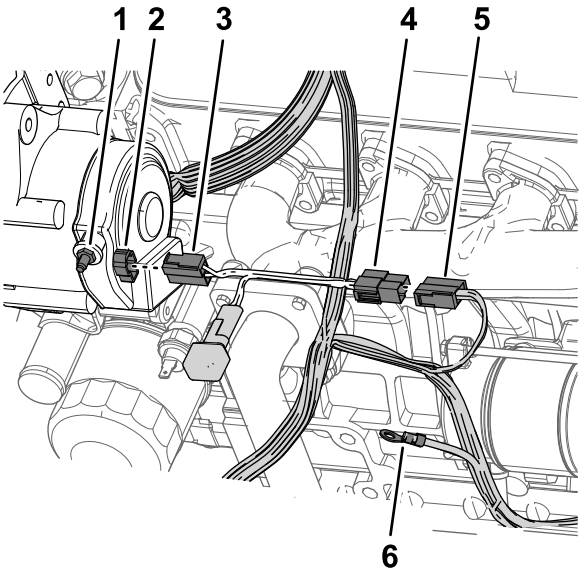
1. テンションブラケットのボルト長い方
2. テンションブラケットのボルト短い方
3. 新しいベルトテンションブラケット
4. サーモスタットハウジング
5. 平ワッシャ
6. ナット10 mm
7. オルタネータのロックボルト
8. ピボットボルト
9. オルタネータ60A
10. ギアケース
11. ロックワッシャ

2. ベルトテンションブラケットをサーモスタットハウジングとシリンダヘッドに組み付ける短い方のボルトを上穴に、長い方のボルトを下穴に使用する図 243。
3. 各ボルトを 39.544N·m4.04.6kg.m = 2933ft-lbにトルク締めする。
4. オルタネータ60Aの下穴をエンジンのギアケースの穴に合わせ、オルタネータのプーリにベルトを掛ける図 243。

   注 オルタネータの下穴にはねじ溝はついていません。
5. オルタネータを、ギアケースに取り付けるステップ 7 オルタネータ40Aを外す (ページ 102)で取り外したピボットボルト、ロックワッシャ、平ワッシャを使用する。
6. ピボットボルトにナット10 mmを仮止めする図 243。
7. ベルトテンションブラケットのスロットとオルタネータのねじ穴にオルタネータロックボルトを通す図 243。
8. プーリとプーリとの中間部を 40N約4.5kgの力で押した時に、10mm 程度のたわみ出るようにオルタネータの位置を調整する図 243。
9. オルタネータロックボルト、ピボットボルト、ナット10 mmを64-71 N·m6.5-7.3 kg.m = 47-53 ft-lb にトルク締めする。

オルタネータアダプタハーネスを取り付ける

1. オルタネータアダプタ用ハーネスの ソケットコネクタを、オルタネータ60Aのコネクタのピンコネクタに接続する。コネクタ同士をしっかり押し込んで確実にロックさせること図 244。



g289490

図 244

1. オルタネータのポスト
2. ピンコネクタ60Aオルタネータ
3. ソケットコネクタオルタネータアダプタのハーネス
4. ブレードコネクタオルタネータアダプタのハーネス
5. 2ソケットピンコネクタ車両のワイヤハーネス
6. リング端子 車両のワイヤハーネス

2. オルタネータアダプタ用ハーネスの ブレードコネクタを、車両用ワイヤハーネスのソケットコネクタステップ2 オルタネータ40Aを外す (ページ 102)で取り外したものに接続する。コネクタ同士をしっかり押し込んで確実にロックさせること図 244。
3. 車両のワイヤハーネスのリング端子をオルタネータのポストに取り付け、ステップ1 オルタネータ40Aを外す (ページ 102)で外したナット6 mmで固定する。

41

ジオリンクスプレーシステム仕上げキットの最終作業を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 座席を押さえていたロッドを外して座席をもとに戻す。
2. バッテリーのプラス赤ケーブルをバッテリーの 端子に、マイナス黒ケーブルをバッテリーの–端子に取り付け、ボルトと蝶ナットで固定する図 3 バッテリーの接続を外す (ページ 7)の説明を参照。
3. 両方の端子に絶縁ゴムカバーを取り付ける図 3 バッテリーの接続を外す (ページ 7)の説明を参照。
4. バッテリーカバーを取り付け、ストラップで固定する図 2 バッテリーの接続を外す (ページ 7)の説明を参照。

運転操作

安全第一

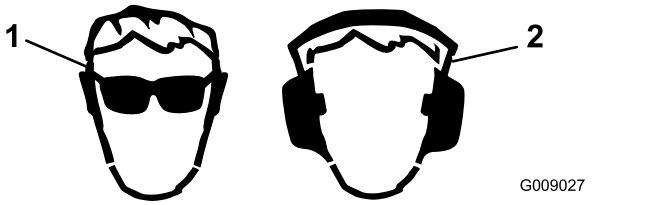
このマニュアルに記載されている安全上の注意やステッカーの記号や表示内容を良く読んでください。オペレータや周囲の人を事故から守る重要な情報が掲載されています。

⚠ 注意

この機械を長時間使用しつづけると聴覚に障害を起こす可能性がある。

運転に際しては聴覚保護具を使用すること。

目、耳、足、頭などの保護具を使用すること。



g009027

図 245

1. 保護メガネ等着用のこと。
2. 聴覚保護具を使用してください。

シャットオフバルブの使い方

オプションのハンドスプレーキット、電動ホースリールキット、収納式ホールリールキット

1. 平らな場所に駐車し、ブームを OFF にし、エンジンを停止させて駐車ブレーキを掛ける。

   ⚠ 警告

   車両を運転しながらハンドスプレーヤを操作するのは非常に危険であり、負傷事故や死亡事故につながる恐れがある。

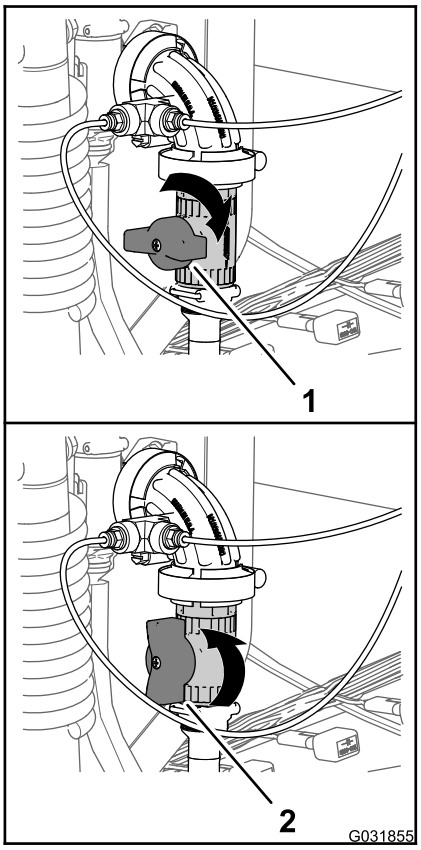
   運転中はハンドスプレーヤを操作しないこと。

2. ハンドスプレーとホースリールキットでは以下の作業を行う
   - ハンドスプレーキット車体右側で、スプレーガン用のトリガーロックがロックされていることを確認する*の通常の液剤散布モードからハンドスプレーモードへの切り替え*ハンドスプレーキットを参照。
   - 電動ホースリールと収納式電動ホースリール車体後部で、スプレーガン用のトリガーロックがロックされていることを確認する*の通常の液剤散布モードからハンドスプレーモードへの*

*切り替え*電動ホースリールまたは収納式電動ホースリールを参照。

3. シャットオフバルブについている緑色のハンドルを左に90°回転させてOPEN位置にセットする図 246。

   注 ホースリールについているハンドスプレースティックへの給液を停止するには、シャットオフバルブについている緑色のハンドルを右に90°回転させてCLOSED位置にセットする図 246。



g031855

図 246

1. 閉じたclosed位置　　2. 開いたopen位置

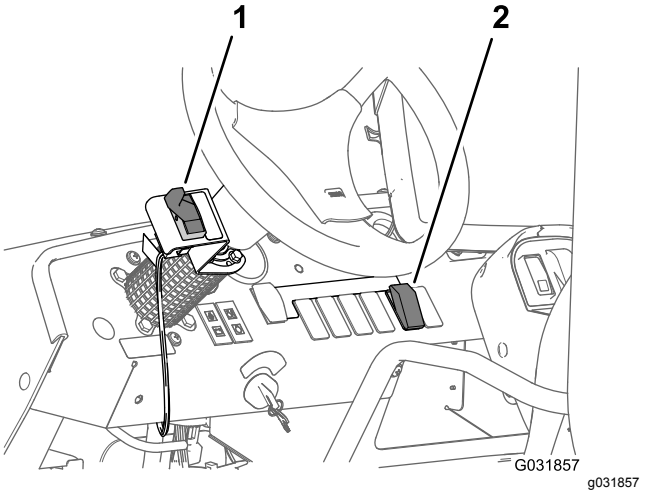
4. マスターブームスイッチを ON にセットする。
5. エンジンを希望する回転数にセットし、ニュートラルエンジン速度ロックを ON にする。
6. 手動で、液剤散布圧力を希望する圧力にセットするジオリンク高精度散布システムの付属品のUSB メモリの中に入っている「ホースリールやエダクタを使用する場合の手動による圧力設定への変更」を参照。

   注 手散布モードでは、150 psi10.5 kg/cm2以上の設定にしないでください。

制御装置の使用方法

オプションのフォームマーカーキット

- コンプレッサ ON/OFF スイッチこれでフォームマーカーのコンプレッサを作動させるスイッチです。



g031857

図 247

1. コンプレッサの ON/OFF スイッチ　　2. 泡コントロール スイッチ

- フォーム泡コントロール スイッチブームの左右どちらから泡を落とすかを選択するスイッチです。
  - パドルを下げると左ブームから泡を落とします。
  - パドルを中央位置にすると左右両方のブームから泡を落とします。
  - パドルを上げると右ブームから泡を落とします。

液剤シャットオフバルブの使い方

オプションの薬剤プレミックスキット

ここで説明する操作手順は、以下の準備ができていることを前提としておりますスプレーヤのエンジンが作動しており、ポンプが作動していて希望する水圧を発生させており、スロットルが中間位置にセットされている。

注 エダクタの始動前に、エダクタのホッパーバルブとホッパーリンス用ボールバルブを閉じておいてください。

1. エダクタを使用位置に降ろす薬剤プレミックスキットの*取り付け要領書*の「エダクタの昇降操作」を参照。
2. ふたを開けて、内部に異物流れを妨げる可能性のあるものや薬剤を汚染する可能性のあるものがないか調べる薬剤プレミックスキットの*取り付け要領書*の「エダクタを使う」を参照。
3. ふたを閉じて右に回してロックする薬剤プレミックスキットの*取り付け要領書*の「エダクタを使う」を参照。

4. エダクタの給水シャットオフバルブを左に回してOPEN 位置まで開く図 248。

   注 エダクタへの給水を停止するには、シャットオフバルブのハンドルを右に90°回転させてCLOSED位置にセットする図 248。

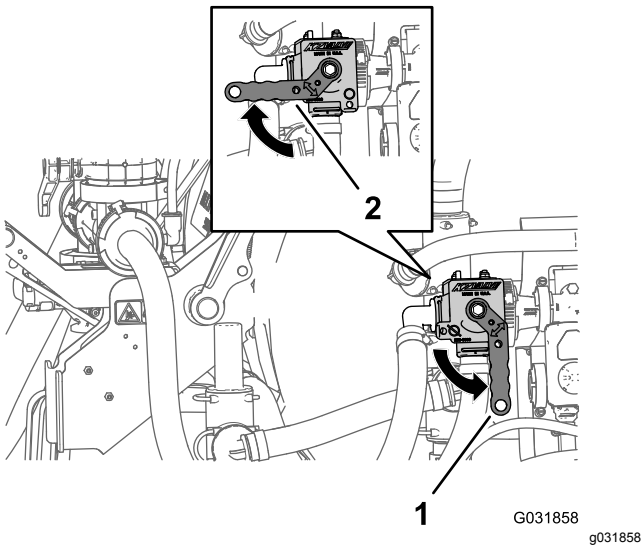


図 248

1. 開open位置給水シャットオフバルブ
2. 閉open位置給水シャットオフバルブ

---

5. ホッパーの底部についているホッパーバルブ赤いハンドルを開ける薬剤プレミックスキットの *取り付け要領書*の「エダクタを使う」を参照。
6. ふたのロックを解除してふたをゆっくり左に回して開く薬剤プレミックスキットの *取り付け要領書*の「エダクタを使う」を参照。
7. ホッパーに資材を入れる薬剤プレミックスキットの *取り付け要領書* の「エダクタを使う」を参照。



Count on it.